

行田市都市計画マスタープラン策定に係る

市民アンケート調査

報告書

平成24年3月

行田市 都市整備部

まちづくり推進課

目次

はじめに

第1章 調査概要

1. 調査の目的.....	3
2. 調査の方法と期間.....	3
3. 回収結果.....	3
4. 報告書を見る際の注意事項.....	3
5. 地域区分.....	4

第2章 調査結果

1. 回答者について.....	9
2. お住まいの地域について.....	12
3. 市全体の都市計画・まちづくりについて.....	40
(1) これまでのまちづくりの取り組みについて.....	40
(2) これからのまちづくりの取り組みについて.....	53
まちの将来像.....	53
まちづくりの取組み.....	56
①土地利用について.....	60
②地域の資源をいかしたまちづくりについて.....	82
③景観づくりについて.....	90
④自然災害に強いまちづくりについて.....	96
4. まちづくりへの関心・参加意向について.....	102

第3章 自由意見

■「行田市文化ゾーン地区」計画区域内各整備・市街地のまちづくりについて

1. 道路・歩道整備などについて.....	117
2. 文化財案内板・説明版について.....	118
3. 中心部のまちづくりについて.....	118
4. まちづくり全般について.....	121

■市のまちづくりの改善のための提案

1. 土地利用の仕方.....	129
2. 道路・交通のネットワークの整備.....	132
3. 緑と水辺のネットワークの整備.....	135
4. 下水処理施設などの整備.....	137
5. 活性化を先導する施設の整備.....	138
6. 景観の形成.....	139
7. 生活環境の改善.....	141
8. その他.....	145

【参考資料】

参考資料1 クロス集計項目.....	155
参考資料2 調査票.....	157

はじめに

行田市では、平成 10 年 3 月に現行の行田市都市計画マスタープランを策定し、「水と緑が歴史と未来をつなぐまちづくり」を将来都市像として、まちづくりを推進してきました。

平成 18 年の南河原村との合併、平成 23 年 4 月の「第 5 次行田市総合振興計画」の策定を受けて、平成 25 年度から平成 44 年度までの 20 年間に計画期間とする、新たな都市計画マスタープランの策定に取り組んでいます。

新たに策定する都市計画マスタープランは、少子・高齢化による人口構造の変化や自然災害に対する不安、環境問題への関心の高まりなど、社会情勢の変化を受け止め、市が目指す 20 年後の将来の姿を明確に示し、都市計画の基本的な方針を定めるものです。

今回の市民アンケート調査は、都市計画マスタープランの策定にあたって、多くの市民の皆様からご意見を伺い、現状や課題を的確に捉えるとともに、今後の行田市の将来の姿と、その実現に向けたまちづくりの取組みについて検討する基礎資料とするため実施いたしました。

また、本調査の他にも「市民まちづくり会議」、「地域別懇談会（4 地域）」、「こども会議（中学生）」、「関係団体との意見交換会」の開催により、多くの市民の皆様からご意見・ご提言を頂き策定いたします。

結びに、ご多忙のところ、アンケート調査にご協力いただいた市民の皆様に、厚く御礼申し上げます。

皆様から頂いた貴重なご意見の数々は、新たな都市計画マスタープラン、そして、これからのまちづくりに反映させていただきますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

行田市 都市整備部 まちづくり推進課

第1章 調査概要

1. 調査の目的

このアンケート調査は、新たな都市計画マスタープランの策定にあたり、市民の皆様から、これまでのまちづくりの取組みに対する評価や満足度、今後必要な施策や重点課題などについての意向を把握し、本計画の基礎資料として活用することを目的として実施しました。

2. 調査の方法と期間

(1) 調査対象者

住民基本台帳に登録されている18歳以上の方の中から4地域各750人ずつ、計3,000人を無作為に抽出しました。

(2) 配布と回収

郵送による配布・回収

(3) 調査期間

平成23年9月23日（金）～平成23年10月11日（火）

3. 回収結果

回収結果は以下の通りとなっています。

地域区分	配布数	回収数	割合
1. 中心部	750	273	36.4%
2. 西部	750	281	37.5%
3. 北部	750	297	39.6%
4. 南東部	750	281	37.5%
合計	3,000	1,132	37.7%

4. 報告書を見る際の注意事項

(1) 単純集計とクロス集計について

本調査では、各設問について、回答全体をまとめて集計した「単純集計」と、地域別や年代別などに区分して集計した「クロス集計」を行っています（クロスを掛けた項目については、参考資料1「クロス集計項目」参照）。

なお、年代別クロス集計において、10歳代は、回答数が少ないため、本調査の結果が行田市における当該年代の傾向と異なる可能性があることもご理解の上、調査結果をご覧ください。

(2) 数値の端数処理方法

回答比率等については、小数点以下第2位を四捨五入し第1位までの表記としています。このことから、合計が100%に満たない、あるいは100%を超える場合があります。なお、基数となる回答者数は、(N)としてグラフに掲載しました。

【地域区分の考え方】

行田市国土利用計画（S60.12）及び現行の都市計画マスタープラン（H10.3）の地域分けを基本に、駅勢圏や地域コミュニティのまとまり、市街化区域・市街化調整区域の別、地形地物などを考慮し、以下のとおり、4つのブロック分けをしました。

この地域区分は、新たな都市計画マスタープランの地域別計画に反映していきます。

<p>1. 中心部</p>	<p>忍1・2丁目、天満、水城公園、城南、本丸、矢場1・2丁目、城西1・2丁目、大字忍、行田、宮本、中央、旭町、向町、佐間1～3丁目、緑町、駒形1・2丁目、谷郷1丁目、谷郷2・3丁目の一部（市街化区域内）、大字谷郷の一部（市街化区域内）、栄町、桜町1～3丁目、富士見町1・2丁目、長野1～5丁目、大字長野の一部（市街化区域内）、大字下忍の一部（市街化区域内）、藤原町1～3丁目、大字若小玉の一部（市街化区域内）</p>
<p>2. 西部</p>	<p>城西3～5丁目、持田1～5丁目、大字持田、大字前谷、西新町、壺里山町、清水町、門井町1～3丁目、押上町、棚田町1～3丁目、深水町</p>
<p>3. 北部</p>	<p>大字斎条、大字和田、大字長野の一部（行田県土整備事務所付近の市街化調整区域内）、谷郷2・3丁目の一部（市街化調整区域内）、大字谷郷の一部（市街化調整区域内）、大字上池守、大字下池守、大字皿尾、大字中里、大字小敷田、大字荒木、大字小見、大字白川戸、大字須加、大字下中条、大字北河原、大字酒巻、大字南河原、大字犬塚、大字馬見塚、大字中江袋</p>
<p>4. 南東部</p>	<p>大字佐間、大字長野の一部（市街化調整区域内）、大字下忍の一部（市街化調整区域内）、大字堤根、大字樋上、大字埼玉、大字野、大字渡柳、大字利田、大字若小玉の一部（市街化調整区域内）、大字下須戸、大字小針、大字藤間、大字関根、大字真名板</p>

第2章 調査結果

1. 回答者について

問1 次の1)～5)の項目について、お答えください。

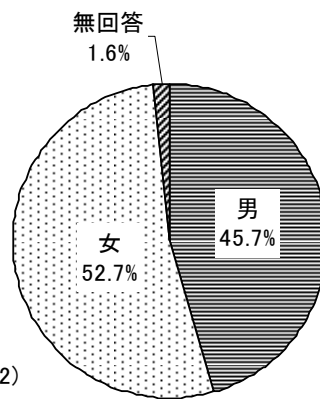
(項目ごとに該当する番号を1つ選び○を付けてください)

1) 性別

1. 男

2. 女

女性が52.7%、男性が45.7%で、女性の方が7.0%多くなっています。



(回答者数=1,132)

2) 年齢

1. 10歳代

3. 30歳代

5. 50歳代

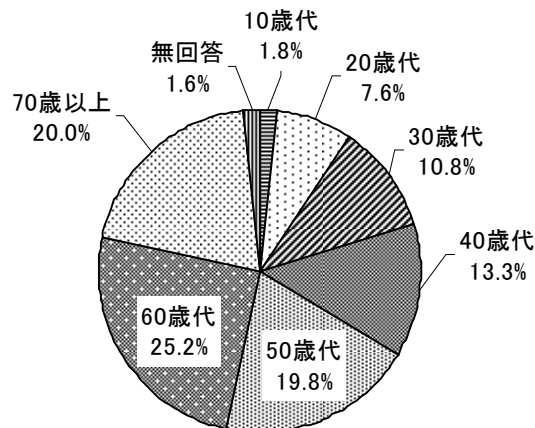
7. 70歳以上

2. 20歳代

4. 40歳代

6. 60歳代

60歳代が25.2%で最も多く、次いで70歳以上が20.0%、50歳代が19.8%となっており、50歳以上で65.0%を占めています。

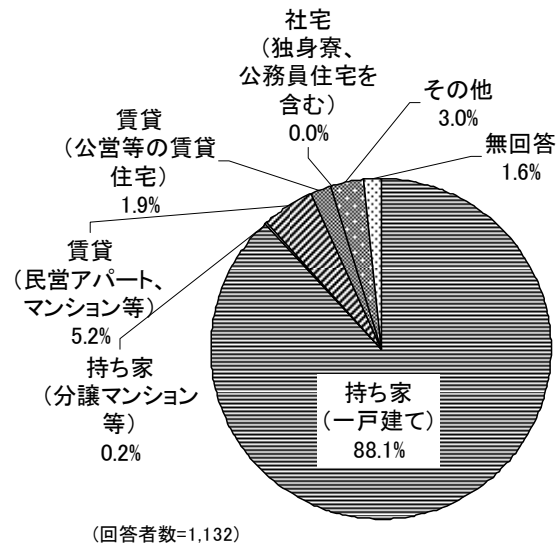


(回答者数=1,132)

5) 居住形態

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 4. 賃貸（公営等の賃貸住宅） |
| 2. 持ち家（分譲マンション等） | 5. 社宅（独身寮、公務員住宅を含む） |
| 3. 賃貸（民営アパート、マンション等） | 6. その他（ ） |

持ち家（一戸建て）が88.1%で最も多く、全体の約9割を占めています。



2. お住まいの地域について

問2 あなたは、現在お住まいの地域についてどのように感じていますか。次の1)～5)の項目についてお答えください。
(項目ごとに該当する番号を1つ選び○を付けてください)

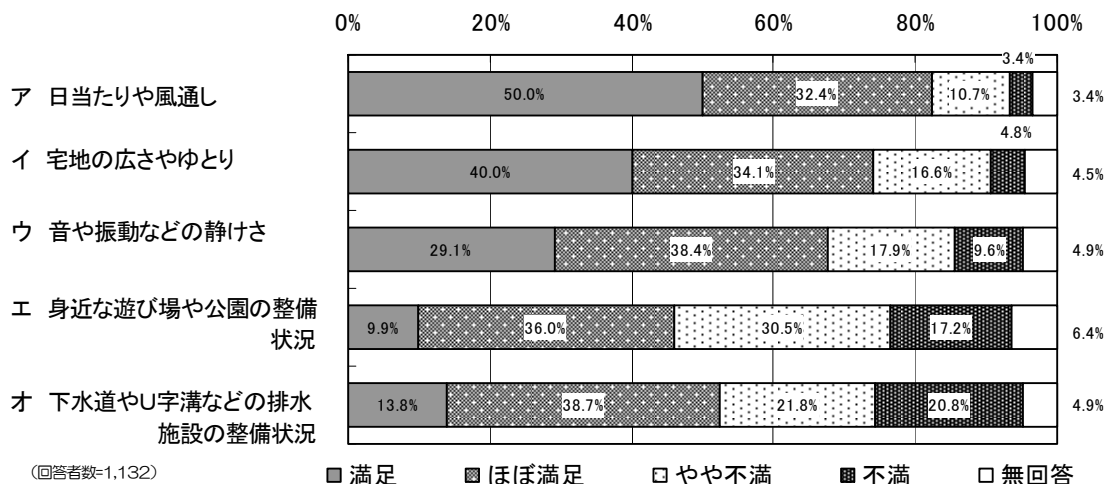
	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
1) 居住環境について				
ア 日当たりや風通し	1	2	3	4
イ 宅地の広さやゆとり	1	2	3	4
ウ 音や振動などの静けさ	1	2	3	4
エ 身近な遊び場や公園の整備状況	1	2	3	4
オ 下水道やU字溝などの排水施設の整備状況	1	2	3	4
2) 暮らしやすさについて				
カ 生活道路の整備状況	1	2	3	4
キ 幹線道路の整備状況	1	2	3	4
ク 公共交通（バス・鉄道）の利便性	1	2	3	4
ケ 日用品の買い物の利便性	1	2	3	4
コ 公共施設へのアクセスのしやすさ	1	2	3	4
サ 鉄道へのアクセスのしやすさ	1	2	3	4
3) 安全・安心について				
シ 地震や風水害などへの防災対策	1	2	3	4
ス 信号機、ガードレールなどの交通安全施設	1	2	3	4
セ 照明灯、防犯灯などの防犯施設	1	2	3	4
ソ 地域での防犯・防災の取組み	1	2	3	4
4) ゆとり、うるおいについて				
タ 緑や水など自然の身近さや豊かさ	1	2	3	4
チ 集落や田園などの農村風景の美しさ	1	2	3	4
ツ 住宅地や沿道などの街並みの美しさ	1	2	3	4
テ 歴史的建造物や文化財などの保全・活用	1	2	3	4
5) コミュニティについて				
ト 公民館などのコミュニティ施設の整備状況	1	2	3	4
ナ 地域の交流	1	2	3	4
ニ 高齢者や子どもに対する地域での見守り活動	1	2	3	4

1) 居住環境について

【全体】

居住環境について、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合は、「日当たりや風通し」が82.4%で最も高く、次いで「宅地の広さやゆとり」が74.1%、「音や振動などの静けさ」が67.5%となっています。

一方、「身近な遊び場や公園の整備状況」は45.9%、「下水道やU字溝などの排水施設の整備状況」については52.5%となっており、他の項目と比較して低めになっています。



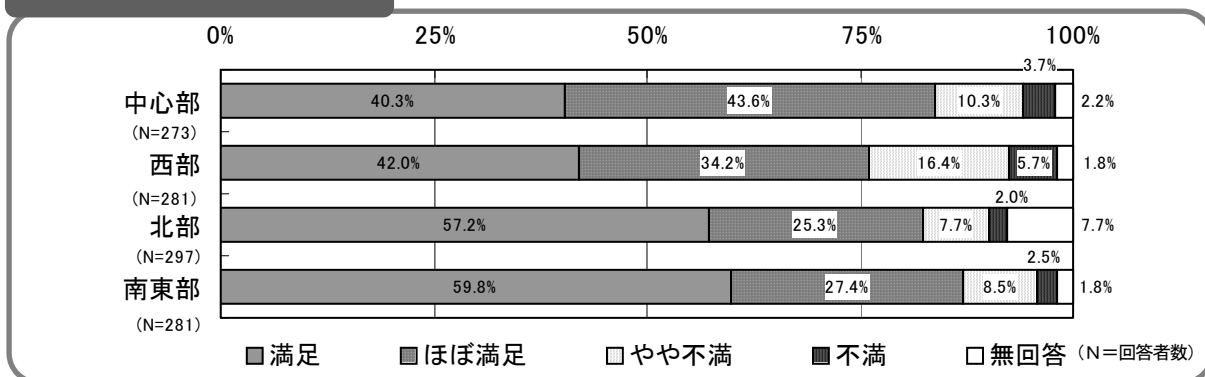
【地域別】



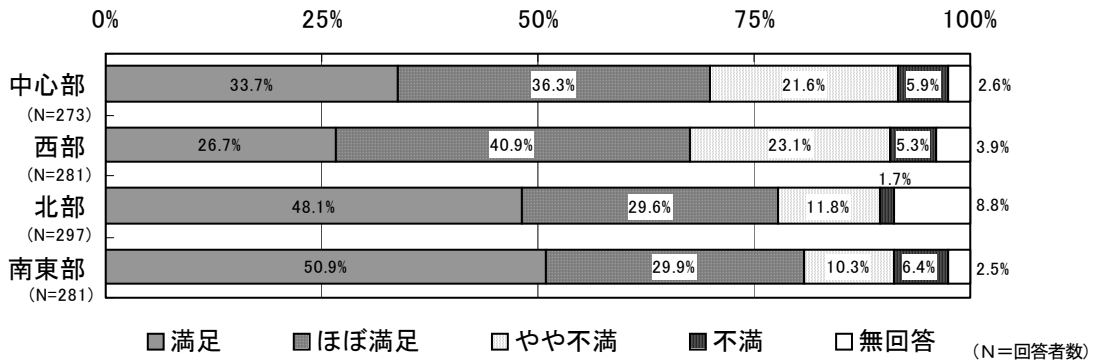
居住環境について、「満足」の割合を地域別で見ると、「日当たりや風通し」「宅地の広さやゆとり」「音や振動などの静けさ」については、南東部、北部が高くなっています。

一方で、「身近な遊び場や公園の整備状況」「下水道やU字溝などの排水施設の整備状況」については、中心部、西部の「満足」の割合が高く、北部・南東部では、「不満」の割合が、それぞれ約2割、約3割と高くなっているのが特徴です。

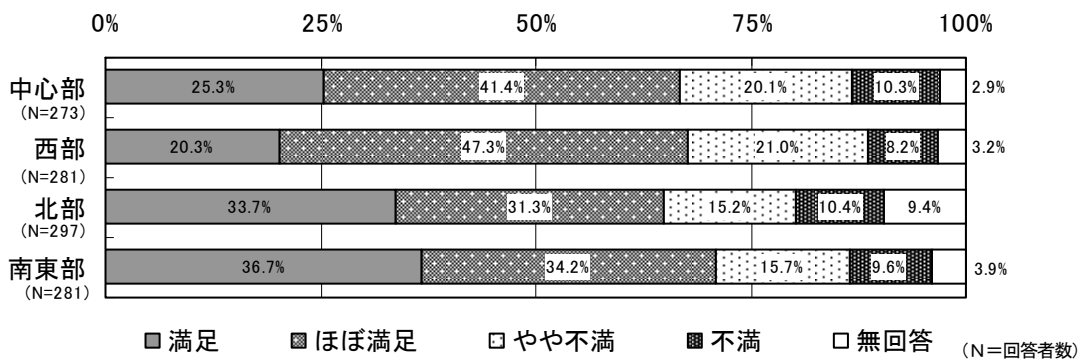
ア 日当たりや風通し



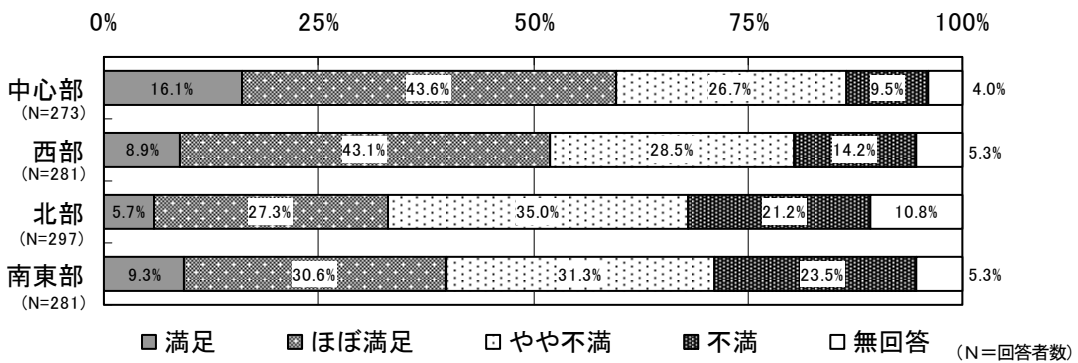
イ 宅地の広さやゆとり



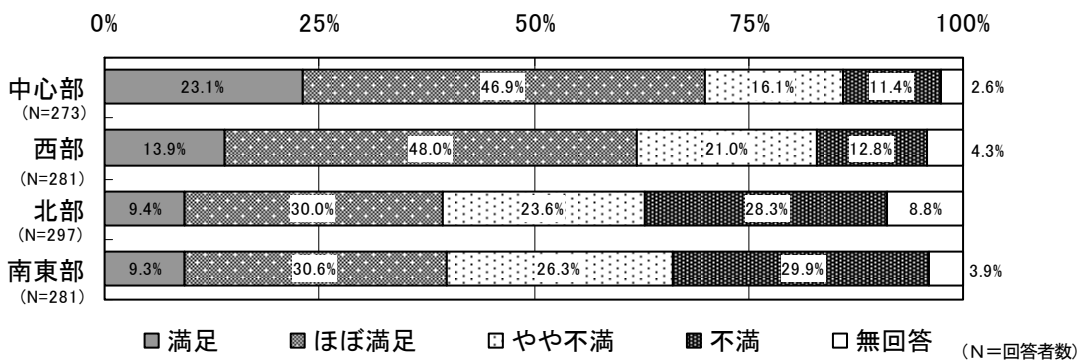
ウ 音や振動などの静けさ



エ 身近な遊び場や公園の整備状況



オ 下水道やU字溝などの排水施設の整備状況



【年代別】

1) 居住環境について

居住環境について、年代別に見ると、以下のとおりとなっています。

ア 「日当たりや風通し」

10 歳代～30 歳代において「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が他の年代と比較して高く、40 歳代、50 歳代、70 歳以上において低くなっています。

イ 「宅地の広さやゆとり」

20 歳代において「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が他の年代と比較して高く、10 歳代、40 歳代において低くなっています。

ウ 「音や振動などの静けさ」

70 歳以上において「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が他の年代と比較して低くなっています。

子育て世代（20 歳代～40 歳代）においては、顕著な傾向は見られませんでした。

エ 「身近な遊び場や公園の整備状況」

20 歳代において「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が他の年代と比較して高く、10 歳代において低くなっています。

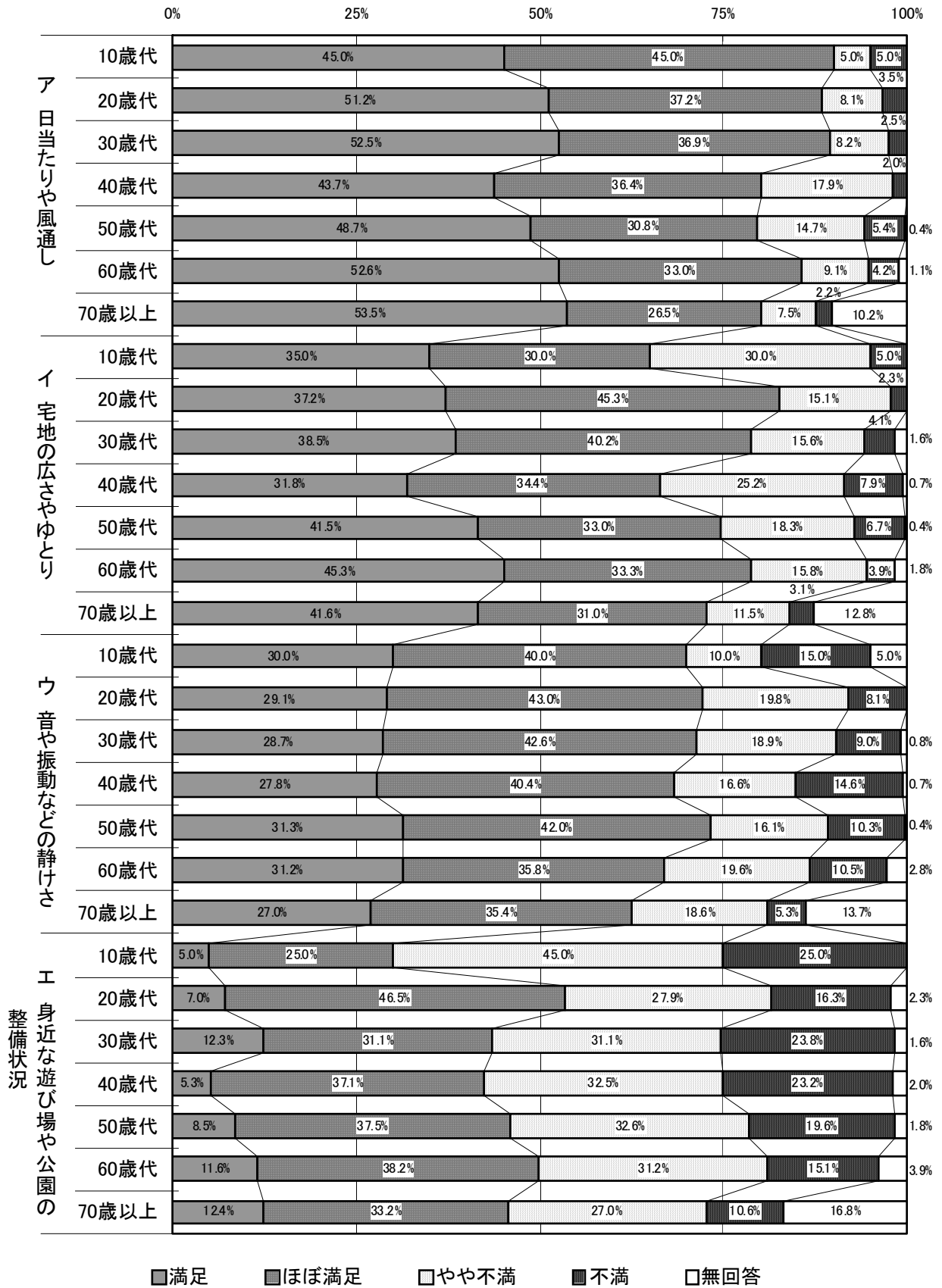
子育て世代（20 歳代～40 歳代）の内、30 歳代、40 歳代においては、顕著な傾向は見られませんでした。

オ 「下水道やU字溝などの排水施設の整備状況」

20 歳代において「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が他の年代と比較して高く、50 歳代において低くなっています。

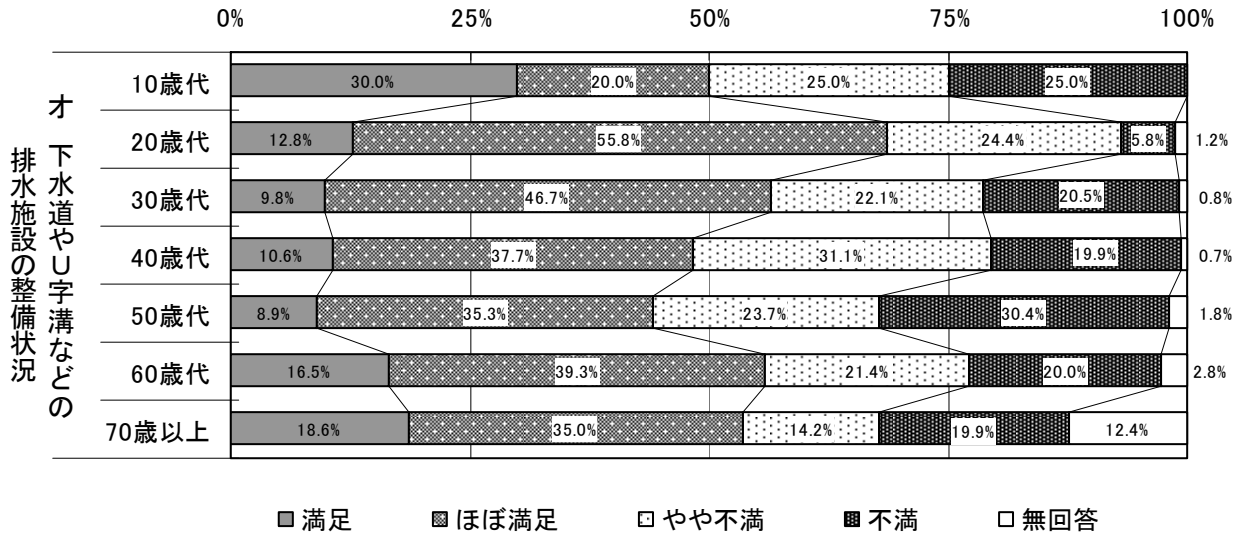
子育て世代（20 歳代～40 歳代）においては、年代が上がるほど「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が低くなっています。

【年代別】



(回答者数=10歳代(20)、20歳代(86)、30歳代(122)、40歳代(151)、50歳代(224)、60歳代(285)、70歳以上(226))

【年代別】

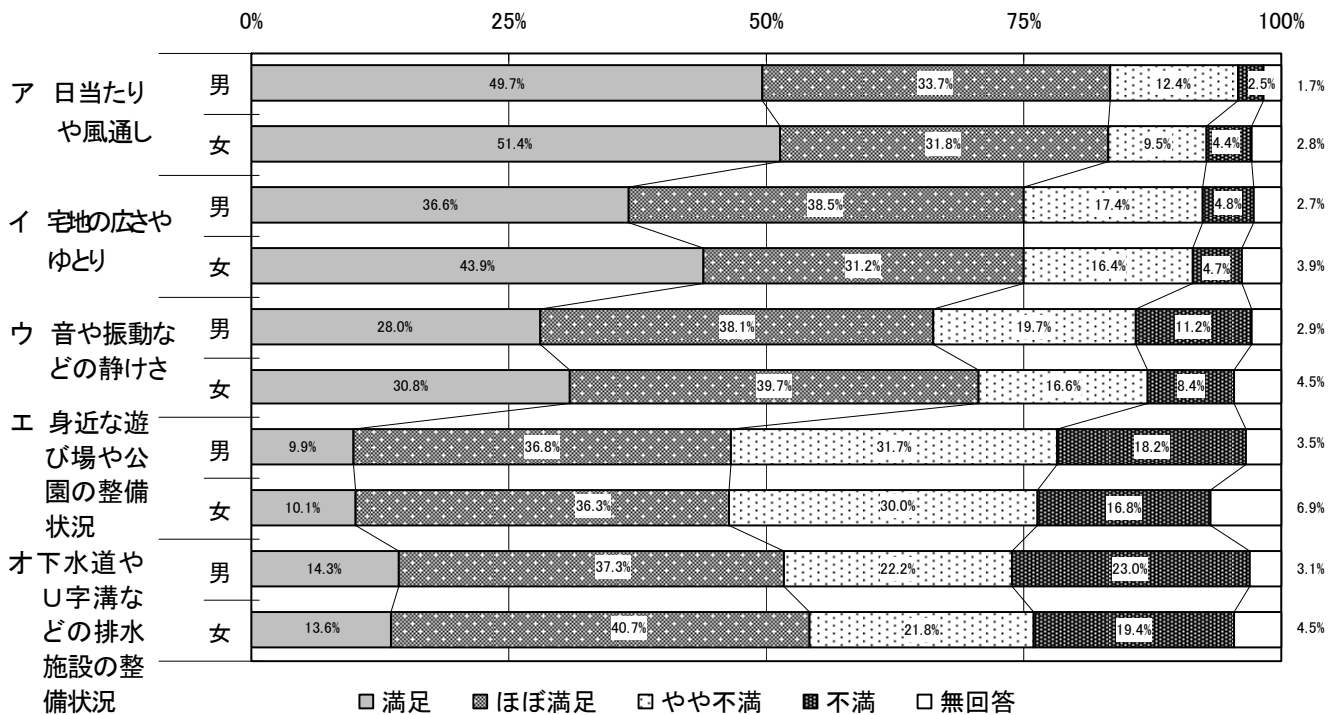


(回答者数=10歳代(20)、20歳代(86)、30歳代(122)、40歳代(151)、50歳代(224)、60歳代(285)、70歳以上(226))

【性別】

居住環境について、性別で見ると、全体的に男女間での大きな差は見られませんが、「宅地の広さやゆとり」において、「満足」の割合が男性より女性のほうが高くなっています。

また、「音や振動の静けさ」「下水道やU字溝などの整備状況」において、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が男性より女性のほうが高くなっています。



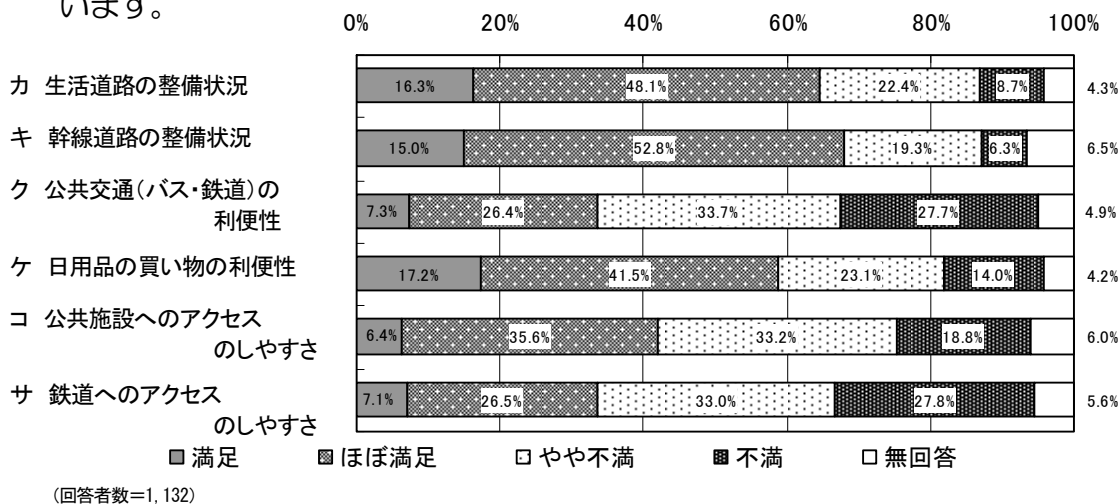
(回答者数=男(517)、女(597))

2) 暮らしやすさについて

【全体】

暮らしやすさについて、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合は、「幹線道路の整備」が67.8%で最も高く、次いで「生活道路の整備」が64.4%、「日用品の買い物の利便性」が58.7%となっています。

一方、「公共施設へのアクセスのしやすさ」は42.0%、「公共交通（バス・鉄道）の利便性」は33.7%、「鉄道へのアクセスのしやすさ」は33.6%と低めになっています。

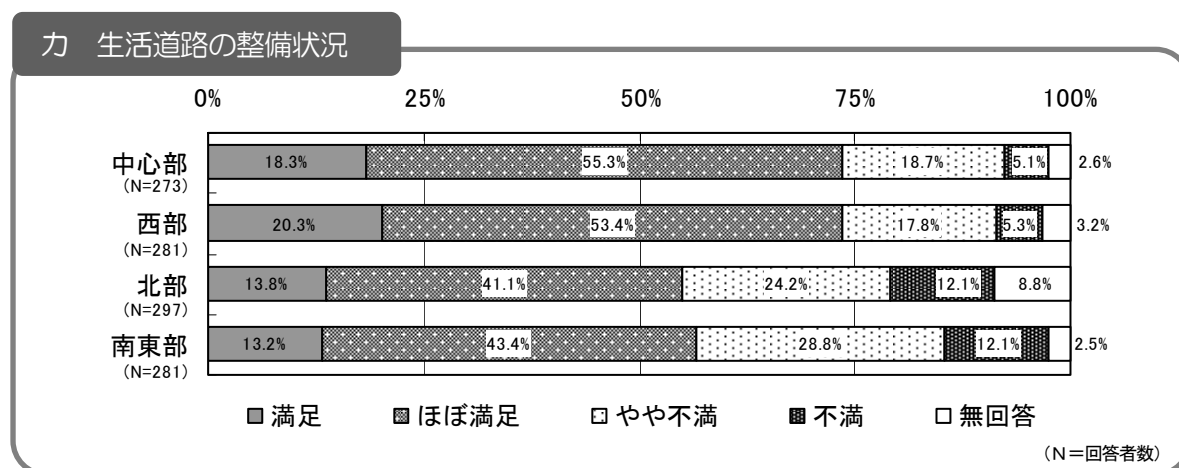


【地域別】

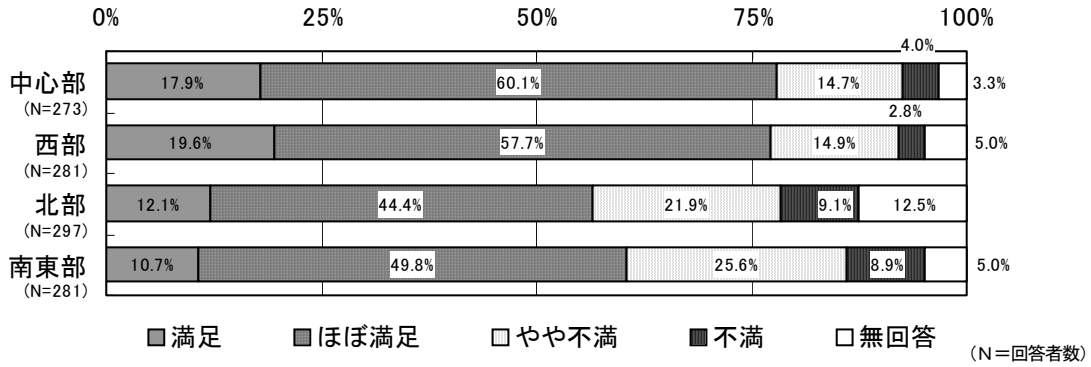


暮らしやすさについて、地域別で見ると、中心部・西部では、全ての項目において「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が、北部・南東部と比較して高くなっています。

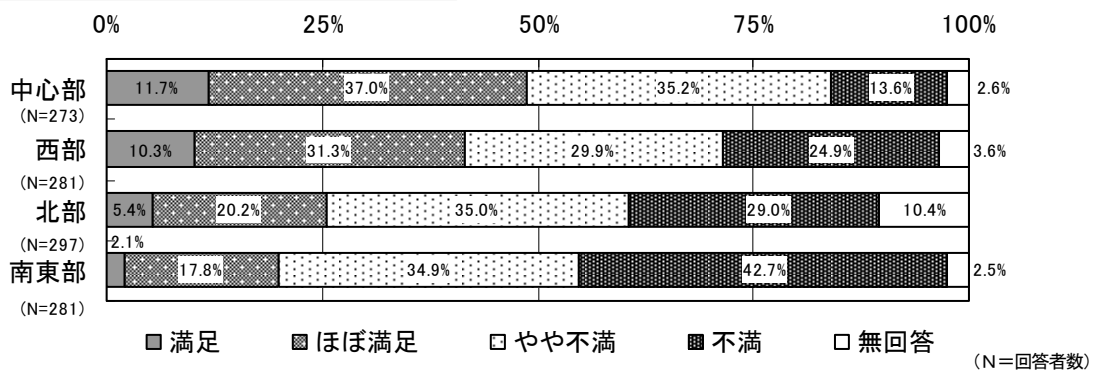
また、北部・南東部では、「公共交通（バス・鉄道）の利便性」「鉄道へのアクセスのしやすさ」「日用品の買物の利便性」において「不満」の割合が高くなっています。



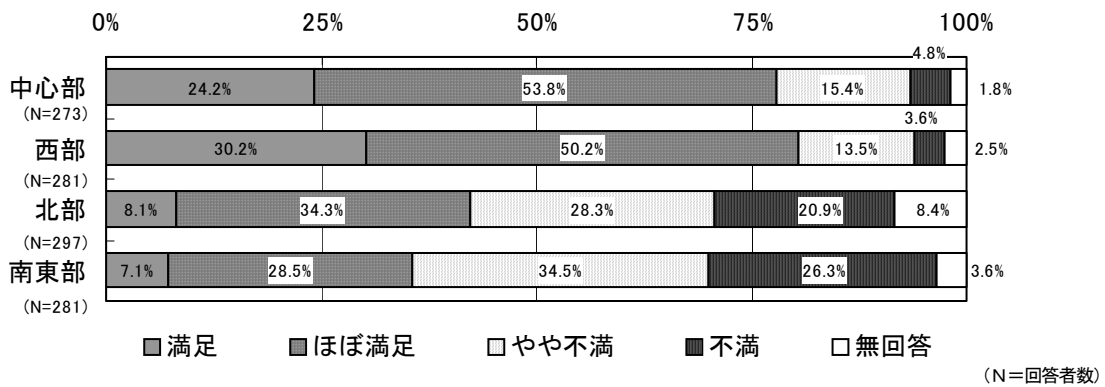
キ 幹線道路の整備状況



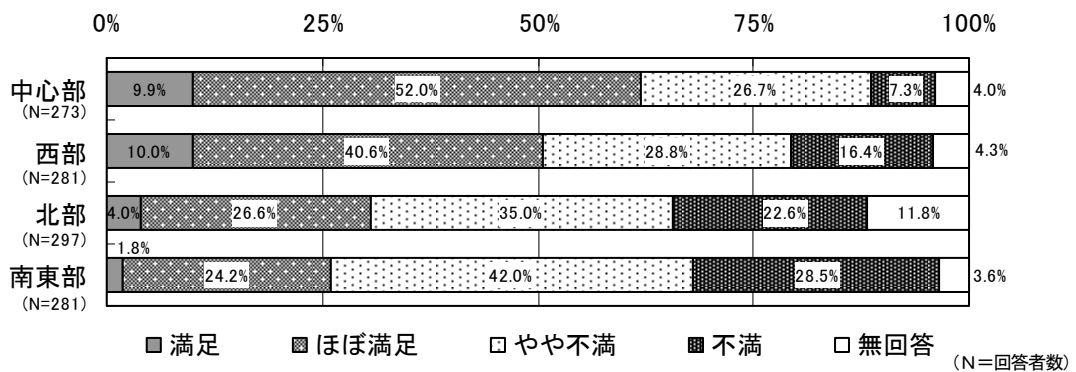
ク 公共交通（バス・鉄道）の利便性



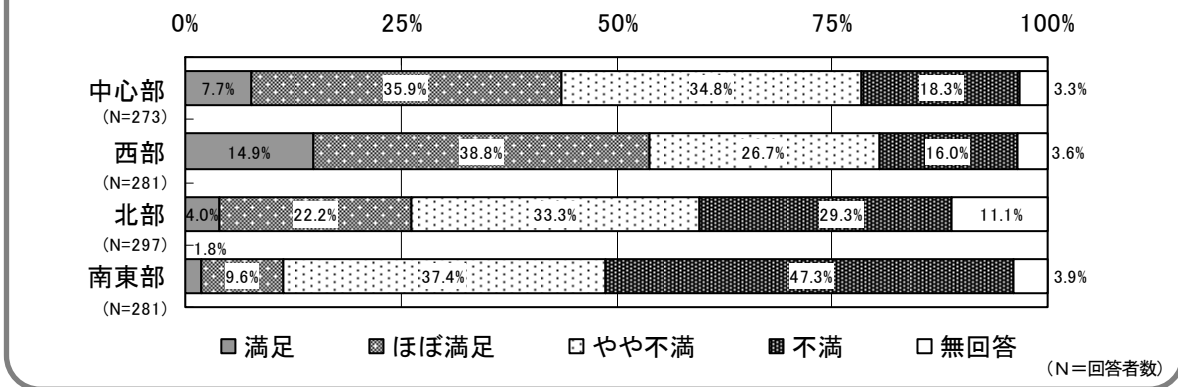
ケ 日用品の買い物の利便性



コ 公共施設へのアクセスのしやすさ



サ 鉄道へのアクセスのしやすさ



【年代別】

暮らしやすさについて、年代別に見ると、全体的に、40歳代・50歳代において「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が他の年代と比較して低くなっています。その他、個別に見ると以下のとおりとなっています。

カ 「生活道路の整備状況」

40歳代、50歳代において「不満」の割合が高くなっています。

子育て世代（20歳代～40歳代）の内、20歳代、30歳代においては、顕著な傾向は見られませんでした。

キ 「幹線道路の整備状況」

30歳代において「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が最も高く、70歳以上で最も低くなっています。

子育て世代（20歳代～40歳代）の内、20歳代、40歳代においては、顕著な傾向は見られませんでした。

ク 「公共交通（バス・鉄道）の利便性」

50歳代、20歳代において「不満」の割合が高くなっています。

子育て世代（20歳代～40歳代）の内、30歳代、40歳代においては、顕著な傾向は見られませんでした。

ケ 「日用品の買い物の利便性」

10歳代において「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が最も高く、50歳代において「不満」の割合が最も高くなっています。

子育て世代（20歳代～40歳代）においては、顕著な傾向は見られませんでした。

コ 「公共交通へのアクセスのしやすさ」

30歳代において「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が最も高く、70歳以上で最も低くなっています。

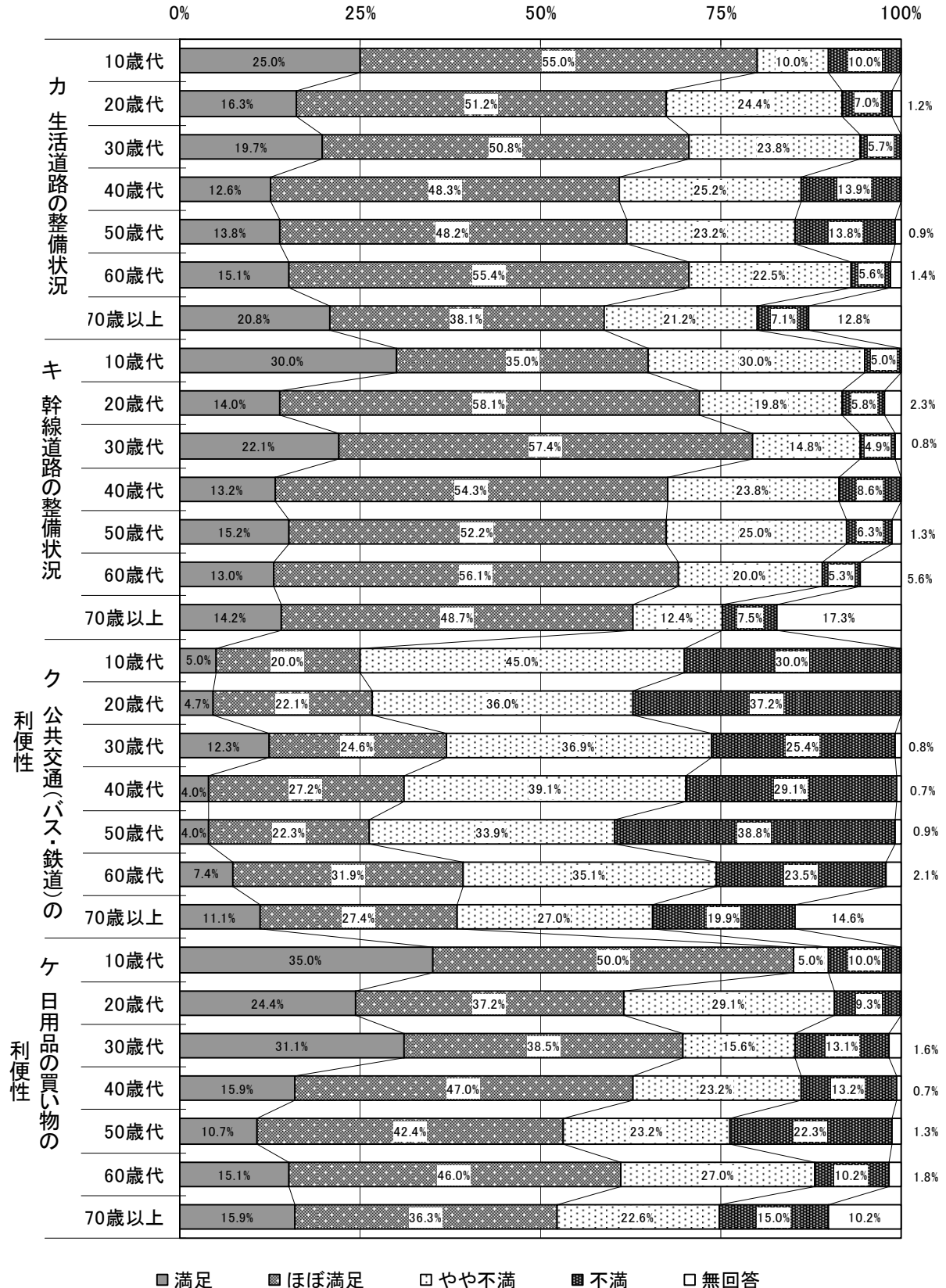
子育て世代（20歳代～40歳代）においては、顕著な傾向は見られませんでした。

サ 「鉄道へのアクセスのしやすさ」

50歳代、40歳代において「不満」の割合が高くなっています。

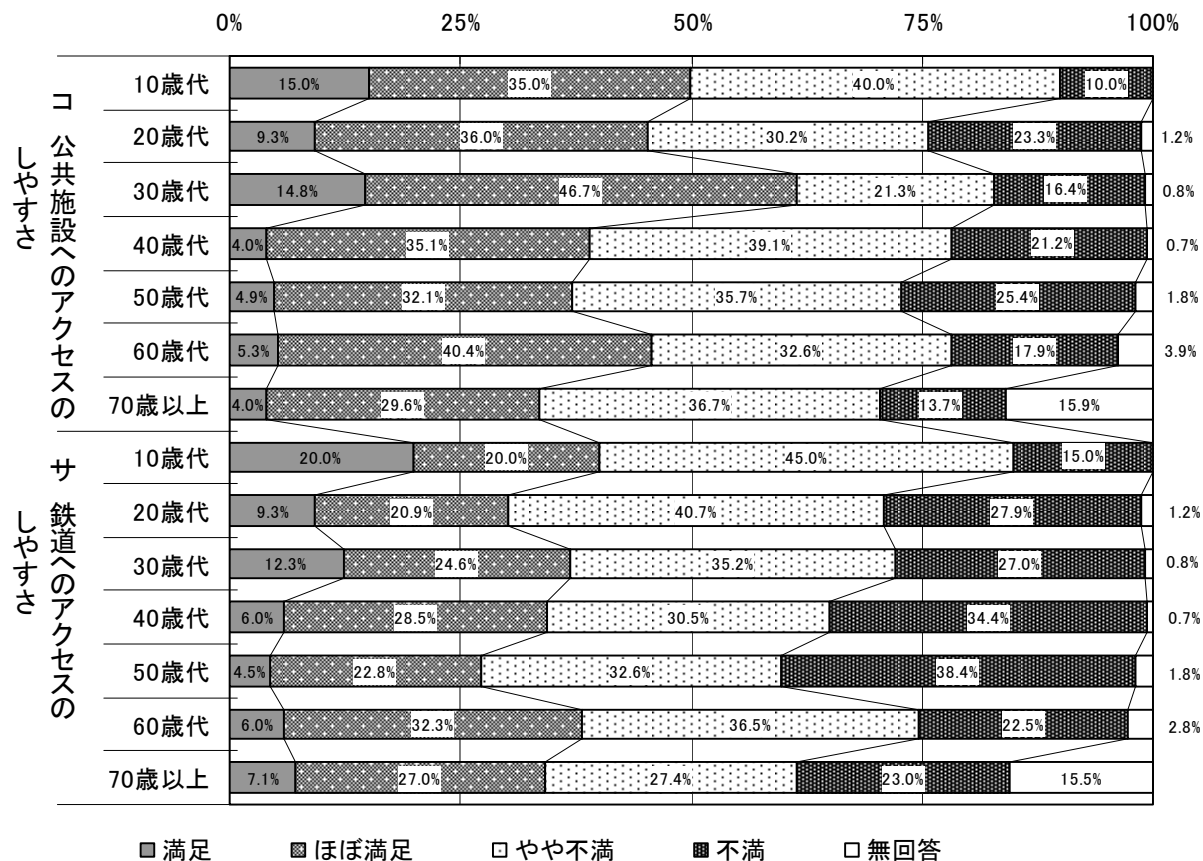
子育て世代（20歳代～40歳代）においては、顕著な傾向は見られませんでした。

【年代別】



(回答者数=10歳代(20)、20歳代(86)、30歳代(122)、40歳代(151)、50歳代(224)、60歳代(285)、70歳以上(226))

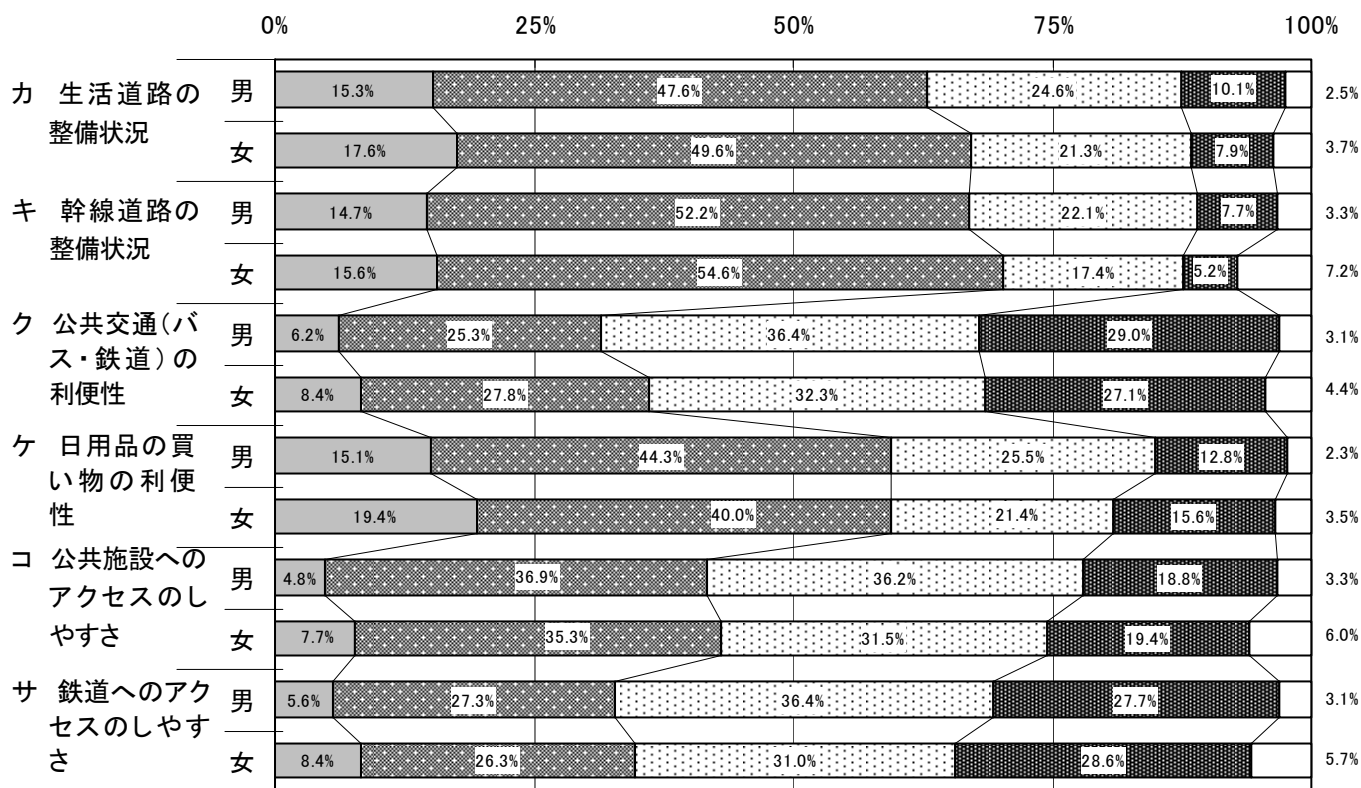
【年代別】



(回答者数=10歳代(20)、20歳代(86)、30歳代(122)、40歳代(151)、50歳代(224)、60歳代(285)、70歳以上(226))

【性別】

暮らしやすさについて、性別で見ると、男女間で大きな差は見られませんが、全体的に「満足」「ほぼ満足」の割合が、男性より女性のほうがやや高くなっています。



□ 満足 ■ ほぼ満足 □ やや不満 ■ 不満 □ 無回答

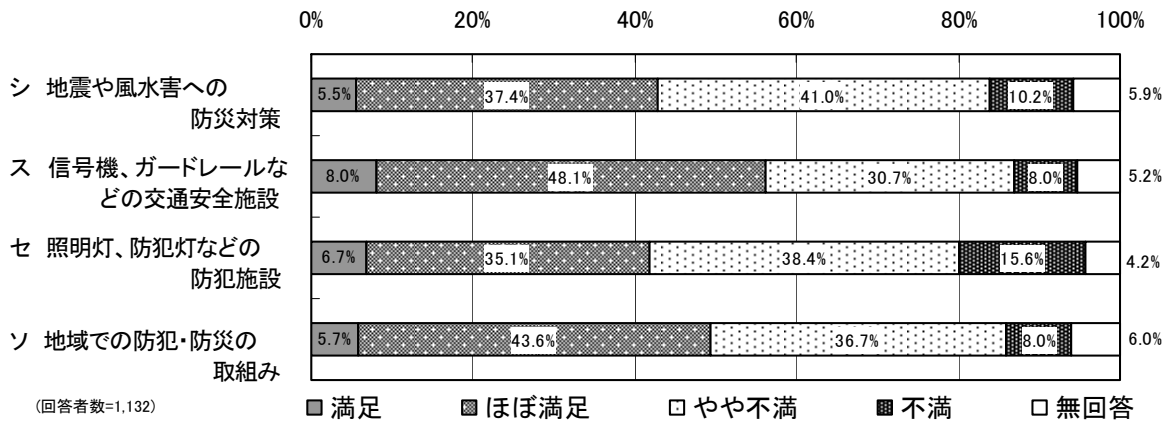
(回答者数=男(517)、女(597))

3) 安全・安心について

【全体】

安心・安全について、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合は、「信号機、ガードレールなどの交通安全施設」が56.1%で最も高くなっています。

一方、「地震や風水害への防災対策」は42.9%、「照明灯、防犯灯などの防犯施設」は41.8%、「地域での防犯・防災の取組み」は49.3%とやや低めになっています。

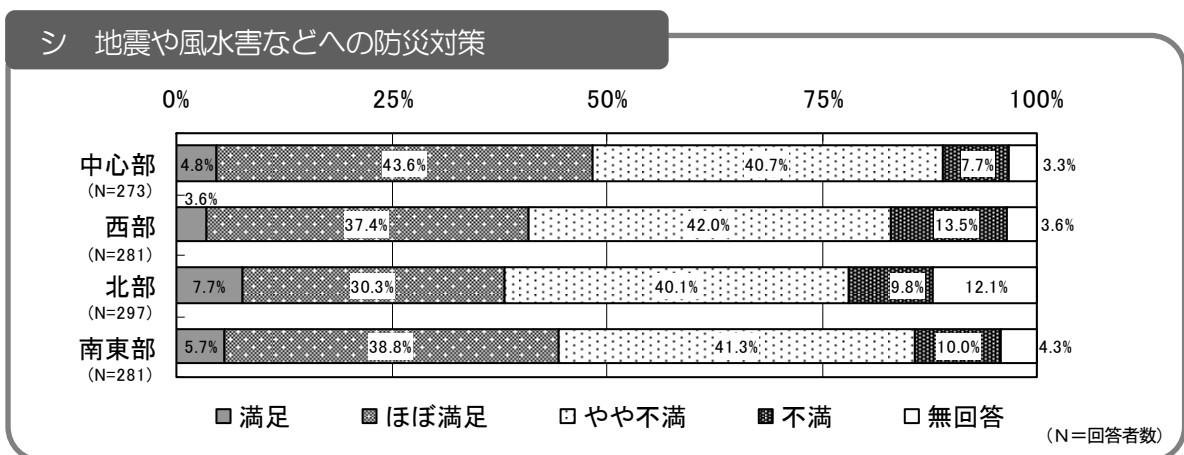


【地域別】

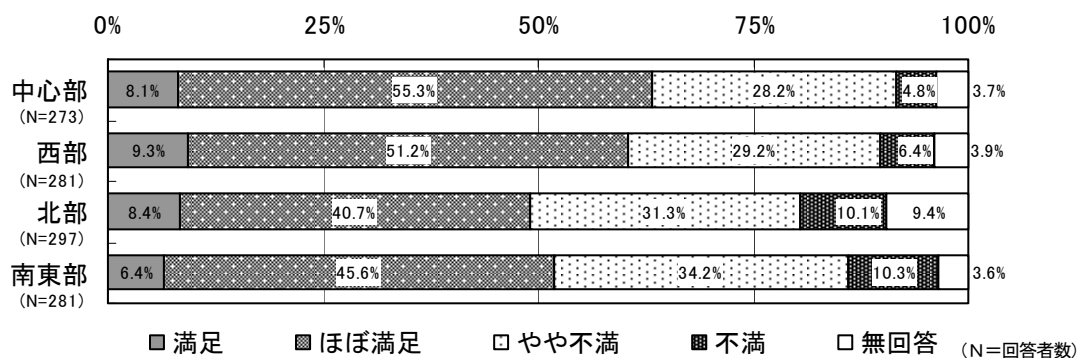


安全・安心について、地域別で見ると、中心部では、全ての項目において、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が一番高くなっています。

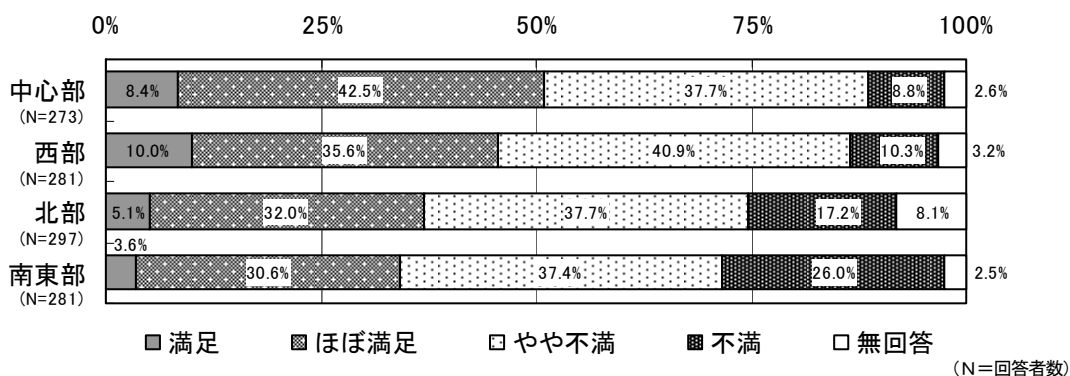
また、西部では「地震や風水害への防災対策」、北部・南東部では「照明灯、防犯灯などの防犯施設」において「不満」の割合が他の地域と比較して高くなっています。



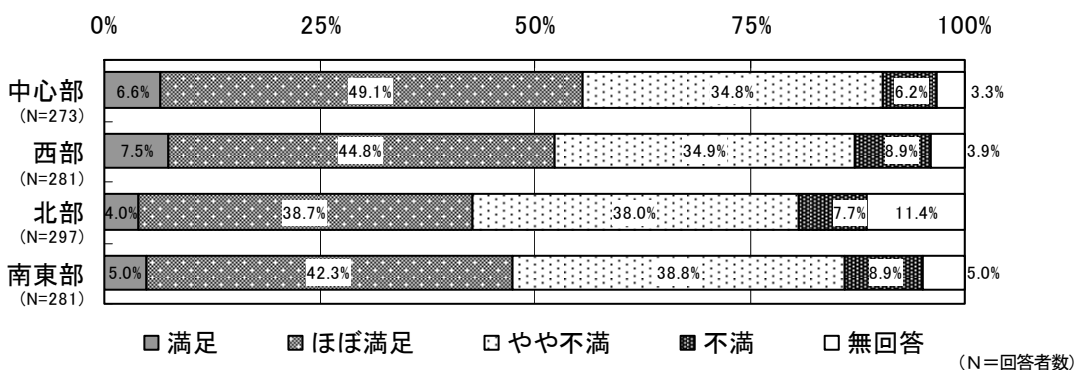
ス 信号機、ガードレールなどの交通安全施設



セ 照明灯、防犯灯などの防犯施設



ソ 地域での防犯・防災の取組み

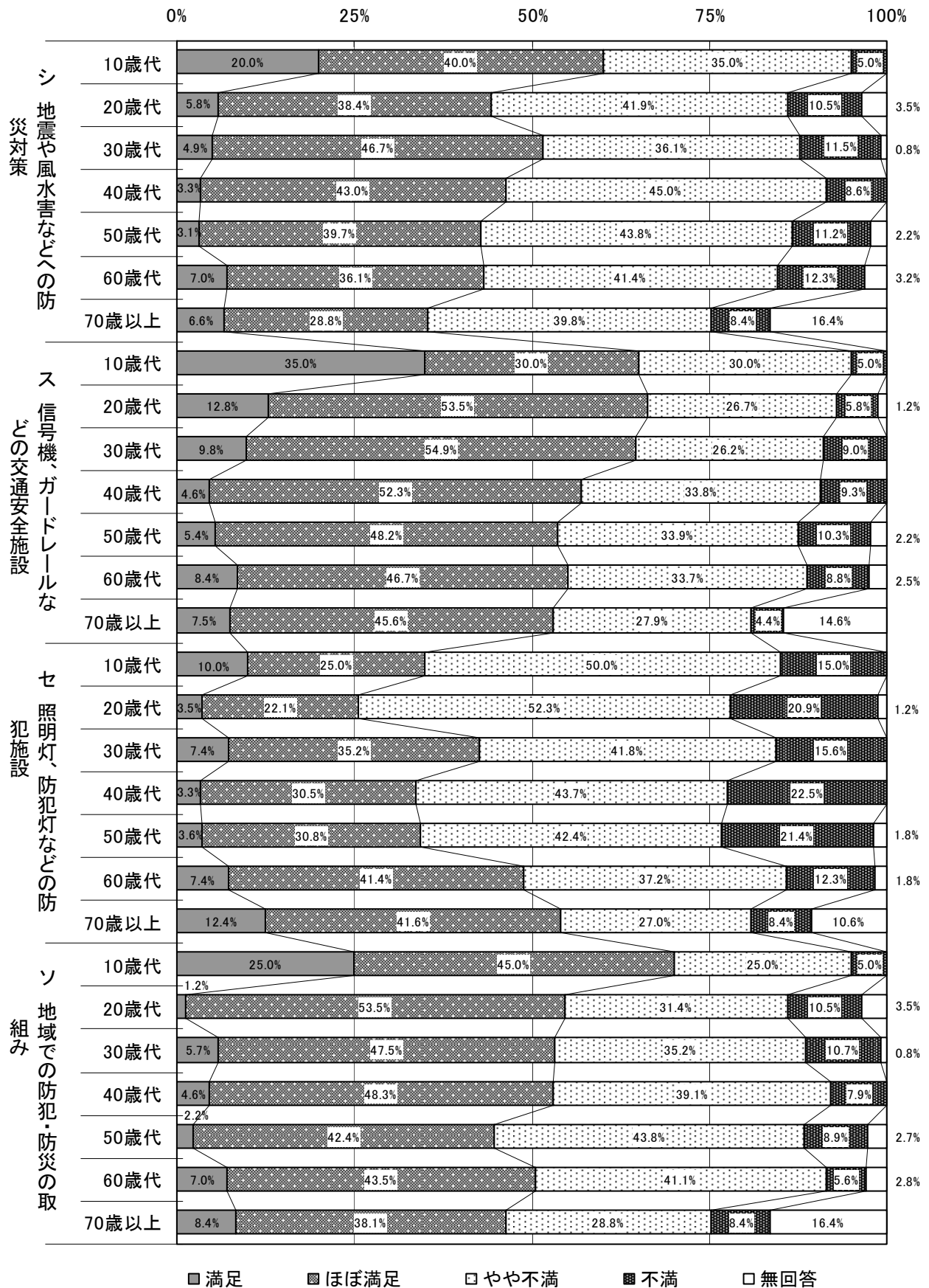


【年代別】

安全・安心について、年代別に見ると、「地震や風水害などへの防災対策」「信号機、ガードレールなどの交通安全施設」「地域での防犯・防災の取組み」については年代が上がるほど「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が低くなる傾向にあります。

「照明灯、防犯灯などの防犯施設」については、20歳代で「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が他の年代と比較して低めになっています。

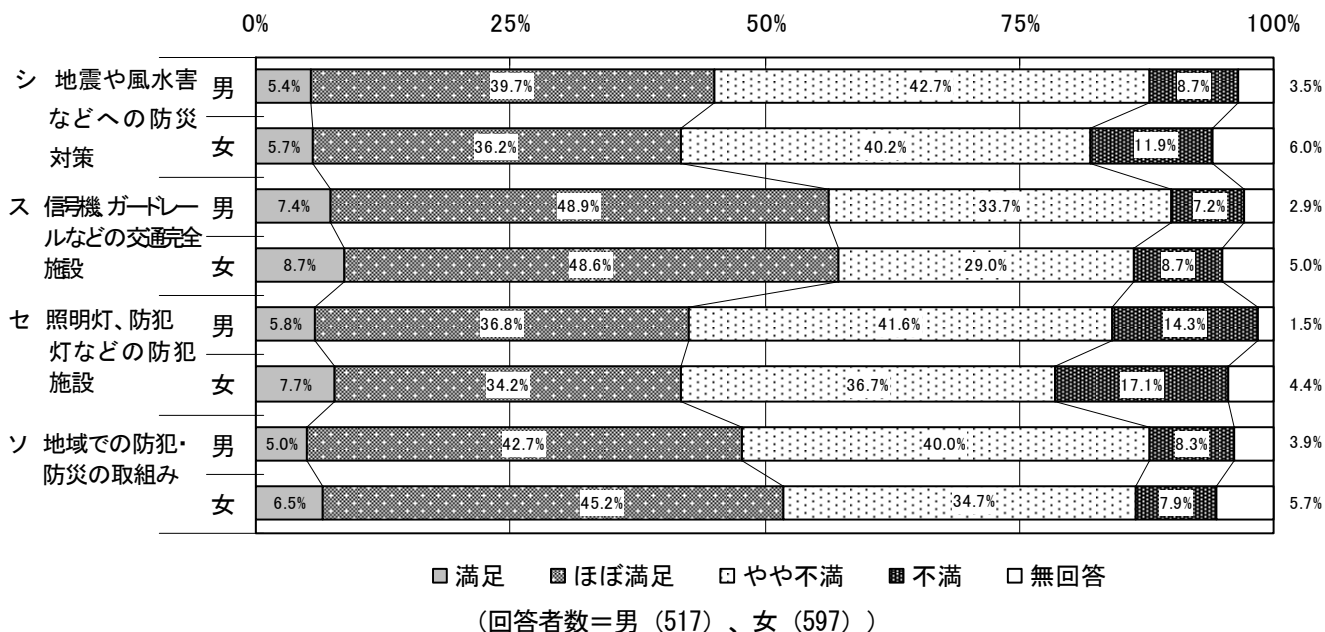
子育て世代(20歳代~40歳代)においては、顕著な傾向は見られませんでした。



(回答者数=10歳代(20)、20歳代(86)、30歳代(122)、40歳代(151)、50歳代(224)、60歳代(285)、70歳以上(226))

【性別】

安全・安心について、性別で見ると、男女間での大きな差は見られませんが、「地震や風水害などへの防災対策」「照明灯、防犯灯などの防犯施設」においては、「不満」の割合が男性より女性の方がやや高くなっています。

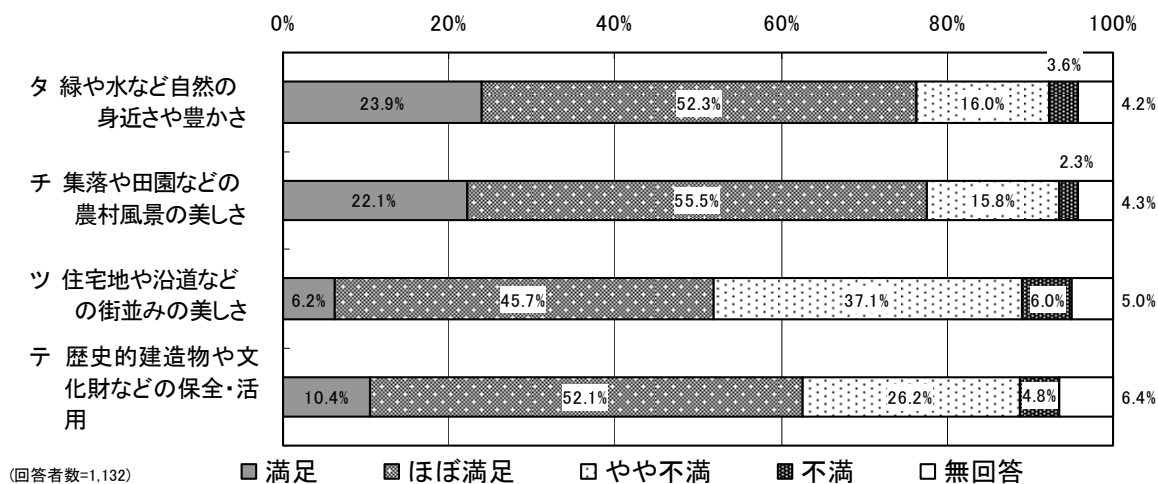


4) ゆとり、うるおいについて

【全体】

ゆとり、うるおいについて、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合は、「集落や田園などの農村風景の美しさ」が77.6%、「緑や水など自然の身近さや豊かさ」が76.2%で高くなっています。

一方、「住宅地や沿道などの街並みの美しさ」は51.9%と低くなっています。

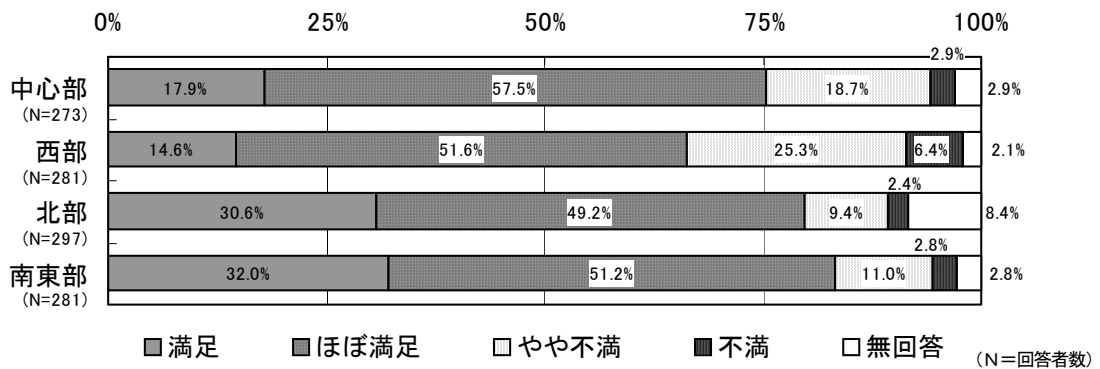


【地域別】

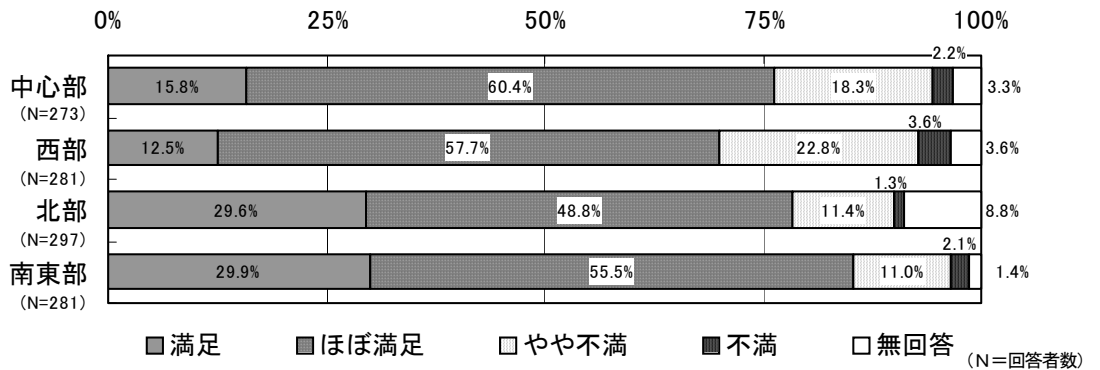


ゆとり・うるおいについて、地域別で見ると、「住宅地や沿道などの街並みの美しさ」「歴史的建造物や文化財などの保全・活用」においては大きな違いが見られませんが、北部・南東部では、「緑や水など自然の身近さや豊かさ」「集落や田園などの農村風景の美しさ」において「満足」の割合が他の地域と比較して、やや高くなっています。

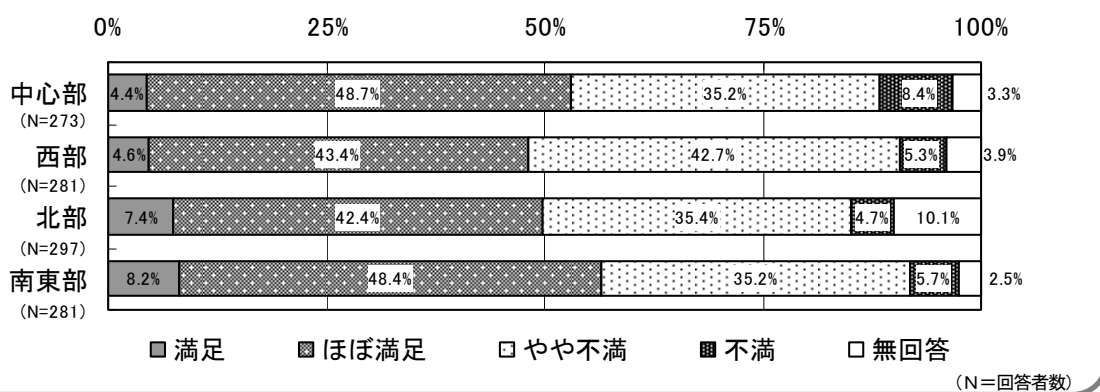
タ 緑や水など自然の身近さや豊かさ



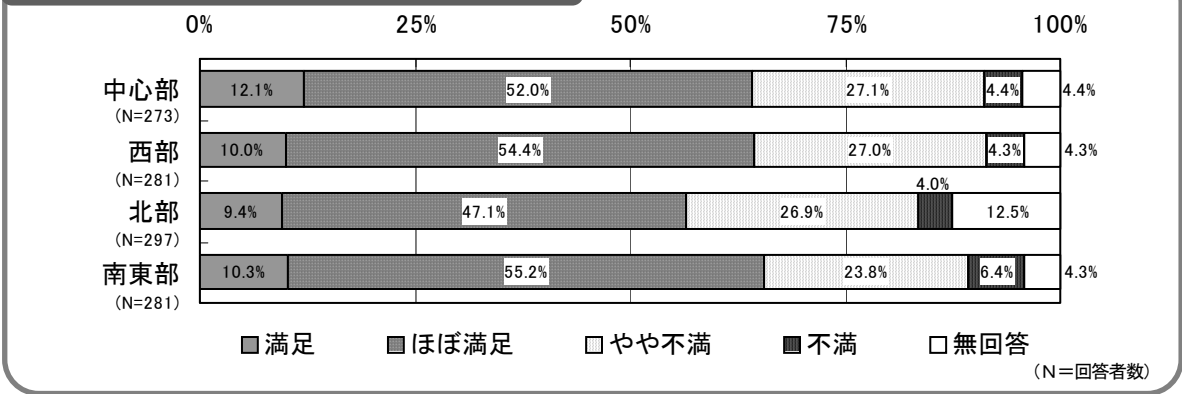
チ 集落や田園などの農村風景の美しさ



ツ 住宅地や沿道などの街並みの美しさ



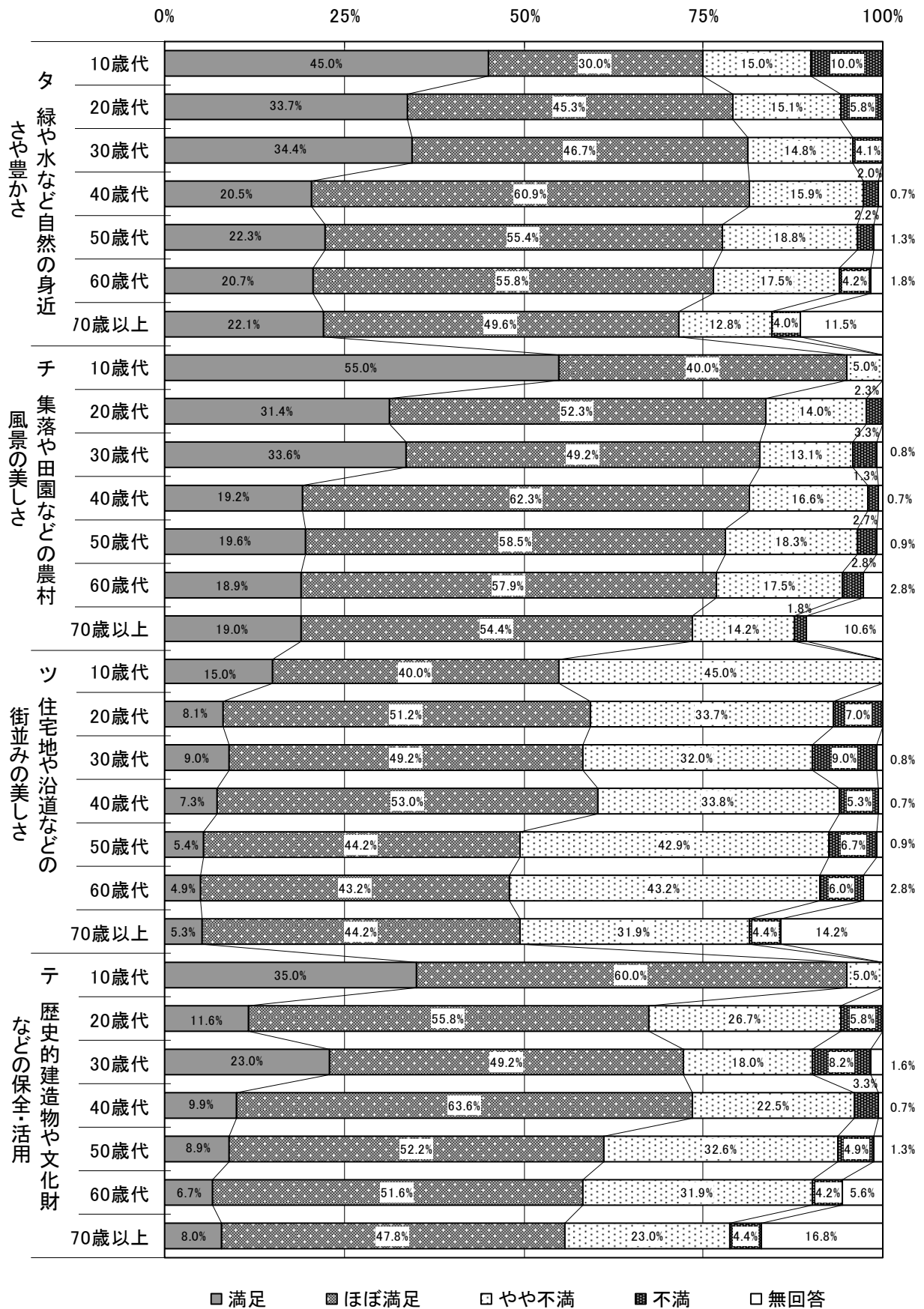
テ 歴史的建造物や文化財などの保全・活用



【年代別】

ゆとり、うるおいについて、年代別に見ると、全体的に、10歳代～40歳代の若い世代において「満足」の割合が、50歳以上の年代と比較して高くなっており、特に「緑や水などの自然の身近さや豊かさ」「集落や田園などの農村風景の美しさ」「歴史的建造物や文化財などの保全・活用」において顕著です。

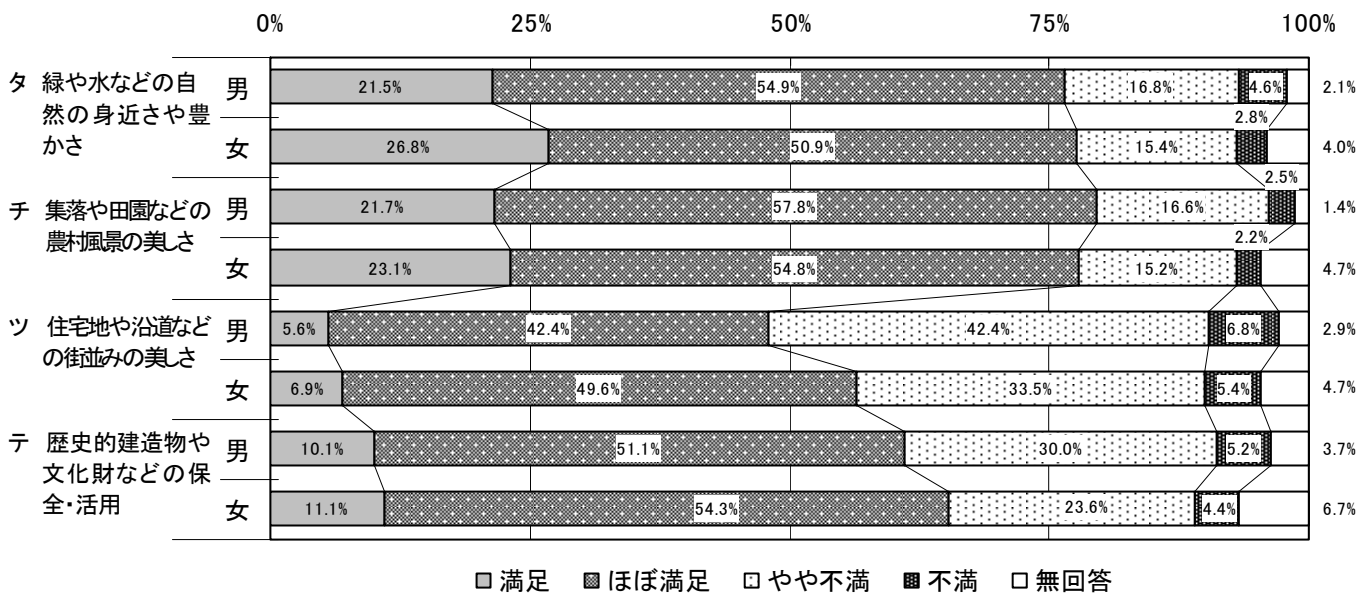
【年代別】



(回答者数=10歳代(20)、20歳代(86)、30歳代(122)、40歳代(151)、50歳代(224)、60歳代(285)、70歳以上(226))

【性別】

ゆとり、うるおいについて、性別で見ると、男女間で大きな差は見られませんが、全ての項目において「満足」の割合が男性より女性のほうがやや高くなっています。

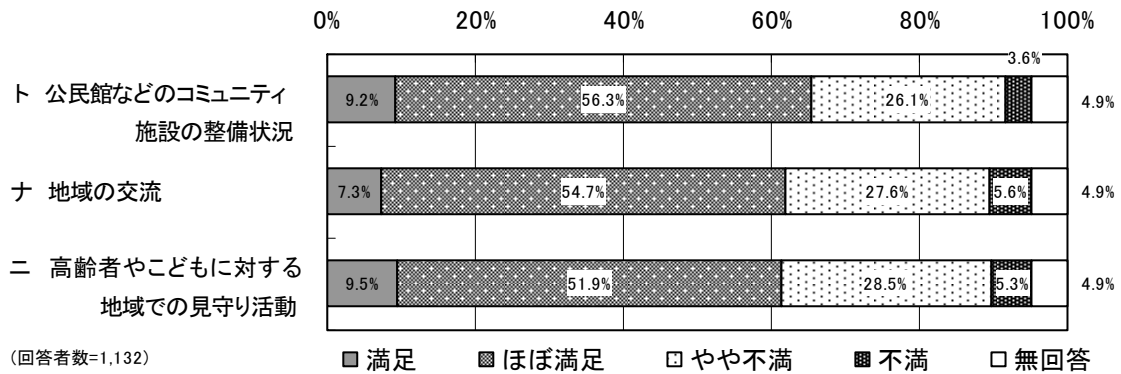


(回答者数=男 (517) 、女 (597))

5) コミュニティについて

【全体】

コミュニティについて、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合は、いずれの項目においても6割台となっており、「公民館などのコミュニティ施設の整備状況」が他の項目と比較してやや高めになっています。

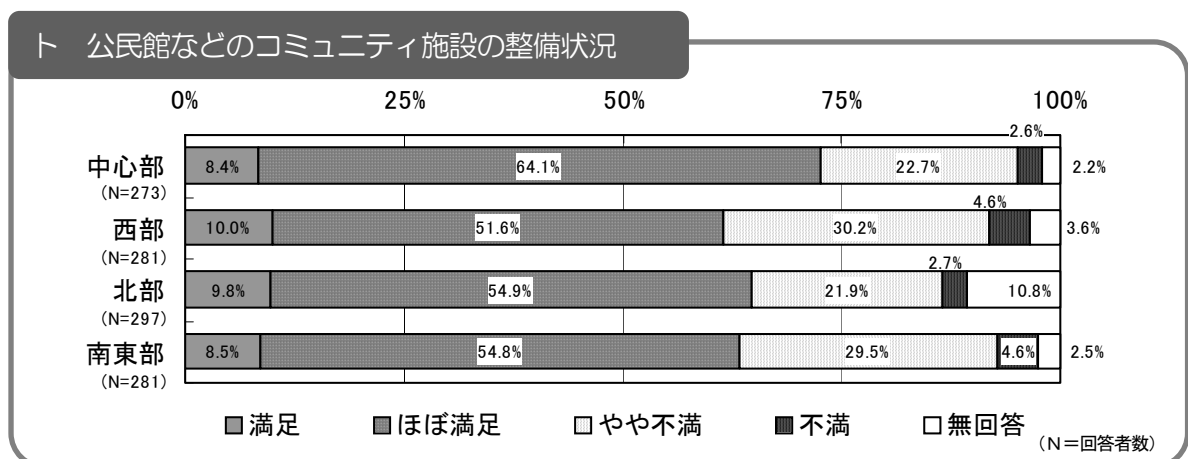


【地域別】

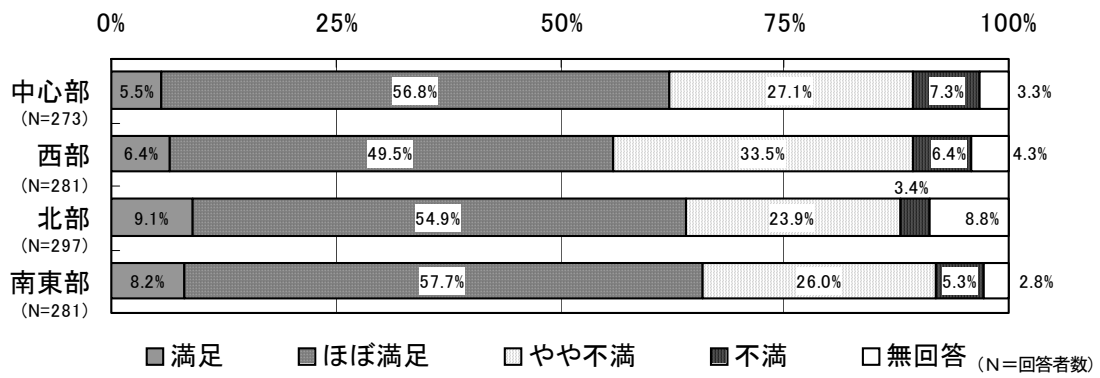


コミュニティについて、地域別で見ると、大きな違いは見られませんが、中心部では、「公民館などのコミュニティ施設の整備状況」において、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が最も高くなっています。

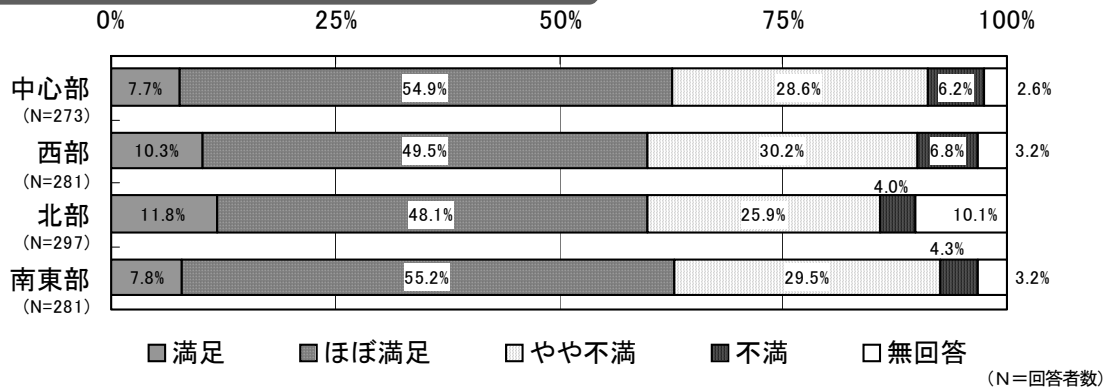
西部では、「地域の交流」において、「満足」と「ほぼ満足」を合わせた割合が、他の地域と比較してやや低めになっています。



ナ 地域の交流

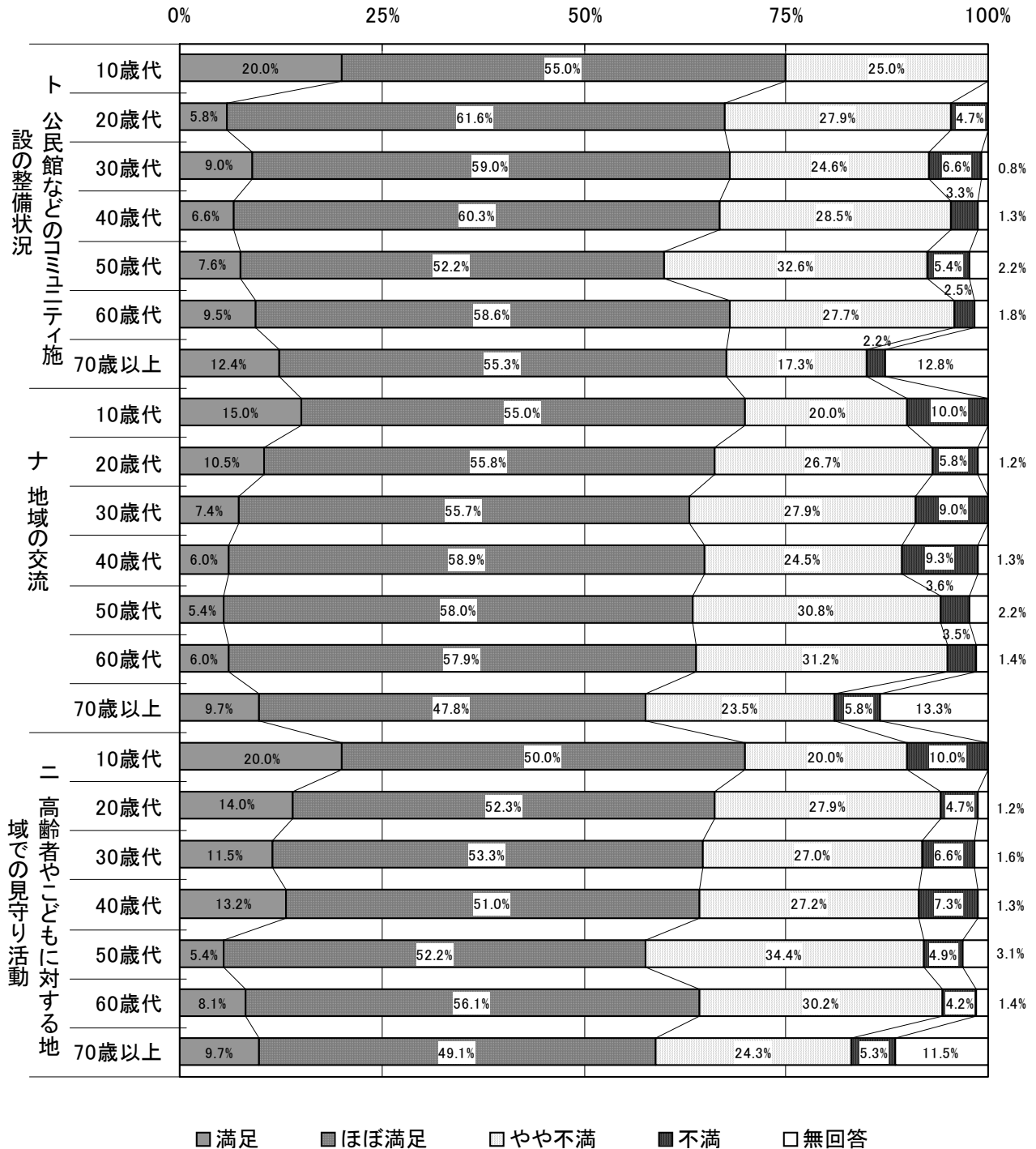


二 高齢者や子どもに対する地域での見守り活動



【年代別】

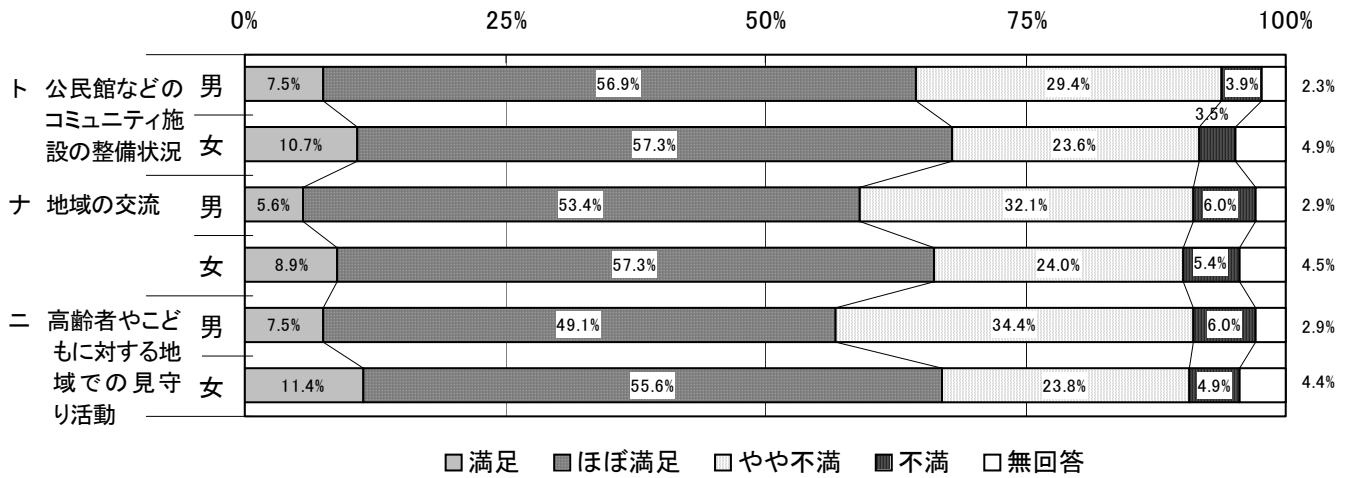
コミュニティについて、年代別に見ると、全体的に年代間の大きな差は見られませんが、「地域の交流」「高齢者や子どもに対する地域での見守り活動」においては、年代が上がるほど、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が、やや低くなる傾向にあります。



(回答者数=10歳代(20)、20歳代(86)、30歳代(122)、40歳代(151)、50歳代(224)、60歳代(285)、70歳以上(226))

【性別】

コミュニティについて、性別で見ると、全ての項目において「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が、男性より女性のほうが高くなっています。



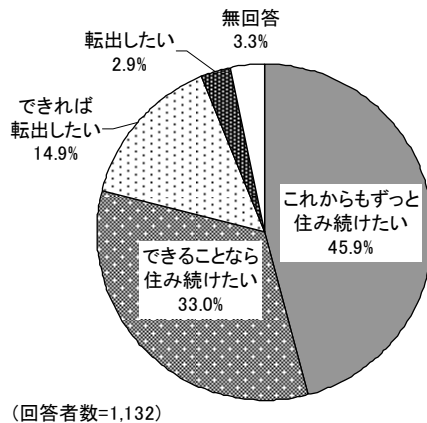
(回答者数=男 (517) 、女 (597))

問3 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- 1. これからもずっと住み続けたい
- 2. できることなら住み続けたい
- 3. できれば転出したい
- 4. 転出したい

【全体】

「これからもずっと住み続けたい」が45.9%で最も多く、次いで「できることなら住み続けたい」が33.0%となっており、全体の約8割が「住み続けたい」と回答しています。

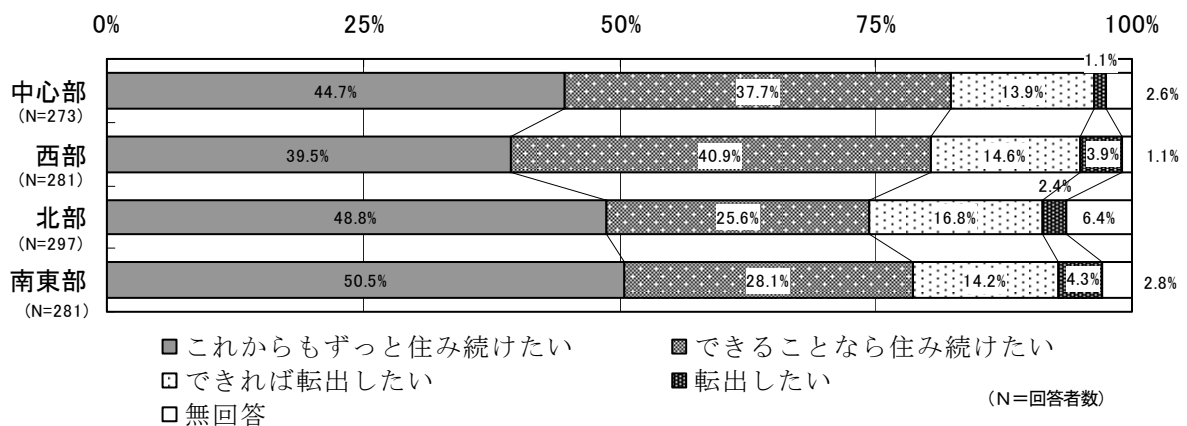


【地域別】



地域別で見ると、「これからもずっと住み続けたい」割合は、南東部が50.5%で最も高く、次いで北部が48.8%、中心部が44.7%、西部が39.5%となっています。

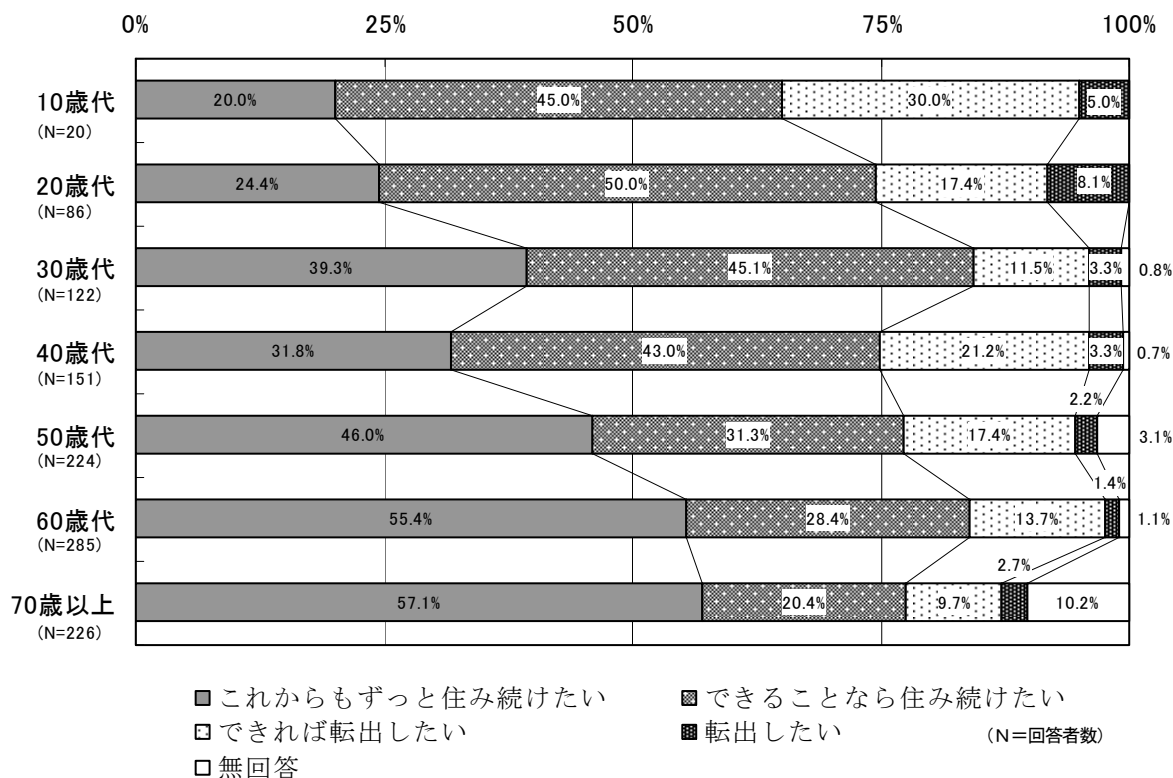
また、「これからもずっと住み続けたい」「できることなら住み続けたい」を合わせた割合が高いのは、中心部、西部、南東部、北部の順となっています。



【年代別】

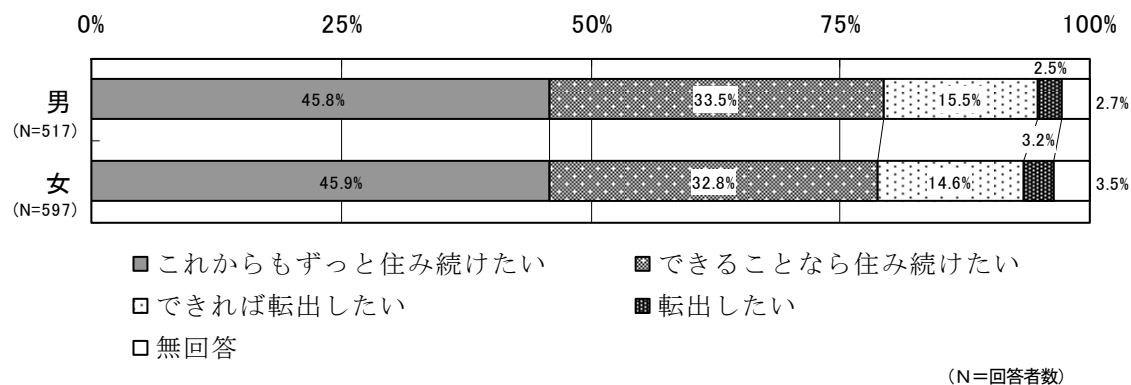
年代別で見ると、おおむね、年代が上がるほど「これからもずっと住み続けたい」の割合が高くなる傾向にあります。特に、30歳代で「これからもずっと住み続けたい」「できることなら住み続けたい」を合わせた割合が84.4%で最も高くなっています。

一方、10歳代「できれば転出したい」「転出したい」を合わせた割合が35.0%と、他の年代と比較して高くなっています。



【性別】

性別で見ると、男女間における差はあまり見られませんが、「これからもずっと住み続けたい」「できることなら住み続けたい」を合わせた割合は、男性のほうが女性よりわずかに高くなっています。

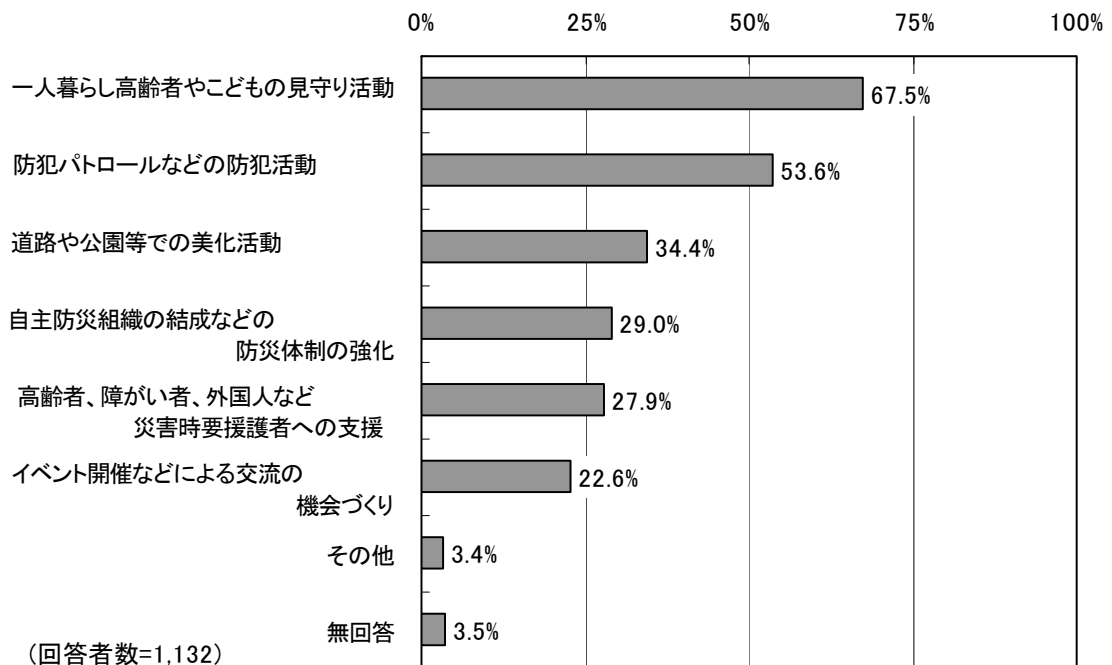


問5 あなたは、誰もが安心して住み続けられるために、地域でどのようなことに取り組むことが重要だと思いますか。（該当する番号を3つまで選び○を付けてください）

- 1. 道路や公園等での美化活動
- 2. 防犯パトロールなどの防犯活動
- 3. 一人暮らし高齢者やこどもの見守り活動
- 4. 自主防災組織の結成などの防災体制の強化
- 5. 高齢者、障がい者、外国人など災害時要援護者への支援
- 6. イベント開催などによる交流の機会づくり
- 7. その他（ ）

【全体】

誰もが安心して住み続けられるために重要な地域での取り組みとして、「一人暮らし高齢者やこどもの見守り活動」が67.5%で最も多く、次いで「防犯パトロールなどの防犯活動」が53.6%、「道路や公園等での美化活動」が34.4%となっています。



3. 市全体の都市計画・まちづくりについて

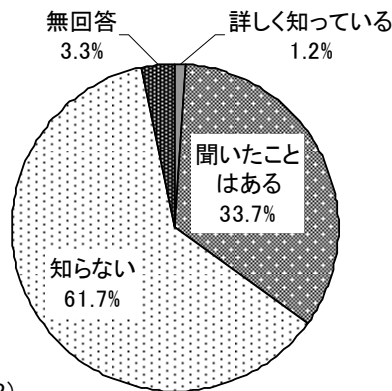
(1) これまでのまちづくりの取り組みについて

問6 あなたは、現行の「行田市都市計画マスタープラン」（平成10年3月策定）をご存知ですか。（該当する番号を1つ選び○を付けてください）

1. 詳しく知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない

【全体】

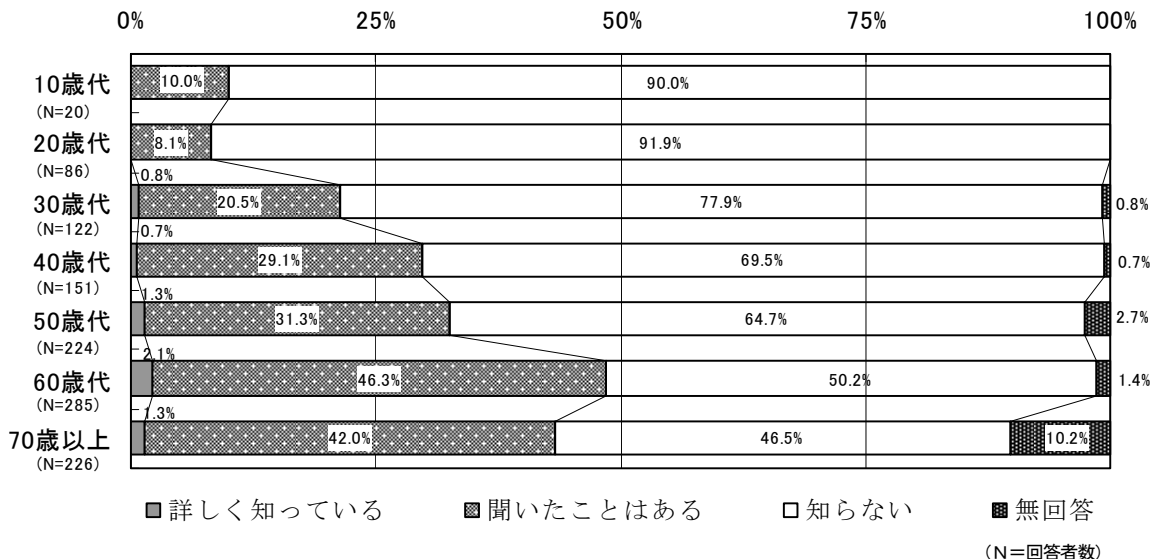
現行の「行田市都市計画マスタープラン」（平成10年3月策定）について、「知らない」が61.7%で最も多く、次いで「聞いたことはある」が33.7%、「詳しく知っている」は1.2%となっています。



(回答者数=1,132)

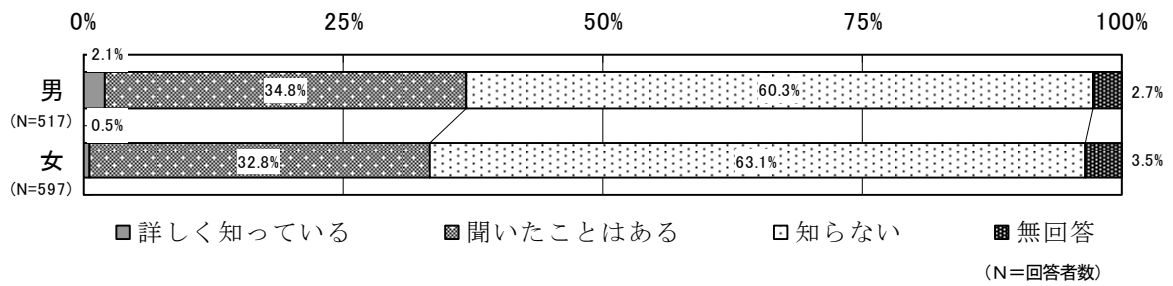
【年代別】

現行の「行田市都市計画マスタープラン」（平成10年3月策定）について、年代別で見ると、年代が下がるほど「知らない」という割合が高くなる傾向にあります。



【性別】

現行の「行田市都市計画マスタープラン」(平成 10 年 3 月策定) について、性別で見ると、「知らない」の割合が男性より女性のほうがやや高くなっています。



問7 現行の「行田市都市計画マスタープラン」では、「水と緑が歴史と未来をつなぐまちづくり」を目指し、次の1)～8)の方針に沿って、まちづくりの取組みを行ってきました。その成果をあなたはどのように評価しますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。

(項目ごとに該当する番号を1つ選び○を付けてください)

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
1) 土地利用の仕方 人口・産業の見通しに応じた適切な市街地の形成と市街化調整区域内の無秩序な開発の抑制	1	2	3	4
2) 道路・交通ネットワークの整備 都市の一体性を築き、利便性を向上させるために必要な道路・交通ネットワークの整備	1	2	3	4
3) 緑と水辺のネットワークの整備 河川、水路等の自然を生かした水辺空間ネットワークと緑道ネットワークの整備	1	2	3	4
4) 下水処理施設などの整備 公共下水道事業や集落排水施設整備の推進、および小針クリーンセンター等の機能増強	1	2	3	4
5) 活性化を先導する施設の整備 高次教育施設の誘致、およびコミュニティ施設、スポーツ・レクリエーション拠点の整備	1	2	3	4
6) 景観の形成 忍城址と調和のとれた歴史的な街並みづくりの推進、および道路・駅周辺等における緑化の推進	1	2	3	4
7) 生活環境の改善 身近な遊び場の整備、および安心して歩ける道路整備等による生活環境の整備	1	2	3	4
8) 市民参加のまちづくり 住民参加による、地区の課題に応じたきめ細やかなプランづくりに向けた取り組み	1	2	3	4

【全体】

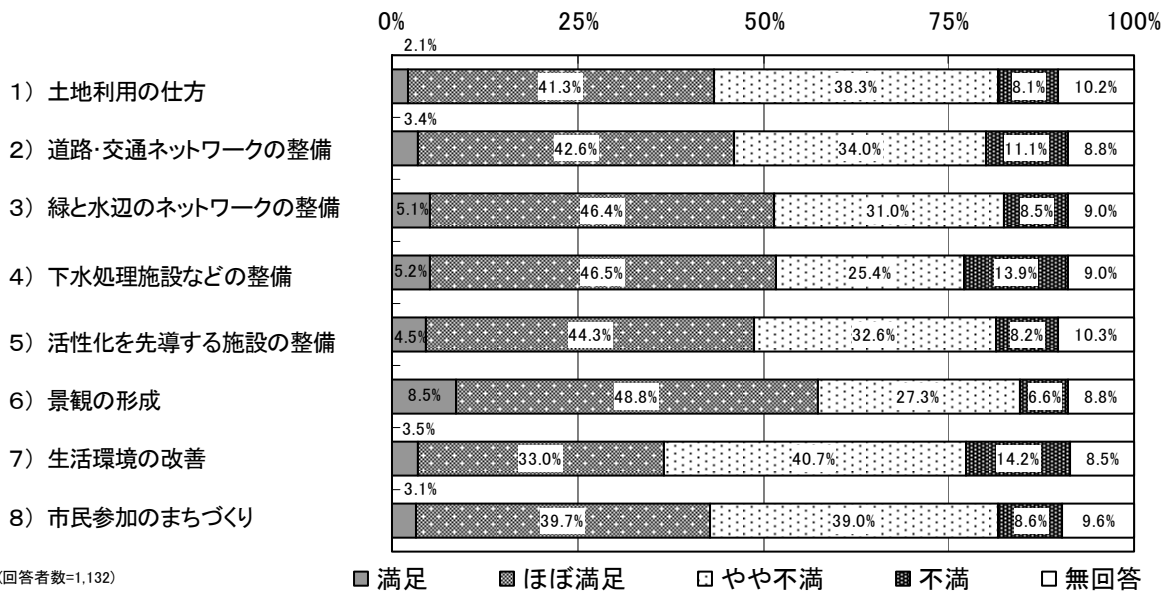
現行の「行田市都市計画マスタープラン」に沿ったまちづくりの取組みの評価として、「景観の形成」の「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が57.3%で最も高く、次いで、「下水処理施設などの整備」が51.7%、「緑と水辺のネットワークの整備」が51.5%、「活性化を先導する施設の整備」が48.8%、「道路・交通ネットワークの整備」が46.0%で、それぞれ約5割となっています。

一方、「土地利用の仕方」が43.4%、「市民参加のまちづくり」が42.8%、「生活環境の改善」が36.5%で、それぞれ約4割と低めになっています。

まちづくりの取組みの評価(※)ランキング

(※満足、ほぼ満足の回答比率の合計)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1位：景観の形成 | 5位：道路・交通ネットワークの整備 |
| 2位：下水処理施設などの整備 | 6位：土地利用の仕方 |
| 3位：緑と水辺のネットワークの整備 | 7位：市民参加のまちづくり |
| 4位：活性化を先導する施設の整備 | 8位：生活環境の改善 |



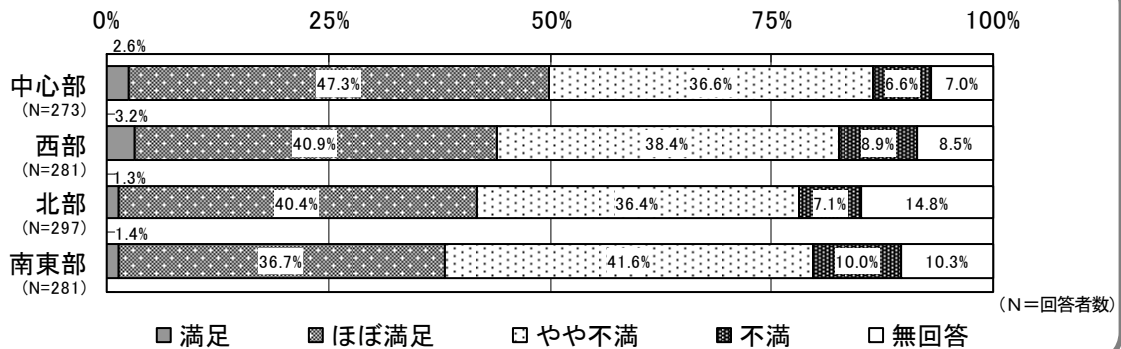
【地域別】



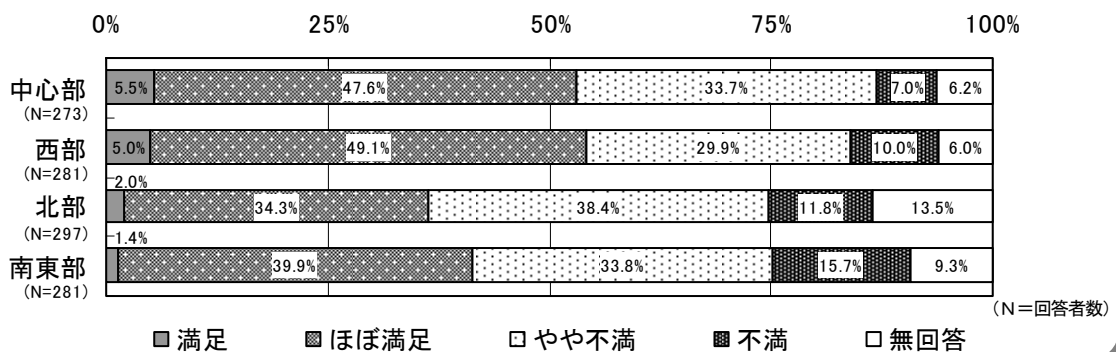
現行の「行田市都市計画マスタープラン」に沿ったまちづくりの取組みの評価について、地域別で見ると、中心部では、ほぼ全ての項目において「満足」と「ほぼ満足」を合わせた割合が最も高くなっています。

また、中心部・西部では、「道路・交通ネットワーク整備」「下水処理施設などの整備」において、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が他地域と比較して顕著に高くなっています。

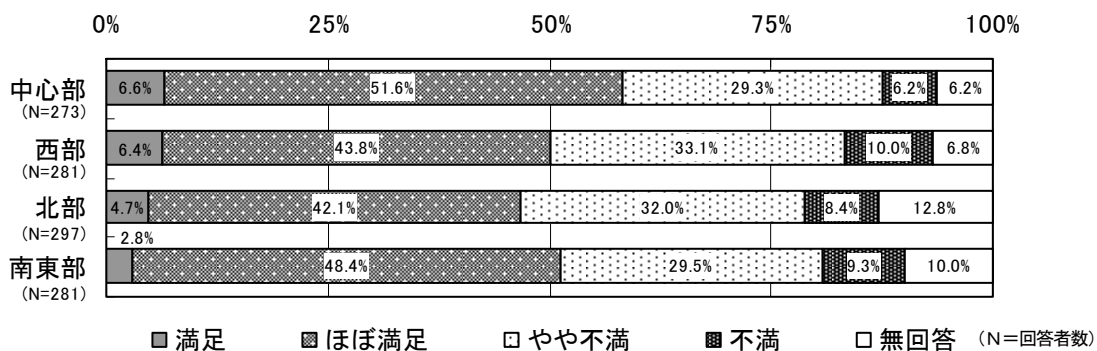
1) 土地利用の仕方



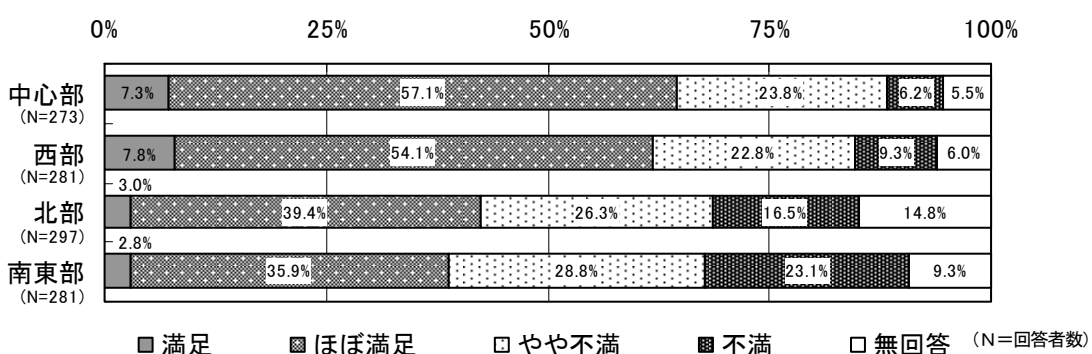
2) 道路・交通ネットワークの整備



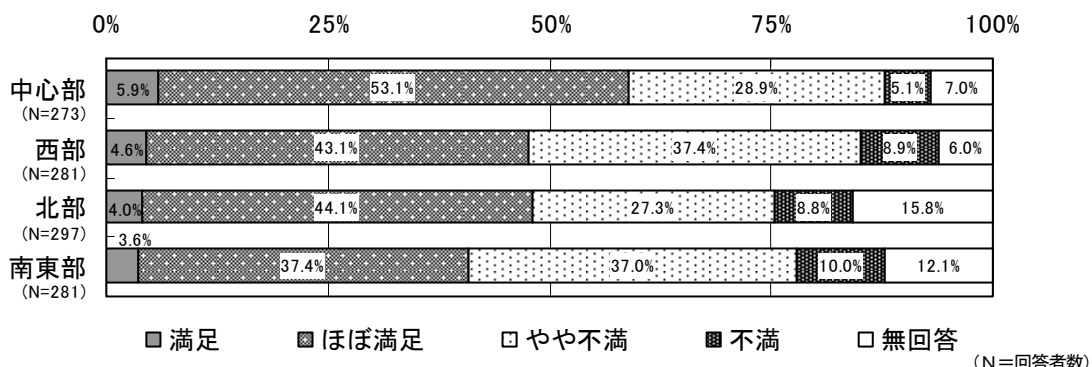
3) 緑と水辺のネットワークの整備



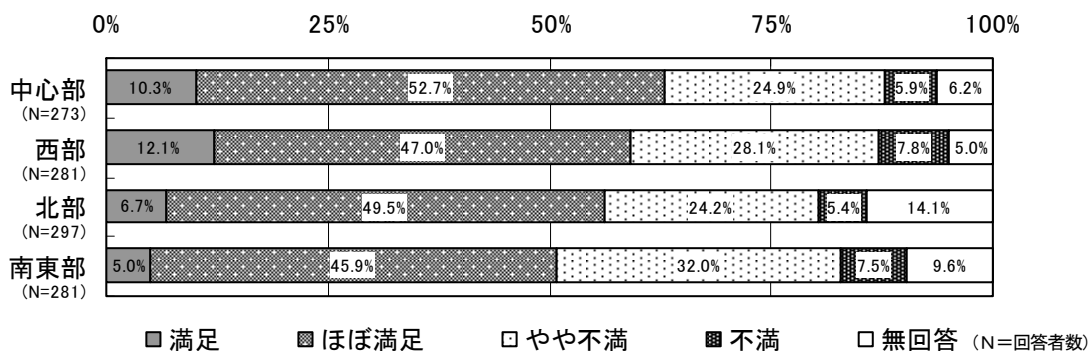
4) 下水処理施設などの整備



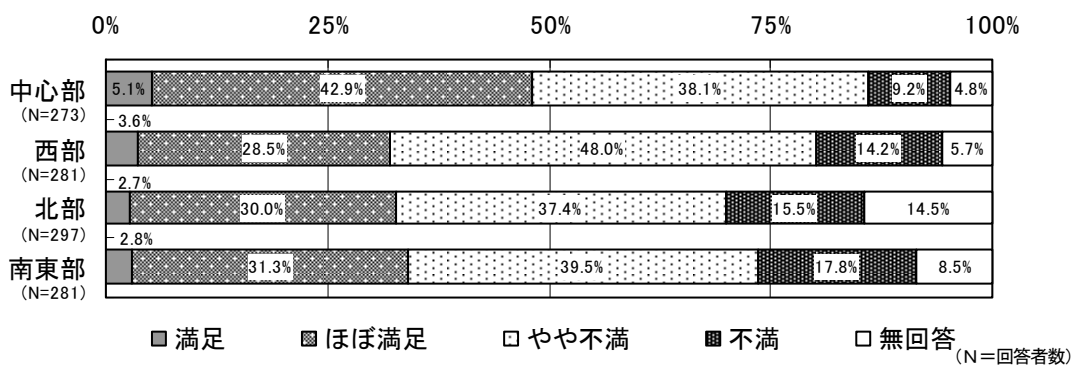
5) 活性化を先導する施設の整備



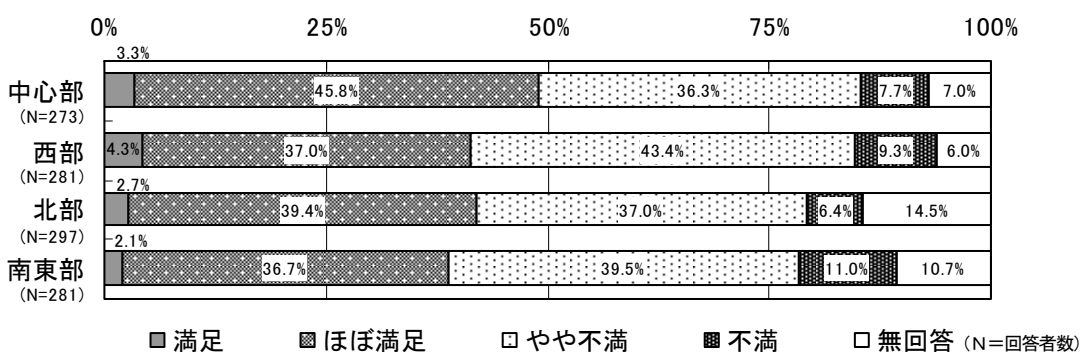
6) 景観の形成



7) 生活環境の改善

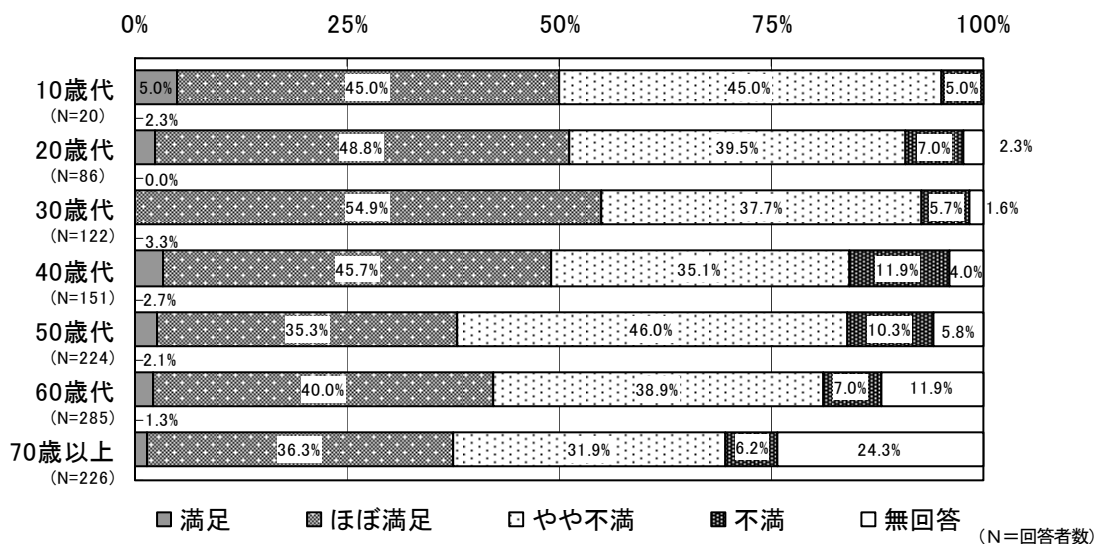


8) 市民参加のまちづくり

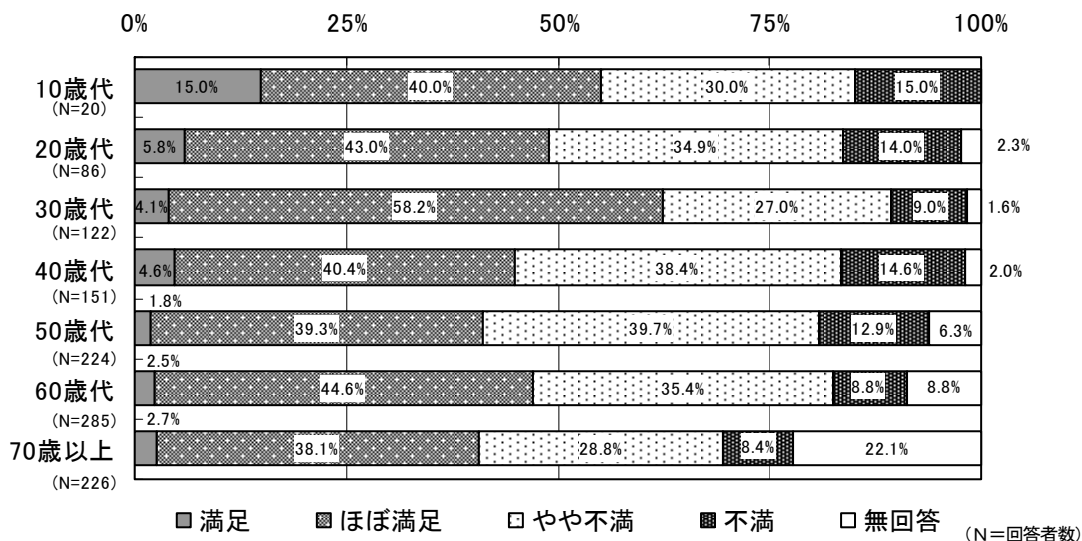


【年代別】 現行の「行田市都市計画マスタープラン」に沿ったまちづくりの取り組みの評価について、年代別で見ると、10歳代～30歳代において、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が他の年代と比較して高くなっています。子育て世代（20歳代～40歳代）では、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が他の年代と比較して高い傾向がみられます。

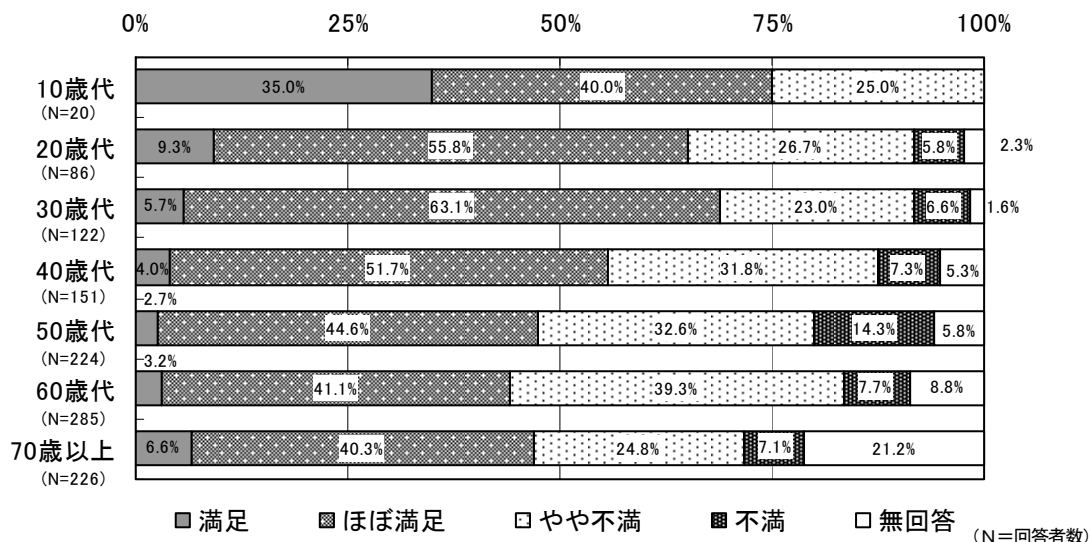
1) 土地利用の仕方



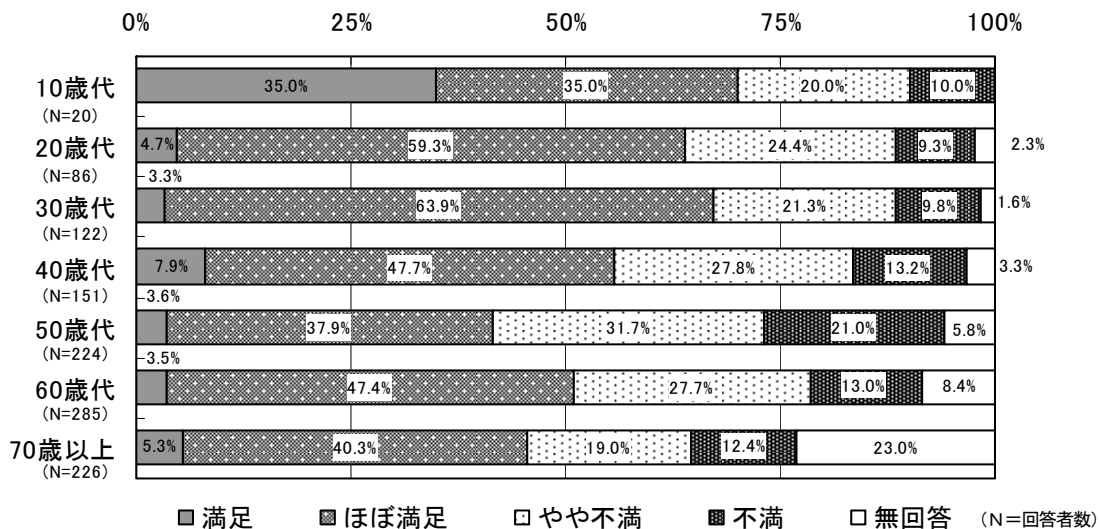
2) 道路・交通ネットワークの整備



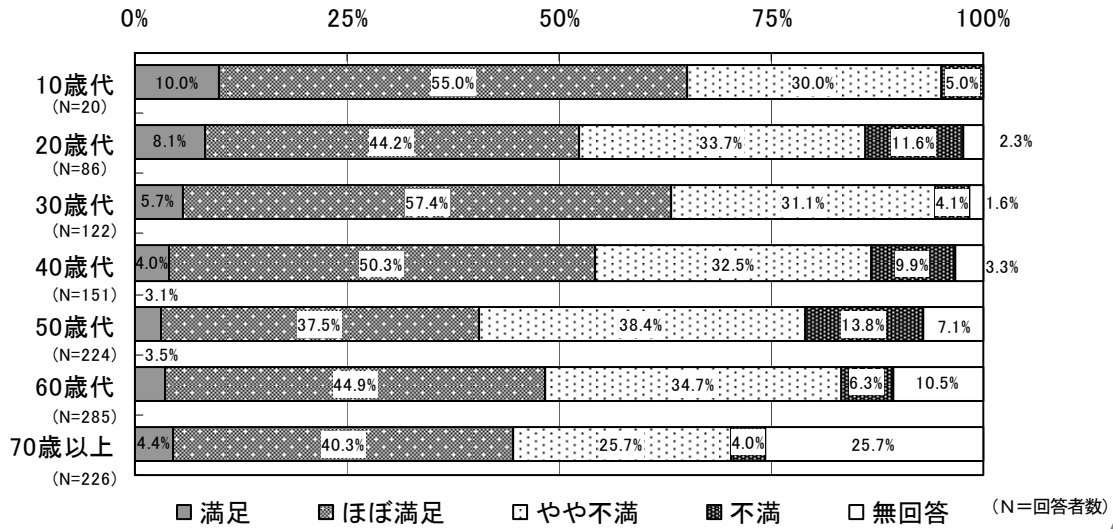
3) 緑と水辺のネットワークの整備



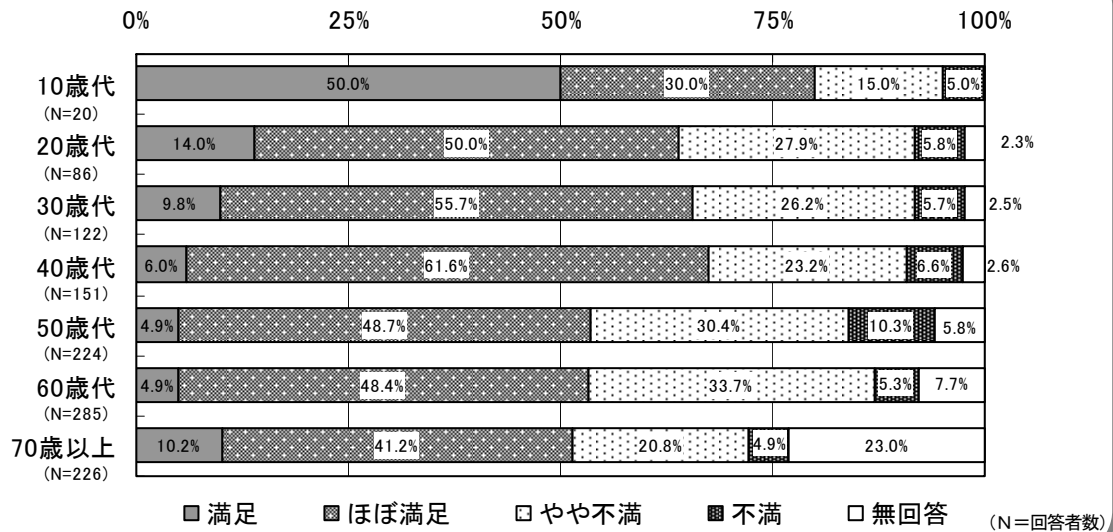
4) 下水処理施設などの整備



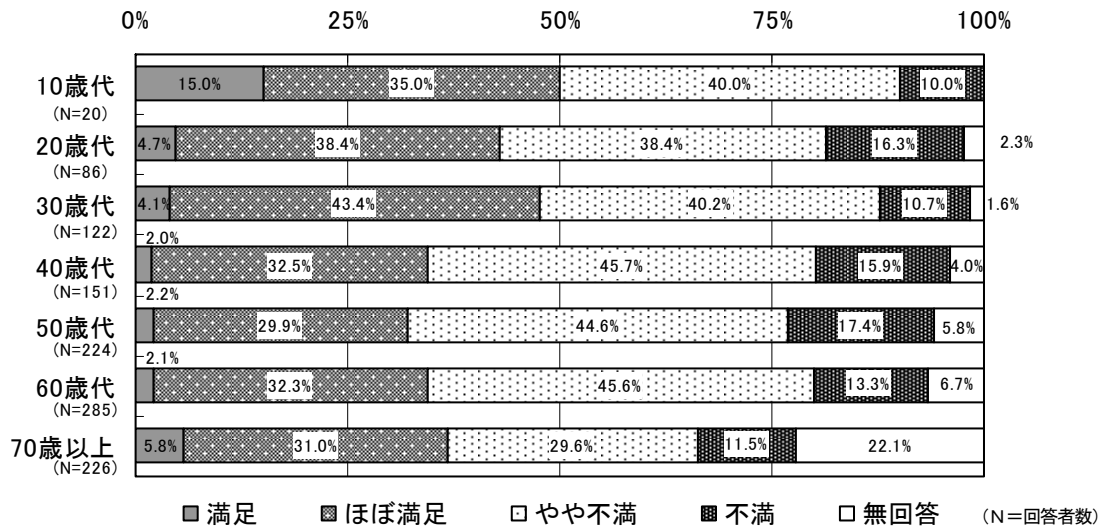
5) 活性化を先導する施設の整備



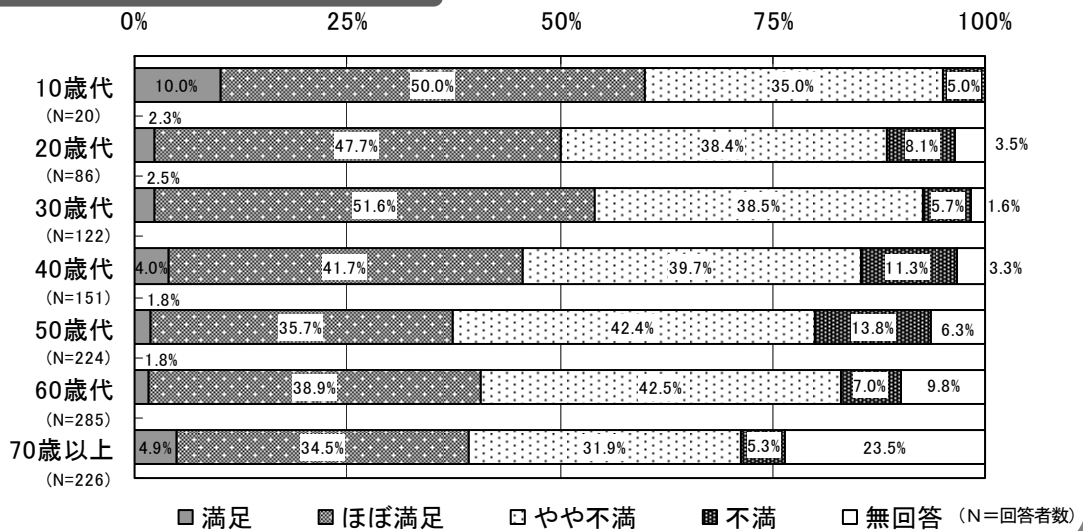
6) 景観の形成



7) 生活環境の改善

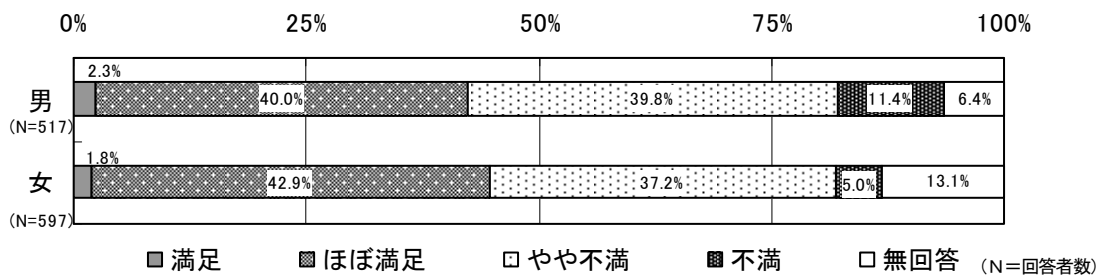


8) 市民参加のまちづくり

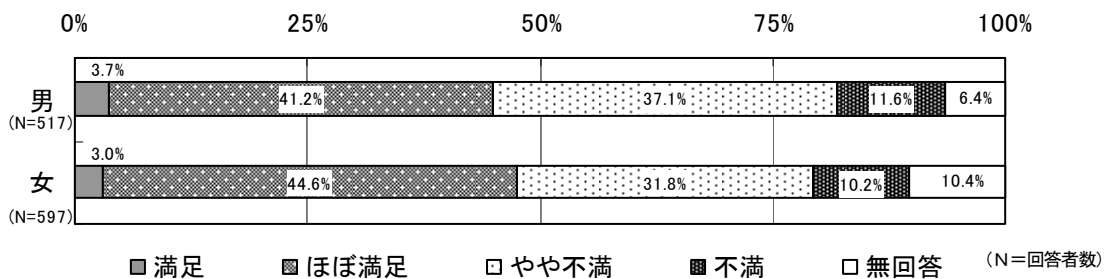


【性別】 現行の「行田市都市計画マスタープラン」に沿ったまちづくりの取組みの評価について、性別で見ると、全体的に「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合は、男性より女性のほうがやや高くなっています。

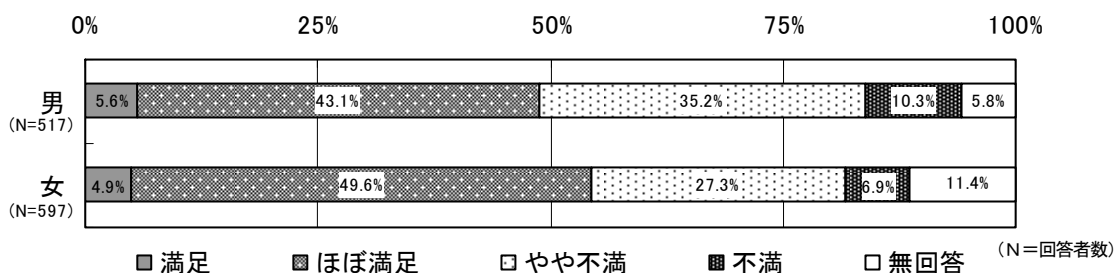
1) 土地利用の仕方



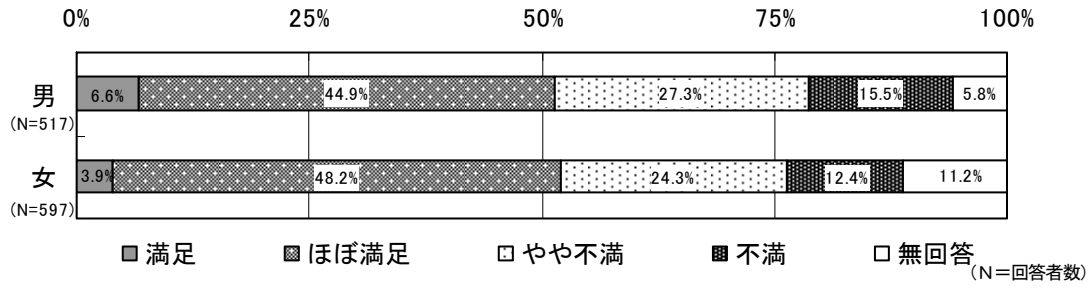
2) 道路・交通ネットワークの整備



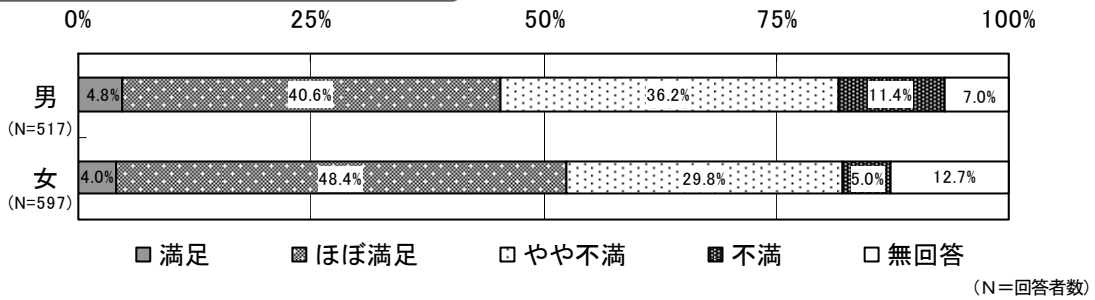
3) 緑と水辺のネットワークの整備



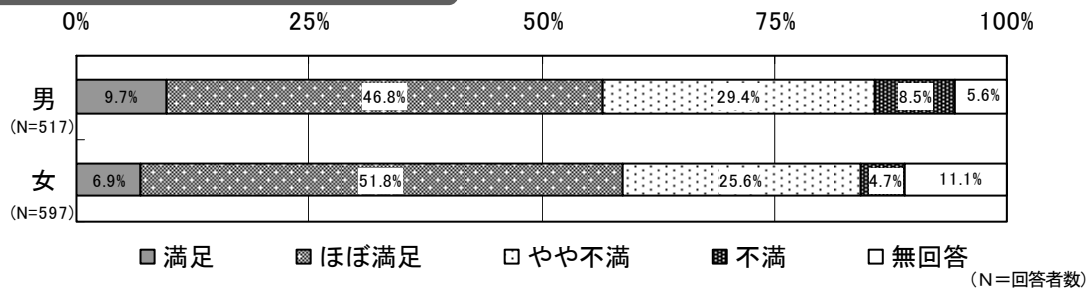
4) 下水処理施設などの整備



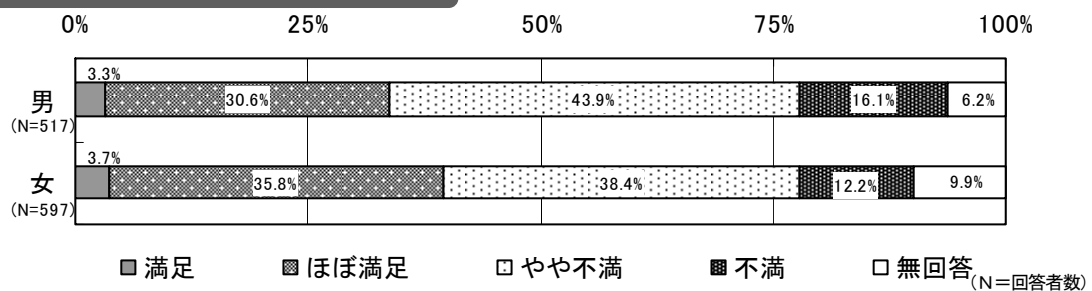
5) 活性化を先導する施設の整備



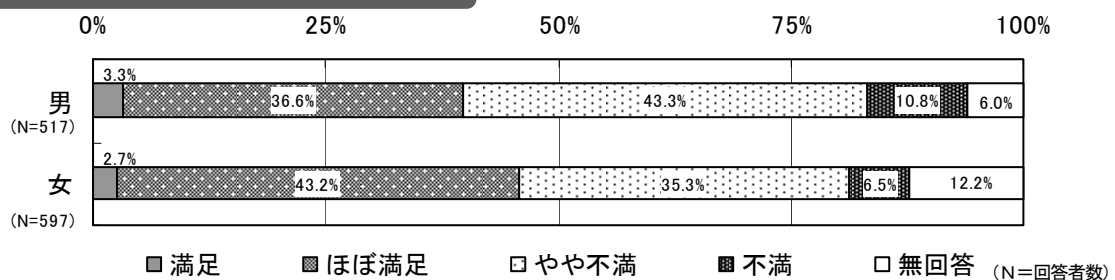
6) 景観の形成



7) 生活環境の改善



8) 市民参加のまちづくり



問8 市では、市中心部を「行田市文化ゾーン地区」（計画区域は下図参照）として、平成19年度から平成23年度にかけて、道路や多目的広場などの整備を行い、市民や観光客に親しみと魅力あるまちづくりを進めています。
これらのまちづくりの効果について、次ページの設問により、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。

【整備内容】

- ・南大通線（未開通区間の開通）
- ・市道第5.1-3号線（忍川付近の踏切から南へ約120m区間）の歩道整備 ※平成23年度整備予定
- ・市道第6.2-8号線（南小学校前）街路灯・モニュメント整備
- ・多目的広場（市民プール脇芝生広場）整備
- ・文化財案内板、文化財説明板整備
- ・足袋蔵歴史のまちガイドブック作成

行田市中心部のまちづくり

市道第5.1-3号線 歩道整備

持田駅

行田市役所

忍城社

水城公園

南小学校

市道第6.2-8号線 街路灯・モニュメント整備

多目的広場整備


南大通線 道路整備

文化財案内板・説明板整備 (●15ヶ所)


教育文化センターみらい

計画区域


南大通線 整備前




南大通線 整備後




文化財説明板





多目的広場



市道第6.2-8号線

問8 1) 前ページの道路整備、歩道整備により、計画区域内では以前より安全に歩きやすくなりましたか。(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
1	2	3	4

2) 多目的広場(市民プール脇芝生広場)は、忍城時代祭りなど各イベント会場としても利用されています。計画区域内の公園や広場は、以前より利用しやすくなりましたか。(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
1	2	3	4

3) 前ページの計画区域内では、文化財案内板、説明板の整備により、市の歴史的・文化的資源を紹介していますが、以前よりわかりやすくなったと思いますか。(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
1	2	3	4

4) 前ページの各整備を行ったことにより、整備前と比較して、市中心部は魅力のあるまちになったと思いますか。(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

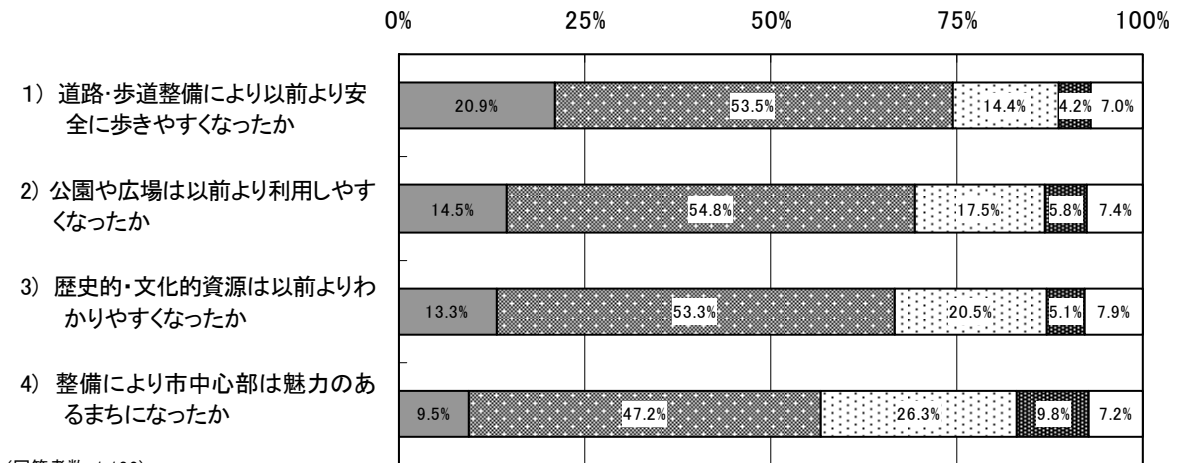
そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
1	2	3	4

5) 市の住みごこちはいかがですか。(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

住みやすい	どちらかといえ ば住みやすい	どちらかといえ ば住みにくい	住みにくい
1	2	3	4

6) 前ページで紹介している計画区域内の各整備、または市街地のまちづくりについて、ご意見、ご感想等がありましたらご記入ください。

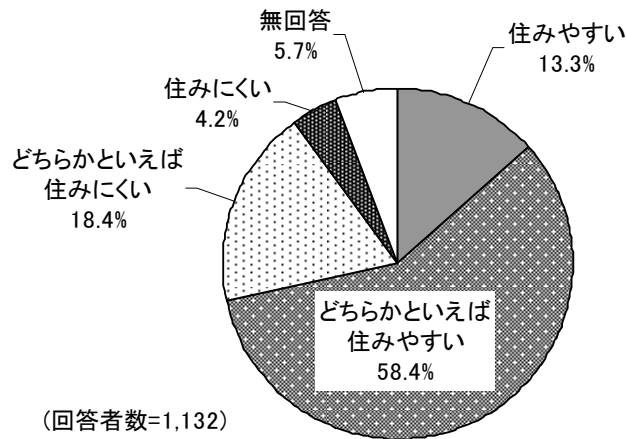
- 1) 道路・歩道整備により、以前より安全に歩きやすくなったか
「そう思う」と「どちらかといえればそう思う」を合わせた割合は74.4%となっています。
- 2) 公園・広場は、以前より利用しやすくなったか
「そう思う」と「どちらかといえればそう思う」を合わせた割合は69.3%となっています。
- 3) 文化財案内板・説明版の整備により、市の歴史的・文化的資源について、以前よりわかりやすくなったか
「そう思う」と「どちらかといえればそう思う」を合わせた割合は66.6%となっています。
- 4) 整備により市中心部は魅力のあるまちになったか
「そう思う」と「どちらかといえればそう思う」を合わせた割合は56.7%となっています。



(回答者数=1,132)

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

5) 行田市の住みごころについては、「どちらかといえば住みやすい」が58.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば住みにくい」が18.4%、「住みやすい」が13.3%となっており、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、71.7%となっています。



6) 計画区域内の各整備、または市街地のまちづくりに関する、ご意見、ご感想等については、「第3章 自由意見」に掲載しています。

(2) これからのまちづくりの取り組みについて

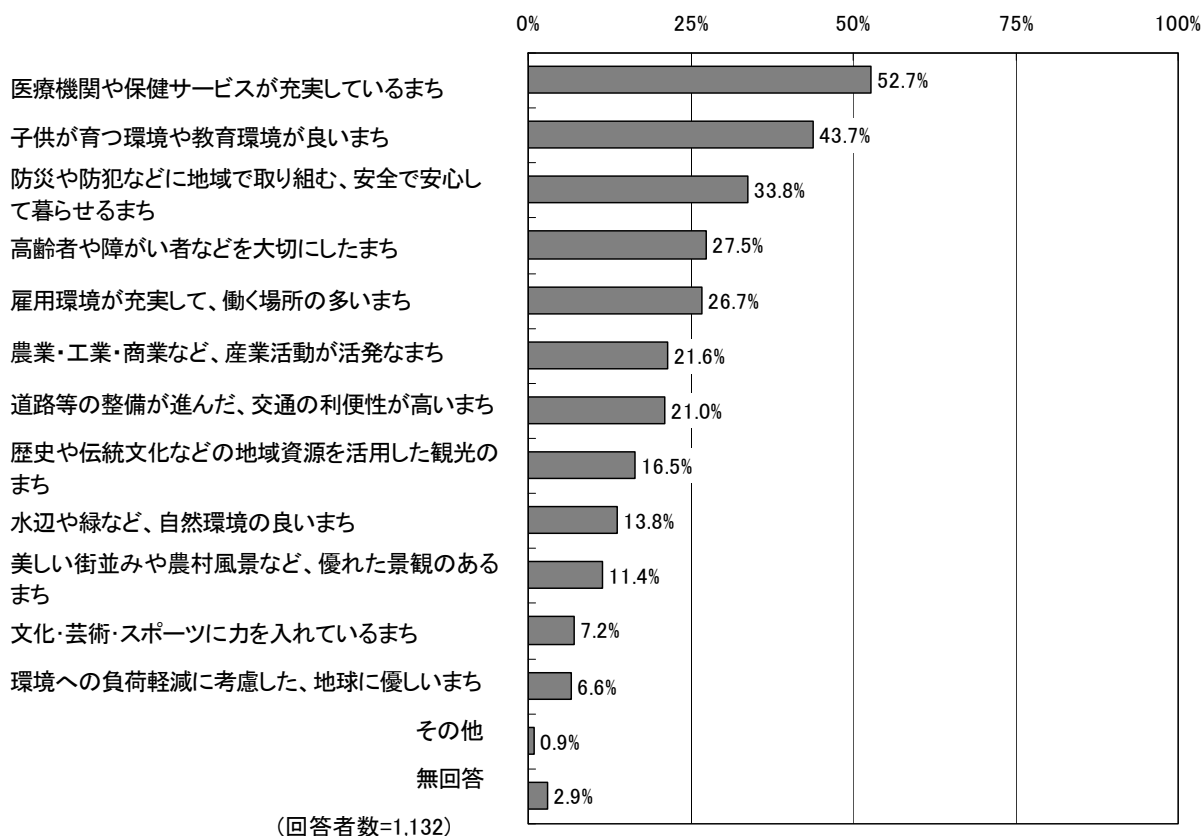
(まちの将来像)

問9 あなたは、20年後の行田市がどのようなまちになってほしいと思いますか。
(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

1. 子どもが育つ環境や教育環境が良いまち
2. 医療機関や保健サービスが充実しているまち
3. 高齢者や障がい者などを大切にしたいまち
4. 文化・芸術・スポーツに力を入れているまち
5. 道路等の整備が進んだ、交通の利便性が高いまち
6. 防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち
7. 水辺や緑など、自然環境の良いまち
8. 環境への負荷軽減に配慮した、地球にやさしいまち
9. 農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち
10. 雇用環境が充実して、働く場所の多いまち
11. 美しい街並みや農村風景など、優れた景観のあるまち
12. 歴史や伝統文化などの地域資源を活用した観光のまち
13. その他 ()

【全体】

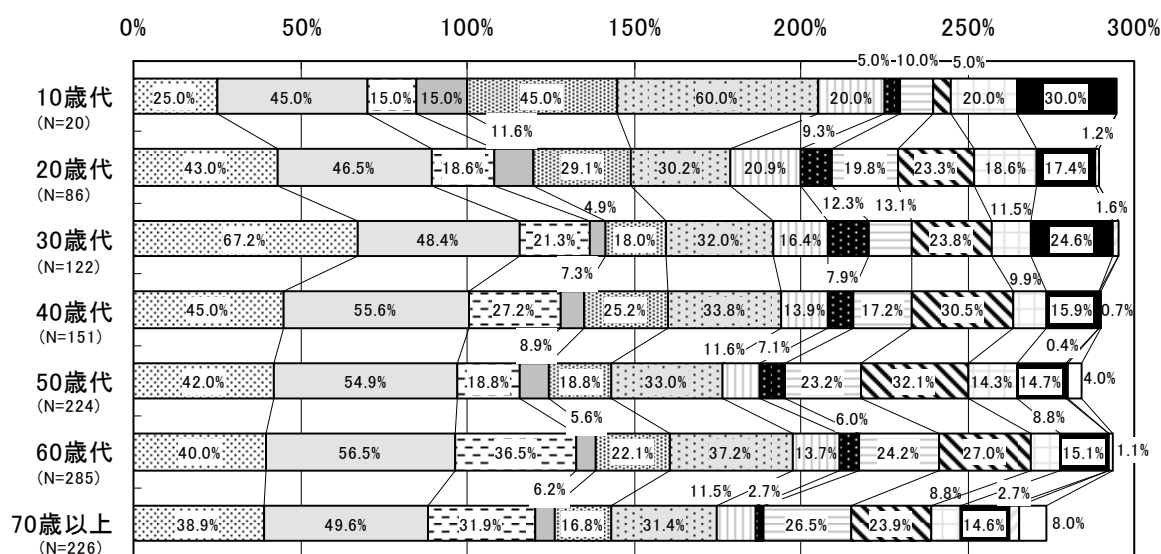
20年後の行田市に望むまちの姿として、「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が52.7%で最も多く、次いで「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」が43.7%、「防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち」が33.8%となっています。



【年代別】

20年後の行田市に望むまちの姿について、年代別に見ると、10歳代では、「防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち」、30歳代では、「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」、その他の年代では、「医療機関や保健サービスが充実しているまち」の割合が最も高くなっています。

その他、10歳代では、「道路等の整備が進んだ、交通の利便性が高いまち」「防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち」「歴史や伝統文化などの地域資源を活用した観光のまち」、30歳代では、「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」、40歳代、50歳代では「雇用環境が充実して、働く場所の多いまち」、60歳代では、「高齢者や障がい者などを大切にしたまち」、70歳以上では、「農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち」の割合が他の年代と比較して高くなっています。



【凡例】

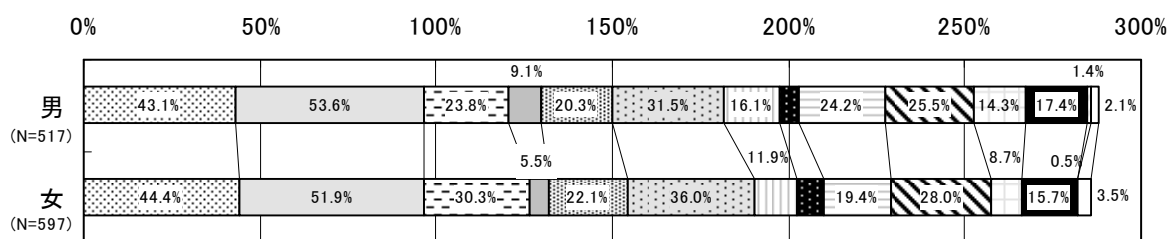
- 子どもが育つ環境や教育環境が良いまち
 - 医療機関や保健サービスが充実しているまち
 - 高齢者や障がい者などを大切にしたまち
 - 文化・芸術・スポーツに力を入れているまち
 - 道路等の整備が進んだ、交通の利便性が高いまち
 - 防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち
 - 水辺や緑など、自然環境の良いまち
 - 環境への負荷軽減に配慮した、地球にやさしいまち
 - 農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち
 - 雇用環境が充実して、働く場所の多いまち
 - 美しい街並みや農村風景など、優れた景観のあるまち
 - 歴史や伝統文化などの地域資源を活用した観光のまち
 - その他
 - 無回答
- (N=回答者数)

【グラフの見方】複数回答の構成比の母数は、回答者数としています。このため、複数回答の設問に対する回答比率の合計が、100%を超える場合があります。例えば、問9のように、「回答数が3つまで」という設問の場合、回答比率の合計が、最高で300%となる場合があります。これをグラフで表すと、上のグラフのように、横軸の最大値が300%となります（以下、同様）。

【性別】

20年後の行田市に望むまちの姿について、性別で見ると、男性、女性ともに、「医療機関や保健サービスが充実しているまち」の割合が最も高く、次いで「子どもが育つ環境や教育環境が充実しているまち」となっています。

男性では、「農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち」「美しい街並みや農村風景など、優れた景観のあるまち」の割合が女性よりも高く、女性では、「高齢者や障がい者などを大切にしたまち」「防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち」の割合が男性よりも高くなっています。



【凡例】

表左

表右

- ☑ 子どもが育つ環境や教育環境が良いまち
- ☐ 医療機関や保健サービスが充実しているまち
- ☑ 高齢者や障がい者などを大切にしたまち
- ☐ 文化・芸術・スポーツに力を入れているまち
- ☑ 道路等の整備が進んだ、交通の利便性が高いまち
- ☑ 防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち
- ☐ 水辺や緑など、自然環境の良いまち
- ☑ 環境への負荷軽減に配慮した、地球にやさしいまち
- ☐ 農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち
- ☑ 雇用環境が充実して、働く場所の多いまち
- ☐ 美しい街並みや農村風景など、優れた景観のあるまち
- ☑ 歴史や伝統文化などの地域資源を活用した観光のまち
- ☐ その他
- ☐ 無回答

(N=回答者数)

(まちづくりの取組み)

問 10 市のまちづくりを進めていくにあたり、最も重要な取組みは次のうちどれだと思いますか。
(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

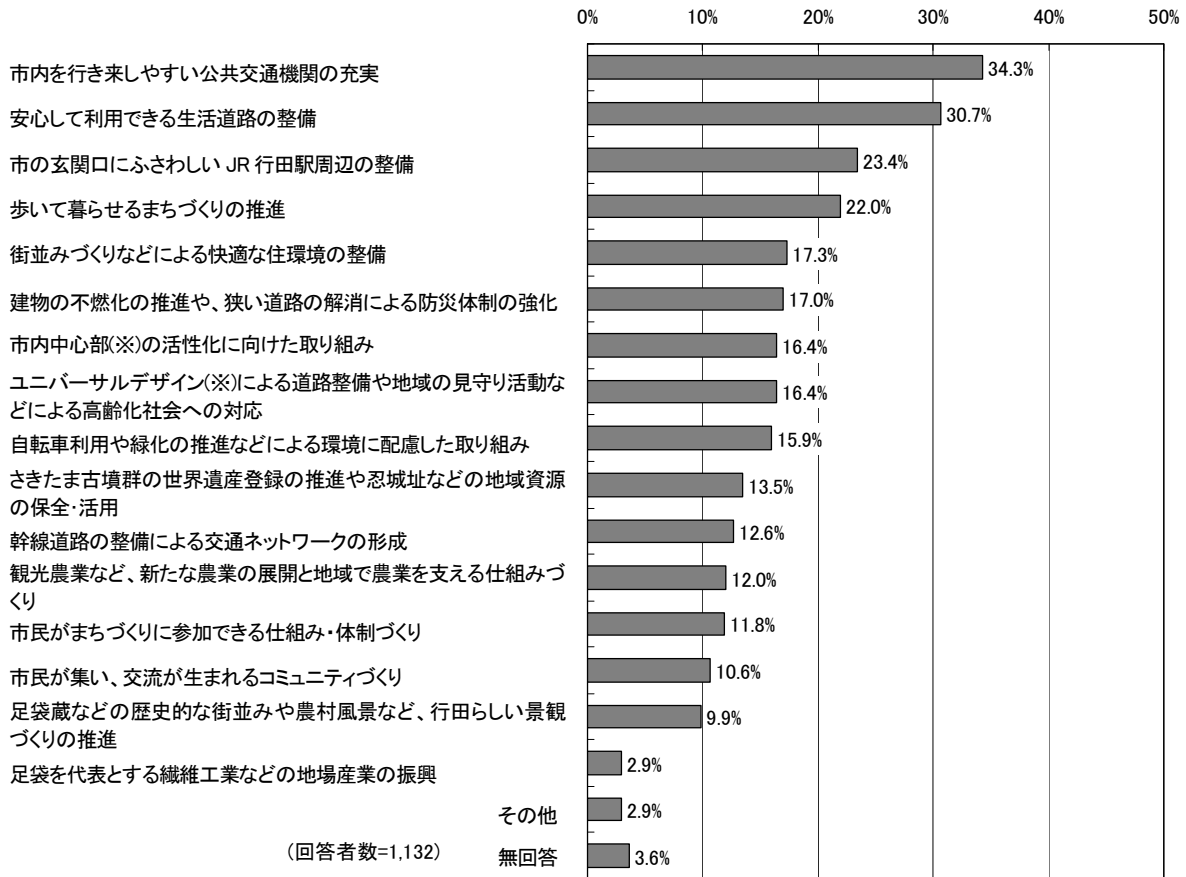
1. 歩いて暮らせるまちづくりの推進
2. 市中心部 (※) の活性化に向けた取組み
3. 市の玄関口にふさわしい JR 行田駅周辺の整備
4. 建物の不燃化の促進や、狭い道路の解消による防災体制の強化
5. 幹線道路の整備による交通ネットワークの形成
6. 安心して利用できる生活道路の整備
7. 市内を行き来しやすい公共交通機関の充実
8. 街並みづくりなどによる快適な住環境の整備
9. 自転車利用や緑化の推進などによる環境に配慮した取組み
10. ユニバーサルデザイン (※) による道路整備や地域の見守り活動などによる高齢化社会への対応
11. 観光農業など、新たな農業の展開と地域で農業を支える仕組みづくり
12. 足袋を代表とする繊維工業などの地場産業の振興
13. 足袋蔵などの歴史的な街並みや農村風景など、行田らしい景観づくりの推進
14. さきたま古墳群の世界遺産登録の推進や忍城址などの地域資源の保全・活用
15. 市民が集い、交流が生まれるコミュニティづくり
16. 市民がまちづくりに参加できる仕組み・体制づくり
17. その他 ()

※市中心部：50ページの計画区域周辺を指します。

※ユニバーサルデザイン：高齢であることや障がいの有無などにかかわらず、全ての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。

【全体】

市のまちづくりを進めていくにあたり、最も重要な取組みとしては、「市内を行き来しやすい公共交通機関の充実」が34.3%で最も多く、次いで「安心して利用できる生活道路の整備」が30.7%、「市の玄関口にふさわしいJR 行田駅周辺の整備」が23.4%となっており、道路交通に関連する項目が上位に挙げられています。



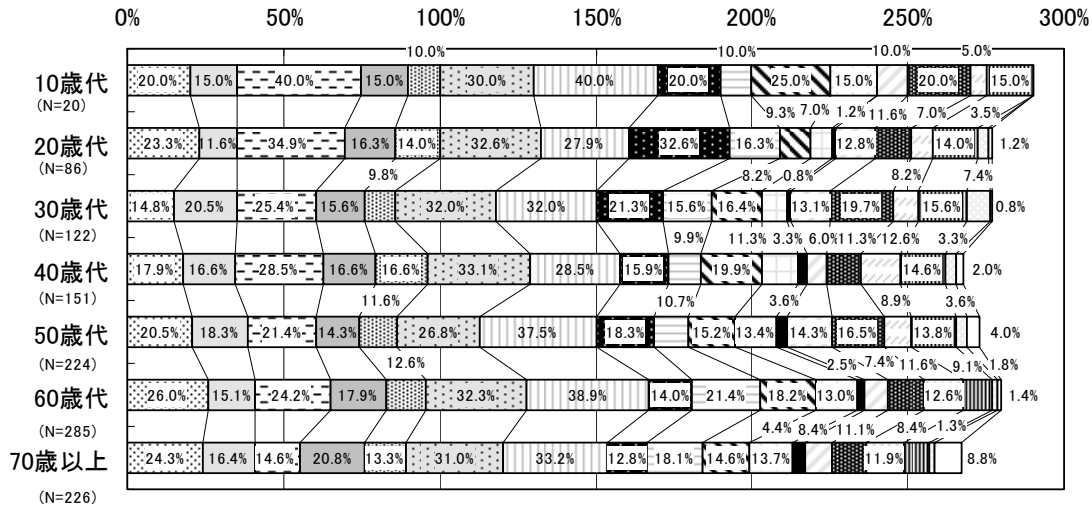
※市中心部：50 ページの計画区域周辺を指します。

※ユニバーサルデザイン：高齢であることや障がいの有無などにかかわらず、全ての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。

【年代別】

市のまちづくりを進めていくにあたり、最も重要な取り組みについて、年代別で見ると、いずれの年代でも「市内を行き来しやすい公共交通機関の充実」「安心して利用できる生活道路の整備」の割合が高く、「市の玄関口にふさわしいJR行田駅周辺の整備」については年代が上がるほど割合が低くなる傾向が見られます。

子育て世代（20歳代～40歳代）での目立った傾向は見られませんが、「市内を行き来しやすい公共交通機関の充実」の割合が、他の世代と比較して低めになっています。



【凡例】

表左

- 歩いて暮らせるまちづくりの推進
- 市中心部（※）の活性化に向けた取り組み
- 市の玄関口にふさわしいJR行田駅周辺の整備
- 建物の不燃化の促進や、狭い道路の解消による防災体制の強化
- 幹線道路の整備による交通ネットワークの形成
- 安心して利用できる生活道路の整備
- 市内を行き来しやすい公共交通機関の充実
- 街並みづくりなどによる快適な住環境の整備
- 自転車利用や緑化の推進などによる環境に配慮した取り組み
- ユニバーサルデザイン（※）による道路整備や地域の見守り活動などによる高齢化社会への対応
- 観光農業など、新たな農業の展開と地域で農業を支える仕組みづくり
- 足袋を代表とする繊維工業などの地場産業の振興
- 足袋蔵などの歴史的な街並みや農村風景など、行田らしい景観づくりの推進
- さきたま古墳群の世界遺産登録の推進や忍城址などの地域資源の保全・活用
- 市民が集い、交流が生まれるコミュニティづくり
- 市民がまちづくりに参加できる仕組み・体制づくり
- その他
- 無回答

表右

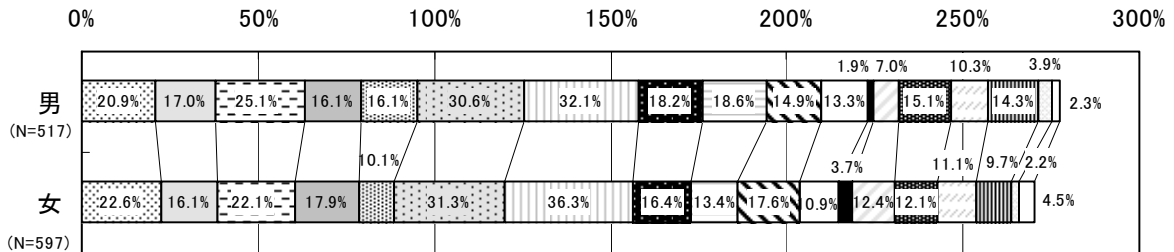
(N=回答者数)

※市中心部：50ページの計画区域周辺を指します。

※ユニバーサルデザイン：高齢であることや障がいの有無などにかかわらず、全ての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。

【性別】

市のまちづくりを進めていくにあたり、最も重要な取り組みについて、性別で見ると、男性では、「幹線道路の整備による交通ネットワークの形成」「自転車利用や緑化の推進などによる環境に配慮した取り組み」「市民がまちづくりに参加できる仕組み・体制づくり」の割合が女性よりも高く、女性では、「市内を行き来しやすい公共交通機関の充実」「足袋蔵などの歴史的な街並みや農村風景など、行田らしい景観づくりの推進」の割合が男性よりも高くなっています。



【凡例】

表左

表右

- 歩いて暮らせるまちづくりの推進
- 市中心部（※）の活性化に向けた取り組み
- 市の玄関口にふさわしいJR行田駅周辺の整備
- 建物の不燃化の促進や、狭い道路の解消による防災体制の強化
- 幹線道路の整備による交通ネットワークの形成
- 安心して利用できる生活道路の整備
- 市内を行き来しやすい公共交通機関の充実
- 街並みづくりなどによる快適な住環境の整備
- 自転車利用や緑化の推進などによる環境に配慮した取り組み
- ユニバーサルデザイン（※）による道路整備や地域の見守り活動などによる高齢化社会への対応
- 観光農業など、新たな農業の展開と地域で農業を支える仕組みづくり
- 足袋を代表とする繊維工業などの地場産業の振興
- 足袋蔵などの歴史的な街並みや農村風景など、行田らしい景観づくりの推進
- さきたま古墳群の世界遺産登録の推進や忍城址などの地域資源の保全・活用
- 市民が集い、交流が生まれるコミュニティづくり
- 市民がまちづくりに参加できる仕組み・体制づくり
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

※市中心部：50ページの計画区域周辺を指します。

※ユニバーサルデザイン：高齢であることや障がいの有無などにかかわらず、全ての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。

① 土地利用について

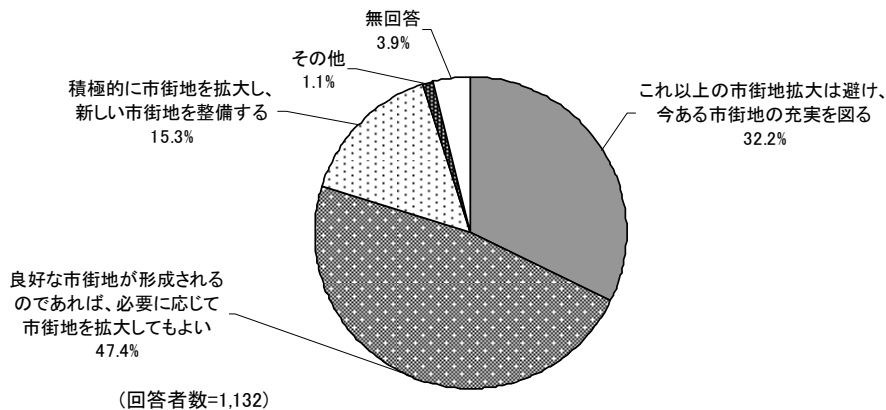
問 11 市においては、少子、高齢化や人口の減少傾向が見られます。あなたは、今後の市の土地利用の方向性としてどのようなものが望ましいと思いますか。

(該当する番号1つに○を付けてください)

1. これ以上の市街地拡大は避け、今ある市街地の充実を図る
2. 良好な市街地が形成されるのであれば、必要に応じて市街地を拡大してもよい
3. 積極的に市街地を拡大し、新しい市街地を整備する
4. その他 ()

【全体】

今後の土地利用の望ましい方向性としては、「良好な市街地が形成されるのであれば、必要に応じて市街地を拡大してもよい」が47.4%で最も多く、次いで「これ以上の市街地拡大は避け、今ある市街地の充実を図る」が32.2%、「積極的に市街地を拡大し、新しい市街地を整備する」が15.3%となっています。

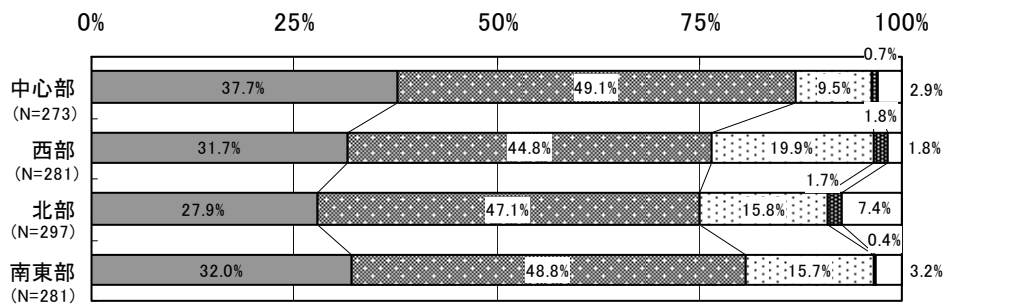


【地域別】



今後の土地利用の望ましい方向性について、地域別で見ると、いずれの地域でも「良好な市街地が形成されるのであれば、必要に応じて市街地を拡大してもよい」の割合が最も高くなっています。

中心部では、「これ以上の市街地拡大は避け、今ある市街地の充実を図る」、西部では「積極的に市街地を拡大し、新しい市街地を整備する」の割合が他の地域と比較して高くなっています。



【凡例】 ■ これ以上の市街地拡大は避け、今ある市街地の充実を図る

表左

■ 良好な市街地が形成されるのであれば、必要に応じて市街地を拡大してもよい

■ 積極的に市街地を拡大し、新しい市街地を整備する

■ その他

表右

□ 無回答

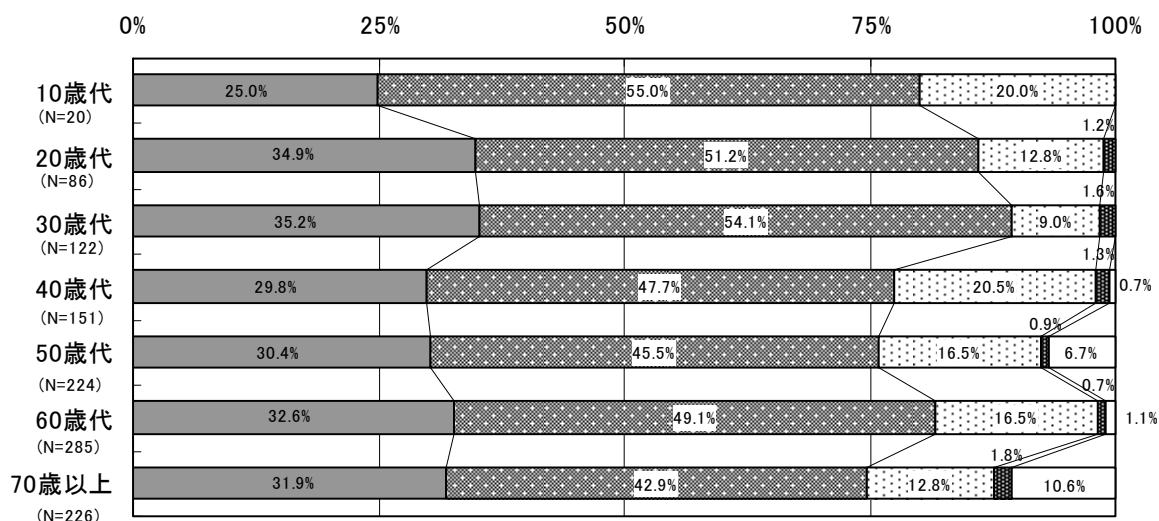
(N=回答者数)

【年代別】

今後の土地利用の望ましい方向性について、年代別で見ると、いずれの年代でも「良好な市街地が形成されるのであれば、必要に応じて市街地を拡大してもよい」の割合が最も高くなっています。

20歳代、30歳代では、「これ以上の市街地拡大は避け、今ある市街地の充実を図る」「良好な市街地が形成されるのであれば、必要に応じて市街地を拡大してもよい」の割合が他の年代と比較して高めになっています。

また、10歳代、40歳代では、「積極的に市街地を拡大し、新しい市街地を整備する」の割合が他の年代と比較して高めになっています。

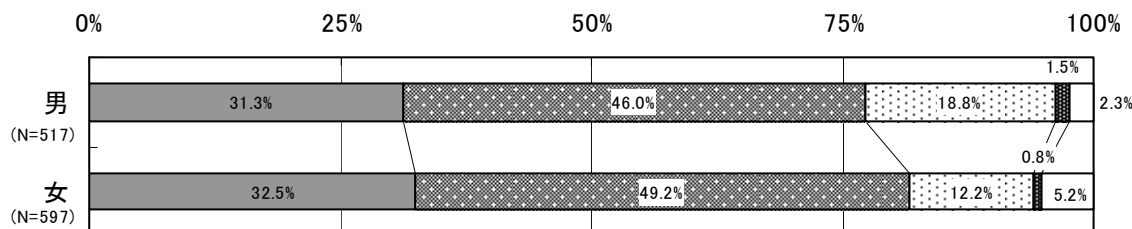


- 【凡例】
- これ以上の市街地拡大は避け、今ある市街地の充実を図る
 - ▨ 良好な市街地が形成されるのであれば、必要に応じて市街地を拡大してもよい
 - ▤ 積極的に市街地を拡大し、新しい市街地を整備する
 - ▧ その他
 - 無回答
- 表左 ↓ 表右 (N=回答者数)

【性別】

今後の土地利用の望ましい方向性について、性別で見ると、男性、女性とも「良好な市街地が形成されるのであれば、必要に応じて市街地を拡大してもよい」の割合が最も高くなっています。

男性では、「積極的に市街地を拡大し、新しい市街地を整備する」の割合が女性よりも高めになっています。



【凡例】

表左
↓
表右

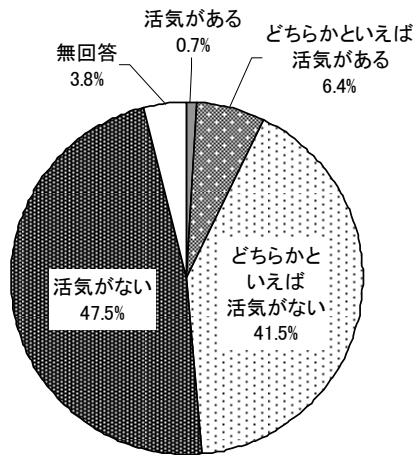
- これ以上の市街地拡大は避け、今ある市街地の充実を図る
 - ▨ 良好な市街地が形成されるのであれば、必要に応じて市街地を拡大してもよい
 - ▩ 積極的に市街地を拡大し、新しい市街地を整備する
 - その他
 - 無回答
- (N=回答者数)

問 12 あなたは、市中心部には活気があると思いますか。
 (該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 活気がある | 3. どちらかといえば活気がない |
| 2. どちらかといえば活気がある | 4. 活気がない |

【全体】

市中心部について、「活気がない」が 47.5%で最も多く、次いで「どちらかといえば活気がない」が 41.5%となっており、合わせると約9割となります。



(回答者数=1,132)

問 13 あなたは、今後、市中心部の魅力を高め、活性化していくにはどんな取組みが必要だと思いますか。(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

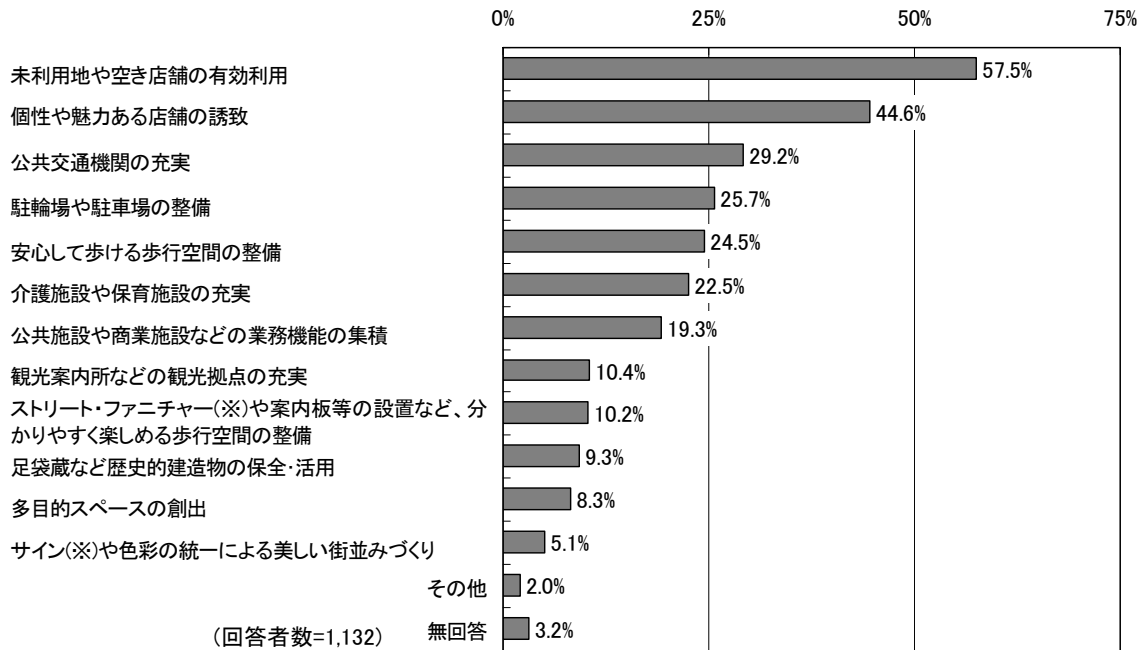
- | | |
|--|----------------------|
| 1. 安心して歩ける歩行空間の整備 | 7. 観光案内所などの観光拠点の充実 |
| 2. ストリート・ファニチャー (※) や案内板等の設置など、わかりやすく楽しめる歩行空間の整備 | 8. 足袋蔵など歴史的建造物の保全・活用 |
| 3. サイン (※) や色彩の統一による美しい街並みづくり | 9. 多目的スペースの創出 |
| 4. 未利用地や空き店舗の有効活用 | 10. 介護施設や保育施設の充実 |
| 5. 個性や魅力ある店舗の誘致 | 11. 公共交通機関の充実 |
| 6. 公共施設や商業施設などの業務機能の集積 | 12. 駐輪場や駐車場の整備 |
| | 13. その他 () |

※ストリート・ファニチャー：街灯、ベンチ、童の銅人形など、街路に置かれる備品

※サイン：案内板、標識

【全体】

市中心部の魅力を高め、活性化していくために必要な取組みとしては、「未利用地や空き店舗の有効活用」が57.5%で最も多く、次いで「個性や魅力ある店舗の誘致」が44.6%、「公共交通機関の充実」が29.2%となっています。



【年代別】

市中心部の魅力を高め、活性化していくために必要な取組みについて、年代別で見ると、10 歳代では「公共交通機関の充実」、それ以外の年代では、「未利用地や空き店舗の有効活用」の割合が最も高くなっています。

各年代において、他の年代と比較して高い項目は以下のとおりとなっています。

10 歳代：「安心して歩ける歩行空間の整備」「公共施設や商業施設などの業務機能の集積」「公共交通機関の充実」

20 歳代：「駐輪場や駐車場の整備」

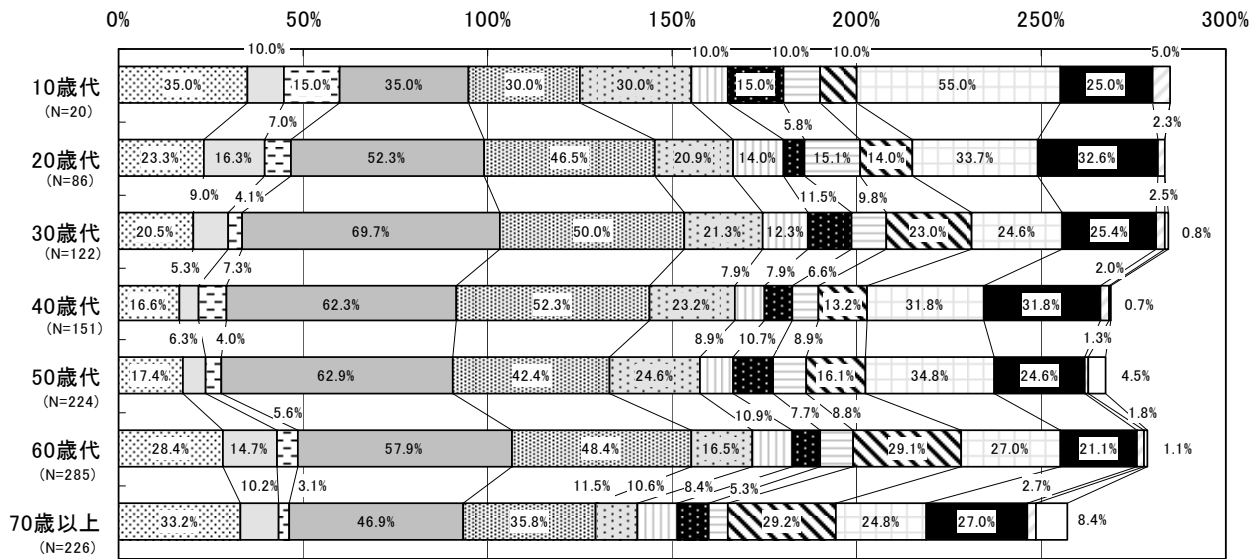
30 歳代：「未利用地や空き店舗の有効活用」「個性や魅力ある店舗の誘致」「介護施設や保育施設の充実」

40 歳代：「未利用地や空き店舗の有効活用」「個性や魅力ある店舗の誘致」「駐輪場や駐車場の整備」

50 歳代：「未利用地や空き店舗の有効活用」

60 歳代：「介護施設や保育施設の充実」

70 歳以上：「安心して歩ける歩行空間の整備」「介護施設や保育施設の充実」



【凡例】

表左



表右

- 安心して歩ける歩行空間の整備
- ストリート・ファニチャー (※) や案内板等の設置など、わかりやすく楽しめる歩行空間の整備
- サイン (※) や色彩の統一による美しい街並みづくり
- 未利用地や空き店舗の有効活用
- 個性や魅力ある店舗の誘致
- 公共施設や商業施設などの業務機能の集積
- 観光案内所などの観光拠点の充実
- 足袋蔵など歴史的建造物の保全・活用
- 多目的スペースの創出
- 介護施設や保育施設の充実
- 公共交通機関の充実
- 駐輪場や駐車場の整備
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

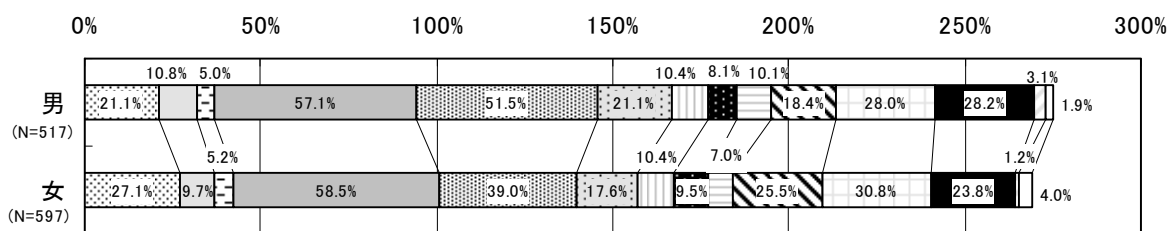
※ストリート・ファニチャー：街灯、ベンチ、童の銅人形など、街路に置かれる備品
 ※サイン：案内板、標識

【性別】

市中心部の魅力を高め、活性化していくために必要な取組みを、性別で見ると、男性、女性とも「未利用地や空き店舗の有効活用」の割合が最も高く、次いで「個性や魅力ある店舗の誘致」となっています。

男性では、「個性や魅力ある店舗の誘致」「公共施設や商業施設などの業務機能の集積」「駐輪場や駐車場の整備」の割合が女性よりも高く、特に「個性や魅力ある店舗の誘致」では、女性よりも10ポイント近く高くなっています。

女性では、「安心して歩ける歩行者空間の整備」「介護施設や保育施設の充実」の割合が男性より高くなっています。



【凡例】

表左

表右

- ☑ 安心して歩ける歩行者空間の整備
- ☐ ストリート・ファニチャー(※)や案内板等の設置など、わかりやすく楽しめる歩行者空間の整備
- ☐ サイン(※)や色彩の統一による美しい街並みづくり
- ☐ 未利用地や空き店舗の有効活用
- ☐ 個性や魅力ある店舗の誘致
- ☐ 公共施設や商業施設などの業務機能の集積
- ☐ 観光案内所などの観光拠点の充実
- ☐ 足袋蔵など歴史的建造物の保全・活用
- ☐ 多目的スペースの創出
- ☐ 介護施設や保育施設の充実
- ☐ 公共交通機関の充実
- ☐ 駐輪場や駐車場の整備
- ☐ その他
- ☐ 無回答

(N=回答者数)

※ストリート・ファニチャー：街灯、ベンチ、童の銅人形など、街路に置かれる備品

※サイン：案内板、標識

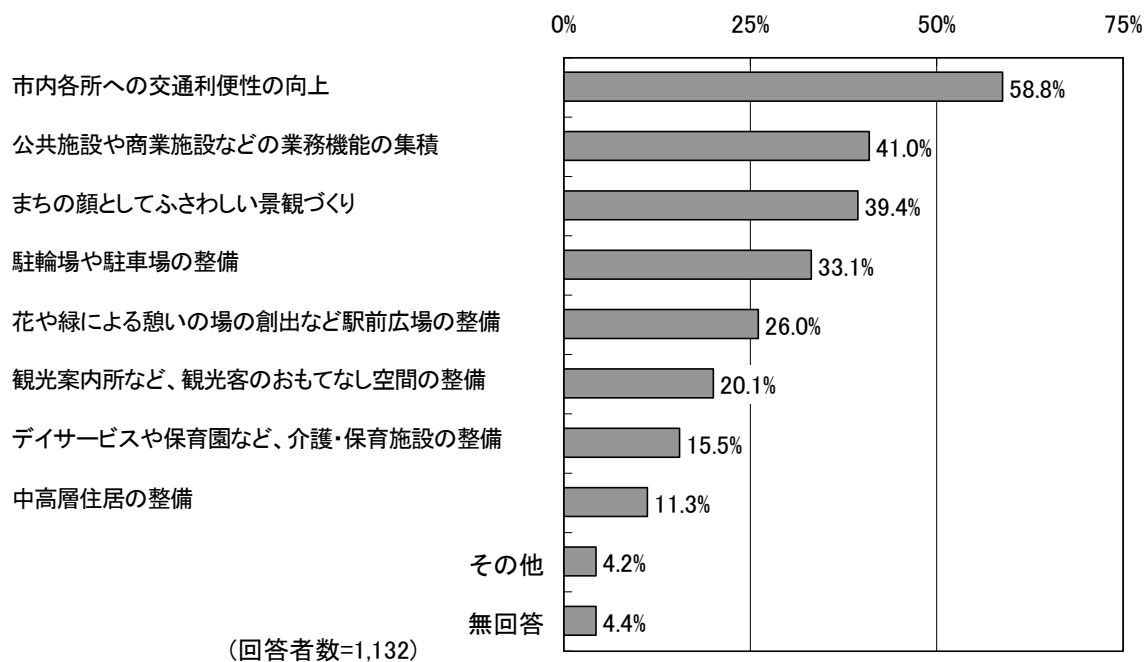
問 14 あなたは、市の玄関口である JR 行田駅周辺の利便性・魅力を高めるためには何が必要だと思いますか。

(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 花や緑による憩いの場の創出など駅前広場の整備 | 6. 中高層住居の整備 |
| 2. まちの顔としてふさわしい景観づくり | 7. 市内各所への交通利便性の向上 |
| 3. 公共施設や商業施設などの業務機能の集積 | 8. 駐輪場や駐車場の整備 |
| 4. 観光案内所など、観光客のおもてなし空間の整備 | 9. その他 () |
| 5. デイサービスや保育園など、介護・保育施設の整備 | |

【全体】

市の玄関口である JR 行田駅周辺の利便性・魅力を高めるために必要なこととしては、「市内各所への交通利便性の向上」が58.8%で最も多く、次いで「公共施設や商業施設などの業務機能の集積」が41.0%、「まちの顔としてふさわしい景観づくり」が39.4%となっています。

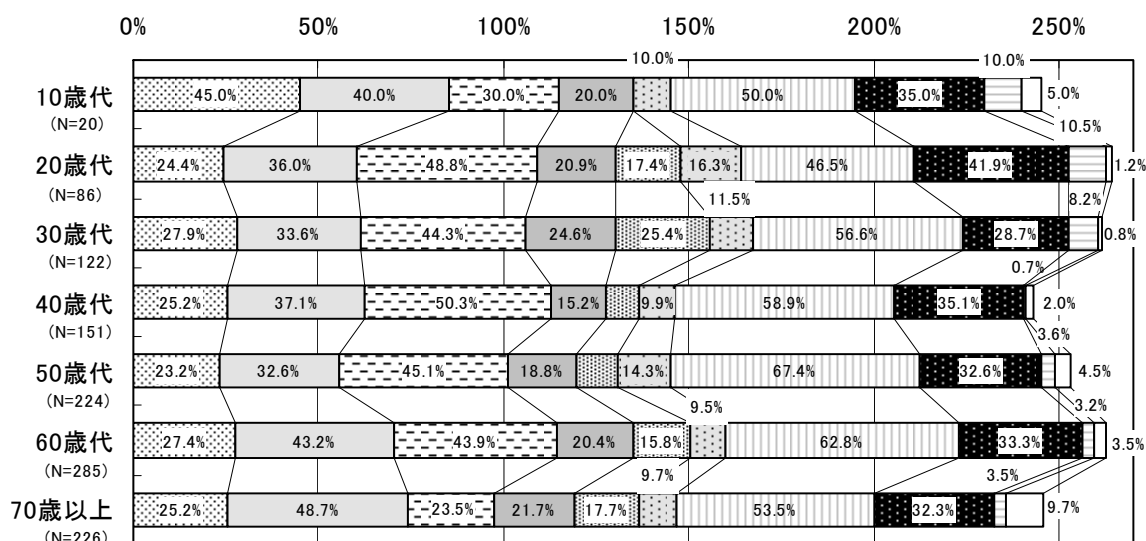


【年代別】

市の玄関口である JR 行田駅周辺の利便性・魅力を高めるために必要なことについて、年代別で見ると、20 歳代では、「公共施設や商業施設などの業務機能の集積」、その他の年代では、「市内各所への交通利便性の向上」の割合が最も高くなっています。

各年代において、他の年代と比較して高い項目は以下のとおりとなっています。

- 10 歳代：「花や緑による憩いの場の創出など駅前広場の整備」「駐輪場や駐車場の整備」
- 20 歳代：「公共施設や商業施設などの業務機能の集積」「駐輪場や駐車場の整備」
- 30 歳代：「観光案内所など、観光客のおもてなし空間の整備」「デイサービスや保育所など、介護・保育施設の整備」
- 40 歳代：「公共施設や商業施設などの業務機能の集積」
- 50 歳代：「市内各所への交通利便性の向上」
- 60 歳代：「まちの顔としてふさわしい景観づくり」「市内各所への交通利便性の向上」
- 70 歳以上：「まちの顔としてふさわしい景観づくり」



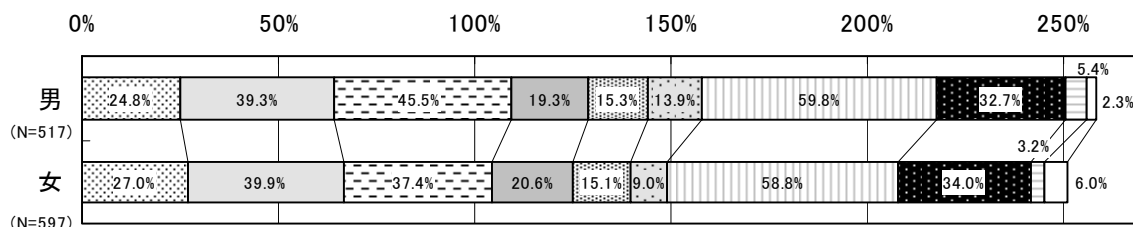
- 【凡例】
- 花や緑による憩いの場の創出など駅前広場の整備
 - まちの顔としてふさわしい景観づくり
 - 公共施設や商業施設などの業務機能の集積
 - 観光案内所など、観光客のおもてなし空間の整備
 - デイサービスや保育所など、介護・保育施設の整備
 - 中高層住居の整備
 - 市内各所への交通利便性の向上
 - 駐輪場や駐車場の整備
 - その他
 - 無回答
- 表左
↓
表右

(N=回答者数)

【性別】

市の玄関口である JR 行田駅周辺の利便性・魅力を高めるために必要なことについて、性別で見ると、男女ともに「市内各所への交通利便性の向上」の割合が最も高くなっています。

次いで、男性では「公共施設や商業施設などの業務機能の集積」、女性では「まちな顔としてふさわしい景観づくり」となっています。



【凡例】

表左
↓
表右

- 花や緑による憩いの場の創出など駅前広場の整備
- まちな顔としてふさわしい景観づくり
- 公共施設や商業施設などの業務機能の集積
- 観光案内所など、観光客のおもてなし空間の整備
- デイサービスや保育所など、介護・保育施設の整備
- 中高層住居の整備
- 市内各所への交通利便性の向上
- 駐輪場や駐車場の整備
- その他
- 無回答

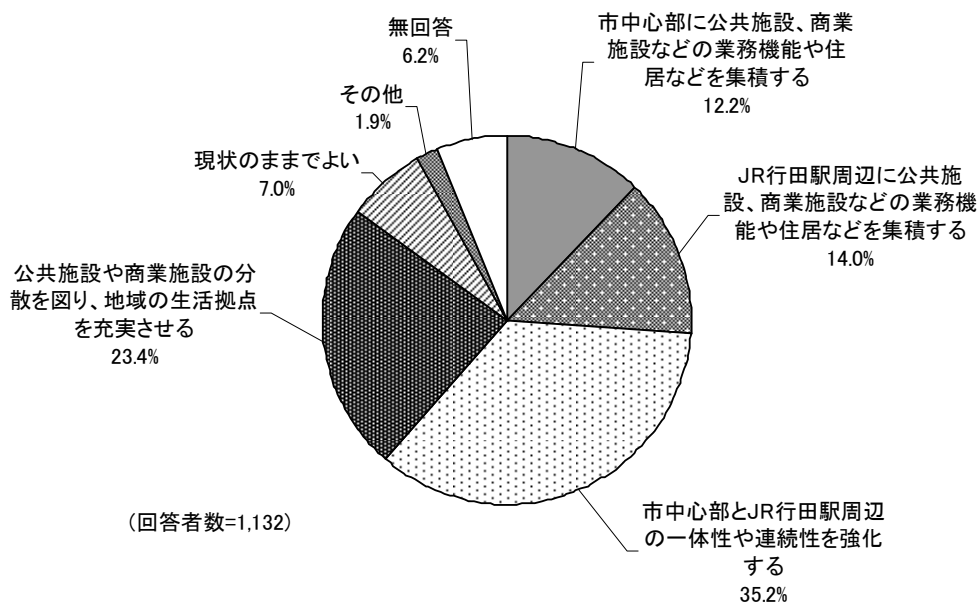
(N=回答者数)

問 15 あなたは、市における今後の拠点整備について、どのような方向が望ましいと思いますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

1. 市中心部に公共施設、商業施設などの業務機能や住居などを集積する
2. JR 行田駅周辺に公共施設、商業施設などの業務機能や住居などを集積する
3. 市中心部と JR 行田駅周辺の一体性や連続性を強化する
4. 公共施設や商業施設の分散を図り、地域の生活拠点を充実させる
5. 現状のままでよい
6. その他 ()

【全体】

市における今後の拠点整備の望ましい方向としては、「市中心部と JR 行田駅周辺の一体性や連続性を強化する」が 35.2%で最も多く、次いで「公共施設や商業施設の分散を図り、地域の生活拠点を充実させる」が 23.4%、「JR 行田駅周辺に公共施設、商業施設などの業務機能や住居などを集積する」が 14.0%となっています。

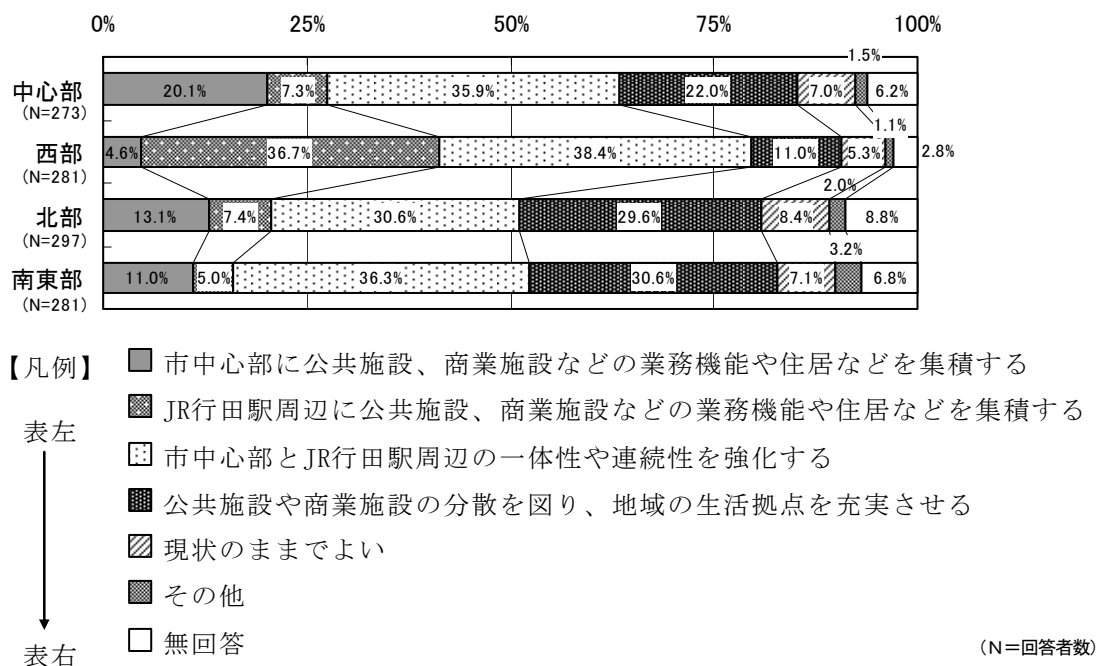


【地域別】



市における今後の拠点整備の望ましい方向について、地域別に見ると、いずれの地域でも「市中心部と JR 行田駅周辺の一体性や連続性を強化する」の割合が最も高くなっています。

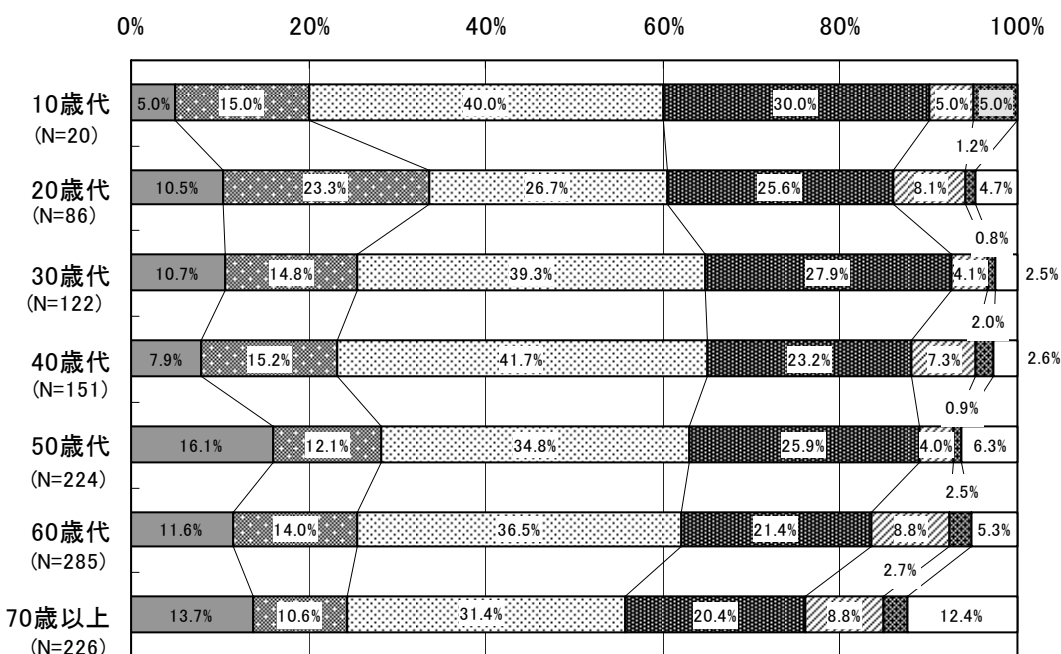
中心部では「市中心部に公共施設、商業施設などの業務機能や住居などを集積する」、西部では「JR 行田駅周辺に公共施設、商業施設などの業務機能や住居などを集積する」「市中心部と JR 行田駅周辺の一体性や連続性を強化する」、北部・南東部では「公共施設や商業施設の分散を図り、地域の生活拠点を充実させる」が他の地域と比較して割合が高くなっています。



【年代別】

市における今後の拠点整備の望ましい方向について、年代別に見ると、いずれの年代でも「市中心部とJR行田駅周辺の一体性や連続性を強化する」の割合が最も高く、次いで、「公共施設や商業施設の分散を図り、地域の生活拠点を充実させる」の割合が高くなっています。

子育て世代（20歳代～40歳代）では、20歳代で「JR行田駅周辺に公共施設、商業施設などの業務機能や住居などを集積する」、30歳代で「公共施設や商業施設の分散を図り、地域の生活拠点を充実させる」、40歳代で「市中心部とJR行田駅周辺の一体性や連続性を強化する」の割合が他の年代と比較して高くなっています。



【凡例】

表左

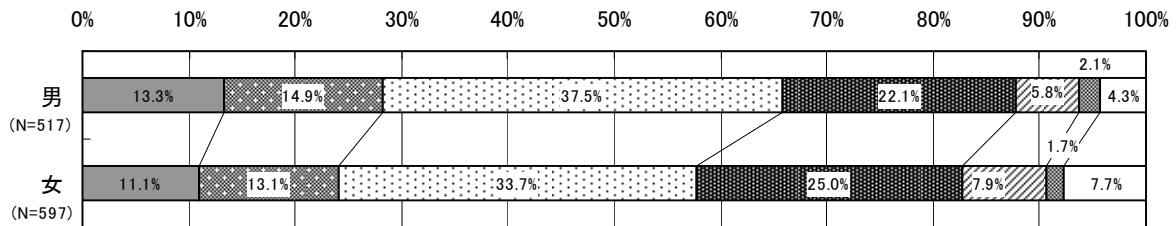
表右

- 市中心部に公共施設、商業施設などの業務機能や住居などを集積する
- ▨ JR行田駅周辺に公共施設、商業施設などの業務機能や住居などを集積する
- ▤ 市中心部とJR行田駅周辺の一体性や連続性を強化する
- 公共施設や商業施設の分散を図り、地域の生活拠点を充実させる
- ▧ 現状のままでよい
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

【性別】

市における今後の拠点整備の望ましい方向について、性別で見ると、男性では、「市中心部とJR行田駅周辺の一体性や連続性を強化する」の割合が女性より高く、女性では、「公共施設や商業施設の分散を図り、地域の生活拠点を充実させる」の割合が男性より高くなっています。



【凡例】

表左
↓
表右

- 市中心部に公共施設、商業施設などの業務機能や住居などを集積する
- JR行田駅周辺に公共施設、商業施設などの業務機能や住居などを集積する
- 市中心部とJR行田駅周辺の一体性や連続性を強化する
- 公共施設や商業施設の分散を図り、地域の生活拠点を充実させる
- 現状のままでよい
- その他
- 無回答

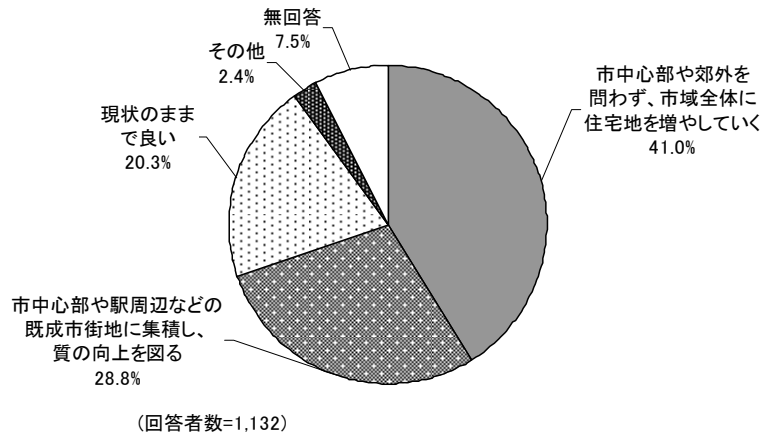
(N=回答者数)

問16 あなたは、今後の住宅地のあり方について、どのような方向が望ましいと思いますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

1. 市中心部や郊外を問わず、市域全体に住宅地を増やしていく
2. 市中心部や駅周辺などの既成市街地に集積し、質の向上を図る
3. 現状のままでよい
4. その他 ()

【全体】

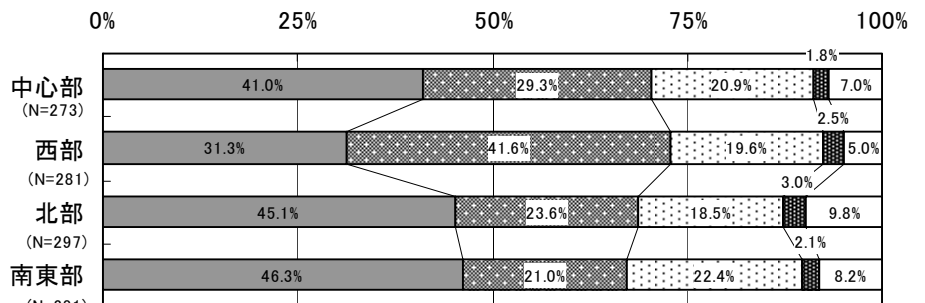
今後の住宅地の望ましいあり方としては、「市中心部や郊外を問わず、市域全体に住宅地を増やしていく」が41.0%で最も多く、次いで「市中心部や駅周辺などの既成市街地に集積し、質の向上を図る」が28.8%、「現状のままでよい」が20.3%となっています。



【地域別】



今後の住宅地の望ましいあり方について、地域別で見ると、西部では「市中心部や駅周辺などの既成市街地に集積し、質の向上を図る」、他の地域では「市中心部や郊外を問わず、市域全体に住宅地を増やしていく」の割合が最も高くなっています。



【凡例】

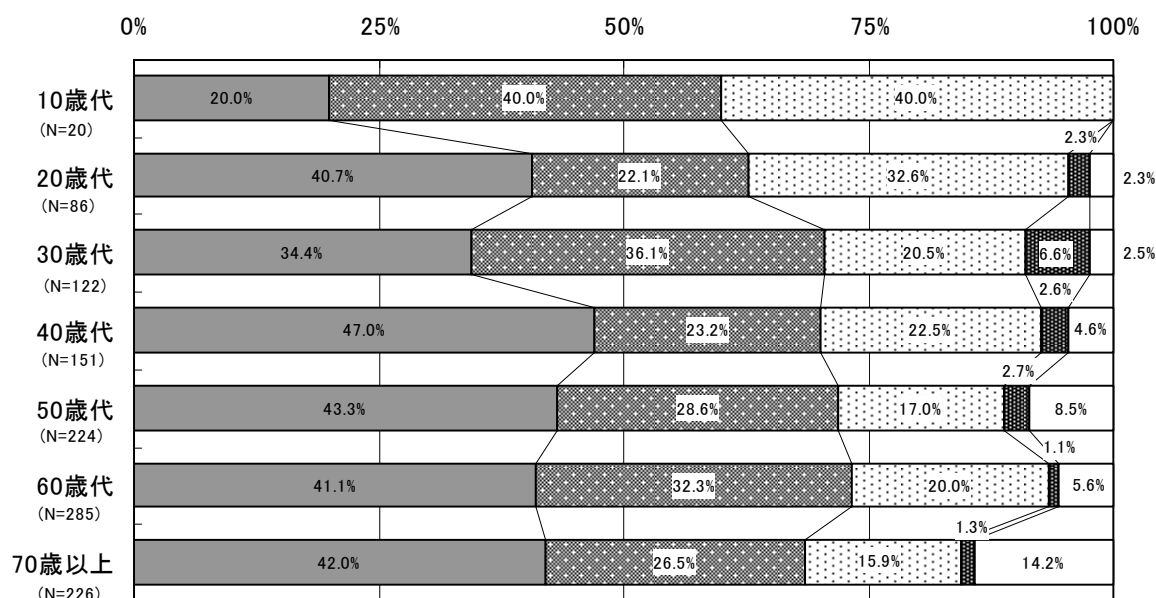
表左
↓
表右

- 市中心部や郊外を問わず、市域全体に住宅地を増やしていく
 - 市中心部や駅周辺などの既成市街地に集積し、質の向上を図る
 - 現状のままでよい
 - その他
 - 無回答
- (N=回答者数)

【年代別】

今後の住宅地の望ましいあり方について、年代別で見ると、10歳代では「市中心部や駅周辺などの規制市街地に集積し、質の向上を図る」「現状のままで良い」、30歳代では、「市中心部や駅周辺などの既成市街地に集積し、質の向上を図る」、他の年代では、「市中心部や郊外を問わず、市域全体に住宅地を増やしていく」の割合が最も高くなっています。

子育て世代（20歳代～40歳代）で、それぞれ異なった傾向が見られ、20歳代では、「現状のままで良い」、30歳代では「市中心部や駅周辺などの既成市街地に集積し、質の向上を図る」、40歳代では、「市中心部や郊外を問わず、市域全体に住宅地を増やしていく」の割合が他の年代と比較して高くなっています。



【凡例】

表左
↓
表右

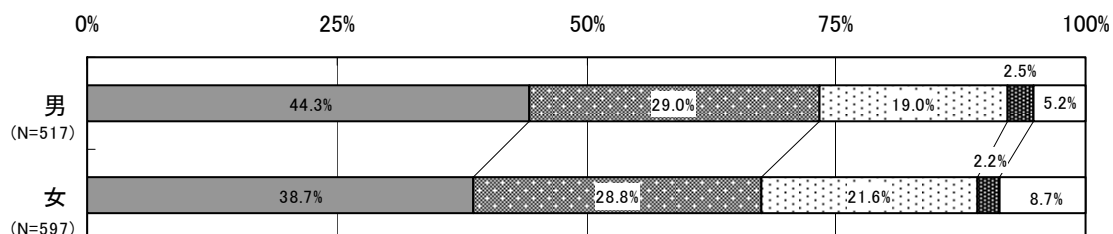
- 市中心部や郊外を問わず、市域全体に住宅地を増やしていく
- ▨ 市中心部や駅周辺などの既成市街地に集積し、質の向上を図る
- ▤ 現状のままで良い
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

【性別】

今後の住宅地の望ましいあり方について、性別で見ると、男性、女性とも「市中心部や郊外を問わず、市域全体に住宅地を増やしていく」の割合が最も高くなっています。

男性では、「市中心部や郊外を問わず、市域全体に住宅地を増やしていく」の割合が女性よりも高く、女性では、「現状のままで良い」の割合が男性よりもやや高くなっています。



【凡例】

表左
↓
表右

- 市中心部や郊外を問わず、市域全体に住宅地を増やしていく
- ▨ 市中心部や駅周辺などの既成市街地に集積し、質の向上を図る
- ▤ 現状のままで良い
- ▧ その他
- 無回答

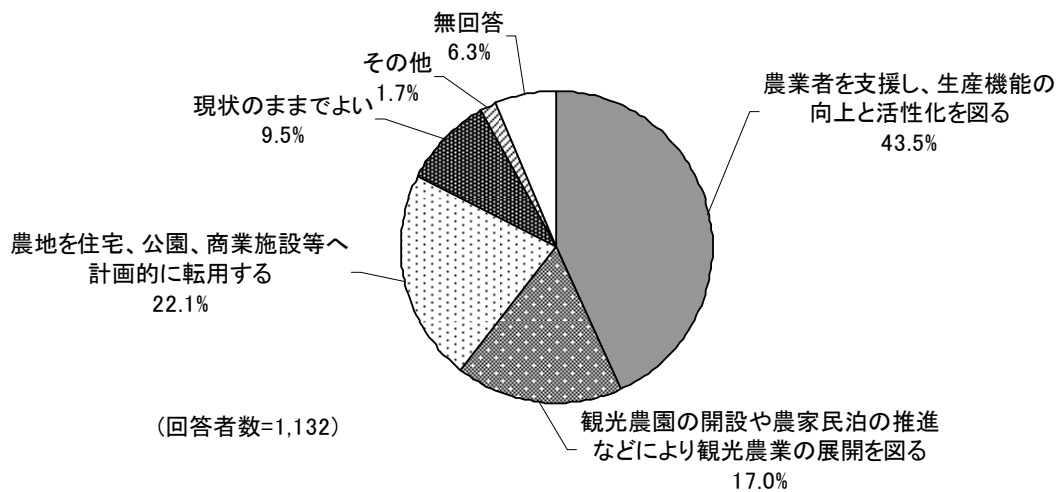
(N=回答者数)

問17 あなたは、今後の農地のあり方について、どのような方向が望ましいと思いますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

1. 農業者を支援し、生産機能の向上と活性化を図る
2. 観光農園の開設や農家民泊の推進などにより観光農業の展開を図る
3. 農地を住宅、公園、商業施設等へ計画的に転用する
4. 現状のままでよい
5. その他 ()

【全体】

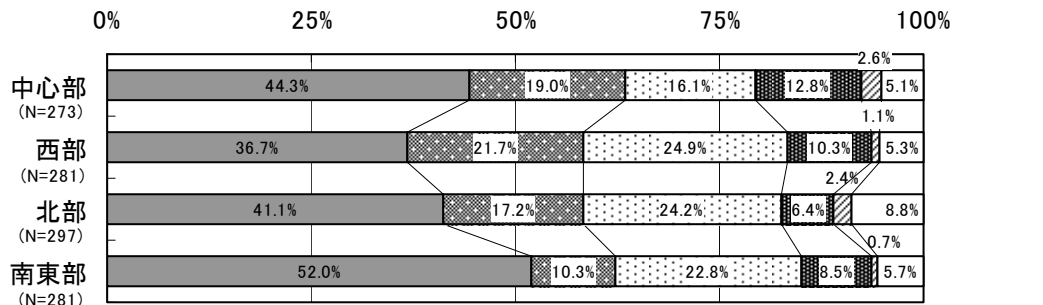
今後の農地の望ましいあり方としては、「農業者を支援し、生産機能の向上と活性化を図る」が43.5%で最も多く、次いで「農地を住宅、公園、商業施設等へ計画的に転用する」が22.1%、「観光農園の開設や農家民泊の推進などにより観光農業の展開を図る」が17.0%となっています。



【地域別】



今後の農地の望ましいあり方について、地域別に見ると、いずれの地域においても「農業者を支援し、生産機能の向上と活性化を図る」の割合が最も高くなっており、特に南東部で高くなっています。西部では、「観光農園の開設や農家民泊の推進などにより観光農業の展開を図る」「農地を住宅、公園、商業施設等へ計画的に転用する」の割合が、他の地域と比較して高くなっています。



【凡例】

表左
↓
表右

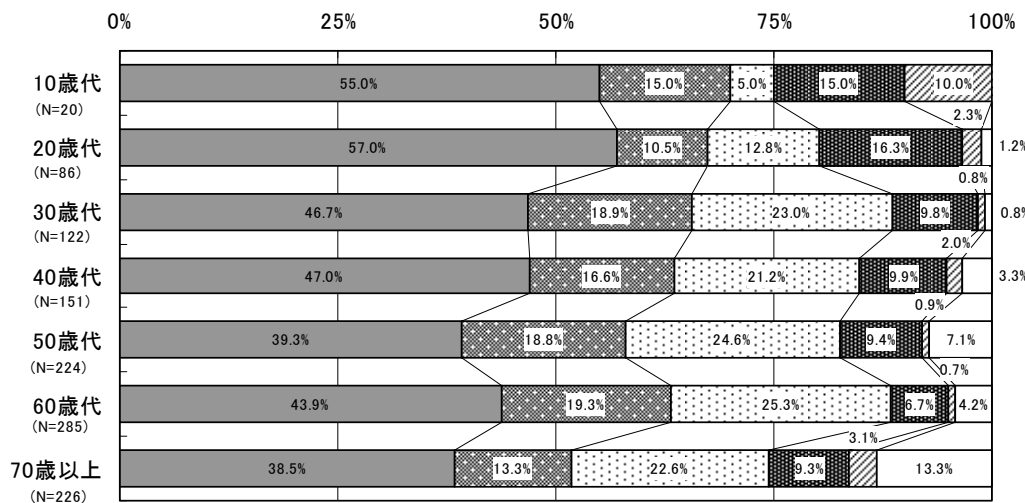
- 農業者を支援し、生産機能の向上と活性化を図る
- 観光農園の開設や農家民泊の推進などにより観光農業の展開を図る
- 農地を住宅、公園、商業施設等へ計画的に転用する
- 現状のままでよい
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

【年代別】

今後の農地の望ましいあり方について、年代別で見ると、いずれの年代でも「農業者を支援し、生産機能の向上と活性化を図る」が高くなっています。

子育て世代（20歳代～40歳代）では、20歳代で「農業者を支援し、生産機能の向上と活性化を図る」「現状のままで良い」、30歳代で「農地を住宅、公園、商業施設等へ計画的に転用する」の割合が他の年代と比較して高くなっています。



【凡例】

表左
↓
表右

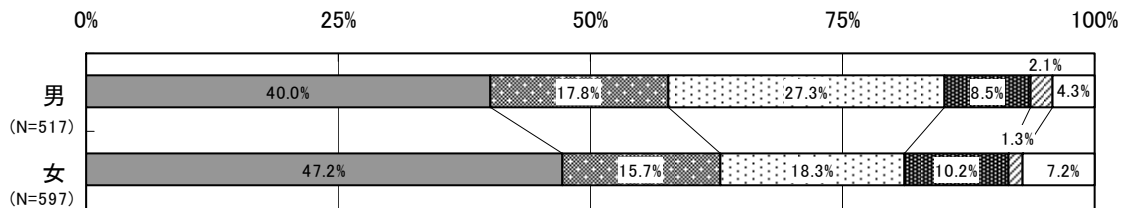
- 農業者を支援し、生産機能の向上と活性化を図る
- 観光農園の開設や農家民泊の推進などにより観光農業の展開を図る
- 農地を住宅、公園、商業施設等へ計画的に転用する
- 現状のままでよい
- その他
- 無回答

【性別】

(N=回答者数)

今後の農地の望ましいあり方について、性別で見ると、男性、女性ともに「農業者を支援し、生産機能の向上と活性化を図る」の割合が最も高くなっています。

男性では、「農地を住宅、公園、商業施設等へ計画的に転用する」の割合が女性より9.0ポイント高く、女性では「農業者を支援し、生産機能の向上と活性化を図る」の割合が男性より約7.2ポイント高くなっています。



【凡例】

表左
↓
表右

- 農業者を支援し、生産機能の向上と活性化を図る
- ▤ 観光農園の開設や農家民泊の推進などにより観光農業の展開を図る
- ▨ 農地を住宅、公園、商業施設等へ計画的に転用する
- ▩ 現状のままでよい
- ▧ その他
- 無回答

(N=回答者数)

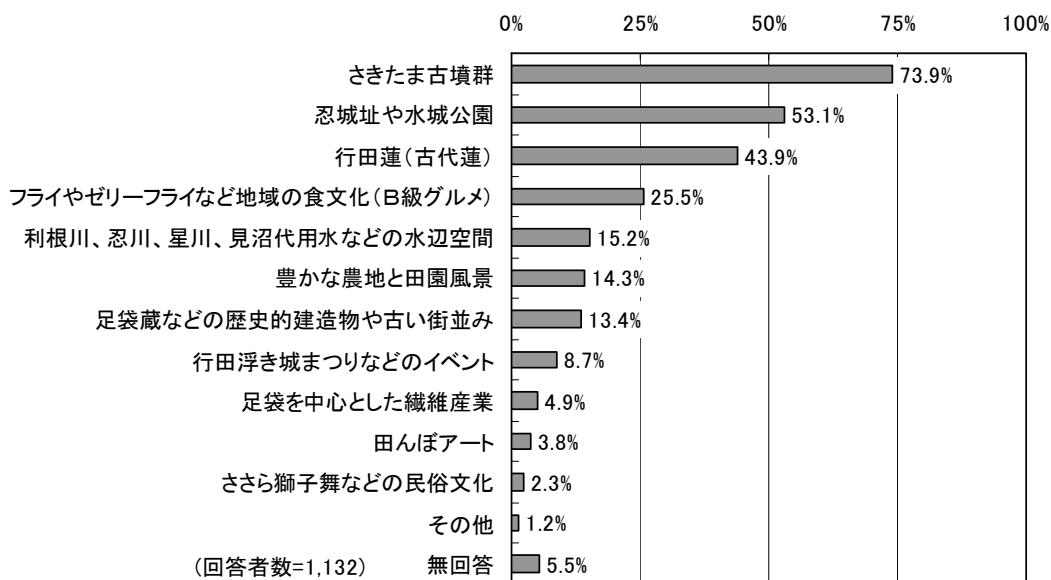
② 地域の資源をいかしたまちづくりについて

問 18 あなたは、市が誇れる地域の資源は何だと思いますか。
(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| 1. さきたま古墳群 | 7. 足袋を中心とした繊維産業 |
| 2. 忍城址や水城公園 | 8. 田んぼアート |
| 3. 足袋蔵などの歴史的建造物や古い街並み | 9. ささら獅子舞などの民俗文化 |
| 4. 豊かな農地と田園風景 | 10. 行田浮き城まつりなどのイベント |
| 5. 利根川、忍川、星川、見沼代用水などの水辺空間 | 11. フライやゼリーフライなど地域の食文化 (B級グルメ) |
| 6. 行田蓮 (古代蓮) | 12. その他 () |

【全体】

市が誇れる地域の資源については、「さきたま古墳群」が73.9%で最も多く、次いで、「忍城址や水城公園」が53.1%、「行田蓮 (古代蓮)」が43.9%となっています。

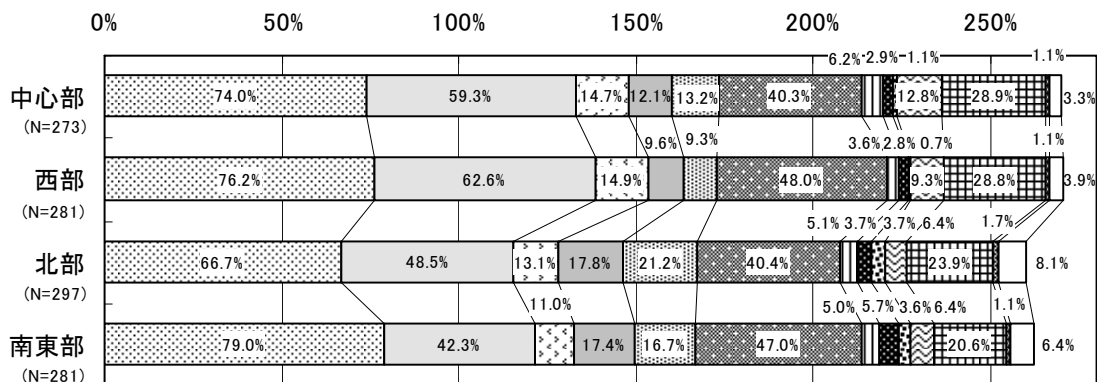


【地域別】



市が誇る地域資源について、地域別で見ると、いずれの地域でも「さきたま古墳群」の割合が最も高く、次いで、南東部では「行田蓮」、それ以外の地域では「忍城址や水城公園」となっています。その他、各地域において、相対的に割合の高い項目は以下の通りとなっています。

1. 中心部：「忍城址や水城公園」「行田浮き城まつりなどのイベント」「フライやゼリーフライなど地域の食文化（B級グルメ）」
2. 西部：「忍城址や水城公園」「行田蓮（古代蓮）」「フライやゼリーフライなど地域の食文化（B級グルメ）」
3. 北部：「豊かな農地と田園風景」「利根川、忍川、星川、見沼代用水などの水辺空間」
4. 南東部：「さきたま古墳群」「豊かな農地と田園風景」「行田蓮（古代蓮）」



【凡例】

表左

表右

- さきたま古墳群
- 忍城址や水城公園
- 足袋蔵などの歴史的建造物や古い街並み
- 豊かな農地と田園風景
- 利根川、忍川、星川、見沼代用水などの水辺空間
- 行田蓮（古代蓮）
- 足袋を中心とした繊維産業
- 田んぼアート
- ささら獅子舞などの民俗文化
- 行田浮き城まつりなどのイベント
- フライやゼリーフライなど地域の食文化（B級グルメ）
- その他
- 無回答

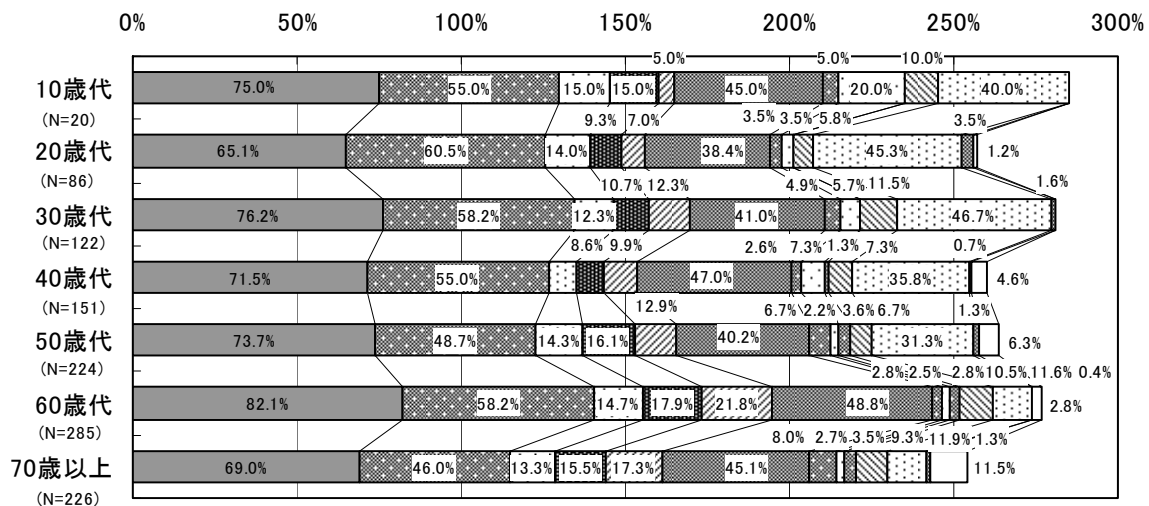
(N=回答者数)

【年代別】

市が誇る地域資源について、年代別で見ると、いずれの地域でも「さきたま古墳群」の割合が最も高く、次いで「忍城址や水城公園」となっています。

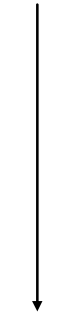
その他、各年代において、相対的に割合の高い項目は以下の通りとなっています。

- 10歳代：「田んぼアート」
「フライやゼリーフライなど地域の食文化（B級グルメ）」
- 20歳代：「忍城址や水城公園」
「フライやゼリーフライなど地域の食文化（B級グルメ）」
- 30歳代：「さきたま古墳群」「忍城址や水城公園」
「フライやゼリーフライなど地域の食文化（B級グルメ）」
- 40歳代：「さきたま古墳群」「行田蓮（古代蓮）」
- 50歳代：「さきたま古墳群」
- 60歳代：「さきたま古墳群」「豊かな農地と田園風景」
「利根川、忍川、星川、見沼代用水などの水辺空間」
「行田蓮（古代蓮）」
- 70歳以上：「豊かな農地と田園風景」
「利根川、忍川、星川、見沼代用水などの水辺空間」



【凡例】

表左



表右

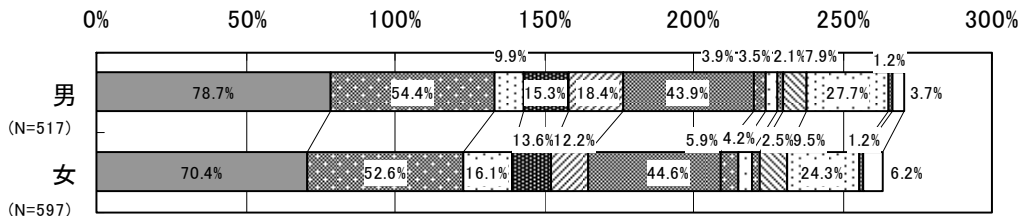
- さきたま古墳群
- 忍城址や水城公園
- 足袋蔵などの歴史的建造物や古い街並み
- 豊かな農地と田園風景
- 利根川、忍川、星川、見沼代用水などの水辺空間
- 行田蓮（古代蓮）
- 足袋を中心とした繊維産業
- 田んぼアート
- ささら獅子舞などの民俗文化
- 行田浮き城まつりなどのイベント
- フライやゼリーフライなど地域の食文化（B級グルメ）
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

【性別】

市が誇れる地域資源について、性別で見ると、男性、女性ともに、「さきたま古墳群」の割合が最も高く、次いで「忍城址や水城公園」となっています。

項目を個別に見ると、男性では、「さきたま古墳群」「利根川、忍川、星川、見沼代用水などの水辺空間」の割合が女性よりも高く、女性では「足袋蔵などの歴史的建造物や古い街並み」の割合が男性よりも高くなっています。



【凡例】

表左

↓
表右

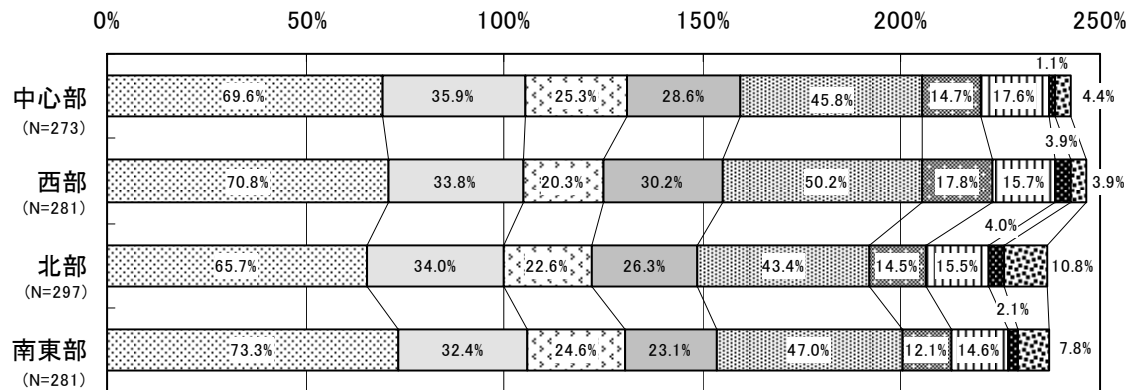
- さきたま古墳群
- 忍城址や水城公園
- 足袋蔵などの歴史的建造物や古い街並み
- 豊かな農地と田園風景
- 利根川、忍川、星川、見沼代用水などの水辺空間
- 行田蓮（古代蓮）
- 足袋を中心とした繊維産業
- たんぼアート
- ささら獅子舞などの民俗文化
- 行田浮き城まつりなどのイベント
- フライやゼリーフライなど地域の食文化（B級グルメ）
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

【地域別】



地域の資源を活かしたまちづくりに必要な取組みについて、地域別で見ると、いずれの地域も「さきたま古墳群など市を代表する文化財等の重点的な保全と活用」の割合が最も高く、次いで「地域資源を結ぶ道路やサイクリングロード、公共交通機関の充実」となっており、大きな違いは見られません。



【凡例】

表左

表右

- さきたま古墳群など市を代表する文化財等の重点的な保全と活用
- 足袋蔵などの歴史的建造物等を活用した、行田らしい街並みの創出
- 市独自の伝統・民俗文化や生活文化の維持・伝承
- 地域資源に付加価値をつけた観光資源の創出と発掘
- 地域資源を結ぶ道路やサイクリングロード、公共交通機関の充実
- 案内板や観光案内所など、情報提供体制の充実
- 市民ボランティアガイド等、市民主体の観光まちづくりの推進
- その他
- 無回答

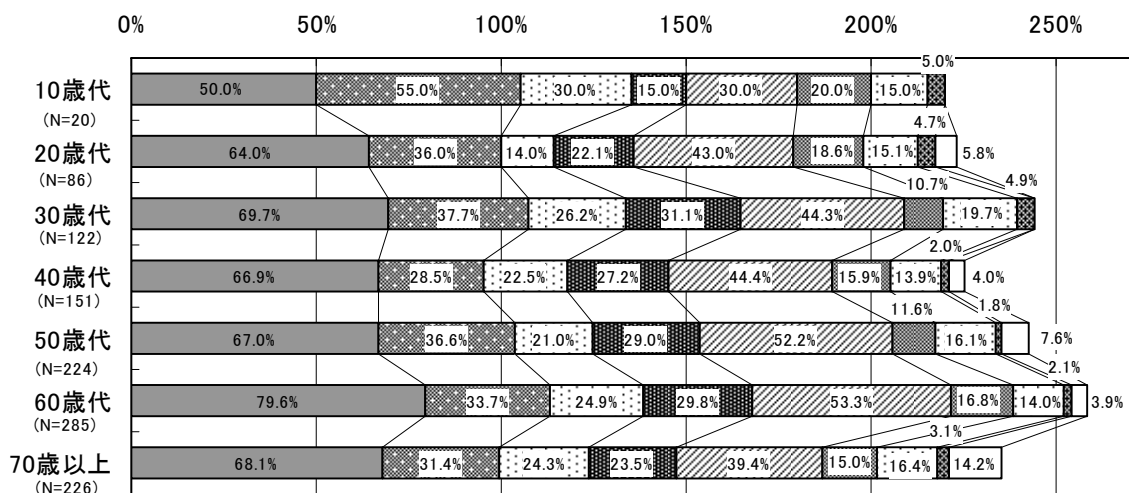
(N=回答者数)

【年代別】

地域の資源を活かしたまちづくりに必要な取組みについて、年代別で見ると、いずれの年代においても「さきたま古墳群など市を代表する文化財等の重点的な保全と活用」の割合が最も高く、次いで「地域資源を結ぶ道路やサイクリングロード、公共交通機関の充実」となっています。

その他、各年代において、他の年代と比較して割合の高い項目は以下のとおりとなっています。

- 10歳代：「足袋蔵などの歴史的建造物等を活用した、行田らしい街並みの創出」
- 20歳代：「案内板や観光案内所など、情報提供体制の充実」
- 30歳代：「地域資源に付加価値をつけた観光資源の創出と発掘」「市民ボランティアガイド等、市民主体の観光まちづくりの推進」
- 40歳代：特になし
- 50歳代：「地域資源を結ぶ道路やサイクリングロード、公共交通機関の充実」
- 60歳代：「さきたま古墳群など市を代表する文化財等の重点的な保全と活用」「地域資源を結ぶ道路やサイクリングロード、公共交通機関の充実」
- 70歳以上：特になし



【凡例】

表左

↓
表右

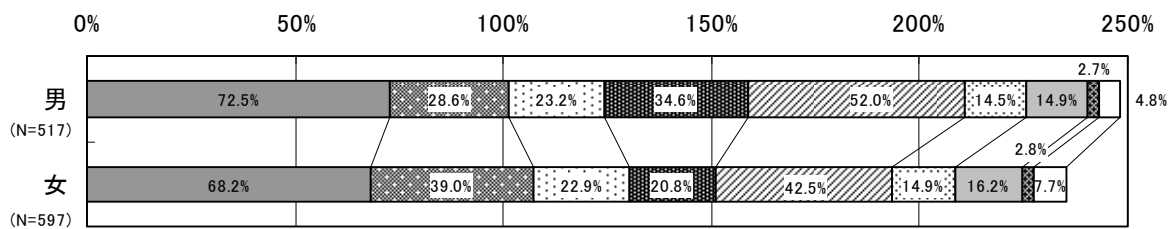
- さきたま古墳群など市を代表する文化財等の重点的な保全と活用
- 足袋蔵などの歴史的建造物等を活用した、行田らしい街並みの創出
- 市独自の伝統・民俗文化や生活文化の維持・伝承
- 地域資源に付加価値をつけた観光資源の創出と発掘
- 地域資源を結ぶ道路やサイクリングロード、公共交通機関の充実
- 案内板や観光案内所など、情報提供体制の充実
- 市民ボランティアガイド等、市民主体の観光まちづくりの推進
- その他

(N=回答者数)

【性別】

地域の資源を活かしたまちづくりに必要な取組みについて、性別で見ると、男性、女性ともに「さきたま古墳群など市を代表する文化財等の重点的な保全と活用」の割合が最も高く、次いで「地域資源を結ぶ道路やサイクリングロード、公共交通機関の充実」となっています。

男性では、「さきたま古墳群など市を代表する文化財等の重点的な保全と活用」「地域資源に付加価値をつけた観光資源の創出と発掘」「地域資源を結ぶ道路やサイクリングロード、公共交通機関の充実」の割合が女性よりも高く、女性では、「足袋蔵などの歴史的建造物等を活用した、行田らしい街並みの創出」の割合が男性よりも高くなっています。



【凡例】

表左

↓
表右

- さきたま古墳群など市を代表する文化財等の重点的な保全と活用
- 足袋蔵などの歴史的建造物等を活用した、行田らしい街並みの創出
- 市独自の伝統・民俗文化や生活文化の維持・伝承
- 地域資源に付加価値をつけた観光資源の創出と発掘
- 地域資源を結ぶ道路やサイクリングロード、公共交通機関の充実
- 案内板や観光案内所など、情報提供体制の充実
- 市民ボランティアガイド等、市民主体の観光まちづくりの推進
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

③ 景観づくりについて

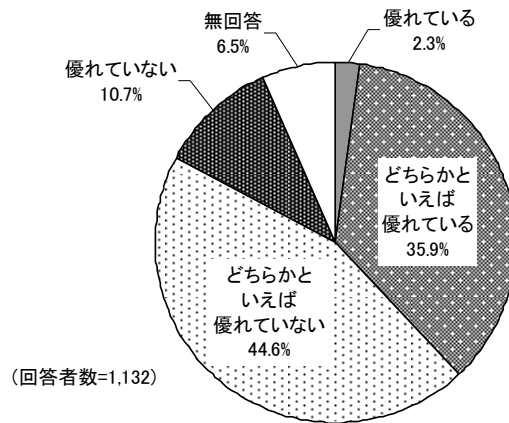
問 20 あなたは、市の景観についてどう思いますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- 1. 優れている
- 2. どちらかといえば優れている
- 3. どちらかといえば優れていない
- 4. 優れていない

【全体】

市の景観については、「どちらかといえば優れていない」が44.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば優れている」が35.9%となっています。

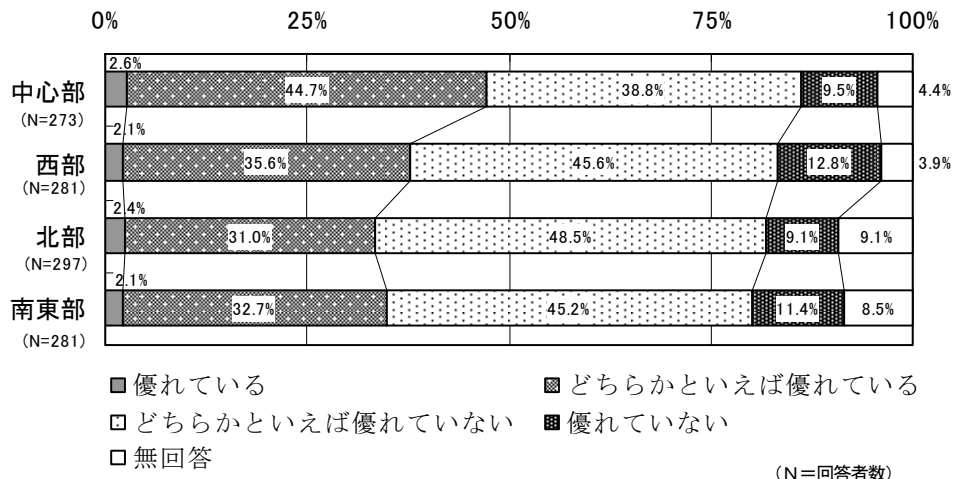
「どちらかといえば優れていない」と「優れていない」を合わせると55.3%となります。



【地域別】



市の景観について、地域別で見ると、中心部では、「優れている」「どちらかといえば優れている」を合わせた割合が、他の地域と比較して高くなっています。

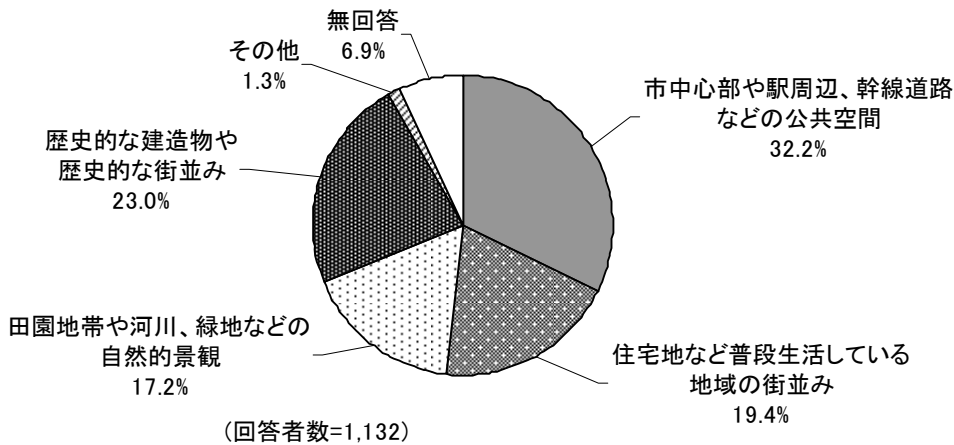


問 21 あなたは、市において、景観の向上が特に必要なのは、次のうちどれだと思いますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

1. 市中心部や駅周辺、幹線道路などの公共空間
2. 住宅地など普段生活している地域の街並み
3. 田園地帯や河川、緑地などの自然的景観
4. 歴史的な建造物や歴史的な街並み
5. その他 ()

【全体】

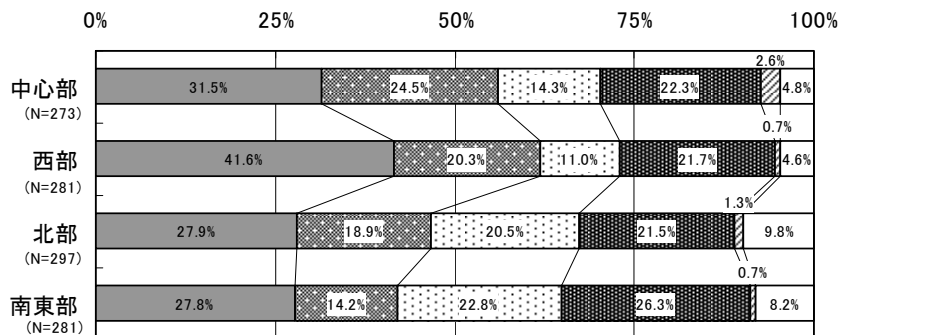
特に向上が必要な市の景観については、「市中心部や駅周辺、幹線道路などの公共空間」が32.2%で最も多く、次いで「歴史的な建造物や歴史的な街並み」が23.0%、「住宅地など普段生活している地域の街並み」が19.4%となっています。



【地域別】



特に向上が必要な市の景観について、地域別で見ると、いずれの地域でも「市中心部や駅周辺、幹線道路などの公共空間」の割合が最も高くなっています。また、中心部では「住宅地など普段生活している地域の街並み」、西部では「市中心部や駅周辺、幹線道路などの公共空間」、南東部では「田園地帯や河川、緑地などの自然的景観」「歴史的な建造物や歴史的な街並み」の割合が、他の地域と比較して高くなっています。



【凡例】

- 市中心部や駅周辺、幹線道路などの公共空間
- 住宅地など普段生活している地域の街並み
- 田園地帯や河川、緑地などの自然的景観
- 歴史的な建造物や歴史的な街並み
- その他
- 無回答

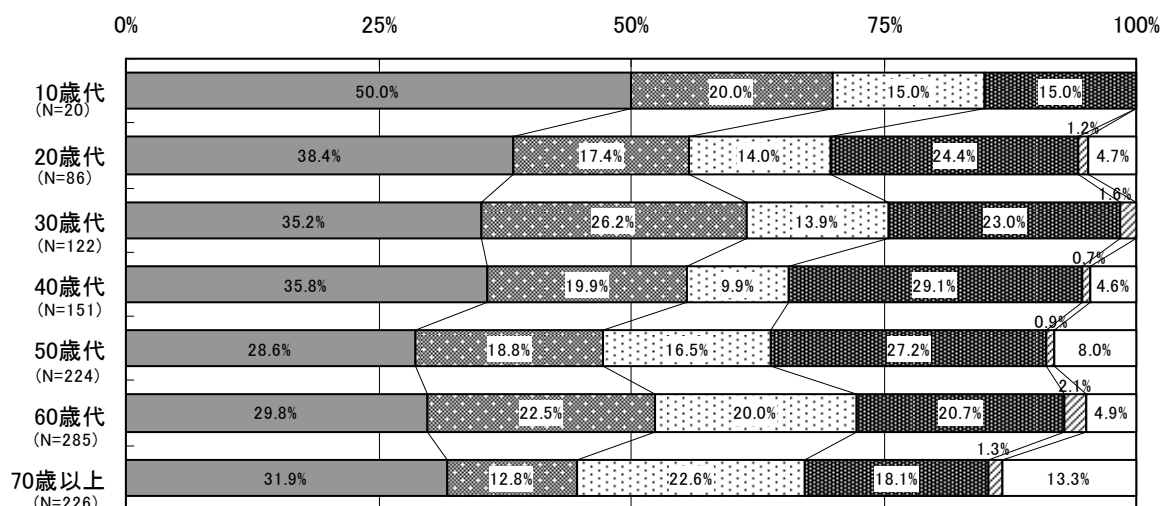
表左 ↓ 表右

(N=回答者数)

【年代別】

特に向上が必要な市の景観について、年代別で見ると、いずれの年代でも「市中心部や駅周辺、幹線道路などの公共空間」の割合が最も高く、特に10歳代で高くなっています。

子育て世代（20歳代～40歳代）では、20歳代で「市中心部や駅周辺、幹線道路などの公共空間」、30歳代で「住宅地など普段生活している地域の街並み」、40歳代で「歴史的な建造物や歴史的な街並み」の割合が他の世代と比較して高くなっています。



【凡例】

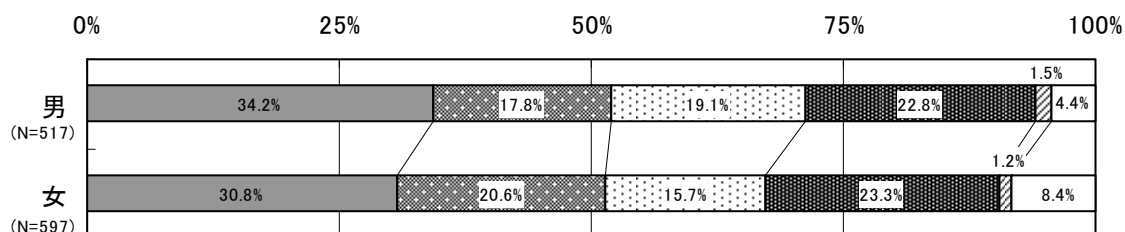
表左
↓
表右

- 市中心部や駅周辺、幹線道路などの公共空間
- 住宅地など普段生活している地域の街並み
- 田園地帯や河川、緑地などの自然的景観
- 歴史的な建造物や歴史的な街並み
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

【性別】

特に向上が必要な市の景観について、性別で見ると、男性では、「市中心部や駅周辺、幹線道路などの公共空間」「田園地帯や河川、緑地などの自然的景観」の割合が女性よりも高く、女性では、「住宅地など普段生活している地域の街並み」「歴史的な建造物や歴史的な街並み」の割合が男性よりもやや高くなっています。



【凡例】

表左
↓
表右

- 市中心部や駅周辺、幹線道路などの公共空間
- 住宅地など普段生活している地域の街並み
- 田園地帯や河川、緑地などの自然的景観
- 歴史的な建造物や歴史的な街並み
- その他
- 無回答

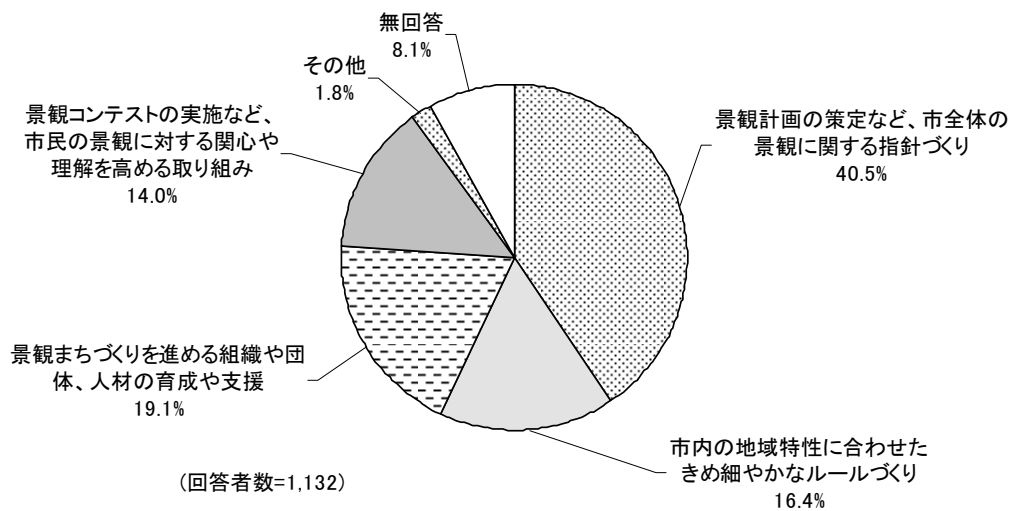
(N=回答者数)

問 22 あなたは、市の景観づくりを進める上で、特に必要な取組みは何だと思えますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

1. 景観計画の策定など、市全体の景観に関する指針づくり
2. 市内の地域特性に合わせたきめ細やかなルールづくり
3. 景観まちづくりを進める組織や団体、人材の育成や支援
4. 景観コンテストの実施など、市民の景観に対する関心や理解を高める取組み
5. その他 ()

【全体】

市の景観づくりを進める上で特に必要な取組みについては、「景観計画の策定など、市全体の景観に関する指針づくり」が40.5%で最も多く、次いで、「景観まちづくりを進める組織や団体、人材の育成や支援」が19.1%、「市内の地域特性に合わせたきめ細やかなルールづくり」が16.4%となっています。

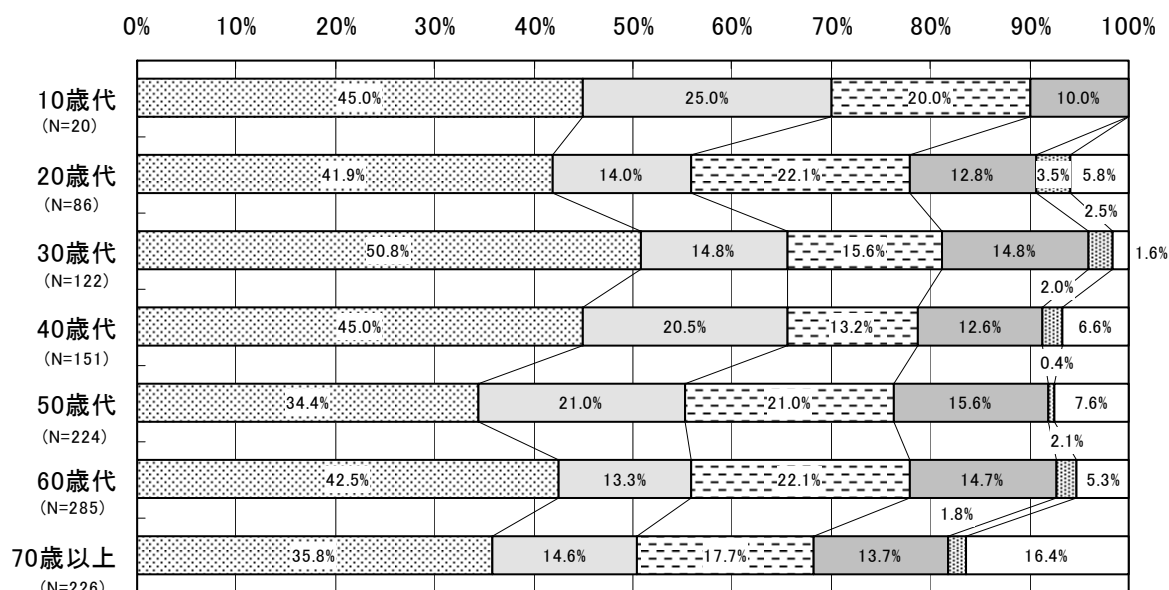


【年代別】

市の景観づくりを進める上で特に必要な取組みについて、年代別で見ると、全ての年代、特に30歳代では「景観計画の策定など、市全体の景観に関する指針づくり」の割合が最も高くなっています。

また、40歳代～50歳代では「市内の地域特性に合わせたきめ細やかなルールづくり」、50歳代～60歳代では「景観まちづくりを進める組織や団体、人材の育成や支援」の割合が他の年代と比較して高くなっています。

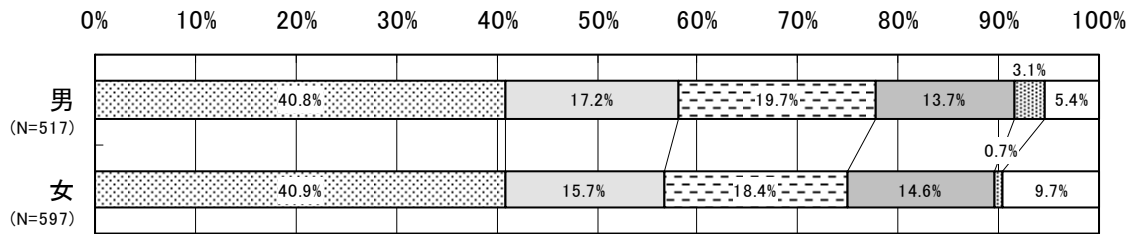
子育て世代（20歳代～40歳代）では、「景観計画策定など、市全体の景観に関する指針づくり」、特に、20歳代では、「景観まちづくりを進める組織や団体、人材の育成や支援」の割合が他の年代と比較して高くなっています。



- 【凡例】
- 景観計画の策定など、市全体の景観に関する指針づくり
 - 市内の地域特性に合わせたきめ細やかなルールづくり
 - 景観まちづくりを進める組織や団体、人材の育成や支援
 - 景観コンテストの実施など、市民の景観に対する関心や理解を高める取り組み
 - その他
 - 無回答
- 表左
↓
表右
- (N=回答者数)

【性別】

市の景観づくりを進める上で特に必要な取組みについて、性別で見ると、男性、女性とも「景観計画の策定など、市全体の景観に関する指針づくり」の割合が最も高く、次いで、「景観まちづくりを進める組織や団体、人材の育成や支援」となっており、男女間による大きな差は見られません。



- 【凡例】
- 景観計画の策定など、市全体の景観に関する指針づくり
 - 市内の地域特性に合わせたきめ細やかなルールづくり
 - 景観まちづくりを進める組織や団体、人材の育成や支援
 - 景観コンテストの実施など、市民の景観に対する関心や理解を高める取り組み
 - その他
 - 無回答
- 表左 ↓ 表右 (N=回答者数)

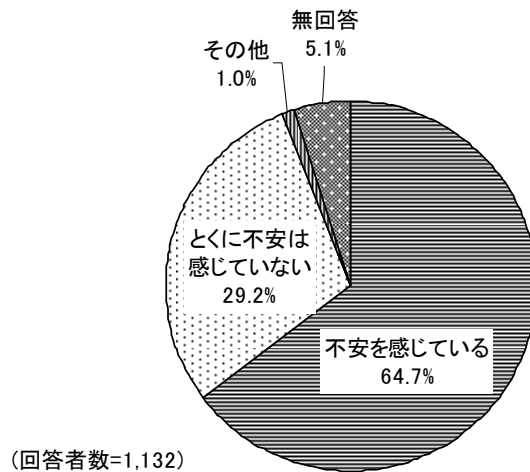
④ 自然災害に強いまちづくりについて

問 23 あなたは、地震や台風被害などの自然災害に対する不安を感じていますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

1. 不安を感じている
2. とくに不安は感じていない
3. その他 ()

【全体】

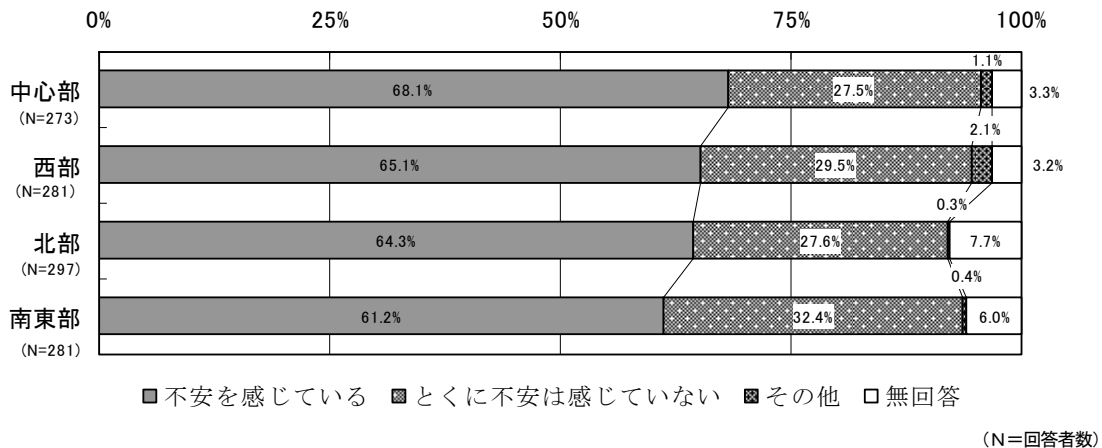
地震や台風被害などの自然災害に対して、「不安を感じている」が64.7%、「とくに不安は感じていない」が29.2%で、不安を感じている人の割合が高くなっています。



【地域別】

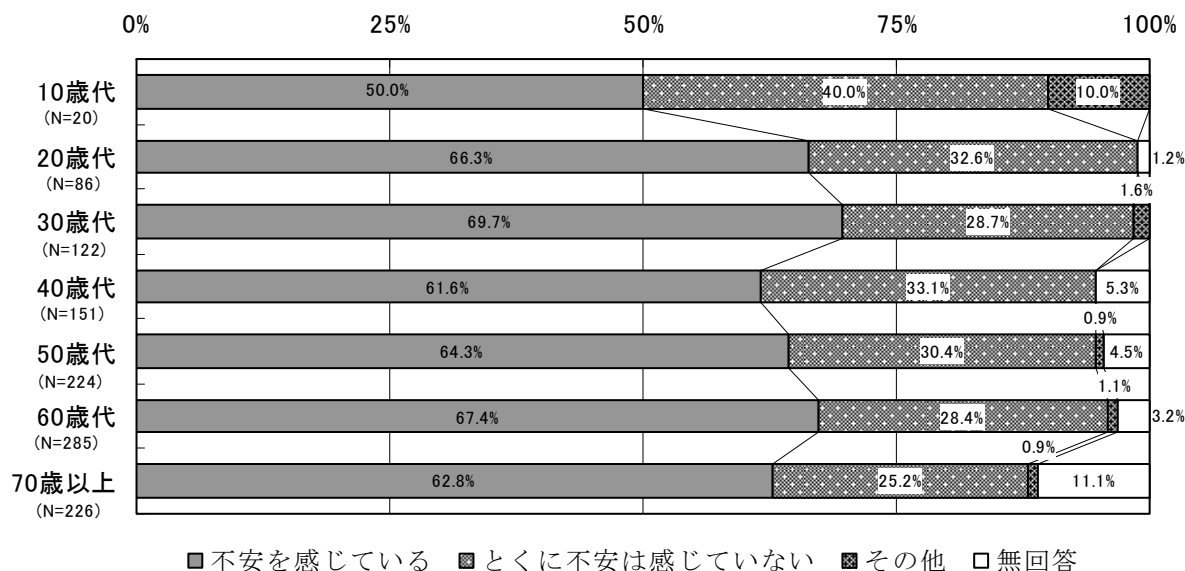


地震や台風被害などの自然災害に対して不安を感じるかについて、地域別に見ると、中心部において「不安を感じている」割合が最も高く、次いで西部、北部、南東部の順になっています。



【年代別】

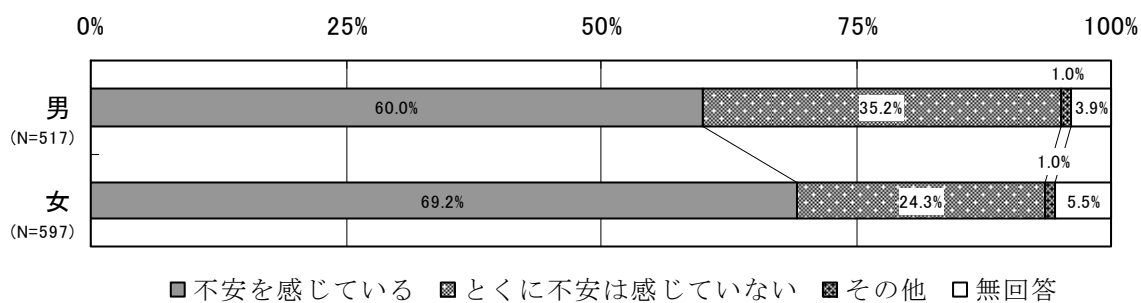
地震や台風被害などの自然災害に対して不安を感じるかについて、年代別に見ると、20歳代、30歳代、60歳代では「不安を感じている」割合が他の年代と比較して高くなっています。



(N=回答者数)

【性別】

地震や台風被害などの自然災害に対して不安を感じるかについて、性別で見ると、女性では「不安を感じている」割合が男性よりも9.2ポイント高くなっています。



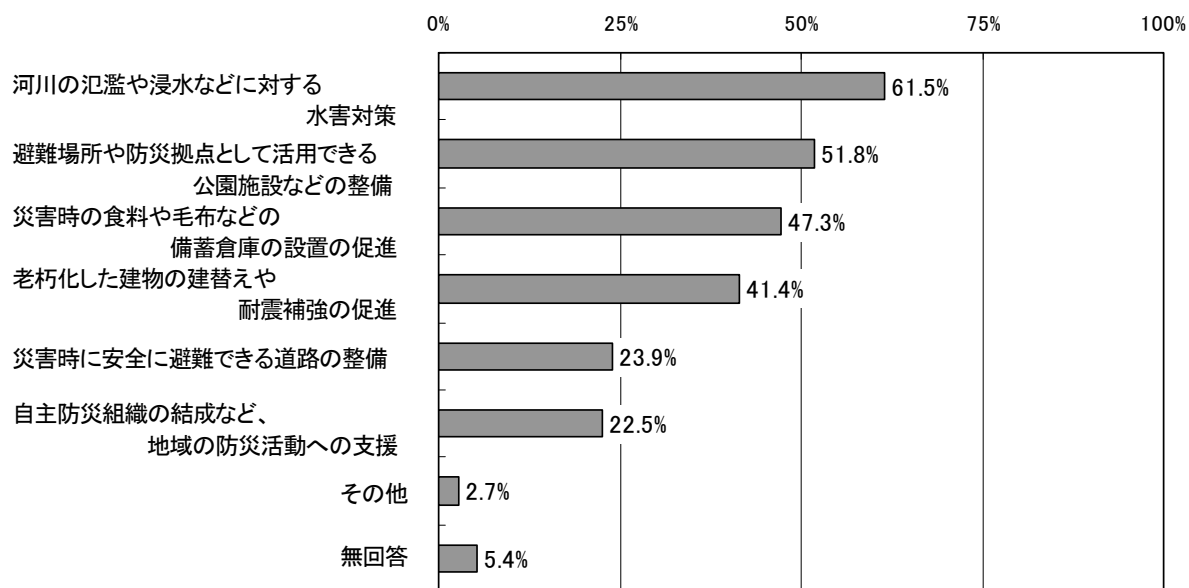
(N=回答者数)

問 24 あなたは、災害に強いまちづくりを進めるため、どのようなことが必要だと思いますか。
(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

1. 老朽化した建物の建替えや耐震補強の促進
2. 河川の氾濫や浸水などに対する水害対策
3. 自主防災組織の結成など、地域の防災活動への支援
4. 避難場所や防災拠点として活用できる公園施設などの整備
5. 災害時の食料や毛布などの備蓄倉庫の設置の促進
6. 災害時に安全に避難できる道路の整備
7. その他 ()

【全体】

災害に強いまちづくりを進めるために必要な取組みとして、「河川の氾濫や浸水などに対する水害対策」が61.5%で最も多く、次いで「避難場所や防災拠点として活用できる公園施設などの整備」が51.8%、「災害時の食料や毛布などの備蓄倉庫の設置の促進」が47.3%となっています。

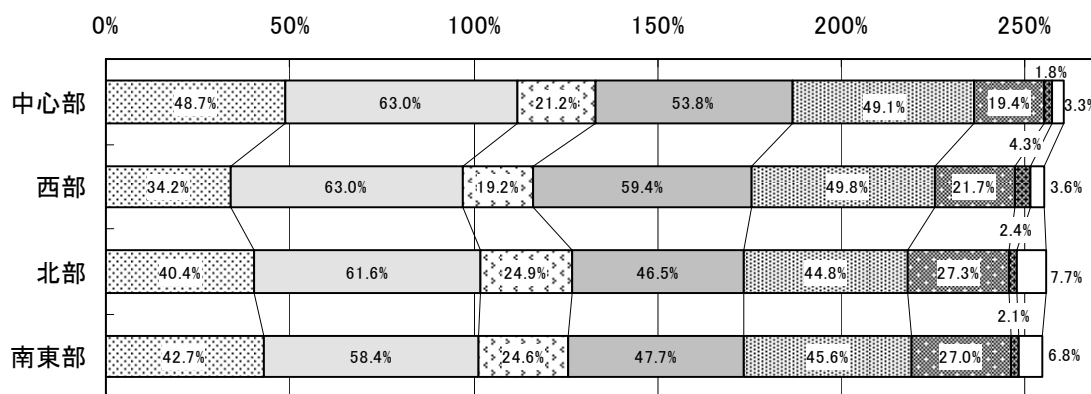


【地域別】



災害に強いまちづくりを進めるために必要な取組みについて、地域別で見ると、いずれの地域でも「河川の氾濫や浸水などに対する水害対策」の割合が最も高く、次いで、「避難場所や防災拠点として活用できる公園施設などの整備」となっています。

中心部では「老朽化した建物の建替えや耐震補強の促進」「河川の氾濫や浸水などに対する水害対策」、西部では「避難場所や防災拠点として活用できる公園施設などの整備」「災害時の食料や毛布などの備蓄倉庫の設置の促進」「河川の氾濫や浸水などに対する水害対策」、北部および南東部では「災害時に安全に避難できる道路の整備」の割合が、他の地域と比較して高くなっています。



【凡例】

表左

表右

- 老朽化した建物の建替えや耐震補強の促進
- 河川の氾濫や浸水などに対する水害対策
- 自主防災組織の結成など、地域の防災活動への支援
- 避難場所や防災拠点として活用できる公園施設などの整備
- 災害時の食料や毛布などの備蓄倉庫の設置の促進
- 災害時に安全に避難できる道路の整備
- その他
- 無回答

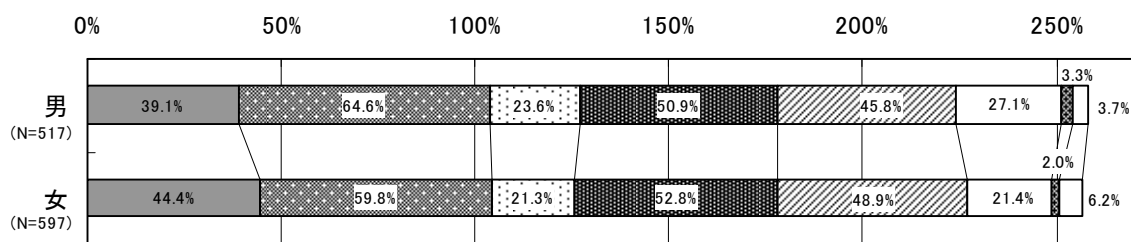
(N=回答者数)

【年代別】

災害に強いまちづくりを進めるために必要な取組みについて、年代別で見ると、10歳代では、「老朽化した建物の建替えや耐震補強の促進」、20歳代および40歳代では「災害時の食料や毛布などの備蓄倉庫の設置の促進」、それ以外の年代では、「河川の氾濫や浸水などに対する水害対策」の割合が高くなっています。

また、「老朽化した建物の建替えや耐震補強の促進」の割合は年代が低くなるほど高くなる傾向が見られます。

子育て世代（20歳代～40歳代）では、20歳代および40歳代で「災害時の食料や毛布などの備蓄倉庫の設置の促進」、30歳代で「河川の氾濫や浸水などに対する水害対策」の割合が他の年代と比較して高くなっています。



【凡例】

表左
↓
表右

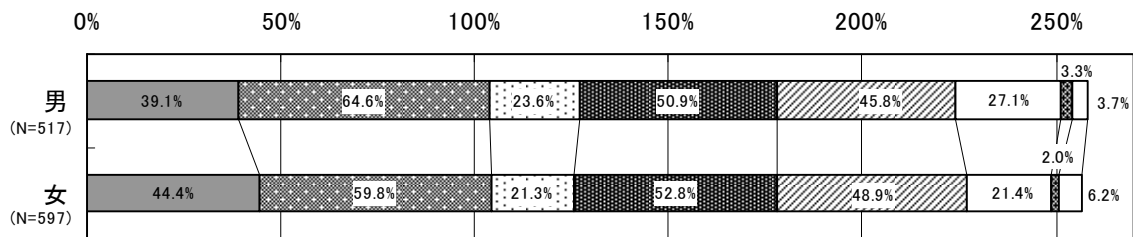
- 老朽化した建物の建替えや耐震補強の促進
- 河川の氾濫や浸水などに対する水害対策
- 自主防災組織の結成など、地域の防災活動への支援
- 避難場所や防災拠点として活用できる公園施設などの整備
- 災害時の食料や毛布などの備蓄倉庫の設置の促進
- 災害時に安全に避難できる道路の整備
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

【性別】

災害に強いまちづくりを進めるために必要な取組みについて、性別で見ると、男性、女性ともに「河川の氾濫や浸水などに対する水害対策」の割合が最も高く、次いで、「避難場所や防災拠点として活用できる公園施設などの整備」となっています。

男性では、「河川の氾濫や浸水などに対する水害対策」「災害時に安全に避難できる道路の整備」の割合が女性よりも高く、女性では、「老朽化した建物の建替えや耐震補強の促進」「避難場所や防災拠点として活用できる公園施設などの整備」「災害時の食料や毛布などの備蓄倉庫の設置の促進」の割合が男性よりもやや高めになっています。



【凡例】

表左
↓
表右

- 老朽化した建物の建替えや耐震補強の促進
- 河川の氾濫や浸水などに対する水害対策
- 自主防災組織の結成など、地域の防災活動への支援
- 避難場所や防災拠点として活用できる公園施設などの整備
- 災害時の食料や毛布などの備蓄倉庫の設置の促進
- 災害時に安全に避難できる道路の整備
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

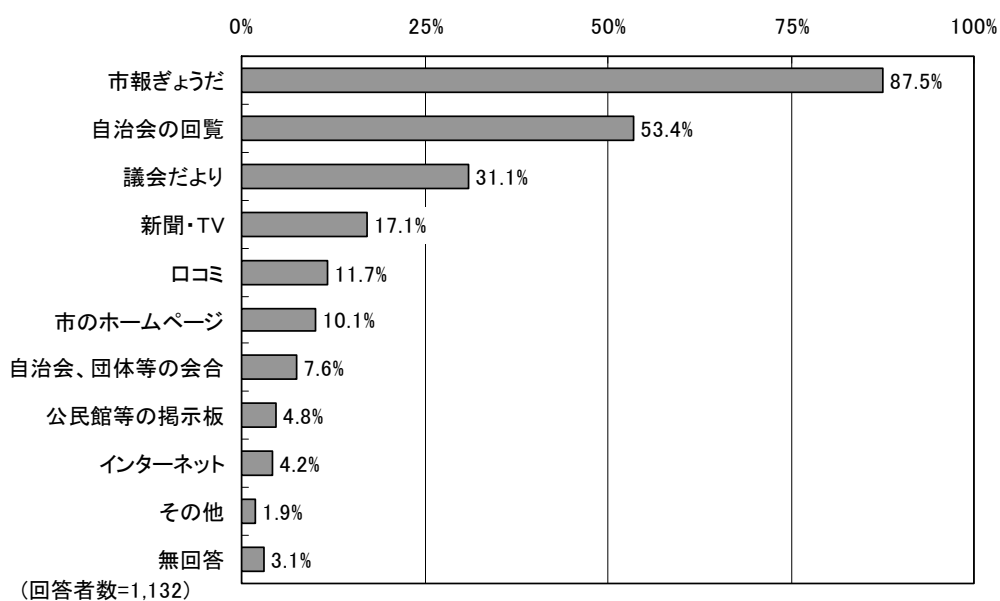
4. まちづくりへの関心・参加意向について

問 25 あなたは、都市計画やまちづくりにおいて、主に何から情報を得ていますか。
(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

- | | | | |
|-------------|---------------|------------|-------------|
| 1. 市報ぎょうだ | 4. 自治会の回覧 | 7. 新聞・TV | 10. その他 () |
| 2. 議会だより | 5. 公民館等の掲示板 | 8. インターネット | |
| 3. 市のホームページ | 6. 自治会、団体等の会合 | 9. ロコミ | |

【全体】

都市計画やまちづくりに関する情報源としては、「市報ぎょうだ」が87.5%で最も多く、次いで「自治会の回覧」が53.4%、「議会だより」が31.1%となっています。

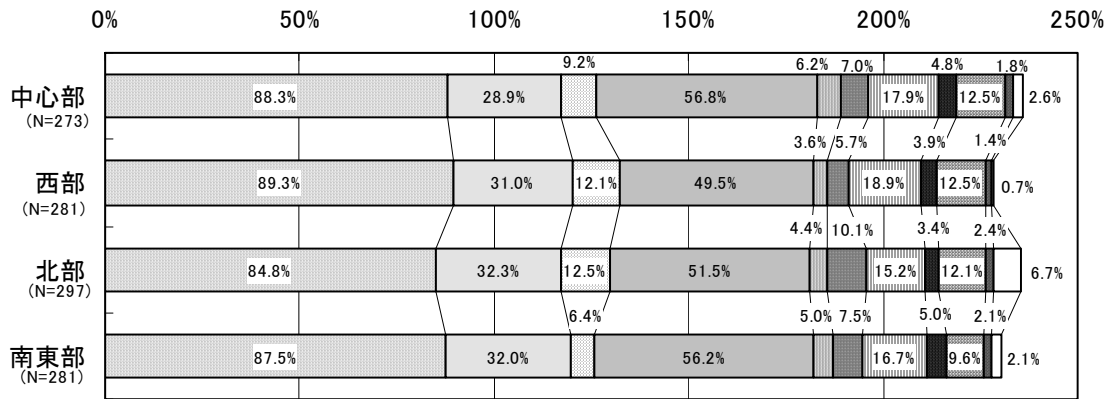


【地域別】



都市計画やまちづくりにおける主な情報源について、地域別に見ると、いずれの地域でも「市報ぎょうだ」の割合が最も高く、次いで「自治会の回覧」となっています。

中心部では、「市報ぎょうだ」「自治会の回覧」、西部では「市報ぎょうだ」「新聞・TV」、北部では「議会だより」、南東部では「議会だより」「自治会の回覧」の割合が他の地域と比較して高くなっています。



【凡例】

表左
↓
表右

- 市報ぎょうだ
- 議会だより
- 市のホームページ
- 自治会の回覧
- 公民館等の掲示板
- 自治会、団体等の会合
- 新聞・TV
- インターネット
- 口コミ
- その他
- 無回答

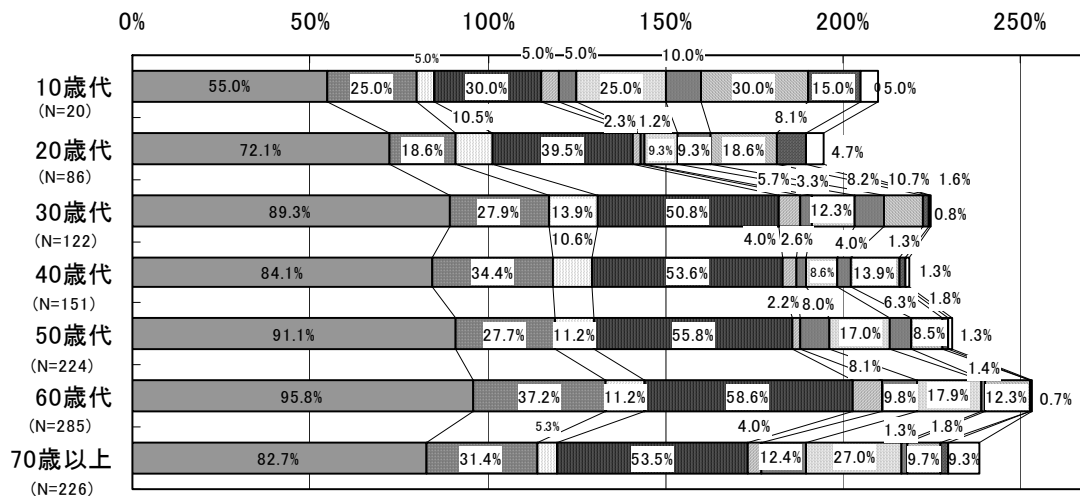
(N=回答者数)

【年代別】

都市計画やまちづくりにおける主な情報源について、年代別に見ると、いずれの年代も「市報ぎょうだ」の割合が最も高く、次いで「自治会の回覧」となっています（10歳代については、ロコミも同順）。

10歳代、20歳代では「ロコミ」、その他の年代では、「市報ぎょうだ」「議会だより」「自治会の回覧」の割合が高い傾向にあります。その他、30歳代では「市のホームページ」、50歳代～70歳以上では「新聞・TV」の割合が他の年代と比較して高くなっています。

子育て世代（20歳代～40歳代）では、40歳代で「議会だより」の割合が他の年代と比較して高くなっています。



【凡例】

表左

表右

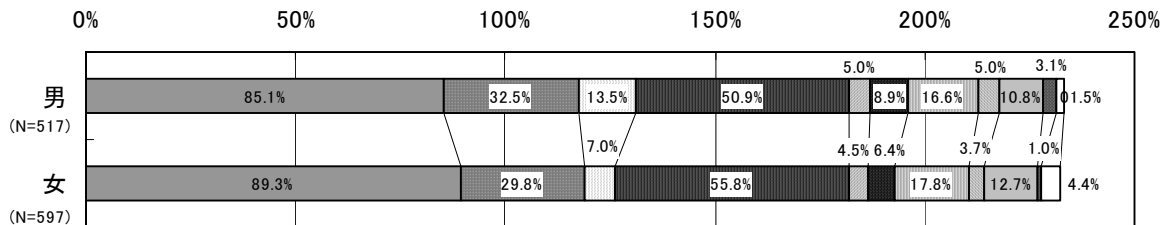
- 市報ぎょうだ
- 議会だより
- 市のホームページ
- 自治会の回覧
- 公民館等の掲示板
- 自治会、団体等の会合
- 新聞・TV
- インターネット
- ロコミ
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

【性別】

都市計画やまちづくりにおける主な情報源について、性別で見ると、男性、女性ともに、「市報ぎょうだ」の割合が最も高く、次いで「自治会の回覧」となっています。

男性では、「議会だより」「市のホームページ」の割合が女性よりも高く、女性では、「市報ぎょうだ」「自治会の回覧」の割合が男性よりも高くなっています。



【凡例】

表左



表右

- 市報ぎょうだ
- 議会だより
- 市のホームページ
- 自治会の回覧
- 公民館等の掲示板
- 自治会、団体等の会合
- 新聞・TV
- インターネット
- ロコミ
- その他
- 無回答

(N=回答者数)

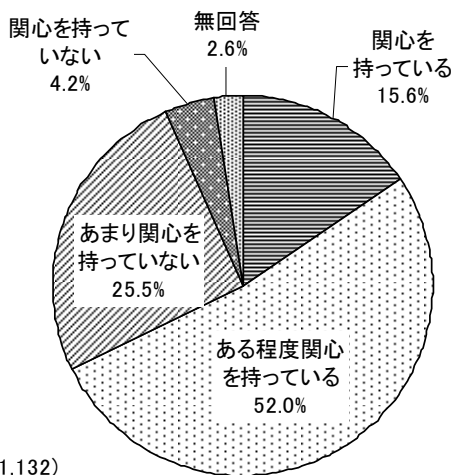
問 26 あなたは、都市計画やまちづくりに関心をお持ちですか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- 1. 関心を持っている
- 2. ある程度関心を持っている
- 3. あまり関心を持っていない
- 4. 関心を持っていない

【全体】

都市計画やまちづくりへの関心度について、「ある程度関心を持っている」が 52.0%で最も多く、次いで「あまり関心を持っていない」が 25.5%となっています。

「関心を持っている」と「ある程度関心を持っている」を合わせると、67.6%となっています。

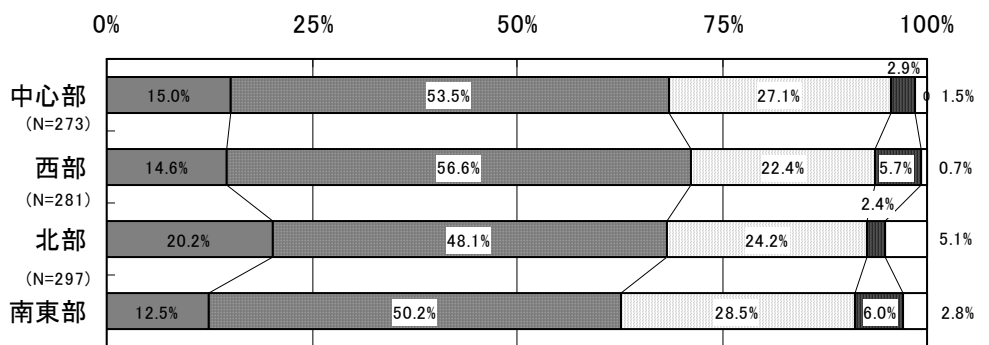


(回答者数=1,132)

【地域別】



都市計画やまちづくりへの関心度について、地域別に見ると、北部では「関心を持っている」の割合が、他の地域と比較して高く、南東部でやや低くなっています。



【凡例】

表左

↓

表右

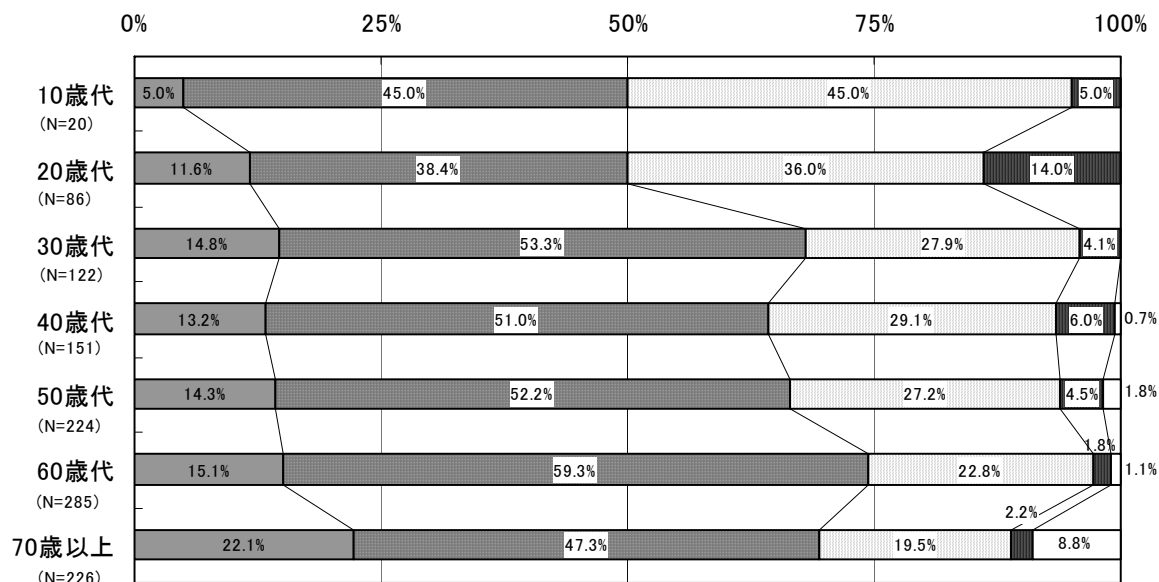
- 関心を持っている
- ある程度関心を持っている
- あまり関心を持っていない
- 関心を持っていない
- 無回答

(N=回答者数)

【年代別】

都市計画やまちづくりへの関心度について、年代別に見ると、10歳代および20歳代で、「関心を持っている」「ある程度関心を持っている」を合わせた割合が、約5割と低くなっています。一方で、「関心を持っている」「ある程度関心を持っている」を合わせた割合が最も高いのは、60歳代となっています。

子育て世代（20歳代～40歳代）では、20歳代で「関心を持っていない」の割合が他年代と比較して高くなっています。



【凡例】

表左

↓

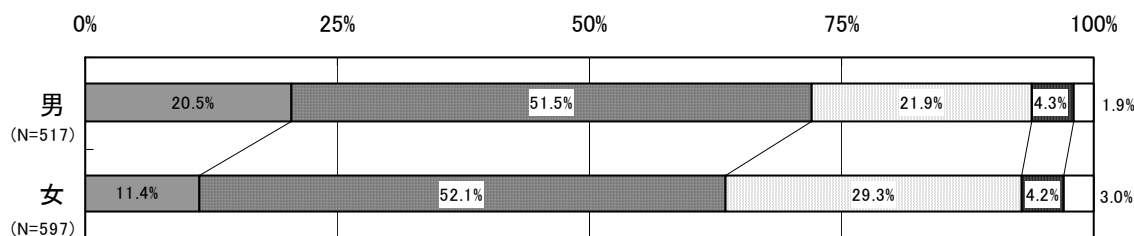
表右

- 関心を持っている
- ある程度関心を持っている
- あまり関心を持っていない
- 関心を持っていない
- 無回答

(N=回答者数)

【性別】

都市計画やまちづくりへの関心度について、性別で見ると、男性では、「関心を持っている」割合が女性よりも9.1ポイント高くなっています。一方、女性では、「あまり関心を持っていない」割合が男性よりも7.4ポイント高くなっています。



【凡例】

表左

↓

表右

- 関心を持っている
- ある程度関心を持っている
- あまり関心を持っていない
- 関心を持っていない
- 無回答

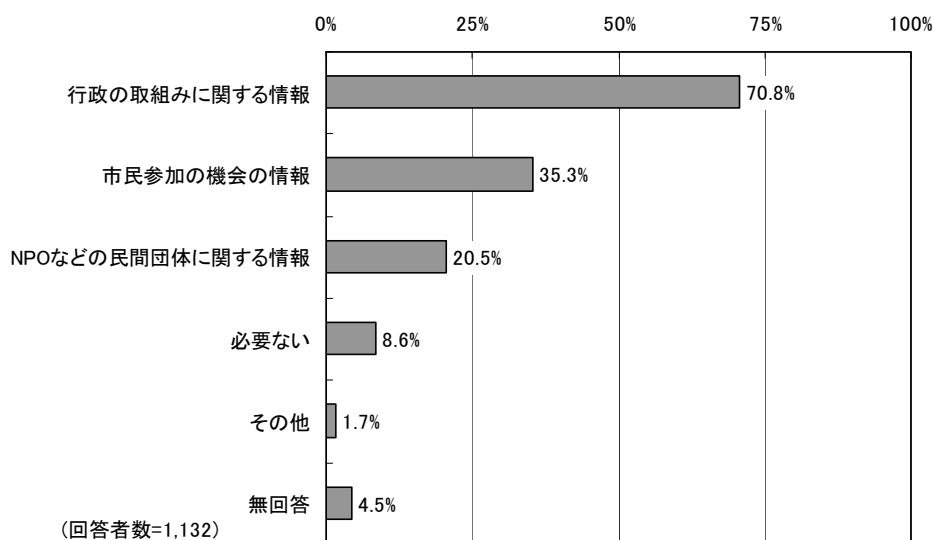
(N=回答者数)

問 27 あなたは、都市計画やまちづくりに関するどのような情報が欲しいですか。
(該当する番号のすべてに○を付けてください)

1. 行政の取組みに関する情報
2. NPO などの民間団体に関する情報
3. 市民参加の機会の情報
4. 必要ない
5. その他 ()

【全体】

都市計画やまちづくりに関して欲しい情報としては、「行政の取組みに関する情報」が 70.8%で最も多く、次いで「市民参加の機会の情報」が 35.3%、「NPO などの民間団体に関する情報」が 20.5%となっています。

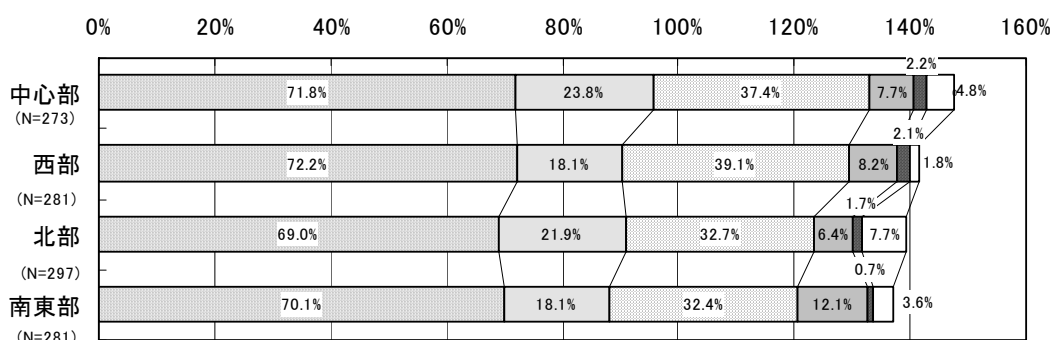


【地域別】



都市計画やまちづくりに関する欲しい情報について、地域別に見ると、いずれの地域でも、「行政の取組みに関する情報」の割合が最も高く、次いで「市民参加の機会の情報」となっています。

中心部では「NPOなどの民間団体に関する情報」、西部では「行政の取組みに関する情報」「市民参加の機会の情報」、南東部では「必要ない」の割合が他の地域と比較して高くなっています。



【凡例】

表左



表右

- 行政の取組みに関する情報
- NPOなどの民間団体に関する情報
- 市民参加の機会の情報
- 必要ない
- その他
- 無回答

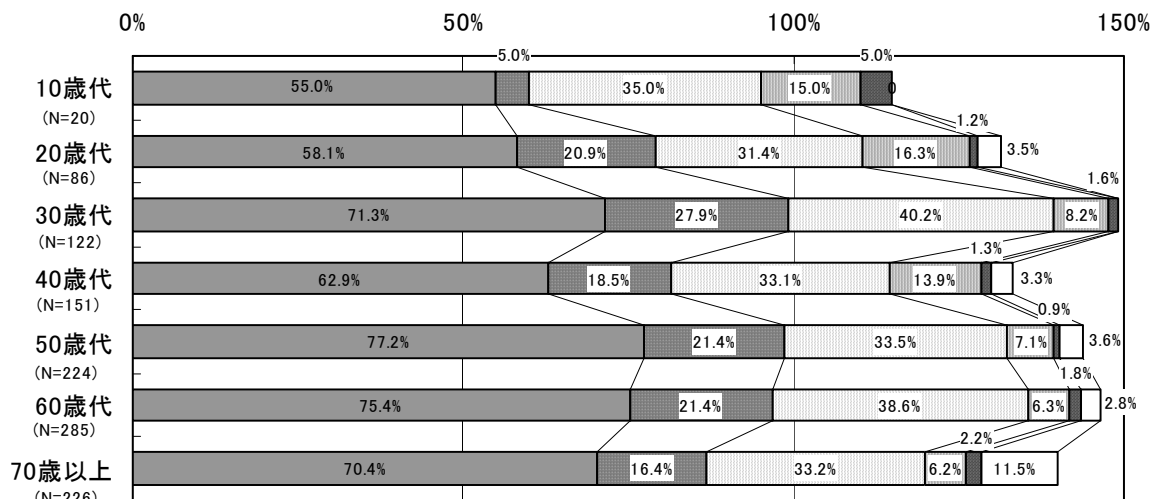
(N=回答者数)

【年代別】

都市計画やまちづくりに関する欲しい情報について、年代別に見ると、いずれの年代でも「行政の取組みに関する情報」の割合が最も高く、次いで「市民参加の機会の情報」となっています。

10歳代、20歳代では「必要ない」、30歳代では「NPOなどの民間団体に関する情報」「市民参加の機会の情報」、50歳代～60歳代では「行政の取組みに関する情報」の割合が他の年代と比較して高くなっています。

子育て世代（20歳代～40歳代）の内、20歳代、40歳代では、目立った傾向は見られません。



【凡例】

- 行政の取組みに関する情報
- NPOなどの民間団体に関する情報
- 市民参加の機会の情報
- 必要ない
- その他
- 無回答

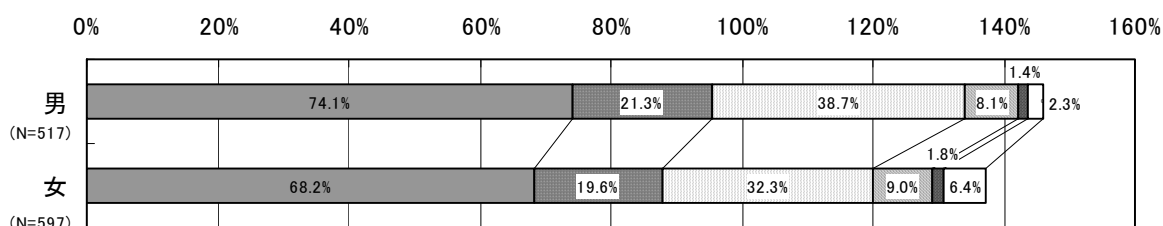
表左
↓
表右

(N=回答者数)

【性別】

都市計画やまちづくりに関する欲しい情報について、性別で見ると、男性、女性ともに「行政の取組みに関する情報」の割合が最も高く、次いで「市民参加の機会の情報」となっています。

男性では「行政の取組みに関する情報」「NPOなどの民間団体に関する情報」「市民参加の機会の情報」の割合において女性よりも高くなっています。



【凡例】

- 行政の取組みに関する情報
- NPOなどの民間団体に関する情報
- 市民参加の機会の情報
- 必要ない
- その他
- 無回答

表左
↓
表右

(N=回答者数)

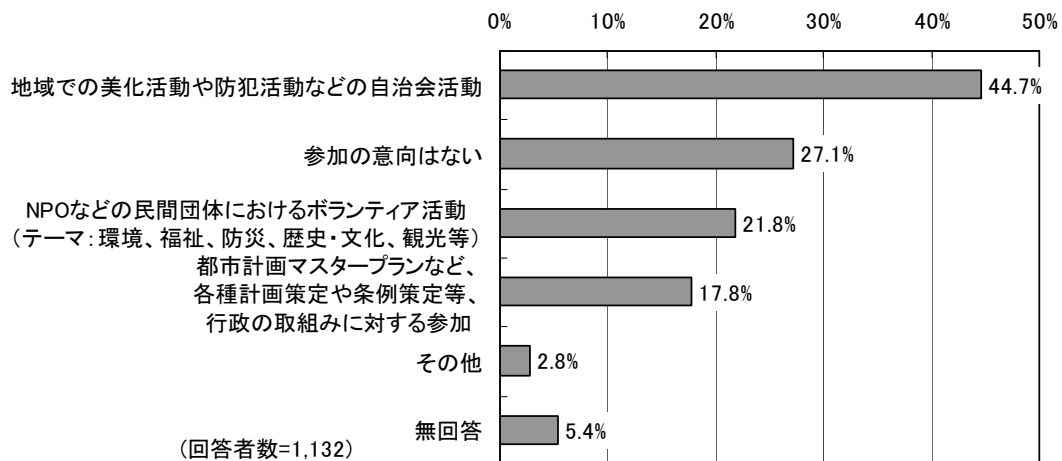
問 28 あなたは、今後どのようなまちづくり活動に参加したいと思いますか。
 (該当する番号のすべてに○を付けてください)

1. 都市計画マスタープランなど、各種計画策定や条例策定等、行政の取組みに対する参加
2. NPOなどの民間団体におけるボランティア活動 (テーマ: 環境、福祉、防災、歴史・文化、観光等)
3. 地域での美化活動や防犯活動などの自治会活動
4. 参加の意向はない
5. その他 ()

【全体】

今後、参加したいまちづくり活動については、「地域での美化活動や防犯活動などの自治会活動」が44.7%で最も多く、次いで「参加の意向はない」が27.1%、「NPOなどの民間団体におけるボランティア活動」が21.8%となっています。

「都市計画マスタープランなど、各種計画策定や条例策定等、行政の取組みに対する参加」は17.8%と最も低くなっています。

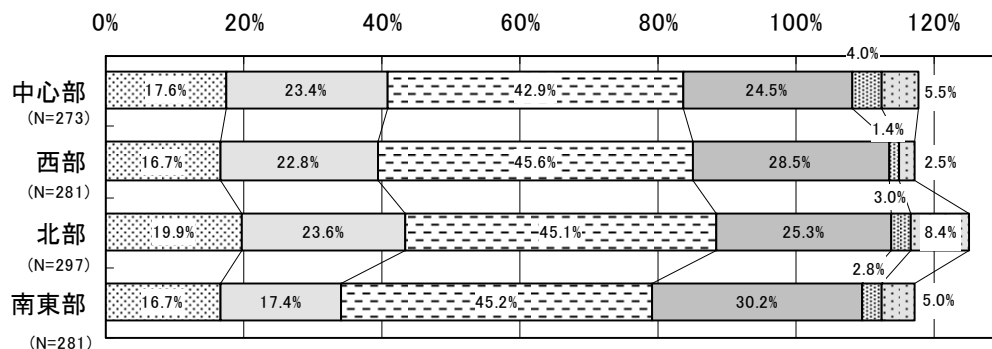


【地域別】



今後、参加したいまちづくり活動について、地域別に見ると、いずれの地域においても、「地域での美化活動や防犯活動などの自治会活動」の割合が最も高く、次いで「参加の意向はない」となっています。

南東部では「参加の意向はない」の割合がやや高めになっています。



【凡例】
表左



表右

- 都市計画マスタープランなど、各種計画策定や条例策定等、行政の取組みに対する参加
 - NPOなどの民間団体におけるボランティア活動 (テーマ: 環境、福祉、防災、歴史・文化、観光等)
 - 地域での美化活動や防犯活動などの自治会活動
 - 参加の意向はない
 - その他
 - 無回答
- (N=回答者数)

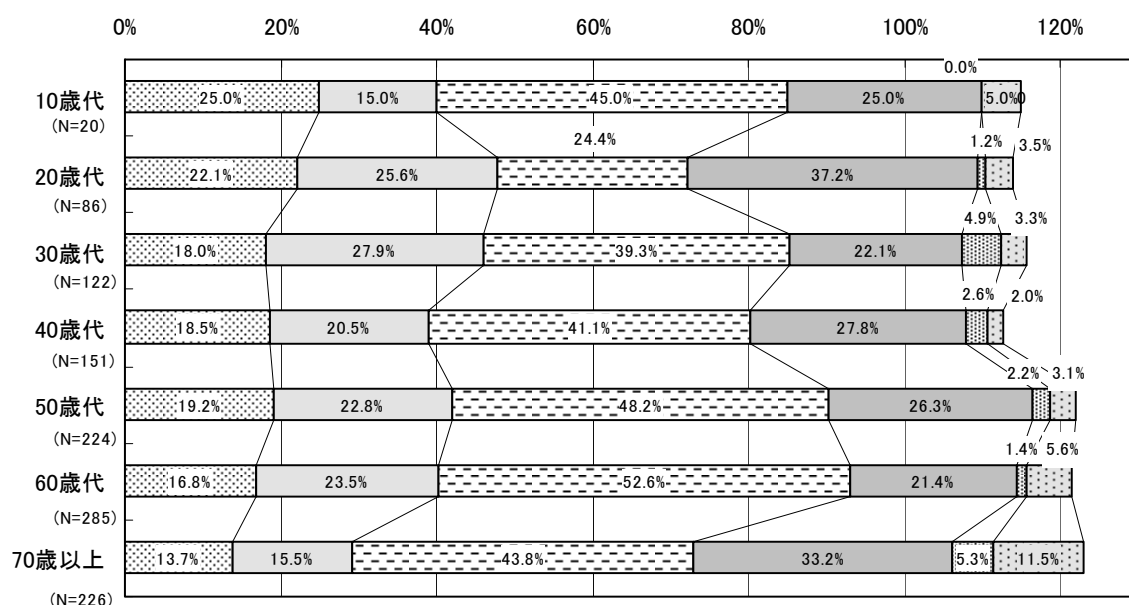
【年代別】

今後、参加したいまちづくり活動について、年代別に見ると、20歳代では「参加の意向はない」、他の年代では「地域での美化活動や防犯活動などの自治会活動」の割合が最も高くなっています。

年代が上がるほど「都市計画マスタープランなど、各種計画策定や条例策定等、行政の取組みに対する参加」の割合が低くなり、「地域での美化活動や防犯活動などの自治会活動」の割合が高くなる傾向にあります。

また、20歳代、30歳代では、「NPOなどの民間団体におけるボランティア活動（テーマ：環境、福祉、防災、歴史・文化、観光等）」の割合が他の年代と比較して高めになっています。

その他、20歳代、70歳以上では、「参加の意向はない」の割合が、他の年代と比較して高くなっています。



【凡例】
表左

- 都市計画マスタープランなど、各種計画策定や条例策定等、行政の取組みに対する参加
- NPOなどの民間団体におけるボランティア活動（テーマ：環境、福祉、防災、歴史・文化、観光等）
- 地域での美化活動や防犯活動などの自治会活動

参加の意向はない

その他

表右

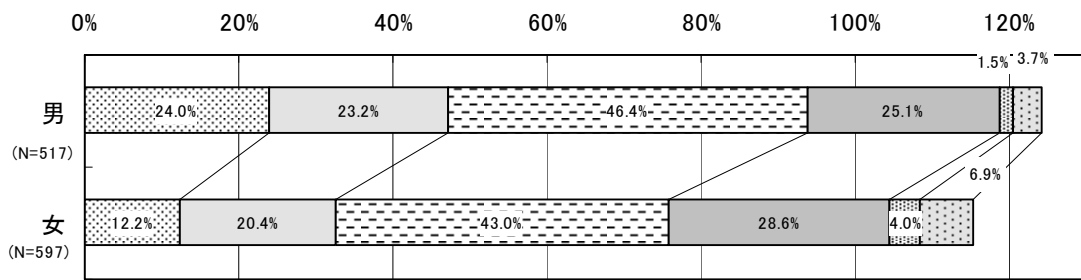
無回答

(N=回答者数)

【性別】

今後、参加したいまちづくり活動について、性別で見ると、男性、女性ともに「地域での美化活動や防犯活動などの自治会活動」の割合が最も高く、次いで「参加の意向はない」となっています。

男性では、全ての活動項目、特に「都市計画マスタープランなど、各種計画策定や条例策定等、行政の取組みに対する参加」の割合が、女性よりも高くなっています。



- 【凡例】
- 都市計画マスタープランなど、各種計画策定や条例策定等、行政の取組みに対する参加
 - NPOなどの民間団体におけるボランティア活動（テーマ：環境、福祉、防災、歴史・文化、観光等）
 - 地域での美化活動や防犯活動などの自治会活動
 - 参加の意向はない
 - その他
 - 無回答
- 表左 ↓ 表右 (N=回答者数)

第3章 自由意見

「行田市文化ゾーン地区」計画区域内各整備
市街地のまちづくりについての意見

1. 道路・歩道整備などについて（計38件）

1	南大通線の歩道の事ですが、開通前は素晴らしいケヤキの並木道でここが行田と思うことがたびたびでしたが、開通後は普通の歩道に成っており大変残念に思う。
2	南大通線ですが、開通後は、本当に便利になり、通行する回数も、以前よりずっと増え、どこに行くのにも、ずっと近くなった。
3	南大通線開通で車での移動がしやすくなった。
4	道路が整理されて便利になった。しかし、地域によっては街灯が少ない。
5	南大通線が整備されたため、とても便利になったと思う。
6	南大通線は本当に必要なのか疑問である。
7	南大通線を利用しますが、開通して便利になった。
8	自転車と歩行者との分離をできるように道路を整備して欲しい。自転車の利用推進をはかってはどうか。
9	南大通線が開通したのは良いが、信号の間隔が短い為、かえって渋滞が多くなったように感じる。
10	南大通線が開通するまで時間がかかりすぎたが、利便性が良くなった。しかし、カーブの所のバス停は危ない。
11	場所によって、複雑な道路が多く道が狭い。
12	南大通線がせっかく開通したのに信号の接続が悪く、以前通っていた住宅の中を通るとあまり時間が変わらない時がある。開通した区間にある信号（水路の所）は赤信号で止まっている時に通過する車を見た事がない。そもそもその信号は必要なのかと、みんなが言っている。
13	市街地中心の道路の狭さに驚かされる。駐車スペースも少ないと思う。
14	自動車と自転車の道路区別をする。
15	南大通線の開通によりJR行田駅方面から工業団地、古代蓮の里方面への交通関係が大変改善され、市内循環バスの運行により利便性が向上されたと思う。
16	歩道が広がって良いと思う。街路樹の配置をもう少し工夫して、段差が少なく、歩道と車道との間の自転車道をもっと少し通りやすくすると良いと思う。
17	これからは自転車専用の道路の確保が必要と考える。（車道と歩道を区別する）
18	自転車専用道路の整備をしてほしい。
19	南大通線の開通はうれしいし、時間短縮にもなったが、バースディの所からキタムラに向かう所に、矢印（右左折）信号をつけてほしい。
20	まだまだ一方通行の場所が多く、細かい道路に入ると右住左住する事が多い。
21	南大通線がきれいに整備され便利になった。また、商工センターの裏、足袋蔵の近くの道路も大変きれいになった。この道には、月に3~4日足を運んで居り、親しみと魅力あるまちに少しずつ変わって行く感じが感じられ、このまちが大好きである。
22	南小から水城公園にかけての歩道が広くなり、自転車で通行しやすくなった。
23	南大通線が開通して便利になった。
24	道路脇に雑草が目立つ。
25	南大通線ができ便利になった。
26	車道と歩道が区分された道路の拡幅をお願いする。
27	市道第6、2-8号線を通行している時はきれいに整備されて見た目は良いのだが、脇道から大通りに入る時に、車が街路樹やモニュメントの影になり見づらくなってしまった。それが残念でならない。

28	身内が歩行中の自転車との接触事故（歩道に於いて）により入院した。自分でも自転車は車道を走らなければいけないのはわかっているのだが、とても走りにくい状況である。観光客が安心して散策できるようにする以前に、住民が安心して生活できるよう自転車と歩行者が安全に往来できる道路整備をする必要があると思う。つけ加えれば、街路樹についても見直す必要があると思う。根の影響で歩道が盛り上がりたり亀裂が入ったりして危険である。
29	20年以上住んでいるが、補修、改良の整備について地域に片寄りがあるように思える。幹線道路は比較的手当てされているが、一般住宅道路に差が見られる。
30	南大通線の開通は、市民の交通利便性を高めるだけでなく、警察や消防といった緊急車両の通行にも大きく貢献し、行田市全体にとって非常に意味のある整備になったと思う。市道の整備を通じて、歩行者や自動車がそれぞれ安全に通行できるようなまちづくりを是非とも続けて欲しいと思う。
31	こんな道路整備如きで、大々的に言う必要はない。もっと道路整備をする所が沢山ある。
32	公道の水はけが悪い（歩道端の整備が不十分で夜は通行しづらい）。
33	南大通線の新しい区間の信号について、右折信号の増設を願う。
34	南大通線の信号をもっとスムーズにしてほしい。
35	南大通線が出来たおかげで、行田市中心部、JR行田駅に行きやすくなった。
36	南大通線は、とても利便性が増したと思います。
37	南大通線の信号機、両方とも矢印の信号を付けてほしい。
38	南大通線が開通したことで、通勤車両及び緊急車両の通行が大変良くなったと思う。

2. 文化財案内板・説明板について（計5件）

1	歴史的な事をもっと記載してほしい。（文化財説明板）
2	文化財案内板・説明板が気づきにくい。
3	案内板の文字がもう少し大きい方が良かったと思う。高さも、場所によっては低い所もあり、せっかくの案内板が見にくい所もある。南小学校前はきれいになって良かった。ただ、歩道が広くなった分、以前の道路の幅を知っているせいか車道がせまく感じる。
4	文化財案内板・説明板は、住民や観光客にもわかりやすくして良いと思うが、中心部だけでなく市全体に広げてもらいたい。
5	小説「のぼうの城」では歴史的価値ある場所が明記されているので、小説内に出てくる場所の銘板を明示し、さらに観光名所にすべきである。

3. 中心部のまちづくりについて（計50件）

1	歩道が整備され、子供を外出させやすくなった。文化財説明板があるので、文化財への興味がわいた。南大通線の開通によりとても便利になった。
2	南大通線の開通により大変便利になった。多目的広場は大変良いと思う。市の中心部に駐車場が整備され、市内のどこに駐車場があるのか分りやすくなるようお願いしたい。
3	幹線道路の整備は必要だと思うが、市中心部（本町とか新町通りの商店街）の寂しさは通るたびに胸が痛む。活気ある街になれないか。
4	市街地に駐車場が少ない。
5	文化財案内板・説明板は、市民生活の上では特に必要ないものなのでピンとこない。実際見かけても読んだことはない。このような経費が無駄にならないように観光客向けアピールもしっかりやってほしい。南大通線は大いに利用できる地域に住んでいるので助かっている。市民プールは寂しすぎると思う。子供が利用しにくく、いまだに行ったことがない。ここも計画区域内なのか。

6	南小学校付近のモニュメントは不要ではないか。多目的広場の駐車場を城壁風に囲う工事を行うとの表示看板を見た事があるが、防犯上良くないと思う。らくがきの心配もあり、今のままで良いと思う。地震で倒れるのも心配である。
7	商店がなくなり活気がない。人通りも少なく寂しいまちだと思う。（20年前はまち中（中心部）に人の集まりがあった）
8	市中心部の国道125号の歩道と街路灯が老朽化しはじめている。市で修復してほしい。
9	市の中心部の商店は、買物をするような店がないのであまり行った事がなく、どんな状態か把握していない。南大通線の開通により便利になった実感がある。何しろ古いショブが閉店になっているので、活気のあるまちの様相にはほど遠い。
10	改善されていて良いと思う。
11	整備されている事は良いが、市街地、特に行田市中央部に人の出歩きが少ない。ほとんどの店舗はシャッターが降りていて寂れている印象が強い。
12	市民プールをきれいで使いやすくしてほしい。タコのすべり台は何の為にあるのか分からない。市役所・産業文化会館は駐車場が使いにくい。商店街は、歩いて、散策して、休める場所があり、閉めていても明るく活気が感じられるような所になると良い。
13	多目的広場ができ、とてもきれいになったと思うが、安く利用できたテニスコートがなくなってしまった。行田市駅付近に並んでいる子どもの像の手入れが必要だと思う。地域がとても新しく変わっているのはわかるが、若い人たちの利用や参加が少ないと思う。行田市駅周辺のお店は閉まっている所が多く、活気がない。支援が必要だと思う。
14	道路や多目的広場等の整備はされているが、それを利用する人は少ないと思う。広報活動を通して、活気のあるまちづくりが必要であると思う。
15	基本的に中途半端な整備事業だと思う。
16	工期が長すぎる。
17	駐車場が足りないと思う。
18	新町アーケード街の活性化。屋根などをつけて雨でも買い物しやすくする等。
19	市街地を通ってもシャッターを降ろした商店が多く、歩いている人の姿をあまり見かけないのは寂しい限り。もっと市全体を活性化し、生き活きとした市にしたい。
20	しばしば子供を連れて水城公園を散歩するが、以前にくらべて、ごみが減ったように感じる。公園が全体的に整備され、安全になり、花壇にはパンジーやマリーゴールドなどのたくさんの花が植えられ、明るい雰囲気になったおかげで訪れる人達の気持ちにも変化があったのではないか。外国でも暗く落書きだらけの通りでは、ごみが多く犯罰も多いからね。もし、今後も、引き続き公園の美化に力を入れていただければ、ほてい葵の池がある公園スペースにも街灯や歩道の整備をお願いしたい。桜は、もちろん、あじさい、つつじ、さつきなど。
21	活気の無い商店街が気になる。
22	整備するのは良いが、シャッター通りとなっている市街地を活性化させる必要があると思う。南大通線の開通により便利にはなりましたが、郊外に住む者にとっては関係のない事業である。
23	不自由はしているがまあまあだと思う。道路（舗装）の整備をしっかりともらいたい。手半分で金をかけるところにかけていない。昔のまんまの駅前道路などの幅が狭い道路も整備してもらおうと嬉しい。
24	中心部が全然活気が無く暗いまちのような気がする。色々な所をちゃんとしてほしい。
25	整備内容の充実とともに、商業施設、個人経営商店の活性化が必要である。行田市駅（秩父鉄道）の駅前の活性化が遅れている。計画区域内の樹齢を重ねた木々を市指定樹木として残し、現在の整備とあわせた「歩く文化財」として、活用していただきたい。このことにより、行田市の自然と文化が一体化できる。
26	あまりこの区域に行かないのでわからない。結局、何がしたいのかわからない。
27	今のままで充分だと思う。様々な開発に力を入れることより、まずは市の負債を減らすことが重要だと思う。また、新町アーケードのシャッター街が暗すぎるので最低限の費用で

	明るく、華やかになれば良いと思う。
28	南大通線が開通しても、信号が多くて利用しにくい。行田市民でも歩いて、又は、自転車でゆっくりまちをながめる事がないので、文化財の説明等には目を通していない。今の時代にあう、方法で行った方が良いと思う。
29	多目的広場は、あまり大きくないと思った。市街地の緑地化も良いと思うが、水城公園などに緑が存在するので、特に広場を作る必要性はなかったと思う。
30	駐車場、駐輪場が少ない。
31	文化財案内板は、歩道の目につく所に設置されていて市外からの人にもわかりやすく、行田市のアピールには良いと思う。道路が整備されて美しくなり通行しやすくなったが、道路のゴミ集積場が汚いので整備が必要と思う。道路だけを整備しても汚いと幻滅です。
32	各整備による目的が明確に伝わらず日常生活の中で必要性を感じない。もっと市民の生活に必要な整備が必要ではないか。
33	プランの見直しが必要ではないか。
34	そんなに変わった様に見えない。
35	まだまだ整備がされていない場所がたくさんある。遠方の方は公共交通機関を使用するが、市民は自動車中心の生活なので、そこそこ使える駐車場、飽きさせない街並、ただ歩かせるのではなくお金も落してもらえる商店づくりが市の課題ではないか。
36	市中心部の整備はある程度必要だとは思いますが、駐車場がないと始まらないのではないかと。歩く人が少ない所にモニュメントが必要なのか。
37	水城公園が大好き。アヒルやにわとりが歩いていて、野鳥の集う場にもなっており心がなごむ。きれいに整備して頂いて本当に良かったと思う。ただし、意外と道路などにタバコの吸い殻が落ちていることも多く、1才5ヶ月の子どもがそれを見つけては口に入れようとしていて「危ない」と感じることも多い。この辺は一人ひとりのモラルであるが。
38	特に、計画区域の範囲内にある市役所及び地方公的庁舎を移転（例えば行田総合病院から泉小学校の間の耕地に）する。そして、忍城址、水城公園を中心とした区域を観光誘致地区に指定して観光客が楽しめる施設（足袋やB級グルメのゼリーフライやフライ等）を充実させる。住宅などもこの区域から移転し、迷路のような路地を解消する。
39	時々、市中心部に行きますが、南大通線の開通以外、特に変化に気が付きません。正直、南大通線が何処につながっているのかも分からない。
40	映画にもなるとの事で、忍城址が全国に知られる用になって、観行客も増えお城だけでなく、古代蓮の里、さきたま古墳群もセットで回る人の為にも案内板が増やされて良かったと思う。
41	市中心部に関しての意見、夜でも歩けるまち、夜でも寄れるお店、7時になると閉っている店が多い。（まちが暗いイメージ）
42	普段頻繁に利用する場所ではないので、このアンケートで初めて知った。私だけかもしれないが、このようなまちづくりを進めていることさえ知らなかった。
43	市道6、2-8号線のモニュメントは、行田が具体的に表現されたものの方がよかったですのではないかと。（古墳と城をつなぐゾーンと思うのでこれに関連したもの）
44	市民プール脇芝生広場は、利用しやすくなったが、サッカーボールが駐車場の車にあたり、犬の糞の被害等マナーの悪さが気になる。
45	計画区域内の整備は何年計画なのか。また、整備の進捗状況はどの位なのか。
46	計画区域は大変良くなったと思う。私は区域外なので、イベントの時だけでも市内循環バスの回数を増してほしい。
47	この事業を継続してまちを作るべきであり、まだ始まったばかりだと思う。市としての目的、方向性に新時代を組み合わせ考えてほしい。
48	忍城址周辺整備が必要である。（国道125号歩道）
49	B-1グランプリ、良かったみたいですね。仕事で参加出来なかったが、あのようなイベントは良い。市民参加が良い。
50	イベント会場に対して駐車場が少ない。

4. まちづくり全般について（計 135 件）

1	行田市の歴史を大切にすること、また、観光客等に惜しみなく伝える事はとてもいい事だと思う。行田市がもっと歴史的な、古き良き雰囲気のある町になっていけば素敵だと思う。
2	私は半年前まで寄居町に住んでいたが、行田市に移り住んで一番強く感じた事は、自転車で行ける距離に、生活に必要なアイテム、公共施設、文化、全て揃っている事の便利さである。行田市は、お年寄りが生き生きと過ごせそうな所である。
3	計画区域外に住んでいるが変化がない。現在の計画区域外のまちづくりも考えて欲しい。
4	まだ、引っ越してきて1カ月あまりなのでよくわからないが、良いまちだと思う。
5	固定観念が強いと思う。一部の意見で成りたっているように感じる。市街地だけまちづくりをしても外れた地区は変に寂しく、格差社会化を感じる。
6	そもそも、忍町だった所が市になって、行田市という発音で言えば「ギョウダ」という、濁音ばかりの、ギョーザにまちがえられる名前にしたことが最大のまちがい。「お住まいは」と聞かれて「ギョウダ」です。と答えるのがイヤ。何もないけど良い所ですけどね。だから、忍町だったのだから、「のぼうの城」もあることだし、忍城市にすれば、転入して来る人も増えると思う。そこから始めないとダメなんじゃないかな。
7	コーエーの戦国無双のキャラクターで、せっかく忍城の甲斐姫がでてくるのになぜ使わないのか。仙台ではBASARAのキャラ伊達政宗をしっかりとアピールしている。若年層が市に関心を持つためにも利用できるものは利用すべきだと思う。行田がクローズアップされるのは今しかない。チャンスをつかむ。映画も上映するし。
8	個々のまちづくりは進んでいるが、全体（トータル）としての効果はでていない。何のためにまちづくりを進めるのか目的が不明である。例えば、観光のため整備を進めて、外からお客を集め、商店街を元気づけるための整備とかの具体的な目標をもった計画策定が重要と考える。
9	私は水城公園を埋め立てて、防災のための広場として整備してもらいたいと考える。街の中心部にまとまった土地活用をすべきである。
10	計画区域外であるが、市街地の蔵造りの民家に補助をして早急に保存対策を行うべき。市街地、さきたま古墳群を含む総合的な観光を考える必要がある。市立の史料館は内容が豊かな割に大変利用しづらい。せっかくの資料なのでもっと多くの人利用出来る様にしていただきたい。
11	更なる街の活性化を希望する。
12	もう少し必要な所の整備をした方が良く思う。
13	昔の景観を残す事も良い。
14	JR吹上駅方向から行田市街地に向かう際、街路灯が急に少なくなり不安になる。街路灯の設備はあるのですが、節電の度が過ぎているのではないかと感じている。
15	作ったけどフォローしないから、作った物にホームレスが住み付き、ベンチに夜具（フuton）などが常時ある。
16	国道125号における夜間の騒音バイク走行対策が必要。国道125号バイパスへの抜け道の通行量を減少させる対策が必要。路上等への犬・猫の糞放置対策。（モラル対策）
17	観光名所の案内などをもっと増やすべき。水城公園をもっとこまめに手入れしたほうが良い。池が臭い。草が生えればなしで犬の糞が転がっている。
18	目に付く所だけの道路を整備したり、お城の周りをきれいにしたり花を植えても、脇道に入れば道路はカラスの糞だらけ。市にはカラスの糞対策に力を入れてほしい。
19	部分的には良くなっているが、全体としてどうしたいのかわからない。ビジョンが理解できない。
20	忍地区と行田地区の公民館が1つにまとめられており利便性が悪い。各地区に公共施設があるべきである。墓地を埋め立ててまでして、南大通線を開通させたのはまちづくりの為とはいえ、倫理的にどうなのか。

21	市外から訪れた観光客がもっとお金を落とせるようなまちづくりが望ましい。また、さきたま古墳群や古代蓮の里へのアクセスが悪いので改善したほうが良いと思う。
22	利用価値による人の利用回数が多いものを重視すべき。市道628号線を何人の人が利用しているのか。歩いている人をほとんど見た事がない。必要あるもののみ計画、実行をお願いする。
23	20年住んでいるが、その当時から見るとずいぶん変わり整備され、親しみを感じられるまちづくりに励んでいる足跡を感じた。
24	取り組みに期待する。
25	公園の整備が全然なっていないと思う。ほとんど遊んでいない公園ばかりでもったいない。自転車で動きにくい道ばかり。
26	南小学校前はきれいになったと思うがそれ程よく通る道でない。中心部だけきれいにしても良いとは思わない。
27	上下水道の未整備地域が多い。
28	箱物の建設は無くし、環境整備、人々の交流が出来る多目的広場の拡充が特に必要と思われる。
29	市中心部だけでなく、行田市全体に安全・安心できる道路整備やパトロールなどやってほしい。
30	誰でも利用できるスポーツ運動場の設置。(土、日は一杯で利用できない場合が多い)
31	市中心部ばかりに力をいれているが、行田市全体を見て戴きたい。
32	行田市中心が整備されてきれいになるのは、とても良い事だと思う。しかし私は、あまり利用できない。なぜなら交通手段がないからである。
33	成果が見えていない。南大通線だけは便利になったが、他は特に感じない。
34	まちづくりも結構だが如何に観光客を誘致出来るのか、交通の手段が薄いために集まりが悪いのではないかと。JR行田駅を利用して東京方面より来る客は、不便さがたっぷりしている。まちの発展は交通、医療、福祉そして史跡の宣伝、道路も結構だがもっと大局的な企画を望みたい。
35	市中心部に住んでいる訳ではないので、この計画は全くイメージがわかりません。JR行田駅の近くに住んでいるがとにかく暗い。仕事で帰りが遅いので市中心部のみならず、他の地域の整備もお願いしたい。何度も痴漢に遭っているのも、魅力あるまちも良いが、安全なまちで安心して生活できる様になりたい。
36	申し訳ないが、市中心部とは少し離れているので良くわからない。
37	行田の中心部しか計画されていない。多目的広場が広がっても隣の駐車場(砂利の所)の整備もしてほしい。もう少し広い範囲で整備してほしい。
38	市中心部のまちづくりとして、整備等をして魅力あるまちを目指すことは良いことであると思う。しかし、私個人の意見としては、この市中心部をあまり利用しないので、市中心部ばかりでなく、行田市全体を整備して、私のようにあまり市中心部を利用しない人にも目を向けたまちづくりをしてもらいたい。
39	これからも、行田市の為にがんばってほしい。
40	個人的には、自宅から遠い所の整備に過ぎない感じ。
41	もっと、周辺地域の環境整備や道路、まちの整備に努力してほしい。
42	市中心部以外がおろそかになっている。
43	下水道や排水路の整備をしてほしい。
44	市中心地ばかりの景観整備ばかり、忍川を一番大切にしなければならぬと思うが、一寸外れると汚い草ぼうぼう。散歩をする中高年者が増えているが歩道がない等、広い意味でいき渡っていない。
45	市中心部だけが行田市ではない。市中心部から離れた所にももっと整備等を進めてほしい。
46	市中心部以外の整備(歩道、防犯灯)状況も見える様な活動を願う。市中心部のまちづくりが、郊外に住む市民にも有意義に感じるまちづくりをお願いする。
47	前後に座われる屋根付きベンチを多数設置してほしい。1ヶ所当りのベンチの長さも最短

	でも5m以上のもの。
48	文化・歴史も良いと思うが市民に対してのまちづくりを重点において欲しい。小学校のエアコン。コミュニティセンター（みずしろ）の駐車場が小さい。市民プールが古くて汚い。（利用者は、多いと思います）熊谷市のようなお風呂付きなど健康目的（一般市民のために）のものを希望する。
49	市中心部ばかり整備している感じがする。
50	市中心部のまちづくりばかりで不満である。至急、下水処理等の整備を市中心部以外にもやってほしい。
51	景観がまだ寂しすぎる。交差点に行先の矢印案内、おおよその距離と各方面の表示を。
52	忍城址と水城公園を核としたまちづくりは順調に進んでいると思う。他自治体にも誇れるまちづくりである。総花的でなく、是非とも歴史的遺産を活かしたまちづくりを一貫して進めてほしい。
53	市街地の整備より、各公共施設の充実を図るべき。特に、運動公園に陸上競技場とフィールド内に芝（人工芝）のサッカー場の建設等。
54	計画区域内は街路灯がほんの少し増えたが、市街地は少なすぎて怖くて外を歩きたくない。線路沿いにある川は、駅周辺のみ（秩父鉄道行田市駅）柵があるが他はない所があり危ない。用水路脇も道が広がると言われているのになかなか広がらない。古代蓮の里タワーは必要か。
55	魅力的なまちづくりになっていない。市は何をしようとしているか良くわからない。もう少し市民に説明すべきである。
56	インフラ整備も重要であるが、利用する人、近隣住民のモラルの問題がある。注意喚起の為の効果的手段も合わせて考えるべきだと思う。
57	まずモニタリング不足。その為計画や予算配分がうまくいっていない。多目的広場にしろ人を引きつける様な計画ではない。役人の仕事が完成しただけ。市民には税金がかかるのみで意味は薄い。見沼代用水・武蔵用水などを利用した水力発電をする等、市街地だけでなく環境事業の見直しが必要。今後の予算はエネルギーにも力を入れてほしい。電力を自分のまちで作れる都市計画が大事。新しい発想が大事だと思う。
58	以前、テレビ等でどこかの市か町が紹介されていたが、高齢化にともない買い物の出来ない方が増えたため、お買い物ツアーバスのようなプランを実施しているという。年に何回かでも、そういったルートのバス運行特別便を走らせると、活性化が図れると思う。（例えばアリーナの中に小売店を集め販売してもらおうとか）
59	市中心部の整備も良いが市中心部以外の整備が必要。トラックなど大型車の通行台数が増えているので調査して道路整備を考える必要がある。上、下水道の整備などの検討が必要である。楽しめる公共施設の充実。市民にわかりやすい道路。
60	私の住所は計画区域外の石田堤の傍にあります。市内循環バスがこの堤まで来れば見学者も増えると思います。堤の樹木の管理について一考願いたい。物事を進める時には事前にお話をいただきたい。
61	整備が南部に集中している。北部にも力を入れてほしい。
62	市中心部以外の場所の整備が進んでいない地域が多い。是非進めてほしい。
63	グリーンアリーナへの公共バスを増やしてほしい。今、高校の卓球協会（土屋品子さんが会長）主催の全県レベルでの卓球大会の来年の会場がなくて困っている。（今までは春日部ウィングハットを使用していたのが今年いっぱい断られてしまった）その話を聞いた時、私はグリーンアリーナが浮かんだ。しかし、バスがなければ高校生は集まらない。他の競技も同様である。グリーンアリーナのアクセスは活性化の1つのカギだと思う。
64	多目的広場をもっと増やしてほしい。
65	自然を生かした小公園をたくさんつくってほしい。
66	さきたま古墳公園について一言。広くて皆に利用されている芝。（雑草がひどく刈っていただいても、すぐ成長する）市民の方々が雑草の根を取る（ローラー作戦で）事により、草の生え方が大変違うと思う。立派な公園があるのだから他県からこられる方々に、少し

	でも気持ちよく過していただきたい。
67	市街化区域の5m以上道路は全て駐車禁止にして頂きたい。
68	市街地の整備が進む反面、村部との格差が大きくなる様な気がする。
69	市中心部以外も整備されたい。
70	教育文化センターみらい等をもっとお年寄りに知ってもらおう。遊びに行ってみたいと思える様な小さなイベント。軽い食事、コーヒーショップ等1日遊べる。色んな事を教えてもらえる様になると良い。
71	古代蓮の里を活性化してもらいたい。花の咲き具合とか、お風呂を作るとか、現在のままでは活性化はありません。
72	市中心部は整備が進められて良いが、この辺りは公園もなく、川辺には草が生えきれいなまちとは言えない。環境も悪くゴミ山だらけでウンザリする。できることなら鴻巣市のように緑と花のまち、遊歩道もとてもきれいでうらやましい。子育てもまちの方へ行かないと外で遊ばせられない。田舎の方にも目をむけてほしい。公園と川辺の整備を希望する。夏休み中、外で遊ぶ子供をみかけなくなり寂しい。
73	市中心部だけでなく周りも見てほしい。
74	歴史的な公園は多いが、子供達が遊べる公園が非常に少ない。
75	市中心部だけでなく、他の場所にも目を向けてほしい。何をすることも不便な所は住んでいて嫌になる。
76	居住環境についてですが、近くに牛舎（大規模）があり、特に夏は臭いが家の中にまで入り、どうにもがまんできない時が幾日かある。規制等を考えていただければありがたい。
77	さきたま古墳公園まで範囲を広げてほしい。
78	中心市街地の部分のみで村部はどうなっているの。しっかりしろ。
79	市役所前から市役所入口交差点間の弥藤吾行田線の道路が狭すぎて危ない。新町の県道77号沿いの商店街がゴーストタウンのようになっているのも気にかかる。また、直接本筋と関係のないことだが、アンケートの地図や地図中の文字が小さすぎる。せめて丸1ページ使うべきである。老眼の方のことを考えていただきたい。城西交差点のからくり時計が長期間止まったままになっていた。市民の声を「定期的に」聞く機会をあまり設けていないかゆえに気づけなかったのではないかと。
80	行田市文化ゾーン地区だけが良くなって、郊外の整備が進まないのは困るので、そちらの方もよろしくお願ひしたい。また、もっと行田市文化ゾーン地区を整備した事を市民にアピールしないと、はっきり言って知らない人が多いと思う。
81	景観等まで踏込んだ計画づくりに発展してほしい。例えば外観の色、建物の高さ、屋根の形状、材質等歴史のまち、世界遺産を見据えた中途半端でない計画を推進してほしい。
82	自動車で移動しなくても、近所に遊べる、または散歩できる公園（子供達も遊べる）があれば良いと思う。
83	行田市は、車椅子の人達には不便だと思う。なぜかと言うと、電車もバスも私の家から遠いからだ。もうちょっとバス路線を多くふやしてもらいたい。また、個人的にやってもらいたい事は、デマンドバスやデマンドタクシーである。
84	まちづくりへの取組み、成果等、詳しく紹介していただくことも必要だと感じている。
85	まちの中心部ばかり税金を掛けており、市街地の公共事業に重点をおいて頂きたい。（例）一都市ガス、下水処理ETC。
86	歩道・信号機の設置及び美化整備。
87	行田市を訪れた方々の意見を参考に。他市との比較論だけでなく、行田市の特色に磨きをかけた何かを見出せれば良い。
88	行田市は歯科医院やドラッグストアは多いが、それ以外の商業施設が少ないので、駅前を中心にもっと活性化した方が良いと思う。休日に家族でゆっくり買物ができる所がなくて、羽生市などの市外へ出かけてしまう人が多い。
89	秩父線行田市駅周辺の活性化をお願いする。秩父鉄道を利用した（羽生～熊谷間）にSLを通す。行田市駅下車にて、蔵のまちを知ってもらおう。私は忍川沿いに暮らしているが、

	グリーンアリーナまでの道順がわからない高校生に教えたことが何回もある。駅から降りて、よくわかる案内板があると良いと思う。曲る角、角に印をつけると良いと思う。
90	計画区域内の整備は、概して素晴らしいものと言えるが、他の地域での整備がなおざりにされている感も否めない。具体的には矢場の忍川沿いの道路が崩落したままである。しばらく修復されずに通行止めとなっている。自転車を使って通学・通勤している人間にとっては、とても不便な状況なので、早期に修復することを希望する。
91	行っている事について、もっと情報を前面に出してほしい。
92	忍城社の隣に道の駅をつくってほしい。（観光客を増やしたい）忍城社、水城公園、みらいに大人も子ども楽しめる遊具を設置してほしい。
93	私は忍川の縁に住んで居ますが、雑草がのび放題であるので刈って頂きたい。
94	秩父線の各駅前の整備を城下町らしく魅力ある駅前広場にしてほしい。各駅前が狭くて汚い。
95	特に不便を感じていない。40～50年前と比較して、とても住みやすくなっている。
96	市営のプールやスポーツジムをもっとまともにしてほしい。（設備の充実）駅前なのに何も無いのは寂しい。
97	最近、行田市に観光に来られる方を見かけるようになりましたが、ガイドブックや地図を片手に目的の蔵や食事処を探して迷っていて、道を尋ねられることが多々ある。案内板や地図の充実をお願いしたい。
98	行田市はなんと言っても歴史のあるまちである。案内板等を充実させて、人々がなるほどと思えるまちでありたい。緑もその中に欠かせないものである。水城公園の美しさもぜひ保ってほしい。年配者（健康づくり）に欠かせない場所だから。
99	行田市埋蔵物文化センター（前・行田史料館）がありますが、草だらけで建物の中は見学できるかどうかわからない状態である。案内板もわかりづらい。以前、行田市以外の方に、行田市はサービスが悪い所だと言われた。
100	主要な公共施設や機関が多方面に散らばっており、高齢者にとっては交通が不便である。歩道の緑化は狭くなる上、根がはりコンクリートを持ち上げひびが入り、とても歩きにくい。
101	意見であるが夜道が暗過ぎる。街灯を増やす事が一番。防犯にもつながる。夜道を1度歩いてみてわかる。熊谷市はもう少し街灯があり明るい。行田市内は暗すぎる。
102	側溝のふたをしている所としていない所があるが、その理由は何ですか。ふたのない側溝には汚泥がたまりやすいので年に1回位（定期的）は汲み取ってほしい。
103	ある一定地域のみ重点をおかず、他の地域でももっと利便性にとんだ住み良い地域になるようなまちづくりを行ってほしい。
104	教育文化センターみらいを利用したいと常々思っているが、不便でなかなか行くことができない。市の中心にほしかった。
105	観光客が市内を歩いて廻るという点から考えると、公衆トイレの設置等、高齢者に配慮した案内が必要である。
106	城下町ゆえ道路がくねり、また、道路に面して住宅、商店、工場、事務所、教育機関、公共施設、医療機関、金融機関があり、実にごちゃごちゃしたまち並みになっている。移転して頂き、蔵の並ぶまち並みにもできないし公共施設の集中も不可能である。せめて各建物が整頓され路面、路端、歩道に「ごみがなくきれいな」状態を先ず維持すること。市外の人を訪れても「安全に歩いて」「清潔」に感じられるようでありたいと思う。現状この地域内は通過路になっていて人がとどまる区域ではないようである。
107	日本経済が低迷している中、お金をかけることばかりに執着するのはいかがなものか。市民からの税金にも限りはある。ぜひ「株式会社行田市」として、財政が豊かになってからものづくりをしても良いのではないか。それまで、私たち市民は不便と感ずることを受け入れることはできるし、国や税収入ばかりに頼らないまちづくりに協力したいと考えている。
108	埼玉県一安全なまちづくりをしてほしい。すべてはそこから始まると思う。1日1回か2

	回はパトカーを見かけるくらいに。
109	意見は特になし。感想としてはとても良かった。
110	西部地域（太井、持田）にも多目的広場（ホール）があれば良いと思う。高齢者や子どもも増えているのでお願いしたい。
111	今後は市中心部だけでなく、郊外にも目を向けてほしい。
112	JR行田駅方面の整備計画が全くない。市中心部ばかりを整備していて、同じ税金を払っているのにばかばかしくなってくる。
113	行田市の中でも農村地区は、田園に囲まれて美しい自然があるが、生活は高齢化していくと不安で一杯。自動車の運転が出来ないと生活できない。農村地区の高齢化対策を望む。
114	無駄なく計画的に税金を使いそれを分かりやすく、広く公開してほしい。また、自動車を持たない人（高齢者など）が生活しやすいまちづくりをしてほしい。期待している。
115	鴻巣市や羽生市のようにラウンドワンやドンキホーテ、イオンのように人の集まる場所がほしい。
116	市中心部に偏って整備されている。
117	市中心部を整備しても利用しない住民もいる。自動車中心の社会となっている今、歩行者も少ない所にお金をかけても意味がない。もっと市全体のことを考えてほしい。
118	高齢者の運動場がほしい。
119	市の玄関口となる駅前やその周辺道路、また、そこから市中心部（忍城や水城公園）への連続性とデザイン性を両立させた計画を期待する。囲うような整備をするのではなく、各所からアクセスさせるような計画（秩父鉄道行田市駅から、JR行田駅から、国道17号から、さきたま古墳から）などから連続性あるアプローチが必要である。
120	市の施設が遠隔地に偏在している。例えば、やすらぎの里・図書館など利用に不便。日常的に利用する施設は市の中心部に建設を希望する。多目的広場は使用頻度が少ない予想外の産物。
121	「行田市文化ゾーン地区」はどのように決められたのかわからないが、JR行田駅を中心に整備していった方が、活気がでると思う。
122	人が集まるようなまちになってほしい。
123	活性化の効果的施策がない。
124	市中心部は、環境整備されてきれいに住みやすくなっている。しかし、市中心部を離れると数カ月前から街灯がきれて消えた状態が続いている。同じ、市民税を払っているのに、市中心部とそうでない所の格差が大きい。道路にも轍ができていて危険である。行田市を、隅々まで見て（市中心部だけでなく）まちづくりをしてほしい。
125	市独自の活性化するための何かがあればと思う。
126	できてしまったものは仕方ないが、忍城址にしても古代蓮の里タワーにしても、もう少し作り方はなかったのだろうか。忍城址には5億円ほどかかったと伝え聞いたことがある。例えば、松本城などと比較すると歴史観の違いを感じる。実際の忍城が現状の建物のようなものであったのかどうか。古代蓮の里タワーに意味があるのだろうか。
127	住んでいる所が計画区域内でないのも、昔からあまり変わらない。目に付く所やたくさんの方が利用する場所を中心に整備するのは良いが、郊外には、利用する道が不便な人がいることも忘れないでほしい。周りが田んぼで、雨が降ると脇道が冠水して通れないこともある。市役所の方も以前自動車がはまって大変なことになっていた。
128	市中心部のまちづくりに限らず、各所に通ずる道路の利便性も合わせて考えてほしい。
129	安全第一。住民のために。
130	市中心部ばかりではなく全体を良く見て、道路の整備をしっかりとやってほしい。
131	他の観光地の様に、自動車、徒歩、自転車等で歴史的な場所を見るモデルケースや、時間目安を看板化して欲しいのと同時に観光地整備を強化して欲しい。
132	他の観光地に比べ、行田市は食事やお茶など飲める場所が少ない。他地域からお客を呼ぶには、こういう場所をもっと多く設置してほしい。
133	一部地域から市内全域に広がれば良いと思う。

134	もう少し、人道的な付き合いが必要だと思う。
135	<p>住み良いまちづくりのために、市の行政当局の皆さんがお骨折りいただいていることに敬意を表します。このようなアンケートの作成にはご苦労があったことと推察いたします。回答する立場からは筋道の通った選択肢を選びたいと、それなりに前後の関係をふまえながら選びたいのですが、回答に窮することもありました。場合によっては矛盾するような選択肢を選ばざるを得ないこともありました。そこで、不足分を補っておきたいと思い、拙文を添付することになりました。『なんだ！こんなものを書いてよこして。規格外だ』多分このような態度の方が大部分かと思えます。要するに「想定外」扱いになる運命かも知れません。しかし、想定した回答、規格に収まった行儀の良い回答だけを良しとして採用するならば、それなりの費用と人員を使って市民の意見を聞く必要があるでしょうか。津波は5メートル以内なら規格内です。20メートルは『想定外』です、多分。以下はある会合の後のお茶の時間に出た話です。なんの地位もない私に出来ることは、現実困っている人がいることを当局の方々にお伝えする事だけです。何回かそこへ行きました。事実に基づいて書きます。</p> <p>とかく「環境整備」と言うと道路や公園とか、予算（税金）を使うことと考えている方が多いと思えます。それも必要です。ですが、今回お金を使わない環境整備を象徴的な点に絞って恐縮しながら卑見を添付します。予算措置は不要ですので、あとはやる気があるかないかだけです。</p> <p>さて、それぞれの事象に対する重点順位は、住んでいる地域・場所、近隣に住んでいる人の状況により、一律ではありません。一般的には市街地の住宅地より農村部の住宅地の方が自然環境が良好であると思っている方が多いと思えます。本当にそうでしょうか。多くの場合そうかも知れませんが、個々の現実には必ずしもそうではありません。人為的自然環境は極端に農村部の方が悪い場合があります。それらの環境整備には税金をつぎ込む必要はありませんが、行政の力を強化していただく他はありません。個人対個人での対応では事態を悪化させてしまいます。</p> <p>ごく軽い、我慢できる例を一つ挙げます。舗装道路にゴミが落ちていれば、それを拾うのが良いとされています。少なくともゴミを捨てないことです。ところが、農村部においては、田で抜いた泥の付いた草を、わざわざ舗装道路まで運んで捨てる方が居ます。アジアのある国では道路にタンやツバを吐くと、かなり高額な罰金を取られると言うことはご存知だと思います。文化都市を目指す行田市です。ご一考をお願いいたします。先ず、足下から見直していきましょう。少ない例かも知れませんが現実です。それによって迷惑を被る人が居ることに思いが至らないのです。従って、個人対個人で、そのことを注意するのは大変難しいことです。やはり第三者的立場の行政の力に頼るほかありません。これは、それ程困る事柄ではありませんので目をつむることが出来ますが、次の3例は我慢の限界を超えています。</p> <p>(1) プロパンガスによる爆音発生装置。朝4：50頃から夕方6：40頃まで。雨が降っても機械装置で爆音を鳴らし続けます。1回の爆音により雀が9羽死んでいくなら理解できなくもありません。コメが獲れ過ぎて減反や飼料米を国が強化して、長い年数が経ちます。コメの収穫量を抑えているのです。雀が死なない限り、爆音を鳴らしても、ついでにコメの量は同じです。勉強中の子供を持つ家庭では、爆音の間こえない地区に部屋を借りた家族があることに思いが至らないようです。窓を閉めてもカーテンを引いてもほとんど効果はありません。現在行田地区内で、雀集団がコメを食い荒らす光景を見たことがありますか。何升分コメの増収があるのでしょうか。仮に5升分増収があったとして、近隣から迷惑料を請求された時、そんな小額で補償出来るはずはありません。経済的合理性の全くない爆音装置です。そんなにコメの収量に係るなら、空いている田に苗を植えることです。爆音装置をつけて、近隣の方に迷惑をかけずにコメの収量が増えます。皮肉な見方をすれば爆音装置を設置するため田を空けておくようなものです。音の暴力を止めていただくには行政の力を持つほかありません。</p> <p>(2) 乾燥機の排気パイプの向き。農家の方は、それなりに広い土地を持っています。排気口は自分の敷地内に向けるべきです。最近土地の集約化が進み、長い日数、24時間</p>

乾燥機が粉塵を隣の屋敷内にはき出し続ける例があります。以前は日数が少なく、我慢の範囲でした。例は少ないにしても、そのため苦しんでいる人が居ます。秋のすがすがしい空気を窓から取り込む事が出来ません。洗濯物にも困っています。

(3) 住宅地内での籾殻焼き・プラスチック・エンジンオイル等の鉱油焼き。私が「焼き」と書いたのは重い意味があります。側に人がついて居て、適度に空気と混ぜて「燃やして」いるのなら短時間で、しかも有毒ガスは極めて少なく済みます。現実には火を付けて、そのまま放置します。大変長時間に渡り「くすぶり」続けます。全部終了した時一度に燃やすならまだ我慢できます。籾すりの度毎に追加されるので、1ヶ月以上絶えることがありません。従って昼も夜も不燃煙が出ています。木の枝くらいなら、奨励はしませんがほとんど問題はありません。集積場にプラスチックゴミを持参せず、すべて屋敷内で焼いている方とダブります。内焼機関を数台所有しているので、そのエンジンオイルを、業者に依頼せず個人の住宅地内で焼かれてはたまったものではありません。人家を離れた自分の田で焼くなら直接的害はありません。もちろん奨励はしませんが。

秋の清しい空気を窓から入れて、静かに読書をしたい。

プロパンガスによる爆音発生装置はお盆頃から始まります。今年は節電が求められました。しかし、爆音を少しでも和らげたいと、プラスチックの有毒ガスやエンジンオイルの処分排ガスを避けたいと。近隣の方は窓を閉めエアコンのスイッチを入れたことでしょう。

上記のような環境破壊は市街地では発生しません。些細なことと無視されるかも知れません。経済的状況が許せば移転したい方がいる現実です。このような些細なことの積み上げで、その都市の文化程度が自己採点されているのです。大金をつぎ込むことだけが環境整備ではないと愚考します。どうか意のある所をおくみとりください。管見をお許しください。

市のまちづくりの改善のための提案（自由意見）

1. 土地利用の仕方（計 52 件）

1	まちづくり、特に市の中心部に統一性がない。大きな駐車場もない。このままでは市中心部のまちは、活性化を失うばかりである。まず、市民が自動車で来られる所、自動車で買い物に来られるようにしないと、市中心部の活性化は無理である。それと、きたない建物、これは、取りこわす。使われていない商店も多数ある。これは市の力で取りこわして、その次に、統一性をもったまち並みにすること。
2	市のまちづくりと言われても、主婦の私には具体的に何をして良いかわからない。ただ、まちの中心にある商店街などは、ぜんぜん活気がなく古びた感じがする。
3	使っていない店舗などを活用して、お店を持ちたい人達に委託販売の場所を提供し、その運営を市民で行うなどして、地域内を活発にできないかなと思う。似た意見としては、若者の地域密着を図るために、若者が自信を持って取り組める事を増やしていければと思う。例）委託物の作成、簡単なマスコットやおかし作り、行田をテーマにしたファッションショーなど。
4	魚民や庄やなどの居酒屋チェーン店が欲しい。（理由）仕事仲間と飲みながら、仕事の話をしたいため。意外と熊谷で集合をかけても帰りの事を気にして人数がなかなか集らない。
5	JR行田駅の周辺に店が少ないので、食堂、喫茶店、雑貨屋を誘致して、バス待ちや電車待ちの観光客、通勤客の利便性を高める。銀行もないし、全く拠点として機能していない。全くとったいない。行田市の入口なのに全く整備されていない。JR吹上駅を入口とするのか明確にすべきである。JR行田駅であれば、吹上駅をこえる拠点として誘致して整備すべきである。
6	土・日・祝日に出かけようとする、行田市を出て、鴻巣市・千代田町・太田市・熊谷市・羽生市の公園や施設を利用しに行くのが現状。子供も大人も満足できる、魅力ある公園や施設が近くの市や町にあるのでわざわざでも出かける。他市の大型施設にも負けられないような商店街があればいいのに。赤ちゃんがいても安心で、お年寄りもすぐに椅子が探せるような。また元気キッズもただの広場ではものたりない。残念です。
7	JR行田駅から市中心部へ行く道路が寂しいので、商店等を誘致する必要があると感じている。そこに行田らしさが表現できれば観光客も増加すると思う。
8	商業施設が少なく他市へ流出している現状を寂しく思う。観光と商業が結び付くような計画があると良い。
9	買物の場所が熊谷市、鴻巣市、羽生市など周辺市となっている。行田市内にもある程度の大型店は必要ではないか。
10	最近の新興住宅は樹木がまったくない。このような状況が続くかぎり温暖化の増長は続くと思う。行田市の土地価格は何十年も固定化しており、今後の住宅用地は50坪以上の用地確保を条件とするべきである。また、植樹を支援し、市が補助金を出して緑化を促進すべきと思う。緑のない住宅は情緒もない無味な人間形成につながるのではないかと危惧してしまう。
11	JR行田駅前から17号バイパスの間に飲食店を誘致して人の流れをつくる。
12	イオンやアウトレットなどの大型商業施設をつくる。
13	移動できない地域資源のため仕方がないが、古代蓮の里やさきたま古墳、忍城址などバラバラに離れているため、一体感が感じられない。まずは忍城址に的を絞って、周辺を完璧に整備するなど、一ヶ所を集中的に始めた方が良いと思う。映画も公開されるし。店がほとんど無い国道17号バイパスに「道の駅ぎょうだ」をつくと認知度が上がると思う。
14	小針クリーンセンターの焼却場の新設に伴い、周辺の農地などを利用し毎日ゴミが出せる焼却場をつくり、その熱で1年中使用できる温水プールや温泉などの整備をすれば良いと

	思う。埼玉地区の方の農地を商業施設にしてみてもどうか。アンケートの協力で市の方で何か粗品などを頂けないのですか。市中心街ばかり道がきれいになっている様に思う。
15	市中心部だけお金をかけて整備、開発している様にしか思えない。もっと郊外にも下水道や生活道路の整備等を進めて頂きたい。行田市駅前（中心部）に葬儀所をつくっている様では活気が出る訳がない。もっと商店、飲食店を増やしてほしい。他の市より何か一つでも勝る（医療、子育て等）物をつくって住みよいまちづくりをお願いする。
16	市民を優先して雇用させる企業の誘致（特に高齢者）
17	商店街の再生、活性化は大きな課題である。行田らしいまちづくり（歴史遺産を活かした街並みの再現等）が必要。本町通りの電線の埋設は何のためにやったのか。川越市の「蔵通り」の様にはできないのか。予算が減っているのは解るが、中途半端なまちづくりなら止めた方が良いのでは。
18	市中心部の空き店舗の再利用、活用、活性化。
19	箱物をつくるのであれば利根大堰付近に水力発電・風力発電等ができないか。モデル住宅街でエコな街の推進。さきたま古墳付近でも良いのでは。用水を使った水車などを利用した軽水路水力発電等。市街地を使った再都市計画よりも田畑などを利用したエコタウンの計画が良いと思う。行田にはプロがないから無理かな。
20	市街地と農村部との格差が大きい。農村部の整備、コミュニケーション等を推進し、若者や子供、市民全体が参加できるようなイベントや地域の行事等を土、日にも行えるようにしてほしい。そうすれば各地域で活性化が図れると思う。
21	私の住んでいる所は農村地帯である。商店が段々なくなって、ちょっと不便である。年を取って来ると自転車にも乗れなくなって人の頼りになる。お店が出来れば良いと思っている。
22	若者に人気のある店舗の誘致。（人があつまり活気がでる）
23	市中心部のアーケード街の活性化。シャッターがおりた店舗が目立ち寂れた感じがする。安く借り上げて市民に開放してはどうか。また、活気のある店舗を誘致するとか。外観にとらわれた箱物施設に力を入れないで、人間の心が育つようなものに力を入れたまちづくりを心がけてほしい。
24	市役所、行田市駅周辺をもっと元気なまちにしてほしい。活気がなさすぎる様な気がする。
25	行田市も高齢者が増える一方だと思うので、農業（米作り）等を若者がやれるように会社のように、空いている土地を有効活用できるようにして、「農業があるから食べていける」そんな行田が良いのではないか。
26	市営住宅の整備・充実、エレベーターの設置等。台風時、洪水注意報等の出される地域の防災対策等。
27	埼玉県で人口減少の多い市は、秩父市、行田市、北本市と聞きました。それだけ魅力が感じられない市だと思う。“さきたま古墳群を世界遺産へ”と動いているが、かなり難しいと思う。それならば、空き地に「道の駅」等をつくり、農産物・工芸・観光等の集落や労働の場を考えたほうが良いと思う。また、市によっては17時から流す音楽の前に、小中学生がアナウンスを流している。持ち回りで「本日の担当は〇〇小学校です」。日頃のお礼や防犯のコメントを入れながら地域の皆さんに通学（登下校中）に見守っていただけるような暖かい声が聞こえてくる。発想を豊かに良い市にしてほしい。
28	行田市をより活性化するには、1 土地を企業誘致に活かす。大手企業、中企業への積極的なアピール。2 若者が集まるまちづくり。大学学術の都市推進を行い、学生を行田市に呼び。人口が増え、居住環境の整備強化、交通機関の整備等、おのずとインフラ構築強化が必要となり、そこに雇用が発生する。3 エコ、自然にやさしいまちづくり。不要な土地（農地、空地）にソーラパネル設備を設置し太陽光発電システムのモデル都市を目指す。
29	農村地域にもインフラの整備を行ない、環境に配慮したまちづくりを行なってほしい。また、耕作放棄地を利用したまちづくりを要望する。
30	さきたま古墳群の世界遺産登録の為に予算を使うのはやめてほしい。公園の日常的な整備をきちんとしてほしい。（花の管理など）水城公園の噴水側はいつも荒れている。新たに

	何かをつくるのではなく、既存の施設を最善の状態に保つことをして欲しい。JR行田駅を活用するには、無理があり現実的ではない。市中心部の再開発、整備に力を注いでほしい。
31	まちづくりをしていく中で、行田市の人口は減少している状況だが、この辺の対応をしないと、いくら市が音頭を取っても成り立たないと思う。特に若い人達の働く場所がなくなっている。まず、労働場の確保を考えるべきだ。今までにあった工場が市外へ行ってしまい出来るのは物流関係だけだ。まず工場を行田市へ、東北の被災工場などに声掛けして行田市へ。まずは工場誘致して若者の仕事の確保が先決だと思う。
32	JR行田駅付近の活性化、マンションや商業施設を誘致。人口も増やし、他市からの買物客や観光客を増やす。小針の焼却センターの所に焼却熱を利用したスパ施設の建設。(高齢者にもやさしい施設) 郵便局の本局の駐車場が狭いので広い所に移転してほしい。JR行田駅付近は新しく、古い街並みは1ヶ所に集中させる。工業団地にもっと企業誘致する。田園風景は好き。農業者支援を。高齢者支援(一人暮らしや、老夫婦)も。
33	秩父鉄道行田市駅で、待ち時間が長い時に時間をつぶせる場所がない。
34	老人問題が課題。老人が歩行で動ける範囲に必需品が揃う店がない。スーパーが存在することが大事だと思う。
35	JR行田駅を利用して東京の大学に通学している。都内の友人を行田に呼ぼうと思うが、行田駅で待ち合わせが出来ない。ファーストフードも何もない所で待ってもらえないので熊谷駅で待ち合せになる。JR行田駅に待ち合せの出来る店を。電車の停まる駅でお茶の出来ない駅はJR行田駅だけ。はずかしい。
36	人通りのあるまちづくりをしてほしい。秩父鉄道行田市駅付近は観光地区に、JR行田駅付近は商工業を推進して、人を集め、流れをつくっていくと良いのではないか。
37	JR行田駅周辺の整備。雇用環境の充実。公共の交通機関の必要性。
38	長期のまちづくりを考えてもらいたい。行田市は何を変えれば少子高齢化を改善出来るのか。行田市に住んでいる今の10代20代の子供達が、行田市を離れたいと思ってもらえないと子供の数も増えないと思う。JR行田駅の建て替え、周りの住宅の整備等、活気あるまちづくりが必要だと思う。将来を考え、JR行田駅からのモノレールをつくるのも良と思う。
39	市の中心部ばかりではなく、JR行田駅前周辺の開発を進めてほしい。しいて言うならばこのアンケートが市の中心部の事であることが不満である。そして選択肢が環境(景観)面にかたよっている点も気になる。似た様な質問が多数あったり、正直答えにくいアンケートであったと思う。
40	古代蓮の里を、犬連れOKにしてほしい。生徒数の少ない学校の区域に公団をつくってほしい。
41	まちを活性化させるには、人の交流が必要。市に来てくれた客のリラックスできる休憩場、食事がどこで食べられるのか、観光と店のマップ、リピーターとなってもらうために2~3割安く食べられるプリペイドカードの発行など。店にすれば2~3割安くても客が来て現金を落としてくれたらうれしいのでは。まちの活性化は客を呼び入れること。
42	市内の中心(アケード街)が死んだ様で通り抜けるだけ。根本から(うわべだけでなく)建て直さないといけないと思う。まだ間に合うと思う。(間に合う内に!!) 行田市の為に、皆さんの力が必要です。
43	明治に耕地整理をしたところを、道路が狭いため道路を広げました。しかし、謄本は分筆されているが、公図は未だに耕地整理した時と同じ。その他色々耕地に合っていないところが一杯ある。できるだけ早くこういうことはちゃんとしてほしい。
44	JR行田駅まで市内循環バスを利用していつも思うが、JR行田駅で電車やバスを待っている時、夏は暑く、冬は寒くて風邪をひいてしまう程である。駅にドトールコーヒー又はスターバックスコーヒーなどがあれば時間までくつろげて休めるし、暑さ寒さもしのげると思う。JR行田駅を利用して下さる観光客の方々の為にも良い事だと思う。
45	アミューズメント施設やショッピングモールなどをつくり市外からの人を増やす。遊ぶ場所、働く場所がない。駅が遠い。市内からJR北鴻巣駅や鴻巣駅に行けるバスがほしい。

	イベントより都市化が必要。
46	周辺市と比べ大規模商業施設がないため、市外での買物が多い。市中心部の再開発は困難と思う。郊外への商業施設の誘致等は効果があるかもしれない。
47	JR行田駅及び行田市駅周辺の景観、道路の拡幅、バス運行（特に行田駅と市内の運行を密にする）、大企業の進出を進める。 カインズホームと国道17号バイパスとカラクリ時計迄の道路が集中的に混雑するので、道路の拡幅が必要と思われる。
48	JR行田駅（表玄関）、市中心部の再開発、足袋蔵、観光案内所、クリニック、中高層住宅、商業施設（しゃれたレストラン/カフェ、ゼリーフライ/フライ店、工房、アミューズメント施設、本/ビデオ店など）を集積し、観光客、若者も魅力を感じる活気・賑いのあるまち並を創出する。散在する歴史文化遺産を連結し、歴史ヒストリーを探訪する「歴史とロマンのまち」を再構築する。古代（古代蓮、コノハナサクヤヒメ）、中世（坂東武士・河原太郎・次郎、のぼう様、甲斐姫、忍城主）、近世（足袋蔵・田舎教師など）TPP参加を念頭に、休耕地を含む農地の集約による大規模農業や農業試験所の指導を受けて、最新種果樹の観光農園を創出する。さきたま古墳群の遺跡発掘による世界遺産への登録を是非実現してほしい。
49	利根大堰周辺を活用した拠点整備を行うことで、地域の活性化につながる計画づくりを希望する。
50	県知事の思いつきで語った「さきたま古墳群を世界遺産に」ということを御老公の印箋が如く振りかざす。私の知る限り、行田市民で誰でもが税金の無駄使いにならねばと危惧する声ばかり。このことを御存知か。今、私は都市計画より行田市の活性化に関心がある。商店に元気がない。
51	これからは、現役世代（労働の人の）人口を増やし、税収を確実なものにすることが大切だと思う。どうしたら人口が増えるか、もっと具体的な政策を実施する必要があると思う。はっきり言って、行田は観光では食べて行けない。工場や事業所を誘致し、首都圏で働く人の住宅を受け入れることが大切である。その為の環境整備が第一と考える。
52	1. 旧市街地の活性化は無理なので、カインズホームのような人、物、金が集まる施設を積極的に誘致する。2. 南河原地区の幹線道路の整備を早急に。3. B級グルメの様なイベントを今後も続ける。

2. 道路・交通ネットワークの整備（計37件）

1	まちづくり、特に市の中心部に統一性がない。大きな駐車場もない。このままでは中心部のまちは、活性化を失うばかりである。まず市民が自動車来られる所、自動車で買い物に来られるようにしないと、市中心部の活性化は無理である。それと、きたない建物、これは、取りこわす。使われていない商店も多数あるので、これは市の力で取りこわして、その次に、統一性をもったまち並みにしてほしい。
2	私は5年前から行田に住んでいます。市の中心ではありません（長野）。一度もJR行田駅を使用したことがなく、その必要も今の所ありませんが、JR行田駅にしかない何かがあれば是非行ってみたい。私にはJR行田駅は遠く、また、自動車なしでは生活ができない所というイメージが強い。このアンケートを記入しながら市中心部のみ活性化し、歩いて全てがそろそろ環境を目指していたのかと感じた。
3	市中心市街地の道路整備だけではなく郊外にも整備しなくてはいけない道路や台風など大雨で河川の氾濫や浸水する地域がある。市民が安心して生活できる様にそちらにも対策や整備が必要だと思う。観光や景観に力を入れるのも大切だが、まずは市民の安全に力を入れてほしい。
4	富士見二丁目今西ガラス店前の市道約180m区間について、ここだけが周辺の市道から取り残されて舗装が傷み、未整備のままである。是非この道路の改良整備をお願いしたい。なお、行田中央病院の駐車場にも面しており、利用車も頻繁にある。今時この様な道路はない。

5	信号の連動がよくないと思う（青信号で進むと、次の信号では赤になったりする）。これ以上市中心部に人の集まることを多くすると渋滞が多くなって迷惑。市内全体を行き来できるような何かできないか。
6	生活道路の舗装整備について、市議などの紹介により達成されるのはおかしい。市議は市民の代表でありもっと大局的な見地で活動していただきたい。道路管理は担当課において常に道路パトロールを行い、行政によって順位を決め予算化して実施すべきではないか。身近なところから改革すべきである。
7	市の中心である市街地へのアクセスが不便。道路もまだまだ狭い所もあり、駐車スペースも市街地は少ない。商店街の活性化にはマイナス因子である。現在の市役所を駐車スペースとして、JR行田駅に近い所に市役所の移転と観光案内の統合を推進して頂きたい。
8	最近、自動車を運転するようになって思うようになったことだが、比較的道路が狭いように思う。特に行田郵便局などがある市の中心部が気になっている。私が大きな自動車を運転しているため、そのように感じるだけかもしれないが、どのような人でも運転しやすい道路づくりをしてくれたら私も含め多くいるのではないか。
9	行田市の顔はJR行田駅かもしれないが、ローカルで情緒が出せる秩父鉄道持田駅・行田市駅・東行田駅周辺も含めて活性化してほしい。
10	下水道完備した区域には、舗装道路の完備を早急に。
11	みらいやグリーンアリーナ等公共施設へのアクセスについて、自動車を持っていない市民には不便なので、利用しやすくなるような足の便を考えてほしい。また、秩父鉄道が廃線にならないよう行政としてのバックアップを望む。
12	市の中心部を整備し暮らしやすくする事も大切だが、結局、自動車での移動が最も多いと感じるので、熊谷市や羽生市にある大きな商業施設へ出掛けてしまう。病院なども同じ。だったら市中心部以外の土地に駐車場のある施設をつくり、そこまでの道路を整備する方が良いのではないか。子供達の通学路の整備も中途ハンパ。ここまでは安全でここからは気をつけて、ではなく、家まで安全に帰れる様にしてほしい。必要なら信号も付けてほしい。予算の使い方を考えてほしい。
13	市中心部にバスの停留所を増やしてもらいたい。
14	循環バスのルート見直し。駅に行けない。 国道125号バイパスを完全二車線にする。中途半端。 国道125号バイパスの深夜の信号持ち時間の短縮。設定の見直し。 田の刈り入れ後の火燃しによる煙に気をつかう事。 バイパス周辺に店舗が少ない。せめてコンビニがあっても良いかと。 行田市にもイオンモールをつくってはどうか。
15	まち外れでも幹線道路及び歩道の整備や案内板等の設置。
16	南北道路の開通を早くして頂きたい。
17	市内循環バスの廃止を希望する。
18	市民のJRの最寄り駅は、行田駅・吹上駅・北鴻駅等が考えつくが、バスを利用しての駅へのアクセスが最悪だ。例えば、行田市内循環バスだけでなく、鴻巣市のバス・熊谷市のバス・加須市のバスなど広域的に各市と協力し、利用しやすいバス路線を策定するべきだ。高齢者の自動車運転も増加し見ていると怖い。そのためにも、広域的に各市と協議して頂きたい。
19	市内循環バスは夜に運行していないのであまり意味がない。どうせなら鴻巣市のバスが真名板くらいまで来るように働きかけてほしい。
20	産業道路にバスを通してほしい。
21	県の管轄とは言え、忍川の工事の整備をお願いする。特に北側は、通勤時に大変車が通るので道幅いっぱいアスファルトにしてほしい。秩父鉄道行田市駅裏と同じ様に谷故橋から吹上橋の間を。
22	バスが通っていない所、交通手段が自動車しかないため、不便さを感じている市民もいる。市の中心部だけが行田市でないことも考えてほしい。また、市中心部とJR行田駅周辺に

	は“別もの”といった印象を受ける。歴史等をアピールしていきたいのなら、建物全てを変えていかなくてはいけないと思う。行田が大好きです。ゆっくり流れる時間を大切にしてほしい。
23	南大通線開通で利便性は増したが、忍川・星川の汚いイメージがある。
24	JR行田駅周辺の整備。雇用環境の充実。公共の交通機関の必要性。
25	長期のまちづくりを考えてもらいたい。行田市は何を変えれば少子高齢化を改善出来るのか。行田市に住んでいる今の10代20代の子供達が、行田市を離れたくないとってもらえないと、子供の数も増えないと思う。JR行田駅の建て替え、周りの住宅の整備等、活気あるまちづくりが必要だと思う。将来を考え、JR行田駅からのモノレールをつくるのも良いと思う。
26	市の中心部ばかりではなく、JR行田駅前周辺の開発を進めてほしいです。しいて言うならば、このアンケートが市の中心部の事であることが不満である。また、選択肢が環境（景観）面にかたよっている点も気になる。似た様な質問が多数あったり、正直答えにくいアンケートであったと思う。
27	駅や買い物の場などが遠く、自動車がなければ不便である現状で、高齢者世帯が増えているのもまた事実である。自動車を持たない人々が暮らしやすいまちづくり（バスの整備など）にもっと力を入れて取り組むべきであると思う。これは、高齢者ドライバーを減らし、交通事故減少につながるという点でも取り組む利点があるのではないだろうか。字の大きさ、分かりやすさの確認のため、実施前に一度お年寄りなどに見せてみては。分かりやすさは回答率UPにつながると思う。
28	ずっと気になっていたが、田んぼで不用な稲わらなどを燃やしているのは何故ですか。ずいぶん昔に禁止が決まったはず、それなのにほとんどの田んぼで平然と燃やしている。いけないことである以上、市できちんと注意をして欲しい。非常に迷惑している。（運転中煙で道が見えない、窓をあけられない、洗濯物を干せない）無用な道路をつくらないで欲しい。税金は大切に使ってほしい。そのくせ肝心だと思われる道路の補修などは遅い。
29	アミューズメント施設やショッピングモールなどをつくり市外からの人を増やす。遊ぶ場所、働く場所が少ない。駅が遠い。市内からJR北鴻巣駅や鴻巣駅に行けるバスがほしい。イベントより都市化が必要である。
30	行田市として観光都市を目指すのか、商業都市を目指すのか、あるいは住居を中心とした都市を目指すのかあまりはっきりしていない感じがする。または、アピール不足なのか、JR行田駅は東京方面に行くには不便である。もっとJR吹上駅や北鴻巣駅への市バスの運行を図ることが大切であると思う。
31	道路の整備にパッチワークの舗装を。
32	JR行田駅及び行田市駅周辺の景観、道路の拡幅、バス運行（特に行田駅と市内の運行を密にする）、大企業の進出を進める。 カインズホームと国道17号バイパスとカラクリ時計迄の道路が集中的に混雑するので、道路の拡幅が必要と思われる。
33	駐車場
34	老人対策をお願いします。新しい情報をお願いします。市道の対策をお願いします。
35	旧市街地の活性化は無理なので、カインズホームのような人、物、金が集まる施設を積極的に誘致する。 南河原地区の幹線道路の整備を早急に。 B級グルメの様なイベントを今後も続ける。
36	市中心部に住んでいるわけではないので、市中心部のみのまちづくりには賛成できない。市内全域かあるいは公共交通手段をもう少しなんとかしていただかないと本当の意味での「行田市のまちづくり」にはならないと思う。
37	狭い道路、生活道路の早期整備を希望する。

3. 緑と水辺のネットワークの整備（計 37 件）

1	市中心部市街地の道路整備だけではなく郊外にも整備しなくてはならない道路や台風などの大雨で河川の氾濫や浸水する地域がある。市民が安心して生活できる様にそちらにも対策や強化整備が必要だと思う。観光や景観に力を入れるのも大切だが、まずは市民の安全に力を入れてほしい。
2	土・日・祝日に出かけようとする、行田市を出て、鴻巣市・千代田町・太田市・熊谷市・羽生市の公園や施設を利用しに行くのが現状。子供も大人も満足できる、魅力ある公園や施設が近くの市や町にあるので、わざわざでも出かける。他市の大型施設にも負けないような商店街があればいいのに。赤ちゃんがいても安心で、お年寄りもすぐに椅子が探せるような。また元気キッズもただの広場ではものたりない。
3	古墳等歴史あるものを大切に、なるべく自然を増やすべきだと思う。駅や市役所以外の交通の不便さを改善してほしい。
4	中央児童公園を500万円かけて改修し、ブランコ・シーソーが無くなり大きな滑り台が出来たが、夏は暑くて、滑り台も熱く子供が来ても滑れない。また、防災行政無線がうるさくて、寝ていても起こされて困る。
5	利根大堰、武蔵水路の永年にわたる影響で、埼玉県側へ利根川の流れが偏っている。防災上、群馬県側にも水流を創出すべき。自然再生にもなる。
6	田園風景や緑のやさしさは心がホッとするとつたと思う。人々のやさしさや笑顔も大切だと思う。
7	最近の新興住宅は樹木がまったくなく、この様な状況が続くかぎり温暖化の増長は続くと思う。行田市の土地価格は何十年も固定化しており、今後の住宅用地は50坪以上の用地確保を条件とすべきである。又、植樹を支援し、市が補助金を出して緑化を促進すべきと思う。緑のない住宅は情緒もない無味な人間形成につながるのではないかと危惧してしまう。
8	市民憲章にあるように、自然を生かし美しいまちを、第一に改善することで郷土愛、思いやりが生まれ、住みよい、豊かな、明るいまちができると思う。
9	行田のまちを自転車で、さきたま古墳群とその周辺を散策した時ですが、道路はガタガタで狭く、とても安心して通れるものではなかった。また、美味しい食べ物もない行田のまちです。友だちも楽しくよべない。
10	移動できない地域資源のため仕方がないが、古代蓮の里やさきたま古墳群、忍城址などがバラバラに離れているため、一体感が感じられない。まずは忍城址に的を絞って、周辺を完璧に整備する。一ヶ所を集中的に始めた方がよいと思う。映画も公開されるし。店がほとんど無い国道17号バイパスに「道の駅ぎょうだ」をつくと認知度が上がると思う。
11	生活排水路が汚く蚊等がひどい。小さな流れもあれば一人ひとりが気をつけるのでは。ドブ川に見えるから汚しても平気な感覚なのは。水（川）は大事である。美しい川であってほしい。
12	さきたま古墳群や、忍城址など誇れる資源がありながら、どこか活かせないように思う。遠くから足を運んで行田市へ来て下さる方が満足していただけるよう、もっと、大きくがらりと変わるくらいに古いまち並みを再現したりして、イメージを変えていけたらいいと思う。
13	きれいな川が流れる街。子供達が川辺でたわむれる。水遊び出来る。水辺を散策出来る。もっと川を有効に生かしてほしい。
14	北河原地区にある切所の釣り場の整備、公園やサイクリングコースの整備、環境の美化を提案する。
15	市の歴史、文化の保全と活用のために市中心部だけでなく、郊外の中世の城館跡や寺社、各地区に伝わる民話にスポットライトをあて、市のHP等で紹介することが必要だと思う。（文化財等案内説明板も含む）また、その城館寺社等、民話にゆかりのある地点をまわるオリエンテーリング等、郊外の商店や飲食店も巻き込んで活性化につなげる取り組みも、

	市全体を考える上で必要だと思えます。
16	B級グルメ大会の推進や古代蓮の里の発展など素晴らしいと思う。これからも続けてほしい。
17	埼玉県の東部地区に住んでいたころは、行田市のイメージは熊谷市の大会へ行く途中の通過点の町に過ぎなかったが、からくり時計と水城公園の満々と水をたたえた様子は印象的であった。古代蓮の里のクリスマスの電飾もとても良いと思う。行田市は米と忍城址で勝負すべきである。北川辺のコシヒカリに負けない安くておいしいブランド米を開発し、駅や高速のSAにみやげとして置く。忍城址周辺の家は蔵づくりの家をイメージしたデザインのまち並に統一する。古代蓮の里－忍城址－さきたま古墳群を遊歩道とサイクリングロードとして整備する。行田市の発展を願ってやみません。例えば新聞の旅行会社のチラシで、秋の1日バスツアーのところを見た時に、「行田の1日〇〇ツアー」でみんなが申込みたくなる〇〇は何か。目玉が必要である。
18	元荒川の農業用水シーズンオフ時も水を流してほしい。流れていない状況ではゴミ捨て場化している。
19	緑道があまりにも利用されていないと思う。観光客はさきたま古墳にはいるが、緑道には少ない。また、さきたま古墳群から古代蓮の里までの道も早くきれいにしてほしい。緑道を新鋭の彫刻家等に開放してはどうだろうか。どこかの島でもそのような取り組みがなされ、観光資源につながっている。はっきり言って彫刻のすばらしさは分からない。今ある彫刻の良さも分かる人は少ないと思うので、新しい物でひきつけるのはどうだろうか。そして行田市の古墳・寺マップを作成し、サイクリングに良いまちはどうだろうか。そうすれば、途中でB級グルメにも手がのびるはず。
20	とにかく、川が汚れている。水と緑をテーマにしている市とは思えない。米と麦の刈りとり時期は、平気で野焼していて煙くて、住んでいられない。道路も田の泥だらけ。建築現場では、毎日、周辺の道路をそうじしているのに、農家の人はそのまま。子供の公園がほぼ皆無である。
21	子供たちの遊び場が各地域に少ない。アスレチックや色々と魅力のある（サイクリングコース）公園をつくってほしい。例えば、さきたま古墳群には土地がたくさんあるので、森林公園とまではいかなくとも、それに近いような感じの公園があるとうれしい。あまり市内の公園では遊ばないため。
22	かつて、埼玉県内で緑化率が最低に近い水準だったと思う。要するに「木」が少ない。平地という特性かもしれないが、潤いある「森」が欲しい。森づくりの運動が始まってはいるが、何十年もかかる。その頃にはほとんど我々世代はもういない。「森」をつくって欲しいが。
23	世界遺産登録の為に予算を使うのはやめてほしい。公園の日常的な整備をきちんとしてほしい。（花の管理など）水城公園の噴水側はいつも荒れています。新たに何かを作るのではなく、既存の施設を最善の状態に保つことをしてほしい。JR行田駅を活用するには、無理があり、現実的ではない。市中心部の再開発、整備に力を注いでほしい。
24	行田市はやはり、さきたま古墳群、忍城址、古代蓮の里などの観光資源を大事にして行きながら、市外に通勤通学しやすい環境づくりをする必要があると思う。
25	南大通線の開通で利便性は増した。しかし、忍川・星川が汚いイメージがある。
26	武蔵水路に水力発電を設置するよう提案する。
27	景観の問題として、市内には自然景観として良いと思われる場所がいくつもあると思う。しかし、残念ながら水が汚い。岸辺や川の中に廃棄物などが放置されていて、景観を損なっていると思う。住民の意識、モラルの問題が大きいと思う。
28	古代蓮の里を、犬連れOKにしてほしい。生徒数の少ない学校の区域に、公園をつくってほしい。
29	以前、他県を旅行した時に気付いたことがある。市の中心部や観光名所だけでなく、周りの地域もとても綺麗だった。市も市中心部以外の整備を他の地区でも取り組むべきだと思う。又、公園など遊ぶ所があまりない。幅広い年齢層の方々が使用できる公共施設や多目的広場があったら良いと思う。

30	宿泊施設の整備、ゆっくり行田市の観光地めぐりが出来る様に。忍川、星川、武蔵水路等にすばらしい桜の木が有る。ただし、整備や手入れに欠けている所もたくさん有るので整備して頂きたい。
31	問14のJR行田駅の周辺だけでなく秩父鉄道の各駅の周辺も改善してほしい。（東行田駅の道路にも手押しボタンの信号等をつけてもらいたい）河川をきれいにしてほしい。川がどぶみたいで魚を見ない。
32	市民プール脇の芝生広場を、他の場所にもつくってほしい。
33	古墳時代から近代までの歴史資源を活用した観光のまちづくりを推進する。（例、鎌倉市）
34	JR行田駅（表玄関）、中心街の再開発、足袋蔵、観光案内所、クリニック、中高層住宅・商業施設（しゃれたレストラン/カフェ、ゼリーフライ/フライ店、工房、アミューズメント施設、本/ビデオ店など）を集積し、観光客、若者も魅力を感じる活気・賑いのあるまち並を創出する。散在する歴史文化遺産を連結し、歴史ストーリーを探访する「歴史とロマンのまち」を再構築する。古代（古代蓮、コノハナサクハヒメ）、中世（坂東武士・河原太郎・次郎、のぼう様、甲斐姫、忍城主）、近世（足袋蔵・田舎教師など）TPP参加を念頭に、休耕地を含む農地の集約による大規模農業や農業試験所の指導を受けて、最新種果樹の観光農園を創出する。古墳群の遺跡発掘による世界遺産への登録を是非実現してほしい。
35	利根大堰周辺を活用した拠点整備を行うことで、地域の活性化につながる計画づくりを希望する。
36	まちづくりに有効な手段として、忍城址や古代蓮の里タワー、ものづくり大学などが施策展開されたが、ほとんど奏功していない。また、さきたま古墳群を除けば、歴史的な建造物の保護も、ほとんど考えられてこなかった。都市計画のマスタープランというものがあるのであれば、全体的に再考が必要と考えている。
37	最近では温暖化で自然災害（洪水）などが多くなる傾向にある。市では農業用排水等の整備拡充にもっと力を注いでほしい。そうすれば、多雨により市町村の河川の水量が増加して水が堤防から氾濫し、流出することもなく、安心して過ごせます。

4. 下水処理施設などの整備（計13件）

1	小針クリーンセンターの焼却場の新設に伴い、周辺の農地を利用し毎日ゴミが出せる様に焼却場をつくり、その熱で1年中使用できる温水プールや温泉などの整備をすれば良いと思う。埼玉地区の農地などを商業施設にしてみたいか。アンケートの協力と共に市の方で何か粗品などを頂けないのか。市中心部ばかり道がきれいになっている様に思う。
2	生活排水路が汚く蚊等がひどい。小さな流れも整備されていれば一人ひとりが気をつけるのではないかと。ドブ川に見えるから汚しても平気な感覚なのでは。水（川）は大事です。美しい川であって欲しい。
3	市中心部だけお金をかけて整備開発している様にしか思えない。もっと郊外にも下水道、生活道路の整備等進めて頂きたい。秩父鉄道行田市駅前（中心部）に葬儀所を作っている様じゃ活気が出る訳がない。もっと商店、飲食店を増やしてほしい。他の市より何か一つでも勝る（医療、子育て等）物をつくって住みよいまちづくりをお願いする。
4	粗大ゴミの収集方法。市での自動車、自転車等の貸出。災害時の市の体制の強化。
5	市内各地に捨てられる粗大ゴミの回収。
6	無駄に税金を使わないで欲しいです。ドブのフタの整備をして欲しい。外灯をもっと増やして欲しい。（田舎の方に）
7	行田市をより活性化するには、1土地を企業誘致に活かす。大手企業、中企業への積極的アピールする。2若者が集まる街づくり。大学学術の都市推進を行い、学生を行田市に呼ぶ。人口が増、居住環境の整備強化、交通機関の整備等、おのずとインフラ構築強化が必要となり、そこに雇用が発生する。3エコ、自然にやさしいまちづくり。不要な土地（農地、空地）にソーラパネル設備を設置し太陽光発電システムのモデル都市を目指す。

8	行田市内でも、南側の整備ばかりで、北大通り（国道125号バイパス）の方は、下水処理、農道の舗装、水道管、ガス管の設備が遅れている。ECOでソーラーとかいわれても、この辺では無理である。生ゴミ処理機の補助金が行田市にはないので生ゴミ処理機購入するのをやめた。
9	JR行田駅付近の活性化、マンションや商業施設の誘致。人口も増やし、他市からの買物客や観光客を増やす。小針の焼却センターの所に焼却熱を利用したスパ施設の建設。（高齢者にもやさしい施設）郵便局の本局の駐車場が狭いので、広い所に移転してほしい。JR行田駅付近は新しく。古い街並みは、1ヶ所に集中させる。工業団地にもっと企業誘致する。田園風景は好きである。農業者支援。高齢者支援。（一人暮らしや、老夫婦）
10	ふたのない側溝の汚泥の汲み取りを定期的にお願ひしたい。
11	市街地は下水道が整備されていますが市外は下水道が遅れている為、もし大水害でも起きたら浄化槽からあふれ汚泥となって家の中迄入ってくると思う。下水道は時間とお金がかかると思うが整備されると良いと願っている。 行政の税収とサービスの事も心配である。
12	犬の糞を畑や草むら、玄関、カーポートの前に置いていく人がいて、農家の人が困っている。 家庭の生ゴミの処理、生ゴミポットの家庭での購入補助。焼却炉の長持ちのため、加須市では実施している。 下水道の整備により、きれいな川を。
13	最近では温暖化で自然災害（洪水）など多くなる傾向がある。市では農業用排水等の整備拡充にもっと力を注いでほしい。そうすれば、多雨でも市町村は河川の水量が増加しても水が堤防から氾濫し、流出することもなく、安心して過ごせる。

5. 活性化を先導する施設の整備（計9件）

1	歴史ある行田の風景が大好きである。サイクリングするだけで古代から戦国時代（のぼうの城宣伝効果があるといいですね）、ちょっと懐かしい裏通り、現代までタイムスリップを楽しめる。懐かしい風景をそのままに、まちのシステム、福祉、考え方、教育等の内面は最新のメリハリのある市を目指していただけると嬉しい。味のある個人商店（レンガや蔵造りの）が好きなので、いたずらに流行の外観に建て直してしないよう祈っているが、こればかりは店主の意向で仕方ない。
2	少子化に対し学校が多すぎる。（学校選択か統合）夜は暗すぎるし人も少なく怖い。若い世代の地域参加。行田市の国際化。
3	市の中心部である市街地へのアクセスが不便。道路も、まだまだ狭い所があり、駐車スペースも市街地には少ない。商店街の活性化にはマイナス因子である。現在の、市役所を駐車スペースとして、JR行田駅の近い所に市役所の移転と、観光案内の統合を推進されれば良いと思う。
4	市の歴史・文化の保全と活用のために、市中心部だけでなく、郊外の中世の城館跡や寺社や各地区に伝わる民話にスポットライトをあて、市のHP等で紹介することが必要だと思う。（文化財等案内説明板も含む）また、その城館寺社等、民話にゆかりのある地点をまわるオリエンテーリング等、郊外の商店や飲食店も巻き込んで活性化につなげる取り組みも、市全体を考える上で必要だと思う。
5	図書館が、どうして遠くへ移転したのかいまだに理解できません。公共交通が盛んな場所に（駅等へ向かう大通りに面した場所）あれば自家用車が無くても行けるのに。公共施設が主に自動車でしか行けない場所や、バス利用でもバス停から歩く、またはバスの本数が少なすぎなど利便性に欠ける。観光客の為だけではなく、多くの市民（子供～年寄り）が何度でも利用したくなる「まちづくり」を願っている。
6	JR行田駅付近の活性化、マンションや商業施設を誘致。人口も増やし、他市からの買物客

	や、観光客を増やす。小針の焼却センターの所に焼却熱を利用したスバ施設の建設（高齢者にもやさしい施設）郵便局の本局の駐車場が狭いので、広い所に移転してほしい。JR行田駅付近は新しく。古いまち並みは1ヶ所に集中させる。工業団地にもっと企業誘致する。田園風景は好きである。農業者支援。高齢者支援。（一人暮らしや、老夫婦）
7	図書館も好きで、1才5ヶ月になったわが子ともよく行く。しかし、授乳室がないのが残念。うちの子は、まだ母乳をのんでいるので、ママと子どもがくつろげる空間があると嬉しいと思う。それと、市役所には授乳室がありますが…ちょっと寒々しい感じで（利用したとき）残念だった。あたたかみのある空間を望む。
8	大きなスポーツイベントの出来る競技場をつくって、他県からの人集めなどが出来れば良いと思う。
9	JR行田駅（表玄関）、中心街の再開発、足袋蔵、観光案内所、クリニック、中高層住宅・商業施設（しゃれたレストラン/カフェ、ゼリーフライ/フライ店、工房、アミューズメント施設、本/ビデオ店など）を集積し、観光客、若者も魅力を感じる活気・賑いのあるまち並を創出する。散在する歴史文化遺産を連結し、歴史ヒストリーを探訪する「歴史とロマンのまち」を再構築する。古代（古代蓮、コノハナサクハヒメ）、中世（坂東武士・河原太郎・次郎、のぼう様、甲斐姫、忍城主）、近世（足袋蔵・田舎教師など） TPP参加を念頭に、休耕地を含む農地の集約による大規模農業や農業試験所の指導を受けて、最新種果樹の観光農園を創出する。 古墳群の遺跡発掘による世界遺産への登録を是非実現してほしい。

6. 景観の形成（計20件）

1	歴史ある行田の風景が大好きである。サイクリングするだけで古代から戦国時代（のぼうの城宣伝効果があるといいですね）、ちょっと懐かしい裏通り、現代までタイムスリップを楽しめる。懐かしい風景をそのままに、まちのシステム、福祉、考え方、教育等の内面は最新のメリハリのある市を目指していただけると嬉しい。味のある個人商店（レンガや蔵造りの）が好きなので、いたずらに流行の外観に建て直してしないよう祈っているが、こればかりは店主の意向で仕方ない。
2	私は行田市の歴史的なまち並みを誇りに思っているし、このまちに生まれた事も嬉しく思っている。ずっとこのまちに住んでいるから、所々近代化しているのを見て正直寂しく感じる事がある。観光客やメディア等を集める事も悪くないとは思いますが、昔から住んでいる市民を第一に、市民が住みやすく、安心でき、気の置けない“ふるさと”守ってほしい。
3	行田らしいまちづくりをする事が望ましいと思う。現状、公共施設はある程度充実していると思いますが、商店街が寂しく感じる。もっと歴史、文化、観光に転換した商店街も必要だと思う。
4	田園風景や緑のやさしさは心がホッとするとつだと思う。また、人々のやさしさや笑顔も大切だと思う。
5	特に都市の美化。美化運動、キャンペーン等（花を植える、空缶を捨てない等）美化キャンペーンの実施。
6	市民憲章にあるように、自然を生かし、美しいまちを、第一に改善することで郷土愛、思いやりが生れ、住みよい、豊かな、明るいまちができると思う。
7	JR行田駅の方に住んでいるが、やはりゴミが目立つので美化活動を積極的にやった方が良いと思う。市の中心部でのまちづくりが盛んなようだが、正直足を運びたいとは思わない。もう少し魅力のある建物等ができて良いのかなと思う。また、さきたま古墳群の世界遺産登録は選ばれないと思うし、推進しない方が良いと思う。
8	さきたま古墳群や、忍城址など誇れる資源がありながら、どこか活かせてないように思う。遠くから足を運んで行田へ来て下さる方が満足していただけるよう、もっと、大きくがらりと変わるくらい古いまち並みを再現したりして、イメージを変えていけたらいいと思う。

9	三谷郷に住んでいる。自宅近くに一反の畑があるが、1m程土が盛ってあり、その上に雑草が伸び放題で草丈1m以上で木のような状態になっている。この畑の脇の道路を私達は毎日利用しており、自動車1台がやっと通れる幅しかないなのでこの雑草が通行の妨げになり、畑の脇の道路から広い道路に出る際見え難く危険である。堪り兼ねて父母が8月中旬頃お隣さんと植木鋏で（幹が太くて鎌では刈れません）道路の出入り口（畑の南角）と道路際だけ草を刈り、除草剤を散布した。地主さんは田んぼには除草剤を散布してくれているが、畑の方は近隣住民に迷惑をかけているとは思っていないようである。景観も悪いし、これから草が枯れて自動車からたばこを投げ捨てられたら火災の原因にもなるので、市で定期的に巡回していただき、このような土地の地主さんへ指導していただきたい。
10	緑道があまりにも利用されていないと思う。観光客も古墳にはいるが、緑道には少ない。また、さきたま古墳群から古代蓮の里までの道も早くきれいにしてほしい。緑道を新鋭の彫刻家等に開放してはどうだろうか。どこかの島でもそのような取り組みがなされ、観光資源につながっている。はっきり言って彫刻のすばらしさは、分からないが、今ある彫刻の良さも分かる人はいない（少ない）と思うので、新しい物でひきつけるのはいかがだろうか。そして行田市の古墳、寺マップを作成し、サイクリングに良いまちはどうだろうか。そうすれば、途中でB級グルメにも手がのびるはずである。
11	市の中心部の美化整備だけではなく、田舎の道の整備、ゴミ山や、草山と道路にまで草が生えとても良い住み心地ではない。夜は外灯もなくまっ暗。以前、鴻巣市に住んでいたがどこへ行っても花と緑、遊歩道もキレイで街中だけで子育てができた。キレイな行田市全体にしてほしい。友人が来た時、夜は恐くて遊びに行けないね。と言っていた。残念。子供も大人も住み良いキレイなまちにしてほしい。
12	バスが通っていない所は、交通手段が自動車しかないため、不便さを感じている市民もいます。市の中心部だけが行田市でないことも考えてほしいと思う。また、市中心部とJR行田駅周辺には“別もの”といった印象を受ける。歴史等をアピールしていきたいのなら、建物全てを変えていかななくてはと思う。行田が大好きです。ゆっくり流れる時間を大切にしてほしい。
13	JR行田駅付近の活性化、マンションや商業施設を誘致。人口も増やし、他市からの買物客や、観光客を増やす。小針の焼却センターの所に焼却熱を利用したスバ施設の建設（高齢者にもやさしい施設）郵便局の本局の駐車場が狭いので、広い所に移転してほしい。JR行田駅付近は新しく、古いまち並みは1ヶ所に集中させる。工業団地にもっと企業誘致する。田園風景は好きである。農業者支援。高齢者支援。（一人暮らしや、老夫婦）
14	道路ばかりでなく景観も共に整備する。そこに立つ電柱の地中化を促進する。予算が多すぎて、金額がかかるのかわからない。多く支払っているのではとったりしてしまう。このまちづくりプラン自体が市民に知られていない事が問題だと思う。このアンケートが有効に使われることを願っている。
15	景観の問題として、市内には自然景観として良いと思われる場所がいくつもあると思う。しかし、残念ながら水が汚い。岸辺や川の中に廃棄物などが放置されていて景観を損なっていると思う。住民の意識、モラルの問題が大きいと思う。
16	以前、他県を旅行した時に気付いたことがある。市の中心部や観光名所だけでなく、周りの地域もとても綺麗であった。行田市中心部以外の整備を他の地区でも取り組むべきだと思う。また、公園など遊ぶ所があまりない。幅広い年齢層の方々が使用できる公共施設や多目的広場があったら良いと思う。
17	古墳時代から近代までの歴史資源を活用した観光のまちづくりを推進する。（例、鎌倉市）
18	JR行田駅及び行田市駅周辺の景観、道路の拡幅、バス運行（特に行田駅と市内の運行を密にする）、大企業の進出を進める。カインズホームと国道17号バイパスとカラクリ時計迄の道路が集中的に混雑するので、道路の拡幅が必要と思われる。
19	JR行田駅（表玄関）、中心街の再開発、足袋蔵、観光案内所、クリニック、中高層住宅・商業施設（しゃれたレストラン/カフェ、ゼリーフライ/フライ店、工房、アミューズメント施設、本/ビデオ店など）を集積し、観光客、若者も魅力を感じる活気・賑いのあるまち並を創出する。散在する歴史文化遺産を連結し、歴史ヒストリーを探访する「歴史と

	<p>「ロマンのまち」を再構築する。古代（古代蓮、コノハナサクハヒメ）、中世（坂東武士・河原太郎・次郎、のぼう様、甲斐姫、忍城主）、近世（足袋蔵・田舎教師など）</p> <p>ＴＰＰ参加を念頭に、休耕地を含む農地の集約による大規模農業や農業試験所の指導を受けて、最新種果樹の観光農園を創出する。</p> <p>古墳群の遺跡発掘による世界遺産への登録を是非実現してほしい。</p>
20	<p>まちづくりに有効な手段として、忍城址や古代蓮の里タワー、ものづくり大学などが施策されたが、ほとんど奏功していない。また、さきたま古墳群を除けば、歴史的な建造物の保護も、ほとんどは考えられてこなかった。都市計画のマスタープランというものがあるのであれば、全体的に再考が必要と考えている。</p>

7. 生活環境の改善（計71件）

1	<p>まちづくり、特に市の中心部に統一性がない。大きな駐車場もない。このままでは中心部のまちは、活性化を失うばかりである。まず、市民が自動車で来られる所、自動車で買い物に来られるようにしないと、中心部の活性化はムリである。それと、きたない建物、これは、取りこわす。使われていない商店も多数ある。これは市の力で取りこわして、その次に、統一性を持ったまち並みにする。</p>
2	<p>使っていない店舗などを活用して、お店を持ちたい人達に委託販売の場所を提供し、その運営を市民で行うなどして、地域内を活発にできないかなと思う。似た意見としては若者の地域密着をはかる為、若者が自信を持って取り組める事を増やしていけないかなと思う。例）委託物の作成、簡単なマスコットやおかし作り、行田市をテーマにしたファッションショーなど</p>
3	<p>私は5年前から行田に住んでいる。市の中心部ではない（長野）。一度もＪＲ行田駅を利用したことがなく、その必要も今の所ありませんが、ＪＲ行田駅にしかない何かがあれば是非行ってみたい。私にはＪＲ行田駅は遠く、また、自動車なしでは生活ができない所というイメージが強い。このアンケートを記入しながら市中心部のみ活性化し、歩いて全てがそろう環境を目指していたのかと感じた。</p>
4	<p>少子化に対し学校が多すぎる。（学校選択か統合）夜は暗すぎるし人も少なく怖い。若い世代の地域参加。行田市の国際化。</p>
5	<p>市中心部市街地の道路整備だけではなく郊外も整備しなくてはならない。道路や台風など大雨で河川の氾濫や浸水する地域があるので、市民が安心して生活できる様にそちらにも対策や強化整備が必要だと思う。観光や景観に力を入れるのも大切だが、まずは市民の安全に力を入れてほしい。</p>
6	<p>富士見二丁目今西ガラス店前の市道約180m区間について、ここだけが周辺の市道から取り残されて、舗装が傷み未整備のままである。是非この道路の改良整備をお願いしたい。なお、行田中央病院の駐車場にも面しており、利用車も頻繁に通る。今時この様な道路はないのでは。</p>
7	<p>水害対策（道路の冠水）に力を入れてほしい。</p>
8	<p>古墳等歴史あるものを大切に、なるべく自然を増やすべきだと思う。駅や市役所以外の交通の不便さを改善してほしい。</p>
9	<p>カラスによる糞の被害に力を入れてほしい。 唯一のスーパエコスがなくなったら買物難民がふえてしまう。すべての人が車で買い物に行けるわけではなく、自転車や老人のように徒歩でしか買い物に行けない人がたくさんいる。まちをきれいにする前に日常生活（食品の買い物）ができないことが困る。まちづくり推進課の方々もっとまちに出て現状をみてほしい。（机の上だけで資料をみていてはだめである。）</p>
10	<p>街中の商店を（閉店している）もっと活気のあるものに。歩道の整備を（街中からお城までは特に）してほしい。</p>

11	自然のものは自然のままに、アスファルトの歩道より土の歩道の方が歩きやすく身体に良い。無理な開発はきらいである。
12	信号の連動が良くないと思う。(青信号で進むと、次の信号では赤になったりする)これ以上市中心部に色々集めたり、人の集まることを多くすると渋滞が多くなって迷惑である。市内全体を行き来できるような何かができないか。
13	不在住宅が老朽化して、災害時に周辺に迷惑をかけることもあるので、所有者に処分をしてもらい、更地にするなどの指導をしてもらいたい。(どこに不在住宅があるか確認していないと出来ないが)
14	まちの防犯に、とにかく強化をお願いしたい。どんなにすばらしい景観であっても安心して住めないのなら意味がないと思う。何度も危険な目にあっているのでよろしく願います。
15	3. 11の東日本大震災とそれ以降、今迄想定された以上の降雨による大きな災害が発生しているので、安全で安心して住めるまちづくりを重視した都市計画やまちづくりを推進するよう地震と水害対策に特に力を入れてほしい。
16	少しの雨で家の前が浸水した。雨が降ると心配。住宅街での浸水はまち全体が困っているので、浸水しないようにしっかり対策を取ってほしい。
17	下水道完備した区域には、舗装道路の完備を早急に。
18	行田市には、まだまだ歩道のない道など、とても危険なところもあるので、そのようなところも改善していければ良いと思う。
19	街灯が少ないので夜道が危ない。不安に感じる。
20	市中心部だけお金を掛けて整備開発している様にしか思えない。もっと郊外にも下水道、生活道路の整備等進めて頂きたい。行田市駅前(中心部)に葬儀所を作っている様じゃ活気が出る訳がない。もっと商店、飲食店を増やしてほしい。他の市より何か一つでも勝る(医療、子育て等)物を作って住みよいまちづくりをお願いする。
21	市中心部を整備し暮らしやすくする事も大切だが、結局、自動車での移動が最も多いと感じるので、熊谷市や羽生市と云った大きな商業施設へ出掛けてしまう。病院なども同じ。だったら市中心部以外の土地に駐車場のある施設をつくり、そこまでの道路を整備する方が良いのではないか。子供達の通学路の整備も中途ハンパ。ここまでは安全、ここからは気をつけて、ではなく、家まで安全に帰れる様にしてほしい。必要なら信号もつけてほしい。予算のつかい方を考えてほしい。
22	家の近くに、川(忍川)があるが、秩父鉄道行田駅の辺りだけ整備されていて、キッサ店コロラドから持田駅の間は、何も整備されてなく道がぶつかる所だけガードレールがあるだけなので、子どもにとって危ない。どうか、川沿い全部にガードレールか、さくか、木でもいいので、危なくないようにしてほしい。
23	循環バスのルート見直し。駅に行けない。 国道125号バイパスを完全2車線にする。中途半端。 国道125号バイパスの深夜の信号持ち時間短縮。設定見直し。 田の刈り入れ後の火もしによる煙に気をつかう事。 バイパス周辺に店舗が少ない。せめてコンビニがあっても良いかと。 行田市にもイオンモールをつくってはどうか。
24	まち外れでも幹線道路及び歩道の整備、案内板等。
25	三谷郷に住んでいる。自宅近くに一反の畑があるが、1m程土が盛ってあり、その上に雑草が伸び放題で草丈1m以上で木のような状態になっている。この畑の脇の道路を私達は毎日利用しており、自動車1台がやっと通れる幅しかないなのでこの雑草が通行の妨げになり、畑の脇の道路から広い道路に出る際見え難く危険である。堪り兼ねて父母が8月中旬頃お隣さんと植木鉢で(幹が太くて鎌では刈れません)道路の出入り口(畑の南角)と道路際だけ草を刈り、除草剤を散布した。地主さんは田んぼには除草剤を散布してくれているが、畑の方は近隣住民に迷惑をかけているとは思っていないようである。景観も悪いし、これから草が枯れて自動車からたばこを投げ捨てられたら火災の原因にもなるので、市で定期的に巡回していただき、このような土地の地主さんへ指導していただきたい。

26	市街地と農村部の格差が大きく農村部への整備、コミュニケーション等を推進し、若者や子供、行田市民全体が参加できるようなイベントや地域の行事等を土、日にも行えるようにしてほしい。そうすれば各地域で活性化が図れると思う。
27	大型ゴミの収集方法。市での自動車、自転車等の貸出。災害時の市の体制の強化。
28	都市計画も良いと思うが、計画区域外の住居の方々の利便性を考えなければ、市の発展は考えられないと思う。
29	国道125号沿いのわらべ銅人形は不要だと思う。あのような物にお金を投資するのであれば街灯をつける、道路整備など役立つことに使用してほしい。税金がもったいない。税金のムダ使いはやめてほしい。
30	自転車で通行するのが大変な砂利道を整備してほしい。
31	私の住んでいる所は農村地帯です。商店があったのに段々なくなって、ちょっと不便である。年を取って来ると自転車も乗れなくなって人の頼りになる。お店が出来れば良いと思っている。
32	元気で安心なまちづくりをお願いしたい。いままでの成果はでていると感じられる。もう一步、市の活動、取組みをお願いしたい。
33	とにかく、もしもの時に安心してくらせるまちづくりを目指してほしい。若い人が出て行かなくて済む、暮らしていけるまちづくり。(景観などはそのあとでもよいのでは) 買物をする場所がない。(となりの羽生市に行っている)
34	市の中心部の美化整備だけではなく、田舎の道の整備、ゴミ山や、草山と道路にまで草が生えとても良い住み心地ではない。夜は外灯もなくまっ暗。以前、鴻巣市に住んでいたがどこへ行っても花と緑、遊歩道もキレイで街中だけで子育てができた。キレイな行田市全体にしてほしい。友人が来た時、夜は恐くて遊びに行けないね。と言っていた。残念。子供も大人も住み良いキレイなまちにしてほしい。
35	無駄に税金を使わないで欲しい。ドブのフタの整備をして欲しい。外灯をもっと増やして欲しい。(田舎の方に)
36	とにかく、川が汚れている。水と緑をテーマにしている市とは思えない。米と麦の刈りとり時期は、平気で野焼していて煙くて、住んでいられない。道路も田の泥だらけ。建築現場では、毎日、周辺の道路をそうじしているのに、農家はそのまま。子供の公園がほぼ皆無である。
37	市営住宅の整備、充実、エレベーターの設置、台風時、洪水注意報等の出される地域の防災対策等。
38	農村地域にも、インフラの整備を行ない、環境に配慮したまちづくりを行なってほしい。また、耕作放棄地の利用をしたまちづくりを要望する。
39	市内でも、南側の整備ばかりで、北大通り(国道125号バイパス)の方は、下水処理、農道の舗装、道水管、ガス管の設備が遅れている。ECOでソーラーとかいわれても、この辺では無理である。生ゴミ処理機の補助金が行田市にはないので生ゴミ処理機購入するのを止めた。
40	休耕田などに、産業廃棄物を埋め立てている場所が自宅の近くにたくさんある。早急に埋め立てに関する市条例を策定し、市民が安心して生活できるようにしてほしい。
41	いろいろな人の意見を聞くために、PTAを利用したらどうだろうか。自分の子供を育てていく上で真剣に考えてくれると思う。組織も大きいサイクルで人が入れ替わる。
42	私の家は、行田の最北です。よく来られる人は、ここは行田だったの。と言います。田んぼが多く(それは別に良いことですが)夜、自動車でなければ通りたくないくらい民家が集まる場所までの道のりが危ないです。国道125号あたりは、無駄だと思うほど上に2つ、下に2つ、というように街灯が一杯ある。建物があって、安全そうなのに、そこまで要りますか。こっちは、「チカンに注意」の看板や、ぼつぼつと立つ電灯だけである。ここは行田として認めてもらっていないようである。
43	市内の歩道と車道の段差がありすぎて非常に危険である。段差のない道路にしていだけたらと思う。

44	防犯、防災のお知らせの音響が良くないと思う。ほとんど内容がよく聞きとれない。
45	便利にしてほしい。
46	門井二丁目保留地の分譲を受け昭和52年より住んでいる。しかしまだに側溝の整備もされずに行政よりおきざりにされており、悲しい思いをしている。どうにかならないでしょうか。
47	人通りのあるまちづくりをしてほしい。秩父鉄道行田市駅付近は観光地区、JR行田駅付近は商工業推進として、人を集め、流れをつくっていくと良いのではないか。
48	市民への情報をたくさん用意する。 市外の人へのPRをもっと多く。(ホームページなど。パンフレットなど) 若い人達(20~30代)の意見を多く集める。 若い人達にまちづくりの組織に参画してもらう。 このたびのようなアンケートを有効活用する。 行田市と似た規模や歴史をもつ他の都市を参考にする。
49	市民の安全確保。まちづくりは一定のレベルに行っていると思う。埼玉県一安全なまちをつくれればいろんな事ができると思う。自動車で走っていてパトカーを見ない。他の市民から「行田市は安全だね」と言われるぐらいにしてほしい。
50	昨年、自宅前に現れた迷惑駐車によって、強い精神的苦痛を受け続け、言葉では表せないほどの苦しみを一人で抱え込んできた。道路を整備しておしまいではなく、それを市民がどのように共有し、利用するのかということも大切なことだと思う。「思いやりの心で」「きまりを守り」ながら一人一人がまちづくりに貢献できるように、市民の高いモラルの育成を、今後の都市計画に盛り込んでいただきたいと思う。
51	今後、減災のためのまちづくりを進めてもらいたい。
52	住宅街の道路の速度規制をしてほしい。
53	市中心部ばかり栄えていても何もならない。家の近くに商店もなく、買い物へ行くとしても自動車が必要だが、そういった手段さえない人もいる。学生の頃、同窓生達は皆そろって「こんな所には住んでたくない。都会へ出て行く。」と言っていた。市中心部で行っている様な事は、他の地域では全く行われていない。それならば市中心部と同じ事を他地域でも行ったら良いのではないか。このままでは、『市内格差』がますます拡大してしまう。
54	以前、他県を旅行した時に気付いたことがある。市の中心部や観光名所だけでなく、周りの地域もとても綺麗であった。行田市も中心部以外の整備を他の地区でも取り組むべきだと思う。また、公園など遊ぶ所があまりない。幅広い年齢層の方々が利用できる公共施設や多目的広場があったら良いと思う。
55	ずっと気になっていたが、田んぼで不用な稲わらなどを燃やしているのは何故か。ずいぶん昔に禁止が決まったはず。それなのにほとんどの田んぼで平然と燃している。いけないことである以上、市できちんと注意をしてほしい。非常に迷惑している(運転中煙で道が見えない、窓をあけられない、洗濯物を干せない)無用な道路をつくらないでほしい。税金は大切に使ってほしい。そのくせ肝心だと思われる道路の補修などは遅い。
56	アミューズメント施設やショッピングモールなどをつくり市外からの人を増やす。遊ぶ場所、働く場所がない。駅が遠い。市内からJR北鴻巣駅や鴻巣駅に行けるバスがほしい。イベントより都市化が必要である。
57	JR行田駅の周辺だけでなく秩父鉄道の各駅の周辺も改善してほしい。(東行田駅の道路にも手押しボタンの信号等をつけてもらいたい)河川をきれいにしてほしい。川がどぶみたくて魚を見ない。
58	住民参加という言葉に実際ピンとくるものがない。自治会を通すなどして、もっと住民に情報を伝えたら良いと思う。今感じていることは、高齢化する行田市をどうするか、子供や若者が非常に少なくなっている。青年をどう育てるのか、まちにとどまらせるか、真剣に考えていくことが大事だと思う。まちの中心部を青年が笑顔で集えるように何か考えられないか。
59	行田駅前の一部歩道の緑が必要ないし、道路の欠点など見聞して改善。

60	犬の飼い主に対して、違反条例等策定してほしい。地域で取り組んでいる美化活動の迷惑である。
61	道路の整備パッチワークの舗装はいかがなものでしょうか。
62	市中心部を整備し、活性化させるだけでは、市全体を良くすることにはならないと思う。マスタープラン策定に係るアンケートなので、市中心部やJR行田駅などの地域が中心になっているのは仕方ないが、行田市北部にも目を向けて、改善してもらいたい。中心部とは生活環境が違う。また小学校の統廃合により、地域の子供たちも減少してしまう。ぜひ、中心部から離れた所も視野に入れ考えてほしい。
63	行田市は田園風景が美しいまちであるが、外灯がなく危険な所でもあると思う。非常時に大声を出しても他者の耳に入らず助けが得られない場所が至る所に見受けられ、不安・危険を感じる。暮らしていく空間には、まずは安心安全が不可欠である。まちの活性化の一つとして農村部の安心安全の質の向上をお願いする。
64	野在住です。野地区のはずれにある国道17号バイパスに出る砂利道をなんとか舗装してほしい。毎日JR北鴻巣駅に行くのに通っているが、デコボコがひどい。なんとか舗装してほしい。
65	駐車場
66	まちの中心部は街灯が結構あるが、外れの方は少ないと思う。子供達が通る通学路に増やしてほしい。
67	犬のフンを畑や草むら、玄関・カーポートの前にフンを置いていく人がいて、農家の人は困っている。 家庭の生ゴミの処理、生ゴミポットの家庭での購入補助。焼却炉の長持ちのため、加須市では実施している。 下水道の整理により、きれいな川にしてほしい。
68	老人対策をお願いする。新しい情報をお願いする。市道の対策をお願いする。
69	市の中心部も大切だが、隅々までの細かいところまで考えて、市のまちづくりをお願いしたい。
70	市中心部に住んでいるわけではないので、中心部のみのまちづくりには賛成できません。市内全域かあるいは公共交通手段をもう少しなんとかしていただかないと本当の意味での「行田市まちづくり」にはならないと思う。
71	狭い道路、生活道路の早期整備。

8. その他（計106件）

1	歴史ある行田の風景が大好きである。サイクリングするだけで古代から戦国時代（のぼうの城宣伝効果があると良い。）、ちょっと懐かしい裏通り、現代までタイムスリップを楽しめる。懐かしい風景をそのままにまちのシステム、福祉、考え方、教育等の内面は最新のメリハリのある市を目指していただけると嬉しい。味のある個人商店が好き（レンガや蔵造りの）なので、いたずらに流行の外観に建て直さないよう祈っている。こればかりは店主の意向で仕方ない。
2	議員さんの数が多いのにいろいろな事が変わってない。さらなる働きを希望する。
3	私は行田市の歴史的なまち並みを誇りに思っているし、このまちに生まれた事も嬉しく思っている。ずっとこのまちに住んでいるから、所々近代化しているのを見て正直寂しく感じる事がある。観光客やメディア等を集める事も悪くないとは思うけど、昔から住んでいる市民を第一に、市民が住みやすく、安心でき、気の置けない“ふるさと”守ってほしい。行田市が大好きである。
4	問1、2の回答欄が違うような気がして難しかった。
5	行田市らしいまちづくりをする事が望ましいと思う。現状、公共施設はある程度充実していると思うが、商店街が寂しく感じる。もっと歴史、文化、観光に転換した商店街も必要だと思う。
6	市中心部活性化を促したいのか、風土景観を残したいのかのダブルバインドで、市中心部

	が栄えて周辺部は過疎化するのであれば手を加える必要はない。懐古主義に浸るのか近代化を推し進めるのか、はたまた二つを同時進行させるのか、それを改めて見つめ直さない限り、その二つが中途半端で終わるであろう。必要なのはリーダーの明確な方針表明だ。
7	なるべく多くの人意見が反映できるよう、自治会などで話しあってほしい。この用紙は、もう少し薄くてもよいのでは。
8	これ以上の都市化は、不要と考える。未来の日本のことや未来の行田のことを考えると、やはり大切にすべきものは「農業」と「繊維産業」の2つと考える。おいしい水を生かして、安全な農作物を作り、自給率を高めていくことで、行田市も発展するし、雇用の拡大にもつながると考える。また、農業に若者が興味を抱いて、従事したいと思えるような取り組みもしてほしい。「繊維」についても、若者が「縫製」に興味を抱いて「ミシン」を使った仕事に従事したいと思えるような取り組みをして、行田の伝統産業を守り続けてほしい。
9	市が主催する大きなイベントについては、市報、ホームページ等で市民へ周知しているが、近隣市町へも周知を依頼することによって、より多くの集客が見込めると思う。(市外の方は意外とイベント情報を知らないようです)
10	中心部だけでなく、全体に目を向けて、バランスの取れた街作りを目指して頂きたい。
11	震災復興で税金が高くなるとか円高で景気は良くならない。これはハッキリしていること。これを前提にするとアンケートの内容といい、タイミングといい、企画した人は何を考えているのか伺いたい。
12	私達のまちは歴史もあり。このままでは寂しくなるばかりである。桑名市のまちとも交流しもっと活気のある良い市になる様願っている。
13	カラスによる糞の被害に力を入れてほしい。 唯一のスーパーエコスがなくなったら買物難民がふえてしまう。すべての人が自動車で買い物に行けるわけではなく、自転車や老人のように徒歩でしか買い物に行けない人がたくさんいる。まちをきれいにする前に日常生活(食品の買い物)ができないことが困る。まちづくり推進課の方々はもっとまちに出て現状をみてほしい。(机の上だけで資料をみてはだめです。)
14	さきたま古墳群の世界遺産登録でさわいでいるが、世界遺産の意味がわかっていないようで恥ずかしい。
15	ある程度割り切った指針策定が必要である。全てを良くするのは無理である。
16	自然のものは自然のままに、アスファルトの歩道より土の歩道の方が歩きやすく身体に良い。無理な開発はさらいである。
17	商業施設がなく、他市へ流出している現状を寂しく思う。観光と商業が結び付くような計画があると良い。
18	まちづくりにはお金が必要である。そのために企業誘致など財務基盤の改善・充実が必要である。今のままではプランは描けても実施は難しい。
19	田園風景や緑のやさしさは心がほっとするひとつだと思ふ。また、人々のやさしさや笑顔も大切だと思ふ。
20	このアンケートをもらって、市のまちづくり、行田市都市計画マスタープランというのを初めて知った。まちなみ、道路の整備がされている事は知っていましたがそれがマスタープランだったという事がわかった。住み良いまち、楽しいまち、きれいなまちをつくってほしいと思ふ。
21	この様なアンケートをする労力・経費をもっと、他(医療や、公共施設)に使うべきだと思ふ。
22	土地柄、保守の人材が多い中、市のまちづくりの改善には利害関係者を除いた委員会の運営が必要だと思われる。(特に不動産関係業者の排除は必要です)
23	市民憲章にあるように、自然を生かし、美しいまちを、第一に改善することで郷土愛、思いやりが生まれ、住みよい、豊かな、明るいまちが出来ると思ふ。
24	生活道路の整備舗装について、市議等の紹介により達成されるのはおかし。議員は市民

	の代表でありもっと大局的な見地で活動されたい。道路管理は担当課において常に道路パトロールを行い、行政そのものによって順位を決め予算化して実施すべきではないか。身近なところから改革すべきである。
25	市の名前を変えてほしい。おそらく多数の若い行田市民が大学や、会社での自己紹介で、出身地を述べる際、「ぎょうざ」と誤ったイメージが伝わり、それが原因で、劣等感に苦しんでいると思う。私自身、それ以降「熊谷出身」と言うことにした。「行田」という漢字も、田舎イメージを強化するため、出身地名で、私自身のイメージが崩れている。同じ条件の住環境があれば、即、そのまちに移り住む。
26	同じお金をかけるなら、市民に意味のある、必要とする所にお金を使うべき。また、「市のまちづくり」に直接は関係ないかもしれませんが、「生活保護」についても考え直すべきだ。高齢になっても生活の為に懸命に働いているのに、若い人の中には、自分に仕事が合わないからと言って、生活保護を受けあそび回っている人がいるのは、おかしい。本当に大変な人がお金をもらわないで、もらわなくてもいい人がもらっているというのは、どのような基準で市や国は決めているのか。他の仕事も大事だと思うが、市の職員などたくさんいるのだから、その中で、この問題を真剣に取り組み、解決できるように、全力をつくしていただきたい。
27	行田のまちを自転車で、さきたま古墳とその周辺を散策した時ですが、道路はガタガタで狭く、とても安心して通れるものではなかった。また、おいしい食べ物も無い行田のまちでは友だちも楽しく呼べない。
28	JR行田駅の方に住んでいますが、やはりゴミが目立つので美化活動を積極的にやった方が良いと思う。市の中心部でのまちづくりが盛んなようだが、正直足を運びたいとは思わない。もう少し魅力のある建物等ができて良いのかなと思う。また、さきたま古墳群の世界遺産登録は選ばれないと思うし、推進しない方が良いと思う。
29	市の規模の小さを利点とした、フットワークのいい活動ができると良い。既成の概念にとらわれず、特区の利用などでまちづくりができると良いと思う。
30	これからも引き続きがんばってほしい。
31	人口減少など、起こりえないまちづくりをしてほしい。人口は全ての活力である。
32	自分達の考え方だけでなく、外部の新しい考え方を是非取り入れてほしい。固定的な考え方では、何も良くならないと考えている。
33	市街（中心部）地を見て感じることは、まるで活気がないということ。死にゆく街といった感じである。ひとつひとつ施策を打つ前に、何故活気がないのかということの根本原因（理由）を明らかにすることから行なうべきである。かつて「ふるさと創生資金」とかで国から一億もの予算がついた時、何の役にも立たない時計台をつくること自体、市の発想の貧困さにあきれたが、今度は、それを取り壊すらしい。このようなその場しのぎの施策を打つ前に、きちんとしたコンセプトをつくり上げてほしい。行政には、もっと発想力をつけてもらいたい。
34	行田市は都市計画について頑張っていると思う。
35	利権を意図した政治活動は止めてほしい。
36	何のための「まちづくり」か。行政の失敗を市民におしつけるのはやめてほしい。誰も責任をとらない政治って何なのか。何故、水道代が高いのか。
37	市民を優先して雇用する企業の誘致。（特に高齢者）
38	収入が高い母子家庭でも出費が多いというか、家族などの援助が必要なのに、働いても何の援助もない。他の市では、防災用品の支援や保育園の補助などがあるようです。市民の生活に助けになるものを進めてほしい。観光などは後回しにしてほしい。
39	現在だけでなく10年、20年後といった将来の展望を考えて行ってほしい。あまりにも近代的にしすぎて昔の良さが無くなるような改修はしないでほしい。（やりすぎの改修）。整備によって、多額の経費が必要となるような整備は考え直してほしいと思う。
40	商店街の再生、活性化は大きな課題である。行田らしい街づくり（歴史遺産を活かした街並の再現等）が必要である。本町通りの電線の埋設は何のためにやったのか。川越市の「蔵

	通り」の様にはできないのか。予算が減っているのは解るが、中途半端な街づくりなら止めの方が良いのでは。
41	もっと農業を支援してほしい。祭りとかは盛り上がるが、普段はすごく寂しい感じのまち、だから普段から活気がほしい。
42	市におまかせする。
43	市中心部の空店舗の再利用、活用、活生化。
44	何のために何を目的としてやっているのかをアピール(例えば工事現場に〇〇のためにやっていますETC)すると良い。
45	箱物を作るのであれば利根大堰付近に水力発電・風力発電等ができないか。モデル住宅街でエコな街の推進。さきたま古墳群付近でも良いのでは。用水を使った水車などを利用した軽水路水力発電等。市街地を使った再都市計画よりも田畑などを利用し、エコタウンの計画が良いと思う。行田にはプロがないから無理かな。
46	財政が豊かだとは思えないので、無駄な経費を削減してほしい。市職員も人数が多くないか。
47	アンケートを配付して、どれだけ回収出来るかわからないのに郵送費が無駄ではないか。市役所の待ち時間や、公共施設利用時に協力を求めた方が、経費がかからなくて良いのではないか。
48	今後、住宅地を増やすつもりがあるなら、どこでも誰でも家が作れる、そして、何があってもひとつ返事でOKのサインがあると良い。それから、公務員の消防署員がいるのだから村全体の消防団員など必要ないと思う。消防団員の方々は、サラリーマンで会社に行ったり商人だったりして、何の役にも立たない。何故そのような人達に金を出すのか知りたい。一杯飲む金か。行田市全体の税金を無駄に使わないで欲しい。市の消防署員がいるのだから任せる。無駄遣いとしか私には見えない。どう思っているのか紙上をもって説明してほしい。世間一般、皆そう思っているが、なかなか話のできる機会がない。本当は、いない人だよ。いないところに無駄使いをしていると思っている。
49	埼玉県東部地区に住んでいたころは、行田市のイメージは熊谷市の大会へ行く途中の通過点の町に過ぎなかったが、からくり時計と水城公園の満々と水をたたえた様子は印象的であった。古代蓮の里のクリスマスの電飾もとても良いと思う。行田市は米と忍城址で勝負すべきである。北川辺のコシヒカリに負けない安くておいしいブランド米を開発し、駅や高速のSAにみやげとして置く。忍城址周辺の家は蔵づくりの家をイメージしたデザインのまち並に統一する。古代蓮の里ー忍城址ーさきたま古墳群を遊歩道とサイクリングロードとして整備する。行田市の発展を願ってやみません。例えば新聞の旅行会社のチラシで、秋の1日バスツアーのところを見た時に、「行田の1日〇〇ツアー」でみんなが申込みたくなる〇〇は何か。目玉が必要である。
50	おざなりの仕事をしないこと。
51	行田の国道125号沿いのわらべ銅人形は不要だと思う。あのような物にお金を投資するのであれば街灯をつける、道路整備など役立つことに使用してほしい。税金がもったいない。税金のムダ使いはやめてほしい。
52	勉強になった。本当にありがたいことであった。
53	雇用があれば、若い人もやってくるのではと思う。人口、特に若年層が減少することは望ましくない。ただ開発という名のまちの荒廃では困る。熊谷市などに比べ、行田市は人が穏やかで住みやすいと思う。
54	若者に人気のある店舗の誘致。(人があつまり活気がでる)
55	大病院への優秀な医師を確保してほしい。
56	中心部アーケード街の活性化、シャッターが降りた店舗が目立ち寂れた感じがする。安く借りあげ市民に開放してはどうか。また、活気のある店舗を誘致するとか。外観にとらわれた、箱物施設に力を入れないで人間の心が育つようなものに力を入れたまちづくりを心がけてほしいと思う。
57	市役所、行田市駅周辺をもっと元気な街にしてほしい。活気がなさすぎる様な気がする。

58	テーマを絞り込み、プロジェクトチーム等を立ち上げ、討議した内容を尊重すべきである。
59	無駄に税金を使わないで欲しい。ドブのフタの整備をして欲しい。外灯をもっと増やしてほしい。(田舎の方に)
60	市民にアンケートをとらなければ良い案が浮かばない。市民から選ばれた議員また市の職員はなにを思うのか。まずはそれから考えた方が良いと思う。こんなアンケートはお金の無駄使いだ。専門的に考える機関のあなた達の考えを発表すべきだ。
61	選択肢に「この中にはない」が含まれておらず回答に困った。このように匿名で市民の声を聞く機会を設けることはとても良いことだと思う。図書館等に市長への意見が置いてあるが、率直な意見は述べづらい。私は20年以上行田に住んできて、初めてこのように意見を述べる機会を与えられた。この取組みが続いていけばよいと思う。
62	埼玉県で人口減少の多い市は、秩父市、行田市、北本市、と聞いた。それだけ魅力が感じられない市だと思う。さきたま古墳を世界遺産へと動いているが、かなり難しいと思う。それならば、空き地に「道の駅」等をつくり、農産物・工芸・観光等の集落や労働の場を考えたほうが良いと思う。また、市によっては17時から流す音楽の前に、小中学生がアナウンスして流している。持ち回りで「本日の担当は〇〇小学校です」。日頃のお礼や防犯のコメントを入れながら地域の皆さんに通学(登下校中)に見守っていただけるような暖かい声が聞こえてくる。発想を豊かに良い市にしてほしい。
63	市民の血税をムダにしない有効な都市計画を実施してほしい。必要がある整備なのかどうかアンケートを取ってから実施しているのか。今後ともよく考えてから都市計画を推進してほしい。
64	しっかりした実状の考えの市長を選ぶ。
65	多数の市民が関心を持ち参加意欲が湧く広報活動に期待する。
66	中・高校生らの意見も聞いてみるのも良いと思う。
67	成功している他の市や地域の商工会や市役所の人に行田を見てもらって、アドバイスをもらってはどうか。
68	市民の意見を素直に取り上げてくれる機会をいろいろ考えてほしい。
69	行田はやはり古墳、忍城、古代ハスなどの観光資源も大事にして行きながら、市外に通勤通学しやすい環境づくりをする必要があると思う。
70	行田市や子供達の将来の為には、議員自身の事だけでなく、合併して大きな市にして、観光にするか、商業にするか工業にするか一つに絞って行かないと、発展するのが大変だと思う。
71	まちづくりをしていく中で、行田市の人口は、減少している状況だが、この辺の対応をしないと、いくら市が音頭を取っても成り立たないと思う。特に若い人達の働く場所がなくなっている。まず労働場の確保を考えるべきだ。今までにあった工場がみんな外へ行ってしまい出来るのは物流関係だけだ。まず工場を行田へ、東北の被災工場などを声掛けして行田市へ。まずは工場誘致して若者の仕事を確保が先決だと思う。
72	休耕田などに、産業廃棄物を埋め立てている場所が、自宅の近くにたくさんある。早急に埋め立てに関する市条例を制定し、市民が安心して生活できるようにしてほしいです。
73	前回行なわれたB1グルメなどが良いと思う。
74	身障者・老人・子供・弱者に意識を置いたまちづくりを特にお願したい。
75	現在、何をしているかわからず今後の方針もわからないので興味がわからない。
76	昔は、あの川で、この川で、泳いだっけとよく聞く。あの頃が楽しかった。とりもどす計画を。開発だけがまちづくりではない。
77	B級グルメ大会。全国大会を期待している。
78	老人問題が重要。老人が歩行で動ける範囲に必需品が揃う店がない。スーパーが存在することが大事だと思う。
79	器ばかりでなく心豊かになれるまちがほしい。そして安心も。
80	耳にイヤホンをつけて音楽を聞きながら歩いている人、自転車に乗っている人達の撲滅。女子中学生、高校生の制服のミニスカートの禁止。

81	市役所に行った時得られる情報（掲示物）がいろいろな所で目に出来ると良い。細かな文字によるものは高齢者が多くなって来ましたのであまり良くない。少々大きな文字にしてほしい。
82	道路ばかりでなく景観も共によく整備し、そこに立つ電柱の地中化を促進する。予算が多すぎて、金額がかかるのかわかりません。多く支払っているのではとったりしてしまいます。このまちづくりプラン自体が市民に知られていない事が問題だと思います。このアンケートが有効に使われる事を願っています。
83	無駄なことをしない。
84	観光まちづくりの推進のために、市民ボランティアガイド等の体制づくりを積極的推進する。
85	まちづくりが市の中心部だけで良いのか。固定概念でなく創造性と発想力で工夫して、発想の転換が必要と思われるアンケートである。
86	さきたま古墳群の保全は重要だが、世界遺産登録はやめてほしい。どう考えても無理である。がっかり世界遺産とネットで笑われるのがオチである。
87	武蔵水路に水力発電を設置するよう提案する。
88	熟年者の活用。例えばジジ、ババ保育園の設置。子育て支援。元気な高齢者づくり。スポーツの取組み支援環境づくり。医療費の軽減。
89	市民への情報をたくさん用意する。 市外の人へのPRをもっと多く。（ホームページなど。パンフレットなど） 若い人達（20～30代）の意見を多く集める。 若い人達にまちづくりの組織に参画してもらう。 このたびのようなアンケートを有効活用する。 行田市と似た規模や歴史をもつ他の都市を参考にする。
90	問18について、誇れる資源を選ぶことができない。全てが中途半端で、どこをどうとったら誇れるのか。形だけでなく、そこに行くまでの道路、まち並み、環境が充実しているか。初めて来訪された方が楽しくなるワクワクするようなまち並み。移動距離など「的」を一つにして取り組むことが最優先ではないか。新しいだけでなくレトロな「落ちつきのあるまち」に期待する。
91	自治会ごとのコミュニケーションはあるが、行田市全体としてのコミュニティに欠けていると思う。祭りやイベントも一部の参加であり市民全体で盛り上げるような取り組みは感じられない。折角の観光資源が活かされていないのは、残念だ。先日のB級グルメグランプリも、天候（暑すぎ）のせいもあるだろうが、もっとイベントをアピールできていれば良かったと思う。色々難しいと思うが頑張してほしい。
92	改善するには予算が必要。予算の見直しをして無駄を省く。家を建てる計画だが、行田市には住まない予定。私のような人が一人でも減らないと行田市は発展しない。行田市に住む人は、行田生まれ行田育ちの人が多。外部の人が入ってくるまちになるにはどうしたら良いのか。子供に関する手当なども、近隣市と比べ劣っているものが多い。
93	まちを活性化させるには、人の交流が必要。市に来てくれた客がリラックスできる休憩場、食事もどこで食べられるのか、観光と店のマップ、リピーターとなってもらうために2～3割安く食べられるプリペイドカードの発行、店にすれば2～3割安くても客が来て現金を落としてくれたらうれしいのでは。まちの活性化は客を呼び入れること。そのリピーターを増やすため詳細は観光と食堂のマップ2～3割安く使用できるプリペイドカードの発行。
94	宿泊施設の整備。ゆっくり行田の観光地めぐりが出来る様に。忍川、星川、武蔵水路等にすばらしい桜の木が有る。ただし、整備や手入れに欠けている所もたくさん有るので整備して頂きたい。
95	現在の市の財政赤字はどのように改善していくのか。具体的な回答をお願いする。
96	ずっと気になっていたが、田んぼで不用な稲わらなどを燃やしているのは何故か。ずいぶん昔に禁止が決まったはず。それなのにほとんどの田んぼで平然と燃やしている。いけないことである以上、市できちんと注意をしてほしい。非常に迷惑している（運転中煙で道が

	見えない、窓をあけられない、洗濯物を干せない) 無用な道路を作らないでほしい。税金は大切に使ってほしい。そのくせ肝心だと思われる道路の補修などは遅い。
97	行田市として観光都市として目指すのか、商業都市として目指すのか、あるいは住居を中心とした都市を目指すのかあまりはっきりしていない感じがする。あるいは、アピール不足なのか、JR行田駅は東京方面に行くには不便である。もっとJR吹上駅や北鴻巣駅への市バスの運行を図ることが大切であると思う。
98	市街地は下水道が整備されているが、それ以外は下水道が遅れている。もし大水害でも起きたら浄化槽からあふれ汚泥となって家の中迄入ってくると思う。下水道は時間とお金がかかると思うが整備されると良いと願っている。 行政の税収とサービスの事も心配である。
99	交通計画、土木計画の技術者を取り入れること。
100	明るく楽しい行田市にしてほしい。
101	税金をムダに使うのは絶対にやめてほしい。
102	犬の糞を畑や草むら、玄関・カーポートの前にフンをおいていく人がいて、農家の人がこまっている。 家庭の生ゴミの処理、生ゴミポットの家庭での購入補助焼却炉の長持ちのため、加須市では実施している。 下水道の整備によりきれいな川を。
103	老人対策をお願いする。新しい情報をお願いする。市道の対策をお願いする。
104	県知事の思いつきで語った「さきたま古墳が世界遺産に」というこのことを御老公の印筆が如く振りかざす。私の知る限り行田市民で誰でもが税金の無駄使いにならねばと危惧する声ばかり。このことを御存知か。私は都市計画より行田市の活性化に関心がある、商店に元気がない。
105	市の中心部も大切だが、隅々までの細かいところまで考えて、市のまちづくりをお願いしたい。
106	旧市街地の活性化は無理なので、カインズホームのような人、物、金が集まる施設を積極的に誘致する。 南河原地区の幹線道路の整備を早急に。 B級グルメの様なイベントを今後も続ける。

【参考資料】

【参考資料 1】

行田市都市計画マスタープラン策定に係る【市民アンケート調査】

クロス項目表

設 問		地 域	年 代 ・ 世 代	性 別
問 2	現在お住まいの地域についてどのように感じていますか 1) 居住環境について	●	●	●
	2) 暮らしやすさについて	●	●	●
	3) 安全・安心について	●	●	●
	4) ゆとり、うるおいについて	●	●	●
	5) コミュニティについて	●	●	●
問 3	現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか	●	●	●
問 4	現在お住まいの地域のコミュニティについて、どのような問題を感じていますか			
問 5	誰もが安心して住み続けられるために、地域でどのようなことに取り組むことが重要だと思いますか			
問 6	現行の「行田市都市計画マスタープラン」（平成 10 年 3 月策定）をご存じですか		●	●
問 7	現行の「行田市都市計画マスタープラン」の成果をどのように評価しますか。 1) 土地利用の仕方	●	●	●
	2) 道路・交通ネットワークの整備	●	●	●
	3) 緑と水辺のネットワークの整備	●	●	●
	4) 下水処理施設などの整備	●	●	●
	5) 活性化を先導する施設の整備	●	●	●
	6) 景観の形成	●	●	●
	7) 生活環境の改善	●	●	●
	8) 市民参加のまちづくり	●	●	●
問 8	平成19年度から平成23年度にかけての市のまちづくりの効果について、どのように評価しますか 1) 道路整備、歩道整備により計画区域内では以前より安全に歩きやすくなりましたか			
	2) 計画区域内の公園や広場は、以前より利用しやすくなりましたか			

設問		地域	年齢・世代	性別
問 8	3) 文化財案内板、説明板の整備により、市の歴史的・文化的資源は以前よりわかりやすくなったと思いますか			
	4) 整備前と比較して、市中心部は魅力のあるまちになったと思いますか			
	5) 市の住みごこちはいかがですか			
問 9	20 年後の行田市がどのようなまちになってほしいと思いますか		●	●
問 10	市のまちづくりを進めていくにあたり、最も重要な取組みは次のどれだと思いますか		●	●
問 11	今後の市の土地利用の方向性としてどのようなものが望ましいと思いますか	●	●	●
問 12	市中心部には活気があると思いますか			
問 13	今後、市中心部の魅力を高め、活性化していくにはどんな取り組みが必要だと思いますか		●	●
問 14	市の玄関口であるJR行田駅周辺の利便性・魅力を高めるためには何が必要だと思いますか		●	●
問 15	市における今後の拠点整備について、どのような方向が望ましいと思いますか	●	●	●
問 16	今後の住宅地のあり方について、どのような方向が望ましいと思いますか	●	●	●
問 17	今後の農地のあり方について、どのような方向が望ましいと思いますか	●	●	●
問 18	市が誇れる地域の資源は何だと思いますか	●	●	●
問 19	地域の資源を活かしたまちづくりについて、どのような取組みが重要だと思いますか	●	●	●
問 20	市の景観についてどう思いますか	●		
問 21	市において、景観の向上が特に必要なのは、次のどれだと思いますか	●	●	●
問 22	市の景観づくりを進める上で、特に重要な取組みは何だと思いますか		●	●
問 23	地震や台風被害などの自然災害に対する不安を感じていますか	●	●	●
問 24	災害に強いまちづくりを進めるため、どのようなことが必要だと思いますか	●	●	●
問 25	都市計画やまちづくりについて、主に何から情報を得ていますか	●	●	●
問 26	都市計画やまちづくりに関心をお持ちですか	●	●	●
問 27	都市計画やまちづくりに関するどのような情報が欲しいですか	●	●	●
問 28	今後どのようなまちづくり活動に参加したいと思いますか	●	●	●

行田市都市計画マスタープラン策定に係る 【市民アンケート調査】へのご協力のお願い

市民の皆様には、日ごろより、市政の推進につきましてご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

市では、平成23～24年度にかけて「行田市都市計画マスタープラン」を策定することとなりました。

このアンケート調査は、行田市都市計画マスタープランの策定にあたり、市民の皆様が市のまちづくりに対してどのように感じているか等についてお伺いし、今後のまちづくりのあり方を検討するための貴重な資料とさせていただきます。

このアンケート調査の対象者は、市に住民登録されている18歳以上の方の中から、無作為に3,000人を抽出させていただきました。

なお、お答えいただいた方について特定することなく、統計的に処理し、目的以外には利用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、市民の皆様の声を市政に反映させる取り組みであることをご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成23年9月
行田市長 工藤 正司

※ご記入にあたってのお願い

1. 必ずあて名のご本人がお答えください。
2. 該当する番号にボールペンで○をつけてください。
3. 質問によって、回答数が異なります（○が1つの場合、3つまでの場合、該当するもの全ての場合、など）。各設問の回答数に合わせてお答えください。
4. お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
5. この調査について、わからない点がありましたら、下記までお問い合わせください。

★アンケートにご記入いただきましたら、同封の返信用封筒（切手不要）にて、**10月11日（火）までに郵便ポストへご投函**いただきますよう、
お願い申し上げます。

【お問い合わせ先】 行田市まちづくり推進課 計画担当
電話：048-550-1550（直通）

■行田市都市計画マスタープランを策定します！■

市では、平成23年度から平成24年度にかけて、新しい行田市都市計画マスタープランを策定します。

計画期間は、平成25年度から平成44年度までの20年間といたします。

■都市計画マスタープランってなに？

都市計画マスタープランとは、土地利用の基本方針、道路・公園などの都市施設の整備方針などをわかりやすく示した、都市計画の基本的な方針を総合的に示すものです。いわば、市の都市計画を進める上での「羅針盤」の役割を担うものです。



■どのように策定するの？

まちづくりは行政だけで進めるものではなく、まちを構成するさまざまな主体がかかわることが重要です。このため、行田市都市計画マスタープランの策定においても、この「市民アンケート調査」や「市民まちづくり会議」、「地域別懇談会」、「策定委員会」などにより、市民の皆様の意見を広くお聞きしてまいります。

■都市計画ってなに？

都市計画とは、土地の使い方や建物の建て方のルールを定めたり、道路、公園、下水道などの都市施設を計画的に整備していくために必要なものです。

土地利用の ルールを決める



土地の使い方のルール

暮らしやすい環境をつくるため、土地の使い方や建物の建て方のルールを決めます。

人々の暮らしを 支える



道路や公園などの都市施設の整備

生活や産業を支える、道路や公園などの都市基盤の整備を行います。

まちをつくる・ つくりなおす



土地区画整理

新しくまちをつくったり、古くなったまちをつくり直します。

■行田市都市計画マスタープラン策定への参加方法

「市民まちづくり会議」、「地域別懇談会」、「策定委員会」への参加方法等の詳細は、「市報ぎょうだ10月号」をご覧になるか、行田市まちづくり推進課 計画担当 へご連絡下さい。

行田市都市計画マスタープラン策定に係る

【市民アンケート調査】 調査票

はじめに、あなたご自身についてお聞きします

問1 次の1)～5)の項目について、お答えください。
(項目ごとに該当する番号を1つ選び○を付けてください)

1) 性別

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

2) 年齢

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 3. 30歳代 | 5. 50歳代 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20歳代 | 4. 40歳代 | 6. 60歳代 | |

3) 職業

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 専門職（医師、税理士、専門技術職など） | 7. サービス業（理・美容、接客業など） |
| 2. 管理職（会社の重役、課長など） | 8. 自営業（商、工、建築業、製造業など） |
| 3. 会社員（サラリーマンなど） | 9. 学生 |
| 4. 公務員、教員 | 10. 主婦 |
| 5. 製造業、小売等従事者、運転手 | 11. 無職 |
| 6. 農林漁業、畜産業 | 12. その他
() |

4) 居住年数

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 3年未満 | 3. 5年～10年未満 | 5. 15年～20年未満 |
| 2. 3年～5年未満 | 4. 10年～15年未満 | 6. 20年以上 |

5) 住居形態

- | |
|----------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） |
| 2. 持ち家（分譲マンション等） |
| 3. 賃貸（民営アパート、マンション等） |
| 4. 賃貸（公営等の賃貸住宅） |
| 5. 社宅（独身寮、公務員住宅を含む） |
| 6. その他
() |

I あなたがお住まいの地域についてお聞きします

問2 あなたは、現在お住まいの地域についてどのように感じていますか。次の1)～5)の項目についてお答えください。

(項目ごとに該当する番号を1つ選び○を付けてください)

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
1) 居住環境について				
ア 日当たりや風通し	1	2	3	4
イ 宅地の広さやゆとり	1	2	3	4
ウ 音や振動などの静けさ	1	2	3	4
エ 身近な遊び場や公園の整備状況	1	2	3	4
オ 下水道やU字溝などの排水施設の整備状況	1	2	3	4

2) 暮らしやすさについて

カ 生活道路の整備状況	1	2	3	4
キ 幹線道路の整備状況	1	2	3	4
ク 公共交通（バス・鉄道）の利便性	1	2	3	4
ケ 日用品の買い物の利便性	1	2	3	4
コ 公共施設へのアクセスのしやすさ	1	2	3	4
サ 鉄道へのアクセスのしやすさ	1	2	3	4

3) 安全・安心について

シ 地震や風水害などへの防災対策	1	2	3	4
ス 信号機、ガードレールなどの交通安全施設	1	2	3	4
セ 照明灯、防犯灯などの防犯施設	1	2	3	4
ソ 地域での防犯・防災の取り組み	1	2	3	4

4) ゆとり、うるおいについて

タ 緑や水など自然の身近さや豊かさ	1	2	3	4
チ 集落や田園などの農村風景の美しさ	1	2	3	4
ツ 住宅地や沿道などの街並みの美しさ	1	2	3	4
テ 歴史的建造物や文化財などの保全・活用	1	2	3	4

5) コミュニティについて

ト 公民館などのコミュニティ施設の整備状況	1	2	3	4
ナ 地域の交流	1	2	3	4
ニ 高齢者や子どもに対する地域での見守り活動	1	2	3	4

問3 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。

(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. これからもずっと住み続けたい | 3. できれば転出したい |
| 2. できることなら住み続けたい | 4. 転出したい |

問4 あなたは、現在お住まいの地域のコミュニティについて、どのような問題を感じていますか。

(該当する番号のすべてに○を付けてください)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 地域での活動や行事等に参加する人が少ない、または固定化されている |
| 2. 高齢化が進んでいる |
| 3. 住民同士の交流が少なくなった |
| 4. 地域に対する関心が低くなっている |
| 5. その他 () |

問5 あなたは、誰もが安心して住み続けられるために、地域でどのようなことに取り組むことが重要だと思いますか。

(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 1. 道路や公園等での美化活動 | 5. 高齢者、障がい者、外国人など災害時要援護者への支援 |
| 2. 防犯パトロールなどの防犯活動 | 6. イベント開催などによる交流の機会づくり |
| 3. 一人暮らし高齢者やこどもの見守り活動 | 7. その他 () |
| 4. 自主防災組織の結成などの防災体制の強化 | |

Ⅱ 市全体の都市計画・まちづくりについてお聞きします

これまでのまちづくりの取り組みについて

問6 あなたは、現行の「行田市都市計画マスタープラン」（平成10年3月策定）をご存知ですか。
（該当する番号を1つ選び○を付けてください）

1. 詳しく知っている	2. 聞いたことはある	3. 知らない
-------------	-------------	---------

問7 現行の「行田市都市計画マスタープラン」では、「水と緑が歴史と未来をつなぐまちづくり」を目指し、次の1)～8)の方針に沿って、まちづくりの取り組みを行ってきました。その成果をあなたはどのように評価しますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。（項目ごとに該当する番号を1つ選び○を付けてください）

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
1) 土地利用の仕方 人口・産業の見通しに応じた適切な市街地の形成と市街化調整区域内の無秩序な開発の抑制	1	2	3	4
2) 道路・交通ネットワークの整備 都市の一体性を築き、利便性を向上させるために必要な道路・交通ネットワークの整備	1	2	3	4
3) 緑と水辺のネットワークの整備 河川、水路等の自然を生かした水辺空間ネットワークと緑道ネットワークの整備	1	2	3	4
4) 下水処理施設などの整備 公共下水道事業や集落排水施設整備の推進、および小針クリーンセンター等の機能増強	1	2	3	4
5) 活性化を先導する施設の整備 高次教育施設の誘致、およびコミュニティ施設、スポーツ・レクリエーション拠点の整備	1	2	3	4
6) 景観の形成 忍城址と調和のとれた歴史的な街並みづくりの推進、および道路・駅周辺等における緑化の推進	1	2	3	4
7) 生活環境の改善 身近な遊び場の整備、および安心して歩ける道路整備等による生活環境の整備	1	2	3	4
8) 市民参加のまちづくり 住民参加による、地区の課題に応じたきめ細やかなプランづくりに向けた取り組み	1	2	3	4

問8 市では、市中心部を「行田市文化ゾーン地区」（計画区域は下図参照）として、平成19年度から平成23年度にかけて、道路や多目的広場などの整備を行い、市民や観光客に親しみと魅力あるまちづくりを進めています。
これらのまちづくりの効果について、次ページの設問により、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。

【整備内容】

- ・南大通線（未開通区間の開通）
- ・市道第5.1-3号線（忍川付近の踏切から南へ約120m区間）の歩道整備 ※平成23年度整備予定
- ・市道第6.2-8号線（南小学校前）街路灯・モニュメント整備
- ・多目的広場（市民プール脇芝生広場）整備
- ・文化財案内板、文化財説明板整備
- ・足袋蔵歴史のまちガイドブック作成

行田市中心部のまちづくり

計画区域

市道第5.1-3号線 歩道整備

秩父線行田市駅

行田市役所

文化財案内板・説明板整備 (● 15ヶ所)

忍城社

南大通線 道路整備

多目的広場整備

水城公園

南小学校

市道第6.2-8号線 街路灯・モニュメント整備

教育文化センターみらい

南大通線 整備前

南大通線 整備後

文化財説明板

多目的広場

市道第6.2-8号線

- 1) 前ページの道路整備、歩道整備により、計画区域内では以前より安全に歩きやすくなりましたか。

(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
1	2	3	4

- 2) 多目的広場（市民プール脇芝生広場）は、忍城時代祭りなど各イベント会場としても利用されています。計画区域内の公園や広場は、以前より利用しやすくなりましたか。

(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
1	2	3	4

- 3) 前ページの計画区域内では、文化財案内板、説明板の整備により、市の歴史的・文化的資源を紹介していますが、以前よりわかりやすくなったと思いますか。

(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
1	2	3	4

- 4) 前ページの各整備を行ったことにより、整備前と比較して、市中心部は魅力のあるまちになったと思いますか。

(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
1	2	3	4

- 5) 市の住みごこちはいかがですか。

(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらかといえば住みにくい	住みにくい
1	2	3	4

- 6) 前ページで紹介している計画区域内の各整備、または市街地のまちづくりについて、ご意見、ご感想等がありましたらご記入ください。

これからのまちづくりの取り組みについて

(まちの将来像)

問9 あなたは、20年後の行田市がどのようなまちになってほしいと思いますか。
(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

1. 子どもが育つ環境や教育環境が良いまち
2. 医療機関や保健サービスが充実しているまち
3. 高齢者や障がい者などを大切にすまち
4. 文化・芸術・スポーツに力を入れているまち
5. 道路等の整備が進んだ、交通の利便性が高いまち
6. 防災や防犯などに地域で取り組む、安全で安心して暮らせるまち
7. 水辺や緑など、自然環境の良いまち
8. 環境への負荷軽減に配慮した、地球にやさしいまち
9. 農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち
10. 雇用環境が充実して、働く場所の多いまち
11. 美しい街並みや農村風景など、優れた景観のあるまち
12. 歴史や伝統文化などの地域資源を活用した観光のまち
13. その他 ()

(まちづくりの取組み)

問10 市のまちづくりを進めていくにあたり、最も重要な取組みは次のうちどれだと思いますか。
(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

1. 歩いて暮らせるまちづくりの推進
2. 市中心部(※)の活性化に向けた取組み
3. 市の玄関口にふさわしいJR行田駅周辺の整備
4. 建物の不燃化の促進や、狭い道路の解消による防災体制の強化
5. 幹線道路の整備による交通ネットワークの形成
6. 安心して利用できる生活道路の整備
7. 市内を行き来しやすい公共交通機関の充実
8. 街並みづくりなどによる快適な住環境の整備
9. 自転車利用や緑化の推進などによる環境に配慮した取組み
10. ユニバーサルデザイン(※)による道路整備や地域の見守り活動などによる高齢社会への対応
11. 観光農業など、新たな農業の展開と地域で農業を支える仕組みづくり
12. 足袋を代表とする繊維工業などの地場産業の振興
13. 足袋蔵などの歴史的な街並みや農村風景など、行田らしい景観づくりの推進
14. さきたま古墳群の世界遺産登録の推進や忍城址などの地域資源の保全・活用
15. 市民が集い、交流が生まれるコミュニティづくり
16. 市民がまちづくりに参加できる仕組み・体制づくり
17. その他 ()

※市中心部：5ページの計画区域周辺を指します。

※ユニバーサルデザイン：高齢であることや障がいの有無などにかかわらず、全ての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。

土地利用について

問 11 市においては、少子、高齢化や人口の減少傾向が見られます。あなたは、今後の市の土地利用の方向性としてどのようなものが望ましいと思いますか。

(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- | |
|--|
| 1. これ以上の市街地拡大は避け、今ある市街地の充実を図る |
| 2. 良好な市街地が形成されるのであれば、必要に応じて市街地を拡大してもよい |
| 3. 積極的に市街地を拡大し、新しい市街地を整備する |
| 4. その他 () |

問 12 あなたは、市中心部には活気があると思いますか。

(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 活気がある | 3. どちらかといえば活気がない |
| 2. どちらかといえば活気がある | 4. 活気がない |

問 13 あなたは、今後、市中心部の魅力を高め、活性化していくにはどんな取り組みが必要だと思いますか。

(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

- | | |
|--|----------------------|
| 1. 安心して歩ける歩行空間の整備 | 7. 観光案内所などの観光拠点の充実 |
| 2. ストリート・ファニチャー (※) や案内板等の設置など、わかりやすく楽しめる歩行空間の整備 | 8. 足袋蔵など歴史的建造物の保全・活用 |
| 3. サイン (※) や色彩の統一による美しい街並みづくり | 9. 多目的スペースの創出 |
| 4. 未利用地や空き店舗の有効活用 | 10. 介護施設や保育施設の充実 |
| 5. 個性や魅力ある店舗の誘致 | 11. 公共交通機関の充実 |
| 6. 公共施設や商業施設などの業務機能の集積 | 12. 駐輪場や駐車場の整備 |
| | 13. その他 () |

※ストリート・ファニチャー：街灯、ベンチ、童の銅人形など、街路に置かれる備品

※サイン：案内板、標識

問 14 あなたは、市の玄関口である JR 行田駅周辺の利便性・魅力を高めるためには何が必要だと思いますか。

(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 花や緑による憩いの場の創出など駅前広場の整備 | 6. 中高層住居の整備 |
| 2. まちの顔としてふさわしい景観づくり | 7. 市内各所への交通利便性の向上 |
| 3. 公共施設や商業施設などの業務機能の集積 | 8. 駐輪場や駐車場の整備 |
| 4. 観光案内所など、観光客のおもてなし空間の整備 | 9. その他 () |
| 5. デイサービスや保育園など、介護・保育施設の整備 | |

問 15 あなたは、市における今後の拠点整備について、どのような方向が望ましいと思いますか。

(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- | |
|--|
| 1. 市中心部に公共施設、商業施設などの業務機能や住居などを集積する |
| 2. JR 行田駅周辺に公共施設、商業施設などの業務機能や住居などを集積する |
| 3. 市中心部と JR 行田駅周辺の一体性や連続性を強化する |
| 4. 公共施設や商業施設の分散を図り、地域の生活拠点を充実させる |
| 5. 現状のままでよい |
| 6. その他 () |

問 16 あなたは、今後の住宅地のあり方について、どのような方向が望ましいと思いますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

1. 市中心部や郊外を問わず、市域全体に住宅地を増やしていく
2. 市中心部や駅周辺などの既成市街地に集積し、質の向上を図る
3. 現状のままでよい
4. その他 ()

問 17 あなたは、今後の農地のあり方について、どのような方向が望ましいと思いますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

1. 農業者を支援し、生産機能の向上と活性化を図る
2. 観光農園の開設や農家民泊の推進などにより観光農業の展開を図る
3. 農地を住宅、公園、商業施設等へ計画的に転用する
4. 現状のままでよい
5. その他 ()

地域の資源をいかしたまちづくりについて

問 18 あなたは、市が誇れる地域の資源は何だと思いますか。
(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| 1. さきたま古墳群 | 7. 足袋を中心とした繊維産業 |
| 2. 忍城址や水城公園 | 8. 田んぼアート |
| 3. 足袋蔵などの歴史的建造物や古い街並み | 9. ささら獅子舞などの民俗文化 |
| 4. 豊かな農地と田園風景 | 10. 行田浮き城まつりなどのイベント |
| 5. 利根川、忍川、星川、見沼代用水などの水辺空間 | 11. フライやゼリーフライなど地域の食文化 (B級グルメ) |
| 6. 行田蓮 (古代蓮) | 12. その他 () |

問 19 あなたは、地域の資源を活かしたまちづくりについて、どのような取組みが重要だと思いますか。
(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

1. さきたま古墳群など市を代表する文化財等の重点的な保全と活用
2. 足袋蔵などの歴史的建造物等を活用した、行田らしい街並みの創出
3. 市独自の伝統・民俗文化や生活文化の維持・伝承
4. 地域資源に付加価値をつけた観光資源の創出と発掘
5. 地域資源を結ぶ道路やサイクリングロード、公共交通機関の充実
6. 案内板や観光案内所など、情報提供体制の充実
7. 市民ボランティアガイド等、市民主体の観光まちづくりの推進
8. その他 ()

景観づくりについて

問 20 あなたは、市の景観についてどう思いますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 優れている | 3. どちらかといえば優れていない |
| 2. どちらかといえば優れている | 4. 優れていない |

問 21 あなたは、市において、景観の向上が特に必要なのは、次のうちどれだと思いますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 市中心部や駅周辺、幹線道路などの公共空間 | 4. 歴史的な建造物や歴史的な街並み |
| 2. 住宅地など普段生活している地域の街並み | 5. その他 () |
| 3. 田園地帯や河川、緑地などの自然的景観 | |

問 22 あなたは、市の景観づくりを進める上で、特に必要な取組みは何だと思いますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 景観計画の策定など、市全体の景観に関する指針づくり |
| 2. 市内の地域特性に合わせたきめ細やかなルールづくり |
| 3. 景観まちづくりを進める組織や団体、人材の育成や支援 |
| 4. 景観コンテストの実施など、市民の景観に対する関心や理解を高める取組み |
| 5. その他 () |

自然災害に強いまちづくりについて

問 23 あなたは、地震や台風被害などの自然災害に対する不安を感じていますか。
(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- | |
|-----------------|
| 1. 不安を感じている |
| 2. とくに不安は感じていない |
| 3. その他 () |

問 24 あなたは、災害に強いまちづくりを進めるため、どのようなことが必要だと思いますか。
(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 老朽化した建物の建替えや耐震補強の促進 |
| 2. 河川の氾濫や浸水などに対する水害対策 |
| 3. 自主防災組織の結成など、地域の防災活動への支援 |
| 4. 避難場所や防災拠点として活用できる公園施設などの整備 |
| 5. 災害時の食料や毛布などの備蓄倉庫の設置の促進 |
| 6. 災害時に安全に避難できる道路の整備 |
| 7. その他 () |

Ⅲ まちづくりへの関心・参加意向についてお聞きします

問 25 あなたは、都市計画やまちづくりについて、主に何から情報を得ていますか。

(該当する番号を3つまで選び○を付けてください)

- | | | | |
|-------------|---------------|------------|-------------|
| 1. 市報ぎょうだ | 4. 自治会の回覧 | 7. 新聞・TV | 10. その他 () |
| 2. 議会だより | 5. 公民館等の掲示板 | 8. インターネット | |
| 3. 市のホームページ | 6. 自治会、団体等の会合 | 9. 口コミ | |

問 26 あなたは、都市計画やまちづくりに関心をお持ちですか。

(該当する番号を1つ選び○を付けてください)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 関心を持っている | 3. あまり関心を持っていない |
| 2. ある程度関心を持っている | 4. 関心を持っていない |

問 27 あなたは、都市計画やまちづくりに関するどのような情報が欲しいですか。

(該当する番号のすべてに○を付けてください)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 行政の取組みに関する情報 | 4. 必要ない |
| 2. NPOなどの民間団体に関する情報 | 5. その他 () |
| 3. 市民参加の機会の情報 | |

問 28 あなたは、今後どのようなまちづくり活動に参加したいと思いますか。

(該当する番号のすべてに○を付けてください)

- | |
|---|
| 1. 都市計画マスタープランなど、各種計画策定や条例策定等、行政の取組みに対する参加 |
| 2. NPOなどの民間団体におけるボランティア活動 (テーマ: 環境、福祉、防災、歴史・文化、観光等) |
| 3. 地域での美化活動や防犯活動などの自治会活動 |
| 4. 参加の意向はない |
| 5. その他 () |

問 29 市のまちづくりの改善のためにご提案がありましたら、ご記入下さい。(任意記入)

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました～

今後の行田市都市計画マスタープランの策定に関する情報は、市報及び市ホームページでお知らせします。

**行田市都市計画マスタープラン策定に係わる
市民アンケート調査 報告書**

発行日 平成24年3月

発行 行田市

編集 都市整備部 まちづくり推進課

〒361-0052

埼玉県行田市本丸2-20（埼玉県行田地方庁舎内）

TEL 048-556-1111（代表）